FS-C2626MFP

使用説明書

FS-C2626MFP

使用説明書　メニュー

目次・索引から選ぶ

目的で選ぶ

準備する

コピーする

目次から選ぶ

索引から選ぶ

送信する

目次から選ぶ　　索引から選ぶ

文書ボックスを使用する

ジョブを操作する

メンテナンスする

トラブルが発生した

▶ 目次から選ぶ　▶ 索引から選ぶ

設定する

ユーザー管理・部門管理を行う

本機の情報

はじめに

FS-C2626MFPをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

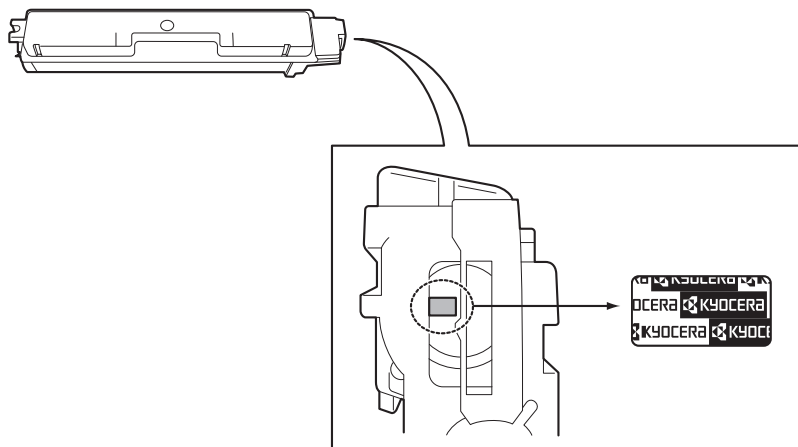
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

京セラミタ純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

クイックガイド	本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。
セーフティーガイド	本機の設置や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。
セーフティーガイド（FS-C2626MFP）	本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD（Product Library）

使用説明書（本書）	用紙の補給やコピー、プリント、スキャンの基本的な操作、各種初期設定などについて説明しています。
ファクス使用説明書	ファクスの機能について説明しています。
ICカード認証キット(B)使用説明書	ICカードを使って本機に認証を行うための操作手順について説明しています。
京セラCOMMAND CENTER操作手順書	パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
プリンタードライバー操作手順書	プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
Network FAXドライバー操作手順書	Network FAX 送信機能を使用するために、Network FAX ドライバーのインストール方法や操作方法について説明しています。
KM-NET for Direct Printing操作手順書	Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
KMnet Viewer操作手順書	KMnet Viewer で、ネットワーク上のプリントシステムをモニターする方法について説明しています。
プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル	ネイティブプリンター言語（プリスクライブコマンド）について説明しています。
プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス	プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

目次

かんたん目次

ご使用になる前に「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください

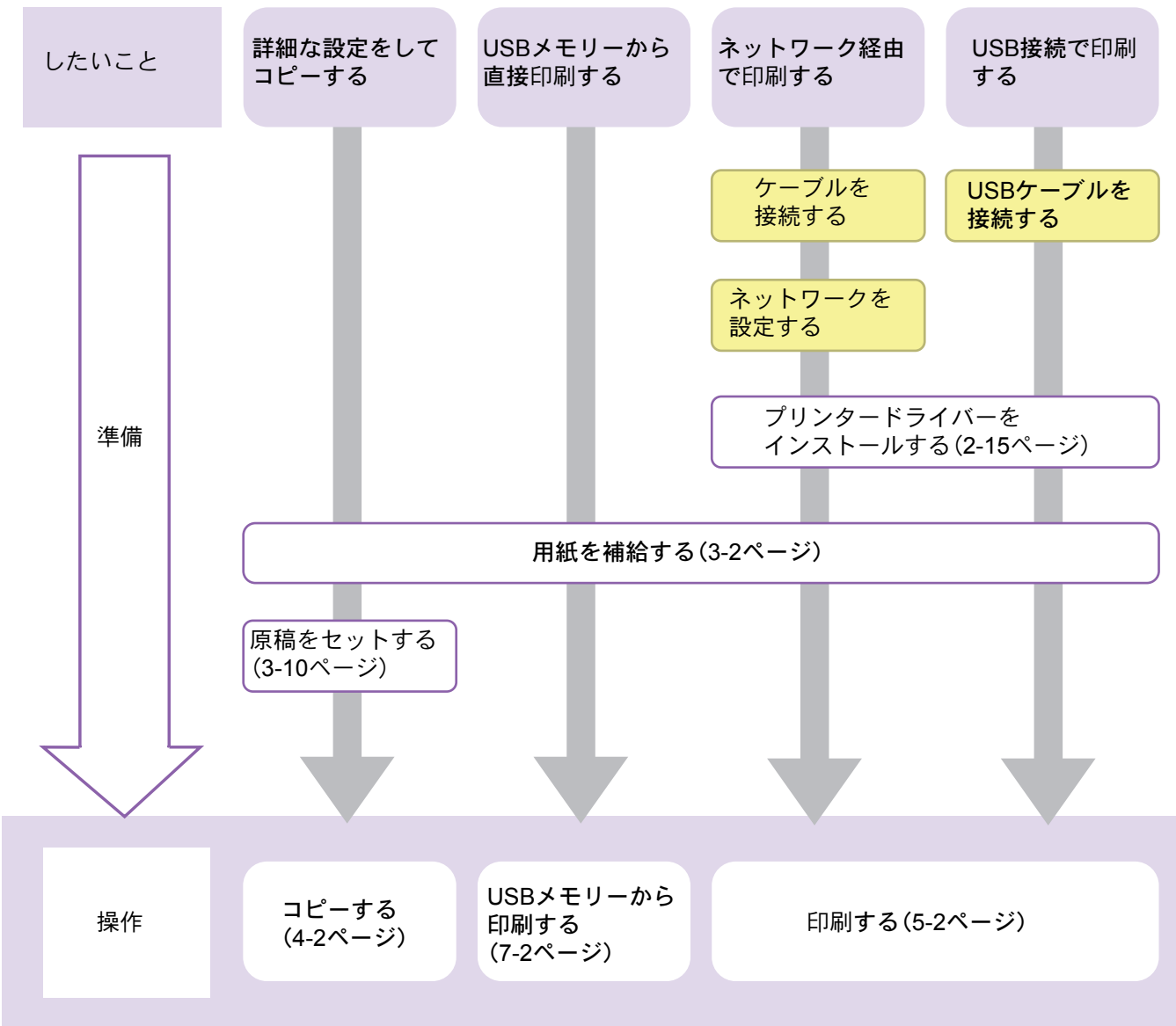
コピーしたい

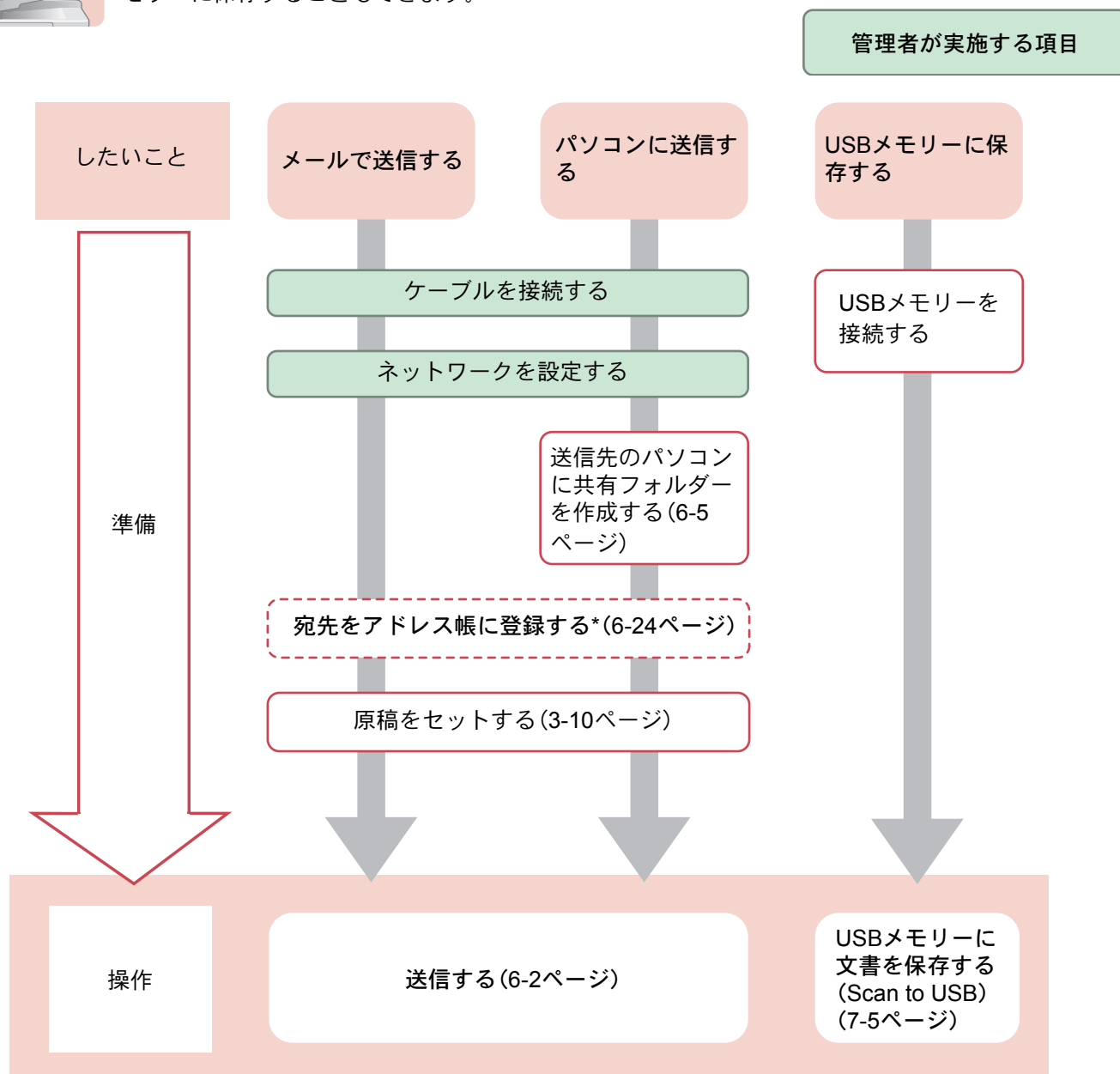
スタートキーを押すだけで簡単にコピーできます。用紙サイズの変更や濃度の調整など詳細な設定をしてコピーすることもできます。

プリントしたい

ネットワーク経由で印刷したり、USBメモリーから直接PDFデータを印刷することができます。

管理者が実施する項目

したいこと	詳細な設定をしてコピーする	USBメモリーから直接印刷する	ネットワーク経由で印刷する	USB接続で印刷する
準備			ケーブルを接続する	USBケーブルを接続する
			ネットワークを設定する	
			プリンタードライバーをインストールする（2-15ページ）	プリンタードライバーをインストールする（2-15ページ）
	用紙を補給する（3-2ページ）	用紙を補給する（3-2ページ）	用紙を補給する（3-2ページ）	用紙を補給する（3-2ページ）
	原稿をセットする（3-10ページ）			
操作	コピーする（4-2ページ）	USBメモリーから印刷する（7-2ページ）	印刷する（5-2ページ）	印刷する（5-2ページ）

送信したい

スキャンした文書をネットワークを使用して送信することができます。スキャンした文書をUSBメモリーに保存することもできます。

*　アドレス帳に登録しなくても、宛先を直接入力して送信できます。

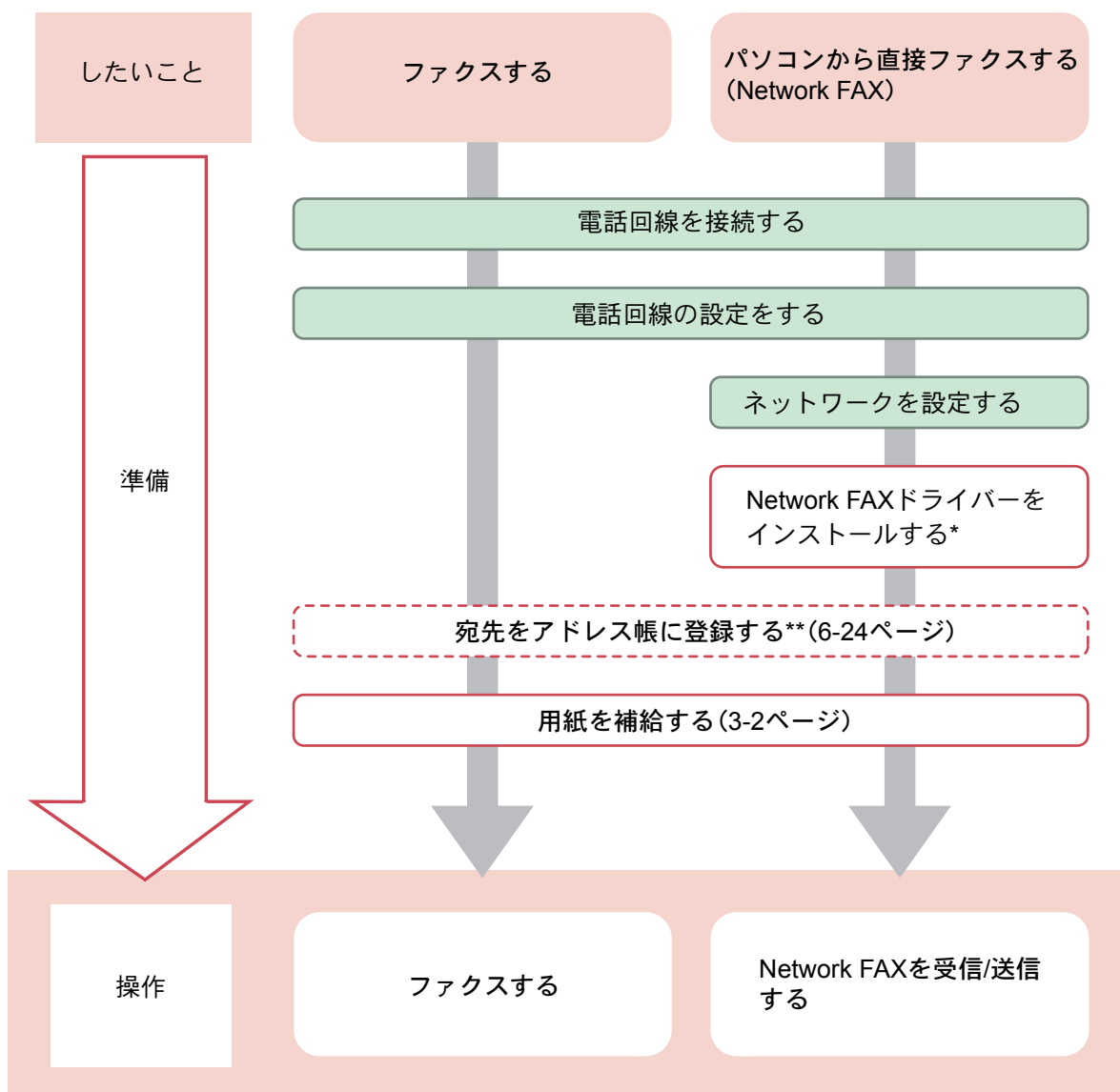
ファクスしたい

電話回線を使用してファクスをすることができます。

参考

ファクスの準備・操作手順の詳細は、**ファクス使用説明書**をご参照ください。

管理者が実施する項目

したいこと	ファクスする	パソコンから直接ファクスする（Network FAX）
準備	電話回線を接続する	電話回線を接続する
	電話回線の設定をする	電話回線の設定をする
		ネットワークを設定する
		Network FAXドライバーをインストールする*
	宛先をアドレス帳に登録する**（6-24ページ）	宛先をアドレス帳に登録する**（6-24ページ）
	用紙を補給する（3-2ページ）	用紙を補給する（3-2ページ）
操作	ファクスする	Network FAXを受信/送信する

*　Network FAX**ドライバー操作手順書**を参照してください。

**　アドレス帳に登録しなくても、宛先を直接入力して送信できます。

メニューマップ

コピー

部数(4-3ページ)	
用紙選択(3-41ページ)	
縮小/拡大(4-5ページ)	
濃度(3-43ページ)	
両面/分割(4-7ページ)	
ページ集約(4-10ページ)	
ソート(3-42ページ)	
機能一覧	原稿サイズ(3-35ページ)
	原稿セット向き(3-36ページ)
	カラー選択(3-51ページ)
	原稿の画質(3-45ページ)
	エコプリント(4-13ページ)
	色相調整(4-14ページ)
	カラーバランス(4-15ページ)
	シャープネス(3-46ページ)
	地色調整(3-47ページ)
	彩度(4-16ページ)
	連続読み込み(3-39ページ)
	ジョブ終了通知(3-52ページ)
	文書名入力(3-54ページ)
	優先印刷(3-55ページ)
	ショートカット追加/編集(3-25ページ)

送信

ワンタッチキー(6-17ページ)	
アドレス帳(6-15ページ)	
拡張アドレス帳(**京セラCOMMAND CENTER操作説明書**参照)	
メール(6-18ページ)	
フォルダー(6-19ページ)	
ファクス(ファクス使用説明書参照)	
WSDスキャン(6-42ページ)	
機能一覧	ファイル形式(3-49ページ)
	原稿サイズ(3-35ページ)
	原稿セット向き(3-36ページ)
	両面/分割(3-37ページ)
	送信サイズ(6-37ページ)
	ファイル分割(6-39ページ)
	読み込み解像度(3-44ページ)
	濃度(3-43ページ)
	カラー選択(3-51ページ)
	原稿の画質(3-45ページ)
	シャープネス(3-46ページ)
	地色調整(3-47ページ)
	ファクス送信解像度(**ファクス使用説明書**参照)
	縮小/拡大(3-48ページ)
	連続読み込み(3-39ページ)
	文書名入力(3-54ページ)
	メール 件名/本文(6-40ページ)
	ジョブ終了通知(3-52ページ)
	FTP暗号送信(6-41ページ)
	ファクスタイマー送信(**ファクス使用説明書**参照)
	ファクスダイレクト送信(**ファクス使用説明書**参照)
	ファクスポーリング受信(**ファクス使用説明書**参照)
	ショートカット追加/編集(3-25ページ)

文書ボックス

ジョブボックス(5-6ページ)				
外部メモリー	メニュー	文書保存	ファイル形式(3-49ページ)	
			両面(3-37ページ)	
			読み込み解像度(3-44ページ)	
			濃度(3-43ページ)	
			文書名入力(3-54ページ)	
			機能一覧	原稿サイズ(3-35ページ)
				原稿セット向き(3-36ページ)
				保存サイズ(7-13ページ)
				カラー選択(3-51ページ)
				原稿の画質(3-45ページ)
				シャープネス(3-46ページ)
				地色調整(3-47ページ)
				縮小/拡大(3-48ページ)
				連続読み込み(3-39ページ)
				ジョブ終了通知(3-52ページ)
				ショートカット追加/編集(3-25ページ)
	印刷	部数(7-3ページ)		
		用紙選択(3-41ページ)		
		ソート(3-42ページ)		
		両面(7-9ページ)		
		機能一覧	カラー選択(3-51ページ)	
			ジョブ終了通知(3-52ページ)	
			優先印刷(3-55ページ)	
			暗号化PDFパスワード(7-10ページ)	
			JPEG/TIFF印刷方法(7-11ページ)	
			XPS印刷サイズ調整(7-12ページ)	
			ショートカット追加/編集(3-25ページ)	
Fコードボックス(**ファクス使用説明書**参照)				
ポーリングボックス(**ファクス使用説明書**参照)				

状況確認/
ジョブ中止

- 印刷ジョブ状況（8-3ページ）
- 送信ジョブ状況（8-4ページ）
- 保存ジョブ状況（8-5ページ）
- 予約ジョブ（8-5ページ）
- 印刷ジョブ履歴（8-6ページ）
- 送信ジョブ履歴（8-6ページ）
- 保存ジョブ履歴（8-6ページ）
- スキャナー（8-11ページ）
- プリンター（8-12ページ）
- ファクス（8-12ページ）
- トナー状況（8-13ページ）
- 用紙状況（8-13ページ）
- 外部メモリー（8-12ページ）

システムメニュー / カウンター

簡単セットアップウィザード(3-29ページ)	ファクスのセットアップ(3-29ページ)	
	用紙のセットアップ(3-29ページ)	
	省エネのセットアップ(3-29ページ)	
言語選択(9-5ページ)		
レポート(9-5ページ)	レポート印刷(9-5ページ)	ステータスページ(9-5ページ)
		フォントリスト(9-5ページ)
		ネットワークステータス(9-5ページ)
		サービスステータスページ(9-6ページ)
		部門管理レポート(9-6ページ)
		Fコードボックスリスト(**ファクス使用説明書参照**)
		ファクスリスト(見出し)(**ファクス使用説明書参照**)
		ファクスリスト(番号)(**ファクス使用説明書参照**)
		ファクス発信レポート(**ファクス使用説明書参照**)
		ファクス着信レポート(**ファクス使用説明書参照**)
	管理レポート設定(**ファクス使用説明書参照**)	
	結果通知設定(9-6ページ)	送信結果レポート(9-6ページ)
		ファクス受信結果通知(**ファクス使用説明書参照**)
		終了通知設定(9-6ページ)
	履歴送信(8-7ページ)	履歴送信(8-9ページ)
		自動送信(8-9ページ)
		宛先(8-8ページ)
		ジョブ履歴件名(8-10ページ)
カウンター	印刷ページ数(3-14ページ)	
	読み込みページ数(3-14ページ)	

ユーザー情報(9-7ページ)	ユーザー名(9-7ページ)		
	ユーザー名（フリガナ）(9-7ページ)		
	ログインユーザー名(9-7ページ)		
	ログインパスワード(9-7ページ)		
	アクセスレベル(9-7ページ)		
	部門名(9-7ページ)		
	メールアドレス(9-7ページ)		
	簡単ログイン(9-7ページ)		
	マイパネル(9-7ページ)		
	グループ名(9-7ページ)		
	グループID(9-7ページ)		
カセット/手差しトレイ設定(9-7ページ)	カセット1(～3)(9-7ページ)	用紙サイズ(9-7ページ)	
		用紙種類(9-7ページ)	
	手差しトレイ(9-8ページ)	用紙サイズ(9-8ページ)	
		用紙種類(9-8ページ)	
共通設定(9-9ページ)	初期画面(9-9ページ)		
	音設定(9-9ページ)	ブザー(9-9ページ)	音量(9-9ページ)
			操作確認音(9-9ページ)
			正常終了音(9-9ページ)
			準備完了音(9-9ページ)
			注意音(9-9ページ)
		ファクススピーカー音量（**ファクス使用説明書**参照）	
		ファクスモニター音量（**ファクス使用説明書**参照）	
	原稿設定(9-9ページ)	カスタム原稿サイズ登録(9-9ページ)	
		原稿サイズ初期値(9-9ページ)	
	用紙設定(9-9ページ)	カスタム用紙サイズ登録(9-9ページ)	
		用紙種類の設定(9-10ページ)	
		優先給紙元(9-10ページ)	
		用紙選択(9-10ページ)	
		自動用紙の用紙種類（カラー）(9-10ページ)	
		自動用紙の用紙種類（白黒）(9-10ページ)	
		特定用紙種類の動作設定(9-10ページ)	

	機能初期値(9-11ページ)	ファイル形式(9-11ページ)	
		原稿セット向き(9-11ページ)	
		ソート(9-11ページ)	
		ファイル分割(9-11ページ)	
		読み込み解像度(9-11ページ)	
		カラー選択(コピー) (9-11ページ)	
		カラー選択(送信/保存) (9-11ページ)	
		原稿の画質(9-11ページ)	
		地色調整(9-11ページ)	
		エコプリント(9-11ページ)	
		ファクス送信解像度(**ファクス使用説明書**参照)	
		縮小/拡大(9-12ページ)	
		連続読み込み(9-12ページ)	
		文書名入力(9-12ページ)	
		メール 件名/本文(9-12ページ)	
		FTP暗号送信(9-12ページ)	
		JPEG/TIFF印刷方法(9-12ページ)	
		XPS印刷サイズ調整(9-12ページ)	
		詳細設定(9-12ページ)	画質(9-12ページ)
			PDF/A(9-12ページ)
	部数制限(9-12ページ)		
	エラー処理設定(9-13ページ)	両面エラー(9-13ページ)	
		用紙ミスマッチエラー(9-13ページ)	
	入力長さ単位(9-13ページ)		
	キーボード入力方式(9-13ページ)		
コピー(9-13ページ)	自動用紙動作設定(9-13ページ)		
	自動倍率優先(9-13ページ)		
	コピー - 原稿送り装置動作(9-13ページ)		
送信(9-14ページ)	送信前の宛先確認(9-14ページ)		
	新規宛先の入力確認(9-14ページ)		
	送信控え転送(9-14ページ)	転送(9-14ページ)	
		宛先(9-14ページ)	
	カラーTIFF圧縮方式(9-14ページ)		
	初期画面(9-14ページ)		
文書ボックス	Fコードボックス(**ファクス使用説明書**参照)		
	ジョブボックス	クイックコピージョブ保持数(5-8ページ)	
		一時保存文書の自動消去(5-11ページ)	
	ポーリングボックス(**ファクス使用説明書**参照)		

ファクス（**ファクス使用説明書**参照）			
お気に入り/アプリケーション	初期画面（9-14ページ）		
	アプリケーション（9-14ページ）		
インターネット	プロキシー（9-15ページ）		
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳（6-24ページ）		
	ワンタッチキー（6-33ページ）		
	アドレス帳初期設定	表示順	
	リスト印刷（**ファクス使用説明書**参照）		
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定（9-31ページ）	ユーザー管理（9-33ページ）	
		ローカルユーザーリスト（9-35ページ）	
		簡単ログイン設定（9-45ページ）	簡単ログイン（9-45ページ）
			簡単ログイン情報（9-45ページ）
		ローカルユーザー認可（9-40ページ）	
		グループ認可設定（9-51ページ）	グループ認可（9-51ページ）
			グループリスト（9-51ページ）
		ネットワークユーザー情報の取得（9-55ページ）	
	部門管理設定（9-57ページ）	部門管理（9-60ページ）	
		部門管理レポート印刷（9-70ページ）	
		全部門集計（9-68ページ）	印刷ページ数（9-68ページ）
			読み込みページ数（9-68ページ）
			ファクス送信ページ（9-68ページ）
			ファクス送信時間（9-68ページ）
			カウンターリセット（9-68ページ）
		部門別集計（9-68ページ）	
		部門リスト（9-62ページ）	
		初期設定（9-71ページ）	制限超過時設定（9-71ページ）
			コピー/プリンターカウント方法（9-71ページ）
			カウンター制限初期値（9-71ページ）
	ID不明ジョブ処理（9-72ページ）		

システム（9-17ページ）	ネットワーク（9-17ページ）	ホスト名（9-17ページ）	
		TCP/IP設定（9-17ページ）	TCP/IP（9-17ページ）
			IPv4設定（9-17ページ）
			IPv6設定（9-18ページ）
			プロトコル詳細（9-19ページ）
		NetWare（9-20ページ）	
		AppleTalk（9-20ページ）	
		WSDスキャン（9-20ページ）	
		WSD印刷（9-20ページ）	
		Enhanced WSD（9-20ページ）	
		Enhanced WSD（SSL）（9-20ページ）	
		IPSec（9-21ページ）	
		セキュアプロトコル（9-21ページ）	SSL（9-21ページ）
			IPPセキュリティー（9-21ページ）
			HTTPセキュリティー（9-21ページ）
			LDAPセキュリティー（拡張アドレス帳）（9-21ページ）
			LDAPセキュリティー（ユーザー情報）（9-21ページ）
			SMTPセキュリティー（9-21ページ）
			POP3セキュリティー（ユーザー1）（9-21ページ）
			POP3セキュリティー（ユーザー2）（9-21ページ）
			POP3セキュリティー（ユーザー3）（9-21ページ）
		LANインターフェイス（9-22ページ）	
	インターフェイスブロック設定（9-22ページ）	USBホスト（9-22ページ）	
		USBデバイス（9-22ページ）	
		オプションインターフェイス（スロット1）（9-22ページ）	
		オプションインターフェイス（スロット2）（9-22ページ）	
	セキュリティーレベル（9-4ページ）		
	再起動（9-4ページ）		
	RAMディスク設定（9-22ページ）		
	オプションメモリー使用量（9-22ページ）		
	オプション機能（9-4ページ）		

日付/タイマー(9-23ページ)	日付/時刻(9-23ページ)	
	日付形式(9-23ページ)	
	時差(9-23ページ)	
	オートパネルリセット(9-23ページ)	
	エラー後自動継続(9-23ページ)	
	パネルリセット時間(9-23ページ)	
	スリープ時間(9-23ページ)	
	エラー後自動継続時間(9-23ページ)	
	使用禁止時間(**ファクス使用説明書**参照)	
調整/メンテナンス(9-23ページ)	濃度調整(9-23ページ)	コピー(9-23ページ)
		送信/ボックス(9-23ページ)
	地色調整(9-23ページ)	コピー(自動)(9-23ページ)
		送信/ボックス(自動)(9-23ページ)
	トナー節約レベル(エコプリント)(9-24ページ)	コピー(9-24ページ)
		プリンター(9-24ページ)
	自動カラー判別基準(9-24ページ)	
	黒筋軽減処理(9-24ページ)	
	画面の明るさ(9-24ページ)	
	カラー印刷位置補正(9-24ページ)	
	ドラムリフレッシュ(9-24ページ)	
	キャリブレーション(9-24ページ)	
	レーザースキャナークリーニング(9-24ページ)	
	サービス設定	テストページ
		現像器設定
		DEV-CLN
		高度調整(9-24ページ)
		MC(9-24ページ)
		ファクスカントリーコード

1　はじめに

この章では、次の項目について説明します。

注意事項

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」

「高温注意」

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」

「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」

「電源プラグをコンセントから抜け」

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

お願い

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度10～32.5℃
- 湿度15～80%

ただし、外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温16～27℃、湿度36～65%の範囲で使用することをお勧めいたします。

本製品の最適環境でご使用いただくために、機械設置場所の空調温度を調整していただくようお願いします。また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて

 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れることのないように保管してください。トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーコンテナは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しトレイから用紙を取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。

② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。

③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき（料額印面付き）の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。

④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

（関係法律）

- 通貨及ビ証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。

② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

正しくお使いいただくために

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよびECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、MS-DOSおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- Novell、NetWareは、Novell社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- Power PCは、IBM社の米国およびその他の国における商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST™ MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のAdvanced Wnnを使用しています。"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2010 All Rights Reserved

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL（http://www.gnu.org/licenses/gpl.html）もしくはLGPL（http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html）が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL の条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、http://www.kyoceramita.com/gpl/にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.
   For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeayライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”
   The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

   いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。

    さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「スリープ」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは2-21ページの**スリープとオートスリープ**をご覧ください。

自動両面機能について

本製品は用紙の両面にコピーできる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは4-7ページの**両面/分割**をご覧ください。

再生紙

本製品は環境に与える負荷の少ない再生紙を使用することができます。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」

に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

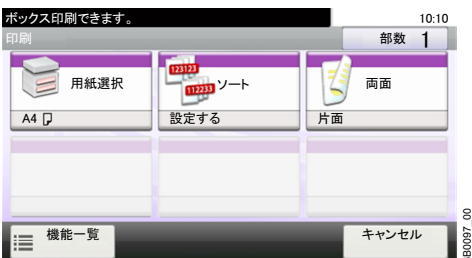
VCCI-B

使用説明書について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
ペーパーフィーダーPF-520	ペーパーフィーダー
ペーパーフィーダーPF-530	ペーパーフィーダー（マルチ）
拡張メモリー	拡張メモリー
ICカード認証キット（B）	ICカード認証キット
ICカードリーダー（A）	ICカードリーダー
ギガビットイーサーネット拡張キットIB-50	ギガビットイーサーネット拡張キット

本書は、次の章で構成されています。

章		内容
1	**はじめに**	本機の使用に関する注意事項や商標、このマニュアルについて説明しています。
2	**本機を使用する前に**	各部の名称、ケーブルの接続、使用前に必要な準備・設定について説明しています。
3	**共通の操作**	用紙・原稿のセット、ログイン・ログアウトなど、本機の全般的な操作を説明しています。
4	**コピーする**	コピーの際に利用できる機能を説明しています。
5	**プリントする**	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。
6	**送信する**	原稿を送信する際に利用できる機能を説明しています。
7	**文書ボックスを使う**	文書ボックスの基本的な使い方を説明しています。
8	**ジョブ/消耗品/デバイスを管理する**	ジョブの状況や履歴の確認や、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。
9	**設定・登録・ユーザー管理を行う**	本機の動作全般に関わるシステムメニュー、部門管理、ユーザー管理について説明しています。
10	**こんなときには**	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	**付録**	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

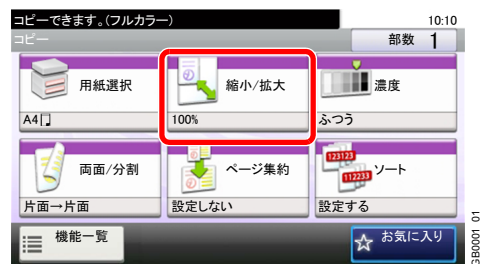
本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
太字キー	操作パネル上のキーおよびパソコン画面に表示されるボタン、メッセージを示します。
[太字]	タッチパネル上のキーを示します。
「標準」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法です。

各機能が設定できるジョブをアイコンで示しています。

アイコン	説明	アイコン	説明
コピー	コピー時に設定できる機能です。 コピー画面	USBメモリーからの印刷	USBメモリーからの印刷時に設定できる機能です。 USBメモリーからの印刷画面
送信	送信時に設定できる機能です。 送信画面	USBメモリーへの保存	USBメモリーへの保存時に設定できる機能です。 USBメモリーへの保存画面

タッチパネルのキーを押して操作する箇所を、赤い枠で囲んで示しています。

例）[**縮小/拡大**]を押す。

操作パネルやタッチパネルを連続で操作する手順は、次のように番号を付けて表記しています。

例）[**機能一覧**]を押す。→[**エコプリント**]を押す。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

タッチパネルのアイコン表示について

タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

原稿	用紙
横向き	縦向き

2 本機を使用する前に

この章では、次の項目について説明します。

各部の名称

本体

1 原稿送り装置

2 操作パネル

3 内部トレイ

4 排紙ストッパー

5 手差しトレイ

6 用紙幅ガイド

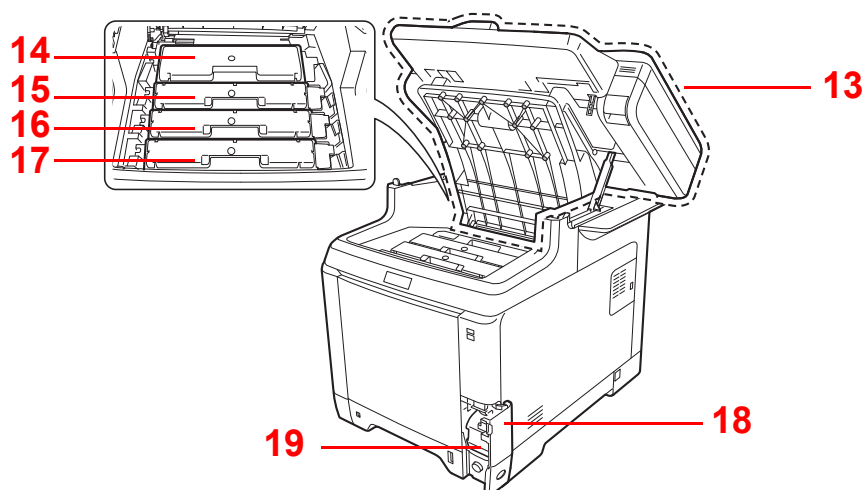
7 手差し補助トレイ

8 カセット1

9 USBメモリースロット

10 主電源スイッチ

11 用紙残量表示

12 搬送下カバー

13 上カバー

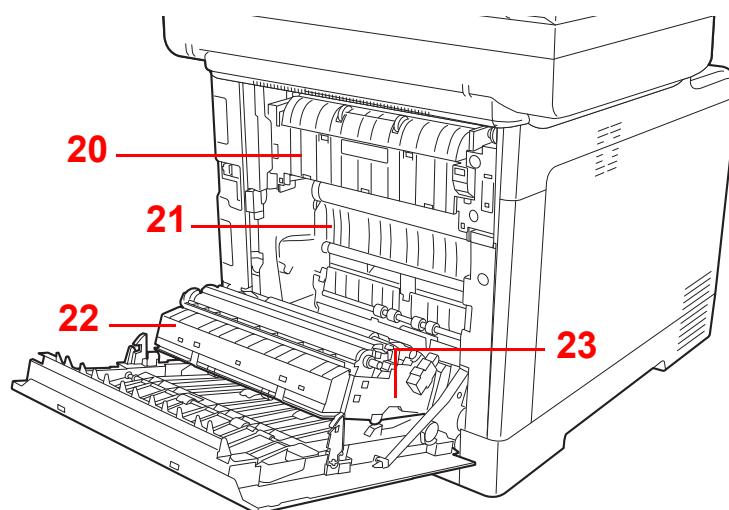
14 ブラック(K)のトナーコンテナ

15 マゼンタ(M)のトナーコンテナ

16 シアン(C)のトナーコンテナ

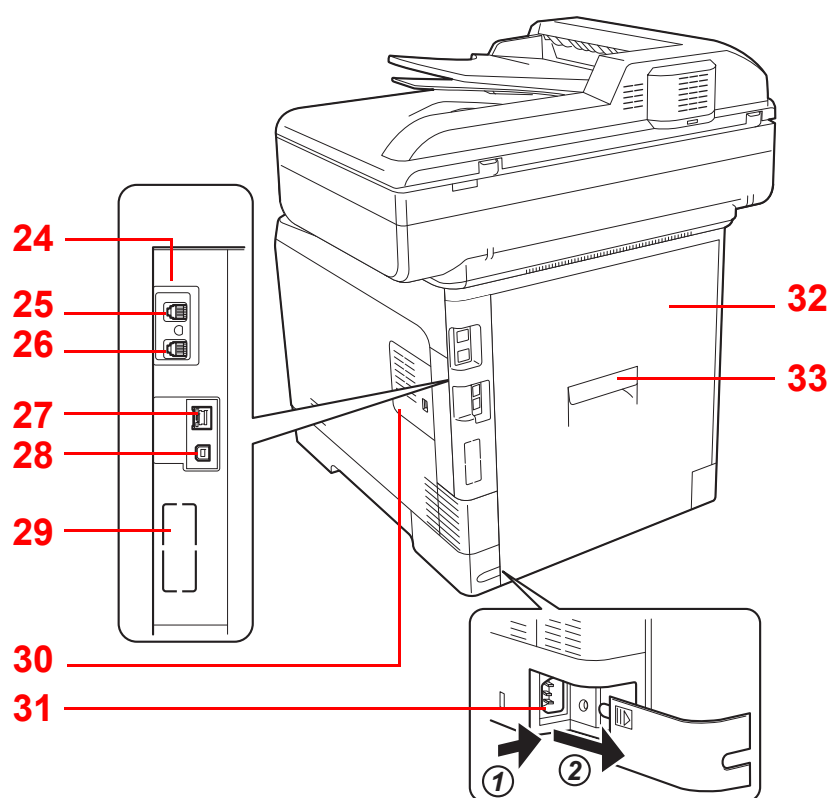
17 イエロー(Y)のトナーコンテナ

18 廃棄トナーカバー

19 廃棄トナーボックス

20 定着カバー

21 搬送ユニット

22 ペーパーランプ

23 両面ユニット

24 オプションインターフェイススロット1

25 LINE接続コネクター

26 TEL接続コネクター

27 ネットワークインターフェイスコネクター/インジケーター

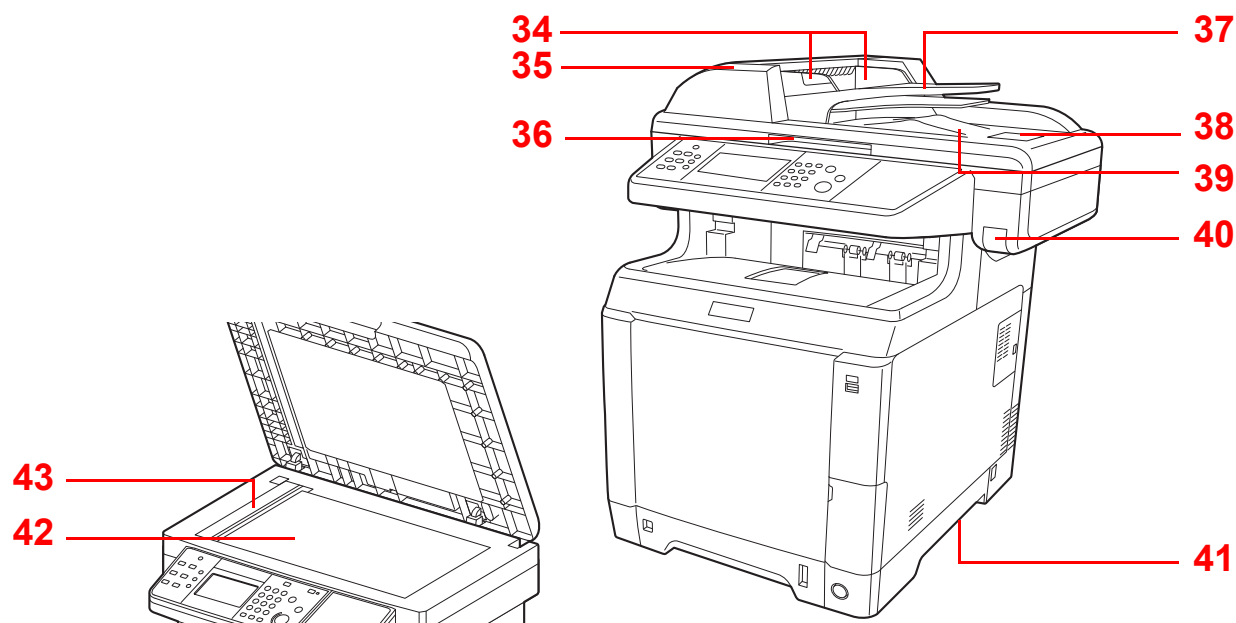
28 USBインターフェイスコネクター

29 オプションインターフェイススロット2

30 右カバー

31 電源コードコネクター

32 後ろカバー

33 後ろカバーレバー

34 原稿幅ガイド

35 原稿送り装置カバー

36 原稿送り装置開閉取っ手*

37 原稿トレイ

38 原稿ストッパー

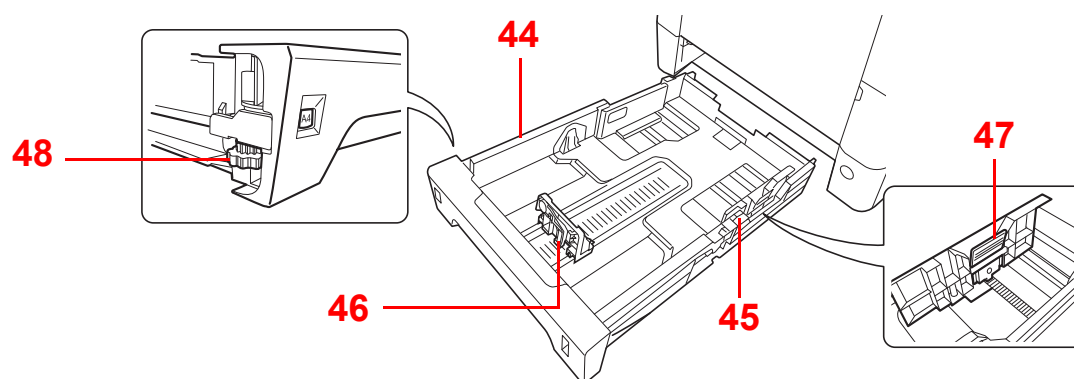
39 原稿排紙テーブル

40 上カバーレバー

41 搬送用取っ手

42 原稿ガラス

43 スリットガラス

* 転倒防止のため、上カバーと原稿送り装置は同時に開きません。

44 カセット1

45 用紙幅ガイド

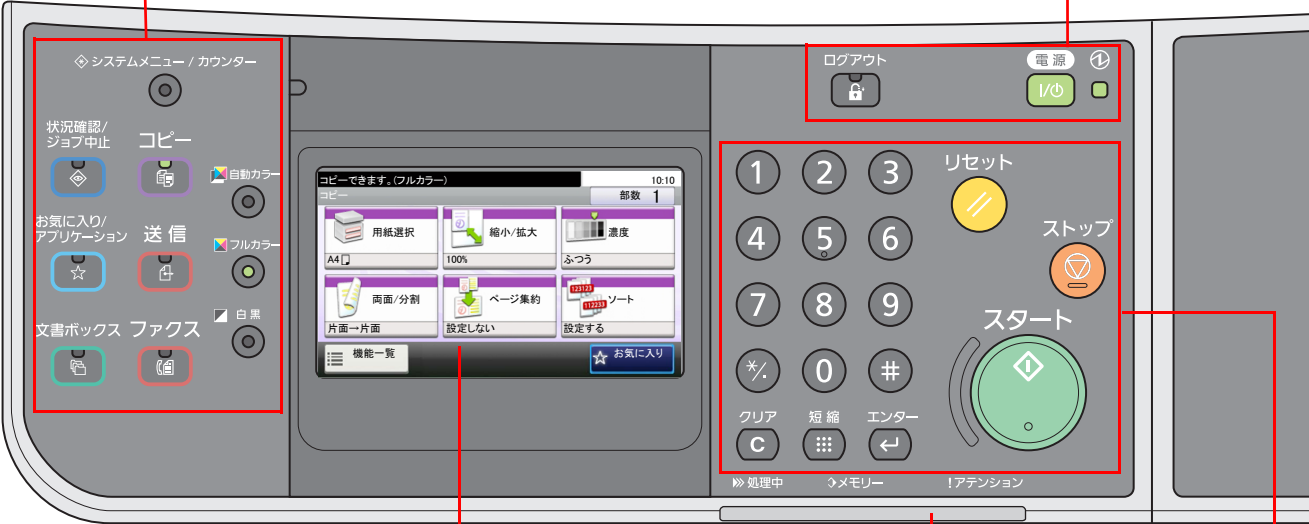
46 用紙長さガイド

47 用紙幅変更つまみ

48 用紙サイズダイヤル

操作パネル

システムメニュー / カウンター	システムメニュー/カウンター画面を表示します。		
状況確認/ジョブ中止	状況確認/ジョブ中止画面を表示します。	コピー	コピー画面を表示します。
お気に入り/アプリケーション	お気に入り画面を表示します。 アプリケーション使用時はアプリケーション画面を表示します。	送 信	送信の基本画面を表示します。
文書ボックス	文書ボックス画面を表示します。	ファクス	ファクスの基本画面を表示します。
自動カラー フルカラー 白黒	カラーモードを変更します。 **自動カラー**：カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して読み込みます。 **フルカラー**：すべての原稿をフルカラーで読み込みます。 **白黒**：すべての原稿を白黒で読み込みます。		

ログアウト	管理画面の操作を終了（ログアウト）します。
電 源	本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープ状態から復帰します。
（主電源ランプ）	本機の主電源がONのときに点灯します。

タッチパネルです。ここのキーに触れて各種設定を行います。

処理中：印刷や送信の処理中に点滅します。

メモリー：ファクス用メモリー、USBメモリー（汎用品）にアクセス中に点滅します。

アテンション：エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

テンキー（1〜9、*/.、0、#）	テンキーです。 数字や記号を入力します。	クリア	入力した数値や文字を消去します。	リセット	設定値を初期状態に戻します。
		短 縮	アドレス番号やユーザーIDなど、番号で登録内容を指定します。	ストップ	動作中の印刷ジョブを中止、または一時停止します。
		エンター	テンキーの入力や、機能設定中のタッチパネルを確定します。タッチパネル上の[OK]と連動しています。	スタート	コピーやスキャン動作開始や設定動作の処理を開始します。

タッチパネル

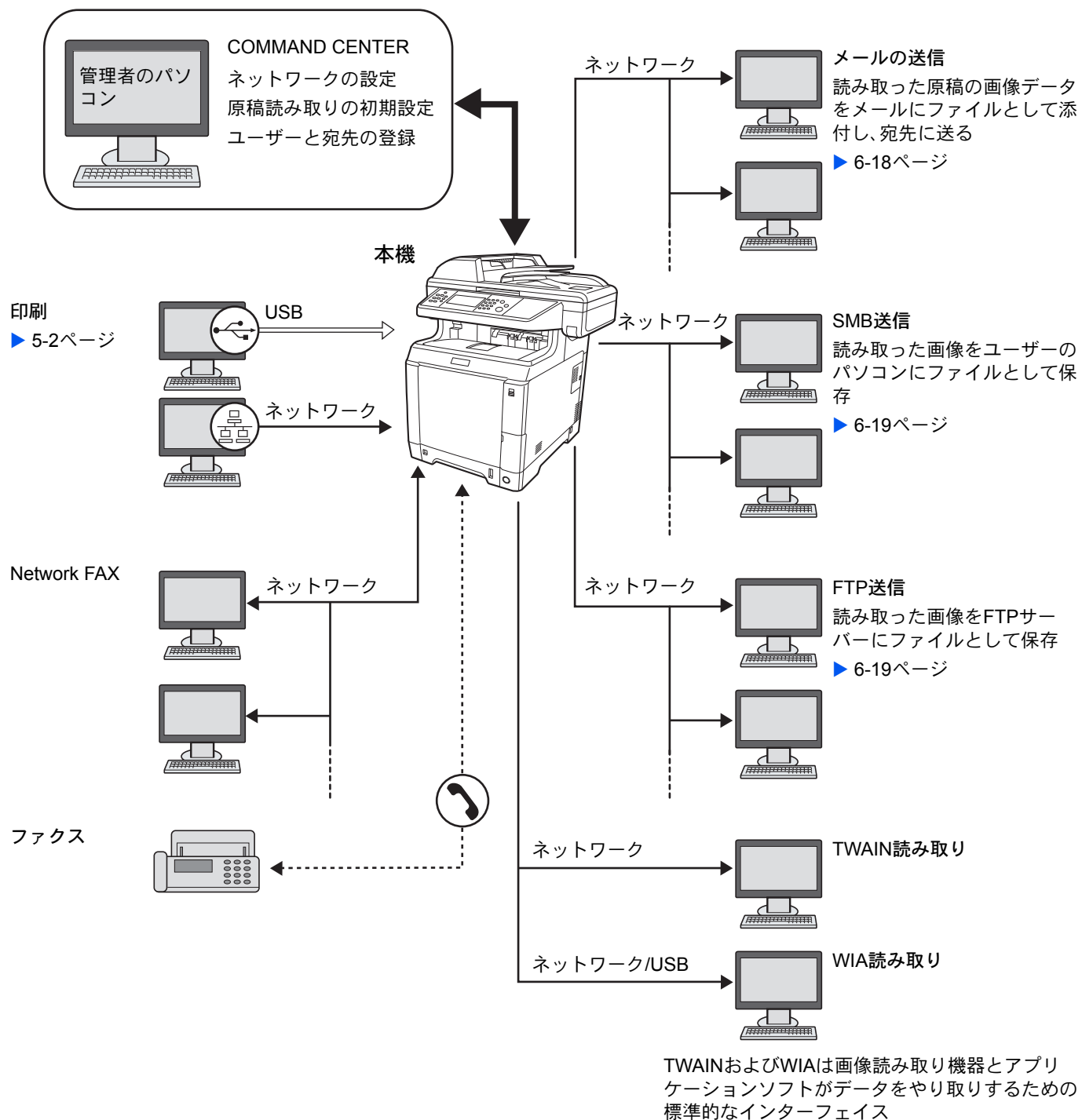
本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
選択できる機能を表示します。
より詳細な機能を設定します。
時刻やコピー枚数を表示します。
お気に入りを表示します。
ショートカットに登録した機能を表示します。
本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
選択できる機能や設定値を表示します。
前の画面に戻ります。
画面をスクロールして表示しきれない部分を表示します。
ショートカットに機能を登録することができます。
コピーできます。(フルカラー)
10:10
コピー
部数 1
用紙選択
A4
縮小/拡大
100%
濃度
ふつう
両面/分割
片面→片面
ページ集約
設定しない
ソート
設定する
機能一覧
ショートカット 1
ショートカット 2
お気に入り
GB0001_04
コピーできます。(フルカラー)
10:10
機能一覧
原稿サイズ
A4
原稿セット向き
上辺を左向き
カラー選択
フルカラー
原稿の画質
文字+写真
1/4
GB0002_00
閉じる
ショートカット
追加/編集

接続方法の決定とケーブルの準備

本製品とパソコン、または本製品とネットワークを接続するための方法を確認し、ご使用の環境に合わせて必要なケーブルをご準備ください。

接続例

下図を参考に、本製品とパソコン、または本製品とネットワークの接続方法を決定してください。

ネットワークケーブル（1000BASE-T、100BASE-TXまたは10BASE-T）によるパソコンとの接続

必要なケーブルの準備

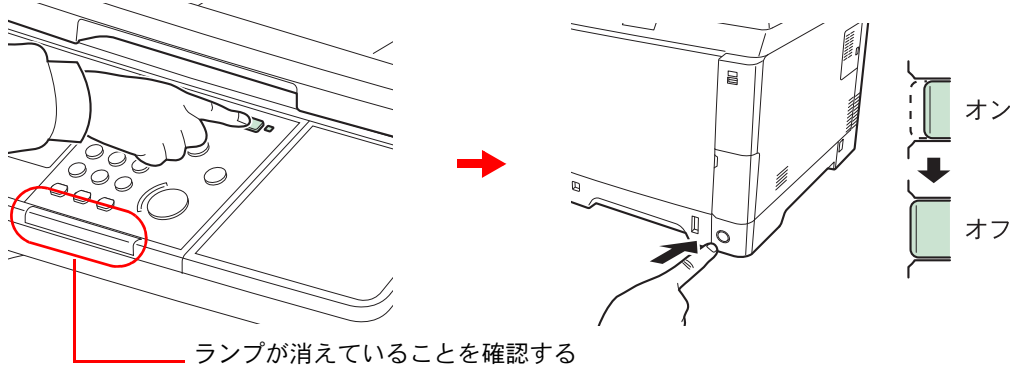
使用するインターフェイスに合わせて、必要なケーブルを用意してください。

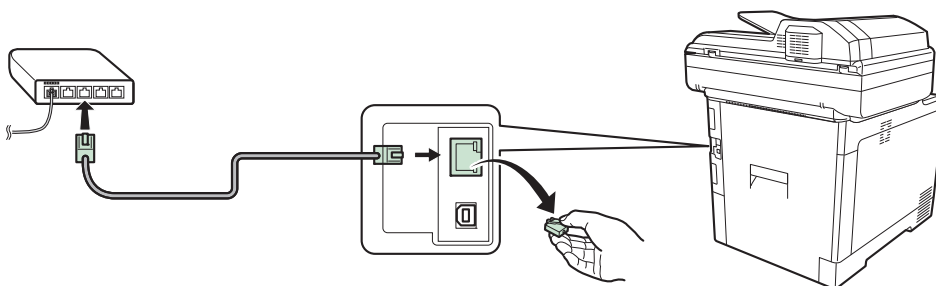
接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	・プリンター ・スキャナー（メール送信/SMB送信/FTP送信） ・スキャナー（TWAIN/WIA）	ネットワークケーブル（10Base-T、100Base-TX または1000BASE-T、シールド付）
本機をUSBケーブルで接続する	・プリンター ・スキャナー（WIA）	USB2.0適合ケーブル（Hi-Speed USB準拠5.0 m以下、シールド付）

ケーブルの接続

ネットワークケーブルの接続

本機をネットワークケーブルで接続し、ネットワークプリンター/ネットワークスキャナーとして使用できます。

1 電源を切る

2 接続する

1 本体のネットワークインターフェイスに、ネットワークケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方を、HUB（集線装置）に接続します。

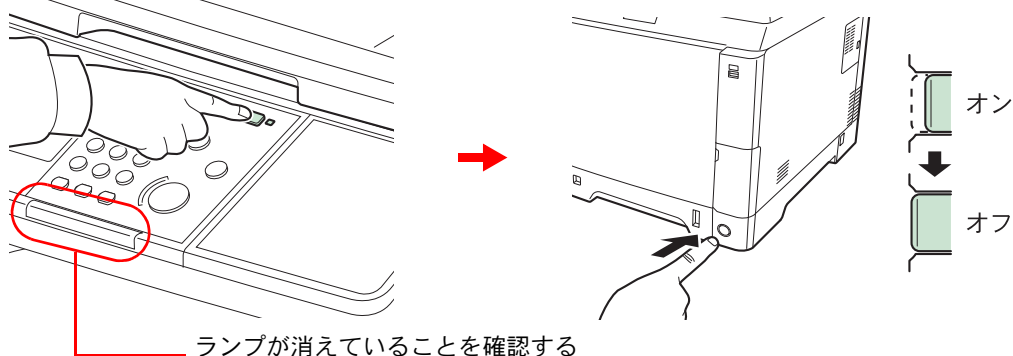
3 設定する

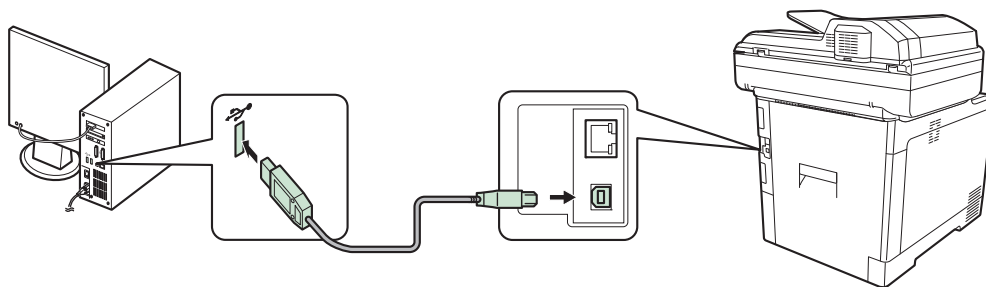
ネットワークの設定を行います。

2-22ページの機械のセットアップウィザードを参照してください。

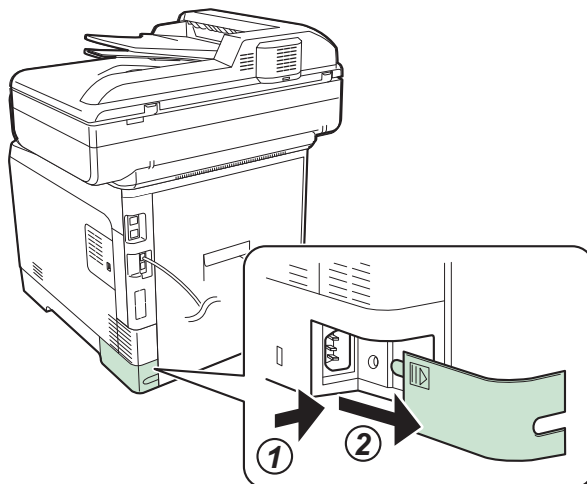
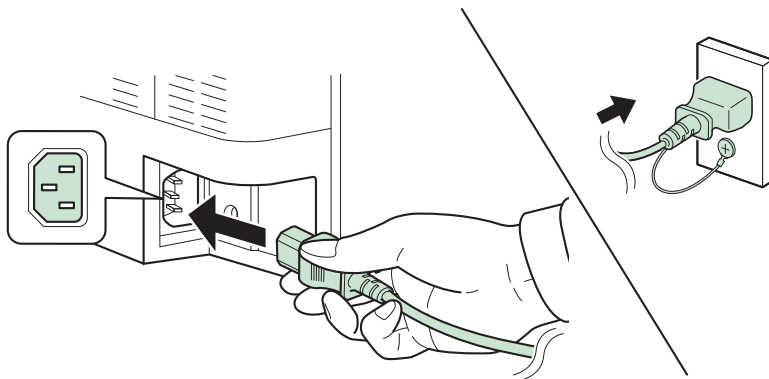
USBケーブルの接続

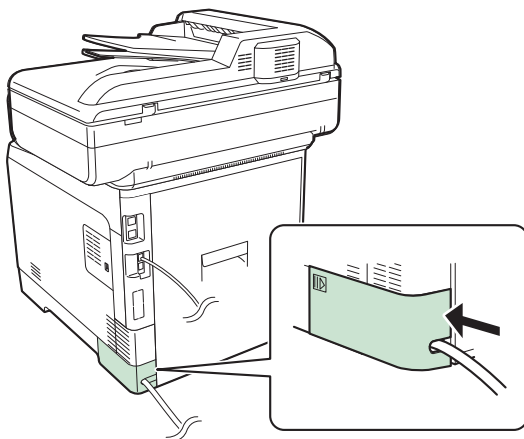
本機をUSBケーブルで接続し、ネットワークがない環境でプリンター/スキャナーとして使用できます。

1 電源を切る

2 接続する

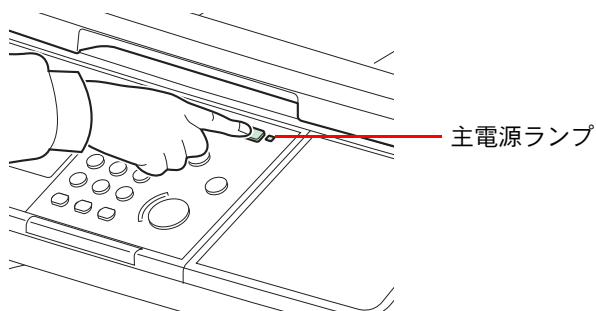
1 本体のUSBインターフェイスに、USBケーブルを接続します。

2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

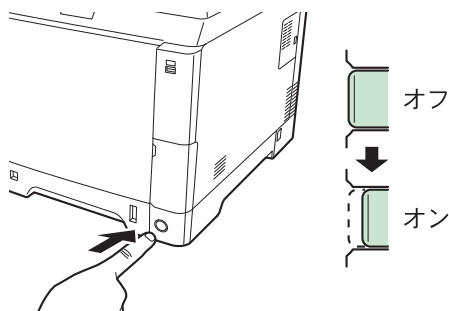
電源コードの接続

1 電源カバーを取り外してください。

2 付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

重要
電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

3 電源カバーを元に戻してください。

電源の入/切

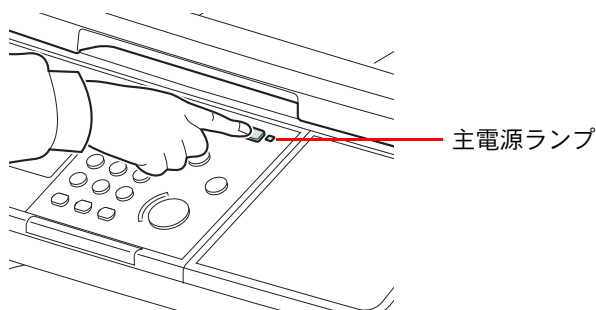
電源を入れる

主電源ランプが点灯している場合（スリープモードからの復帰）

電源キーを押します。

主電源ランプが消灯している場合

主電源スイッチを入れます。

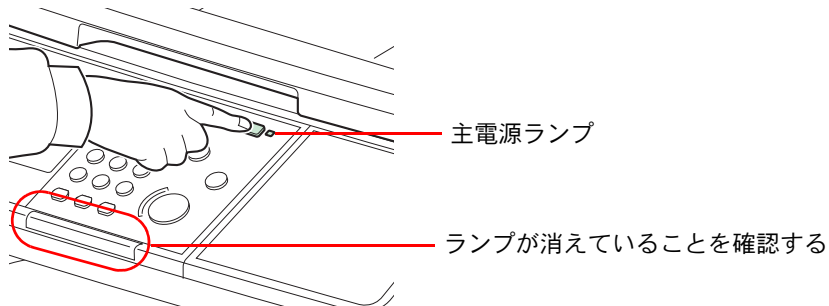
重要
主電源スイッチを入れ直す場合は、5秒以上あけて主電源スイッチを入れてください。

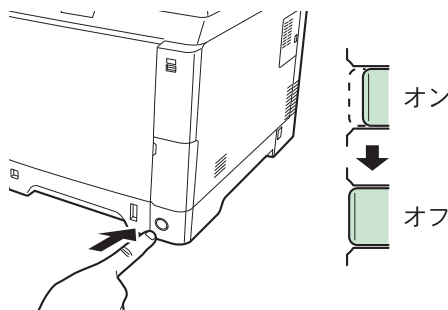
電源を切る

主電源スイッチを切らない場合（スリープモード）

電源キーを押します。電源キーが消灯して、主電源ランプが点灯した状態になります。

主電源スイッチを切る場合

主電源スイッチを切ると、パソコンからの印刷や、ファクスの自動受信ができなくなりますのでご注意ください。

1 **電源キーを押す**

電源キーが消灯して、主電源ランプが点灯していることを確認します。

2 **主電源スイッチを切る**

 参考
処理中ランプやメモリーランプが点灯しているときは、本機が動作しています。本機が動作しているときに主電源スイッチを切ると、故障する原因となる可能性があります。

長期間本機を使用しないときは

注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、主電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、主電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。

重要
用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

ソフトウェアのインストール

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD（Product Library）から必要なソフトウェアをインストールします。

参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログインする必要があります。

スリープモード時は自動認識しません。インストールを続ける場合、電源キーを押してスリープモードを解除してください。

WIAドライバーは、Windows XPでインストールできません。

プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールする前に、本機とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

Windowsにインストールする

ここでは、Windows 7に高速モードでインストールする場合を例に説明します。

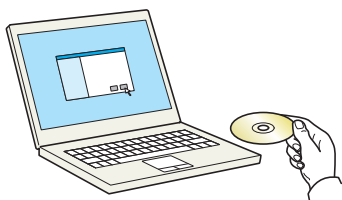
参考

新しいハードウェアの検索ウィザードが表示された場合、キャンセルをクリックしてください。

自動再生画面が表示されたら、**setup.exeを実行**をクリックしてください。

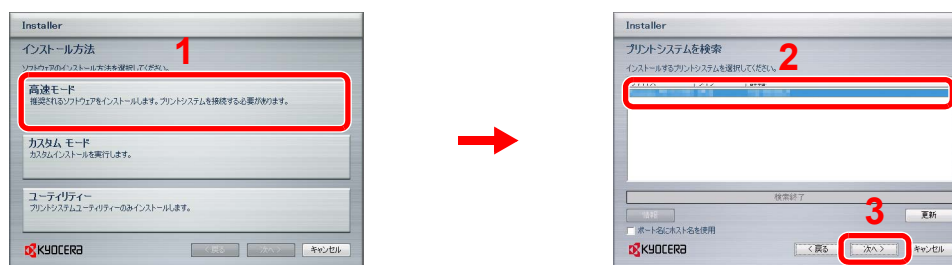
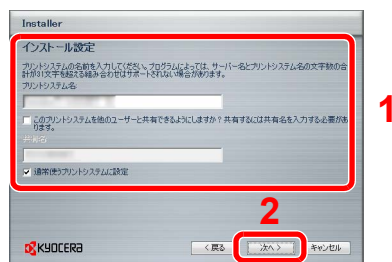
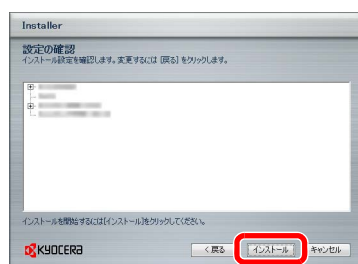
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、はい（許可）をクリックしてください。

インストール方法は、高速モードとカスタムモードの2種類から選ぶことができます。高速モードは本機を自動的に検出し、本機を使用するために必要なソフトウェアをインストールします。カスタムモードでは、インストールするドライバーとユーティリティーを選択することができます。カスタムモードでのインストールについては、DVD収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

1 DVDを挿入する

2 画面を表示する

使用許諾を表示をクリックして、使用許諾契約をお読みください。

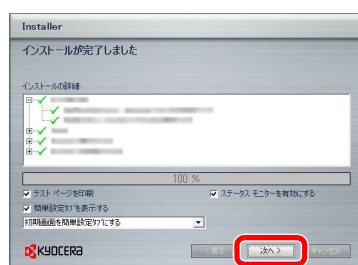
3 高速モードでインストールする

1 本機のモデル名を選択します。

2 ネットワーク接続の場合は、プリンターの設定を行います。

3 インストールを開始します。

参考

本機の電源が入っていないと検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、更新をクリックしてください。

Windowsセキュリティ画面が表示された場合、このドライバーソフトウェアをインストールしますをクリックしてください。

高速モードでは、インストールするパソコンのOSや接続環境、本機のモデルに応じて、TWAINドライバーまたはWIAドライバーをインストールする場合があります。

4 インストールを終了する

これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。

本機とパソコンがネットワーク接続されている場合、WIAドライバーはカスタムモードでインストールできます。

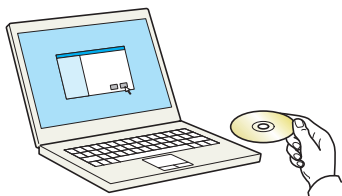
TWAINドライバーは、本機とパソコンがネットワーク接続されている場合にインストールできます。

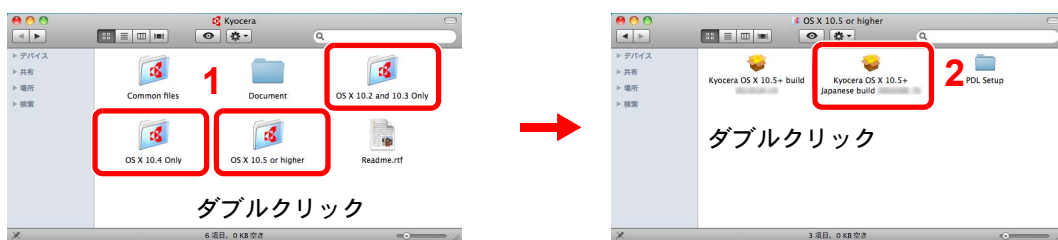
TWAINドライバー、WIAドライバーをインストールした場合は、続けてTWAINドライバーの設定(2-19ページ)、WIAドライバーの設定(2-20ページ)を行ってください。

Macintoshにインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

> **参考**
>
> Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。設定方法については9-15ページの**プリンター**を参照してください。
>
> Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。設定方法については9-17ページの**システム**を参照してください。
>
> 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
>
> Mac OS X 10.6は、AppleTalkに対応していません。

1 DVDを挿入する

Kyoceraアイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する

使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、**Kyocera OS X x.x Japanese**をダブルクリックしてください。

3 インストールする

インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

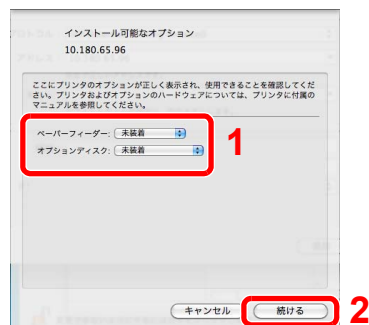
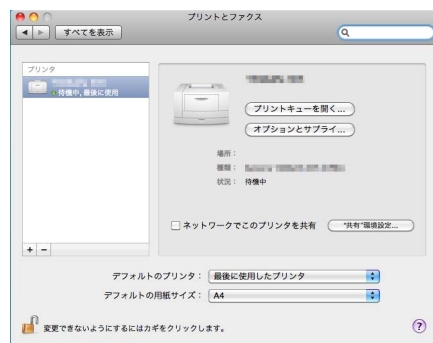
以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

1 画面を表示します。

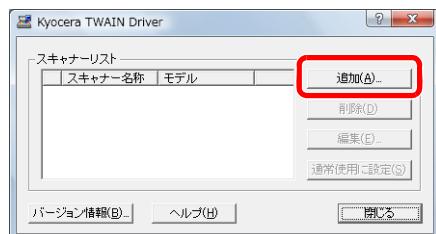
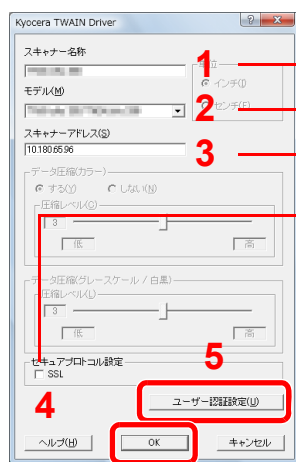
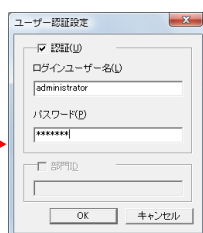
2 IPアドレスとプリンター名を入力します。

3 本機に装備されているオプションを選択します。

4 設定したプリンターが追加されます。

TWAINドライバーの設定

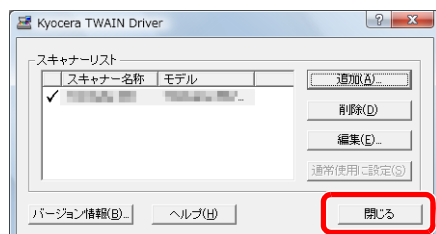
TWAINドライバーに本機を登録してください。

1 画面を表示する

1 Windowsのスタートボタン→**すべてのプログラム**→**Kyocera**→**TWAIN Driver Setting**を選択してください。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

2 **追加**をクリックします。

2 設定する

参考
本機のIPアドレスは管理者に確認してください。

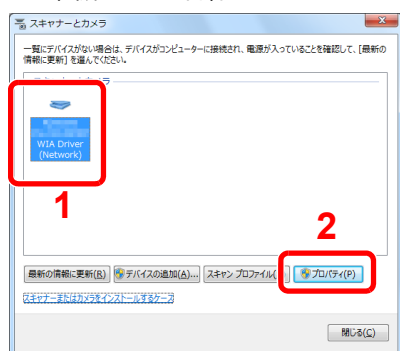
3 終了する

参考
削除をクリックすると、登録されている機器を削除できます。**編集**をクリックすると、名称などの変更ができます。

WIAドライバーの設定

WIAドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 7の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

1 Windowsのスタートボタンをクリックし、**プログラムとファイルの検索**欄に**スキャナー**と入力します。検索された一覧の中から**スキャナーとカメラの表示**をクリックしてください。スキャナーとカメラ画面が表示されます。

2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、**プロパティ**ボタンをクリックしてください。

2 設定する

参考

スキャナアドレスは、本機とパソコンがネットワーク接続されている場合に入力します。

省エネ機能について

スリープとオートスリープ

電源キーを押すと、主電源ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。

スリープ中に印刷データが送られてくると、タッチパネルが点灯し、印刷が開始されます。

ファクスの受信時には操作パネルが消灯したまま印刷されます。

本機を使用するときは、電源キーを押してください。20秒以内に再び使用できるようになります。

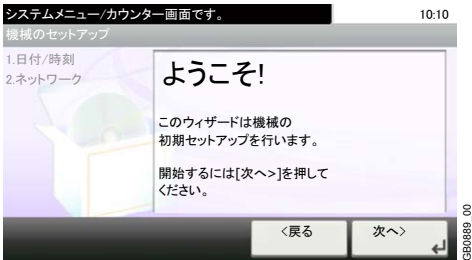
外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープ

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

設定方法は、9-23ページの**スリープ時間**を参照してください。

機械のセットアップウィザード

本機は、設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始します。

画面にしたがって次の項目を設定してください。

日付/時刻	時差
	日付（年/月/日）
	時刻（時/分/秒）
ネットワーク	DHCP
	IPアドレス
	サブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ

各設定の内容については、タッチパネルに表示されるヘルプを参照してください。設定後に変更する場合は、9-23ページの**日付/タイマー**、9-17ページの**システム**を参照してください。

COMMAND CENTERについて

COMMAND CENTERとは、Web上で本機の操作状況を確認したり、セキュリティーやネットワーク印刷、メール送信、ネットワークの設定を変更したりするためのツールです。

参考
ここではファクスの設定に関しては省略しています。ファクスについて詳しくは、**ファクス使用説明書**を参照してください。

1 画面を表示する

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスを入力します。

例) 192.168.48.21/

本機およびCOMMAND CENTERに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。項目によっては、別途、設定が必要です。

COMMAND CENTERに制限がかけられている場合、スタートページ以外のページにアクセスするときは、パスワードを入力してください。初期設定は「admin00」です。パスワードは変更することができます。

詳細は**京セラCOMMAND CENTER操作手順書**を参照してください。

メール設定

SMTPを設定すると、本機で読み込んだ画像を添付ファイルとしてメールで送信することができます。
この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。
また、読み込んだ画像をメールに添付して送る前に、次の項目を確認してください。

- 本機とメールサーバーを接続するネットワーク環境：LANによる常時接続を推奨します。
- SMTPの設定：COMMAND CENTERでSMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを登録してください。
- メールサイズ制限が設定されている場合、容量の大きいメールは送信できない場合があります。

1 画面を表示する

2 設定する

各項目に入力してください。

項目	説明
SMTP	SMTPプロトコルを使用するかどうかを設定します。メールを送信するには、設定をオンにしてください。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25番を使用します。
SMTPサーバー名	SMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。64文字まで入力できます。 サーバー名を入力する場合は、DNSサーバーのIPアドレスも設定してください。DNSサーバーのアドレスは、TCP/IP設定の画面で入力できます。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証を行うかどうか、またはPOP before SMTPを使用するかどうかを設定します。このSMTP認証はMicrosoft Exchange 2000に対応しています。
使用するユーザー	3つのPOP3アカウントのいずれか、またはそれ以外のアカウントを指定して、認証を行うユーザーを指定します。
ログインユーザー名	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うユーザー名を入力します。64文字まで入力できます。

項目	説明
ログインパスワード	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うログインユーザーのパスワードを入力します。64文字まで入力できます。
SMTPセキュリティー	SMTPセキュリティーを有効または無効にするか設定します。SSL/TLSまたはSTARTTLSが選択されている場合に有効です。SMTPセキュリティーを使用する場合、サーバー設定に合わせてSMTPポート番号の変更が必要になる場合があります。 SSL/TLSでは465、STARTTLS の場合は25または587が一般に使用されるポートです。
POP before SMTPのタイムアウト	認証でPOP before SMTPを選択した場合、タイムアウトまでの時間を秒単位で設定します。
テスト	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。
メール送信のサイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。0を入力した場合、最大サイズの制限はなくなります。
差出人アドレス	本機が送信するメールの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。差出人アドレスは128文字まで入力できます。
署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別することもあります。署名は512文字まで入力できます。
ドメイン制限	制限するドメイン名を入力します。ドメイン名は32文字まで入力することができます。メールアドレスで指定することもできます。

3 **[設定]をクリックする**

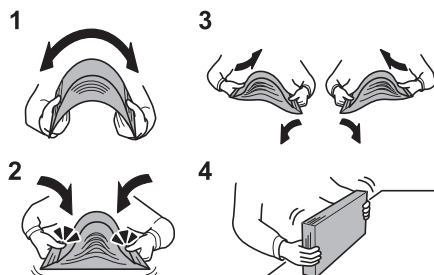
3 共通の操作

この章では、次の項目について説明します。

用紙のセット

標準では、1段のカセットと手差しトレイに用紙をセットできます。オプションでペーパーフィーダーも用意されています。

補給時の注意

包装紙から出した用紙は、カセットや手差しトレイにセットする前に、次の手順でさばいてください。

1 用紙の中央を浮かせるように、用紙全体を曲げてください。

2 用紙の両端をつまんだまま、用紙全体がふくらむように戻してください。

3 左右の手を交互に上下させて、用紙の間に空気を入れてください。

4 最後に、水平な台の上で、用紙を揃えてください。

用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。

重要
再利用紙(一度コピーした用紙)を使用する場合は、必ずステープル(ホッチキス)やクリップなどを外してください。ステープルやクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

参考
印刷物がカールするときは、カセットの用紙を裏返してください。

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、11-16ページの**用紙について**を参照してください。

包装紙から出した用紙を高温高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。

本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

カセットにセットする

標準のカセットには、普通紙や再生紙、カラー紙（80 g/m²）を250枚収納できます。

補給できる用紙サイズは、A4、A5、A6、B5、Legal、Letter、Other（Folio、Oficio Ⅱ、Executive、Statement、16K、Envelope C5）です。

参考

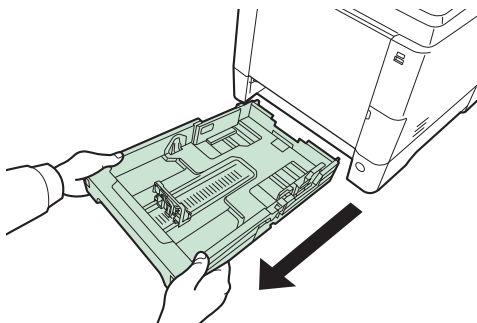
インクジェットプリンター用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）普通紙以外（再生紙、カラー紙など）の用紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください（9-7ページの**用紙種類**参照）。

カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。

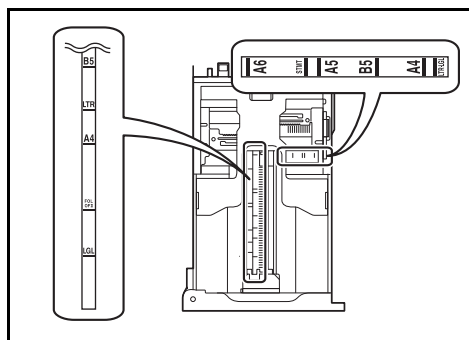
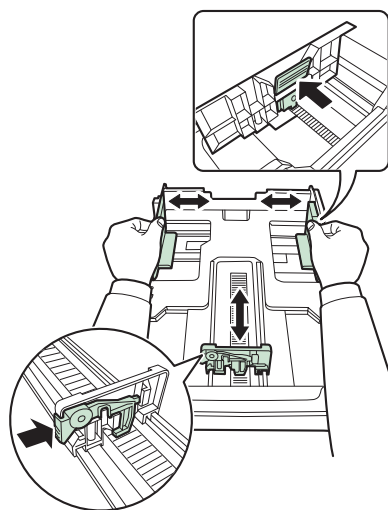
カセットには163 g/m²の用紙まで収納できます。106～163 g/m²の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙に設定してください。

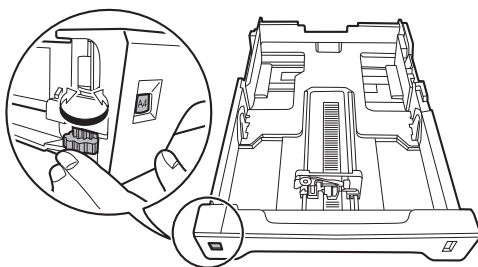
本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

1 カセットのサイズを調整する

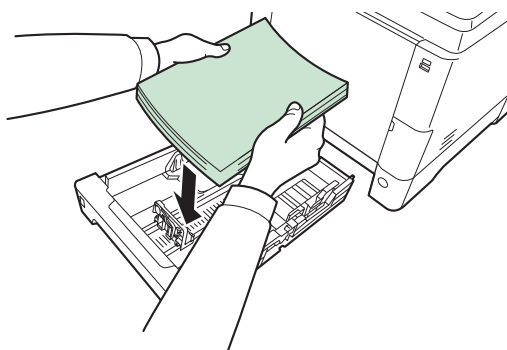
1

重要

カセットを本機から取り出すときには、確実に支持し落ちないようにしてください。

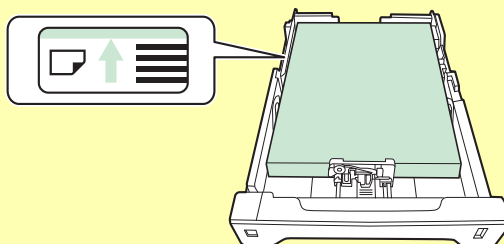
2

セットする用紙サイズにガイドを合わせます。用紙サイズはカセットに表示されています。

2 用紙サイズダイヤルを回す

重要
用紙サイズダイヤルに表示がない用紙を使用する場合は、用紙サイズダイヤルをOtherにセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、3-29ページの簡単セットアップウィザードを参照してください。

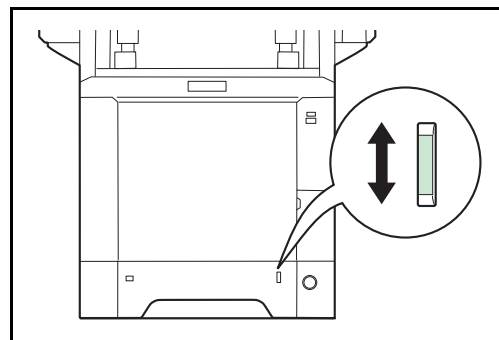
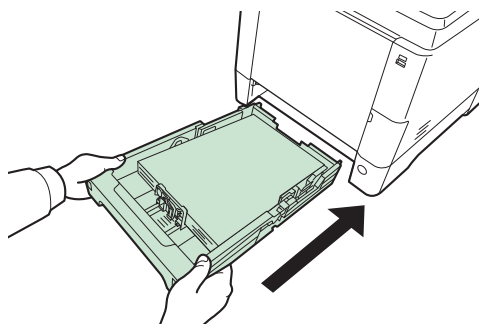
3 用紙をセットする

1

重要
印刷面を上にしてセットしてください。

用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。

用紙の量は、収納上限を示すラベル（イラスト参照）の目盛り以下にしてください。

開封面を上にしてください。

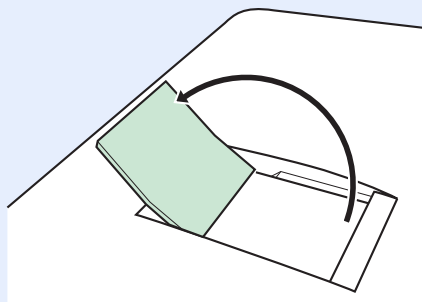
用紙長さガイドおよび横サイズ変更つまみを用紙のサイズに合わせてください。ガイドを合わせずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。用紙長さガイドおよび横サイズ変更つまみがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは用紙長さガイドまたは横サイズ変更つまみを合わせ直してください。

2

カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。

重要

カセットに用紙がある状態でカセットを本体から引き出した場合は、本体に用紙が残っていないか確認してください。

参考

排紙ストッパーを使用する場合は、図のように開いてください。(例:Legal の場合)

本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

手差しトレイにセットする

手差しトレイには、普通紙(80 g/m²)を50枚まで補給できます。

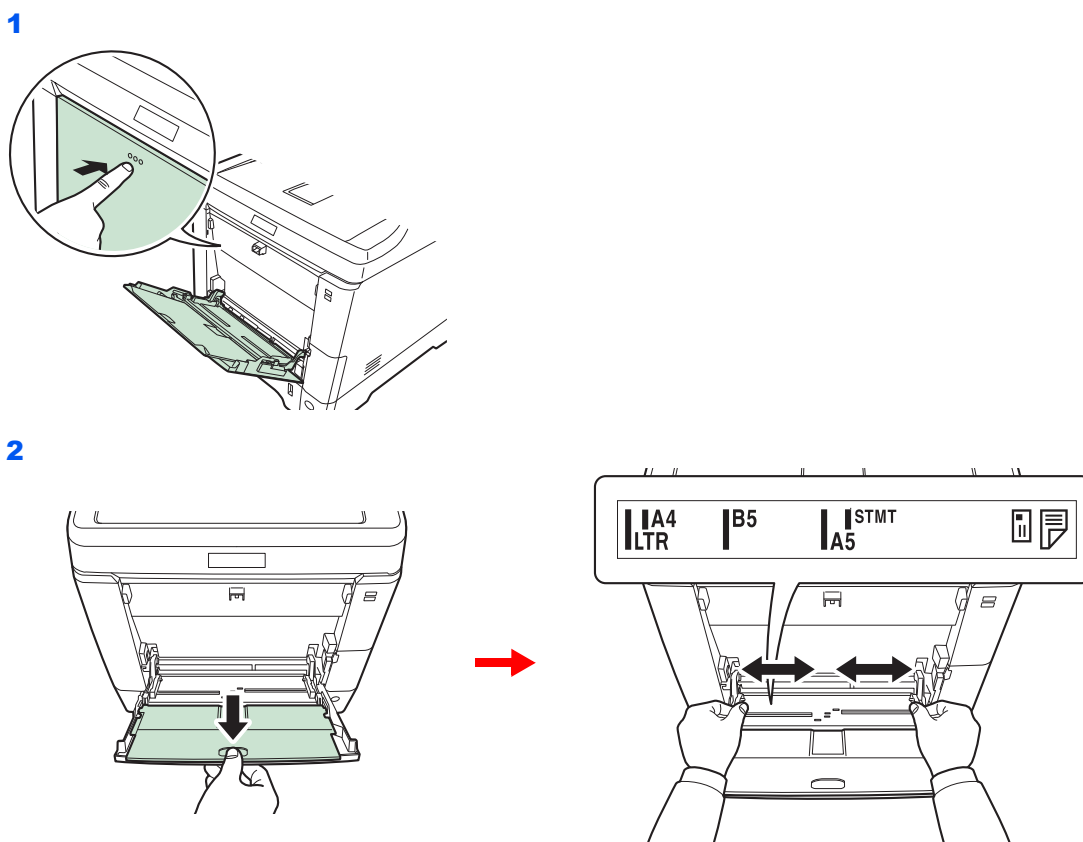
補給できる用紙サイズは、A4～A6、はがき、Legal～Statement、16Kまでです。特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

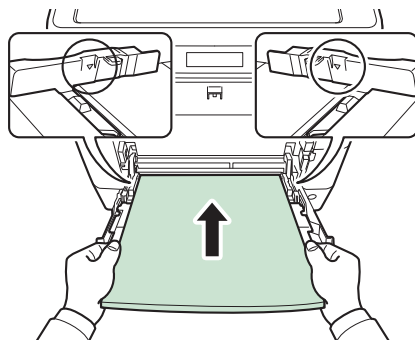
> **重要**
> **普通紙以外(再生紙、カラー紙など)の用紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください(3-29ページの簡単セットアップウィザード参照)。106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙に設定してください。**

使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次のとおりです。

- 普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:50枚
- はがき:15枚
- OHPフィルム:1枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10 (Commercial #10)、Envelope #9 (Commercial #9)、Envelope #6 (Commercial #6-3/4)、Monarch、洋形4号、洋形2号:5枚
- 厚紙(128～220 g/m²):30枚

> **参考**
> 不定形サイズの用紙をセットするときは、9-8ページの**用紙サイズ**で用紙のサイズを入力してください。
>
> 厚紙などの特殊紙を使用するときは、9-8ページの**用紙種類**で用紙種類を設定してください。

1 手差しトレイのサイズを調整する

Legalの用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばします。

2 用紙をセットする

用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。

重要

印刷面を上にしてセットしてください。

反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。

先端が反っているときは、まっすぐにのばしてください。

手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙とあわせてさばいてから再度補給してください。

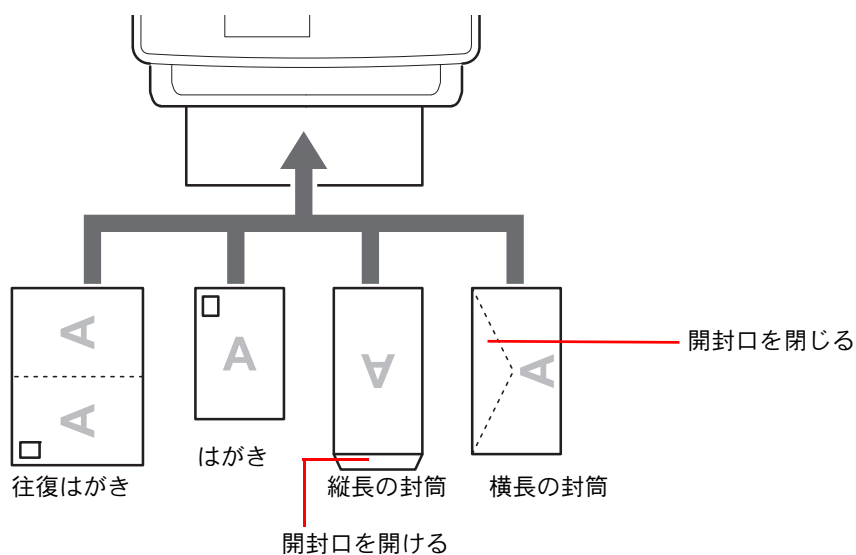
3 用紙サイズと用紙種類を設定する

3-29ページの**簡単セットアップウィザード**を参照してください。

封筒・はがきをセットするとき

封筒は手差しトレイに5枚まで補給できます。
使用できる封筒やはがきは表のとおりです。

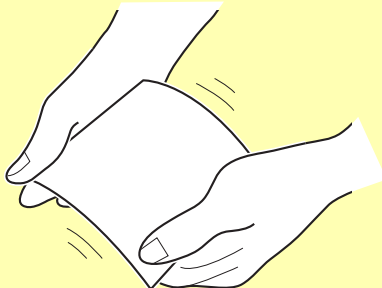
使用できる封筒やはがき	サイズ
はがき	148 × 100 (mm)
往復はがき	148 × 200 (mm)
洋形2号	162 × 114 (mm)
洋形4号	235 × 105 (mm)
Monarch	3-7/8" × 7-1/2"
Envelope #10 (Commercial #10)	4-1/8" × 9-1/2"
Envelope DL	110 × 220 (mm)
Envelope C5	162 × 229 (mm)
Executive	7-1/4" × 10-1/2"
Envelope #9 (Commercial #9)	3-7/8" × 8-7/8"
Envelope #6 (Commercial #6-3/4)	3-5/8" × 6-1/2"
ISO B5	176 × 250 (mm)

セット方法

印刷面を上にしてセットしてください。

重要

往復はがきは折られていないものをセットしてください。

封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

はがきに反りがある場合は、手差しトレイにいれる前に直してください。

手差しトレイに封筒を補給するときは、9-8ページの手差しトレイで封筒の種類を設定してください。

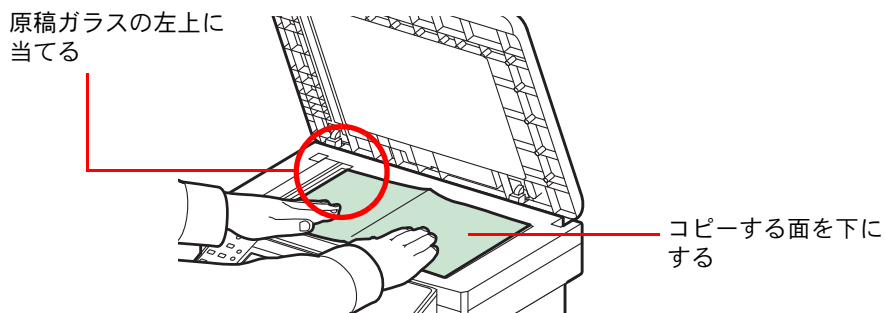
原稿のセット

原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。

参考

最初に、原稿トレイや原稿排紙テーブルに原稿がないことを確認します。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

見開き原稿は、周辺やとじしろ部分に影が写ることがあります。

原稿送り装置を開けて原稿をセットします。

注意

原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となることがあります。

重要

原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れることがあります。

本や雑誌をセットする際は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

原稿送り装置にセットする

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

使用できる原稿

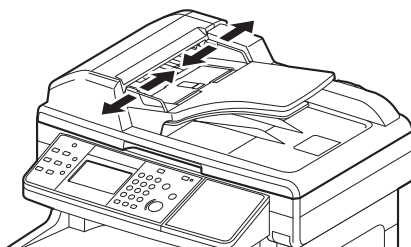
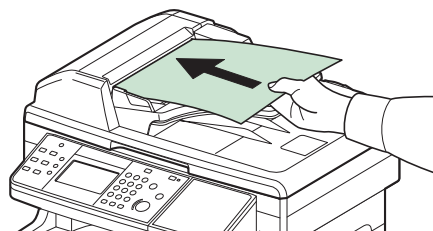
厚さ	50～120 g/m²（両面時：50～110 g/m²）
サイズ	最大A4/Legal～最小A5/Statement
セットできる枚数	普通紙（80 g/m²）、カラー紙、再生紙、上質紙：50枚 普通紙（105 g/m²）：37枚/厚紙（120 g/m²）：33枚 アート紙：1枚

使用できない原稿

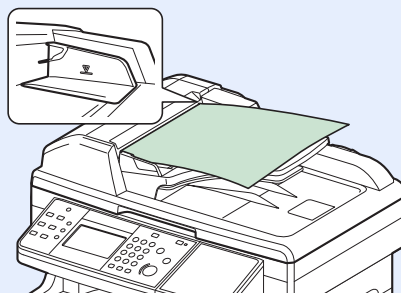
- ビニールなどの柔らかい原稿
- OHPフィルムなどの透明フィルム
- カーボン紙
- 表面や裏面のすべりが非常によい原稿
- 粘着テープや糊などがついた原稿
- 濡れた原稿
- 修正液が乾いていない原稿
- 方形でない原稿
- 切り抜きの原稿
- シワや折れのひどい原稿
- 折り目のついた原稿（使用するときは、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります）
- クリップやステープルで止めてある原稿（使用するときは、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります）

原稿をセットする

重要
最初に、原稿排紙テーブルに原稿がないことを確認します。原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。

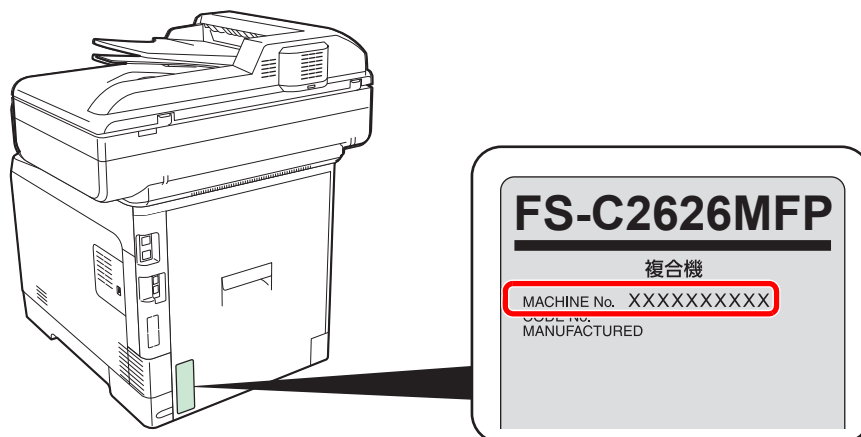
1 原稿トレイのサイズを調整する

2 原稿をセットする

原稿幅ガイドに合わせて、原稿を上向きにセットします。

参考

原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットします。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。

原稿幅ガイドが原稿に当たっているか確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直します。隙間があると原稿がつまる原因となります。

パンチ穴やミシン目のある原稿は、穴やミシン目が最後に読み込まれるように（先に読み込まれないように）します。

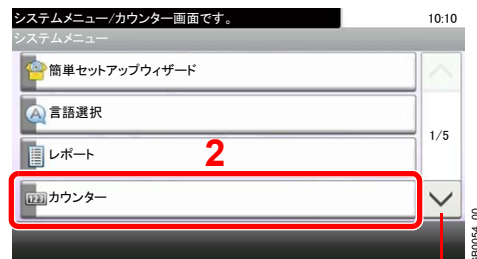
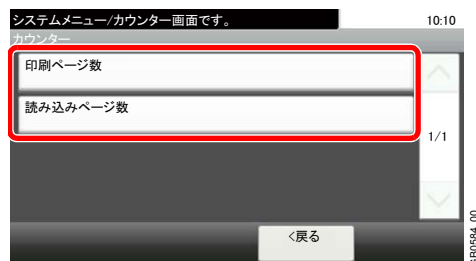
本機のシリアル番号の確認

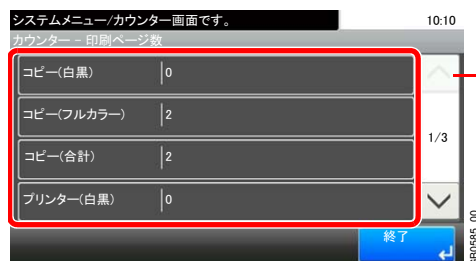
本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。

参考

本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

カウンターの確認

本機で行った印刷や読み込みのページ数を確認します。

1 画面を表示する

2 確認する

確認するジョブを選択します。

[印刷ページ数]

画面をスクロールして、カウンターを確認してください。

[**用紙サイズ別集計**]、次に[**フルカラー**]または[**白黒**]を押すと、用紙サイズ別に印刷ページ数を確認できます。

[読み込みページ数]

ログイン･ログアウト

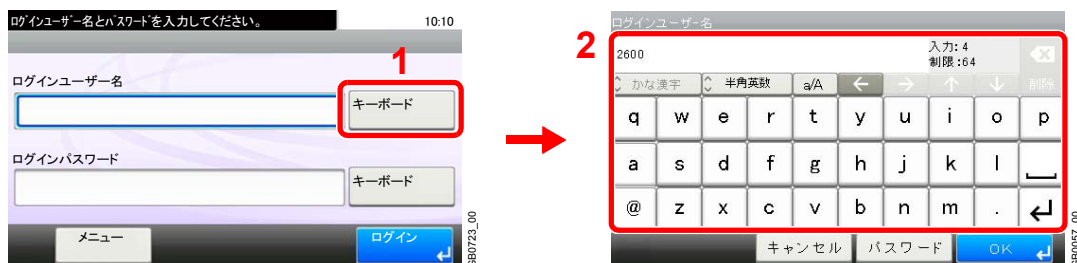
ユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

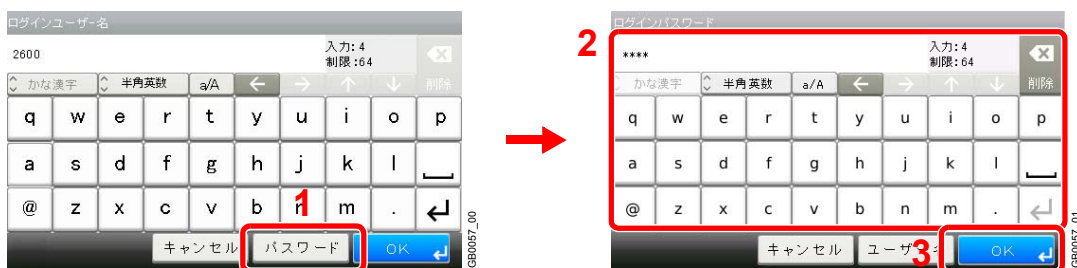
参考
ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログイン

通常のログイン

1 ユーザー名を入力する

操作中にこの画面が表示されたら、[**キーボード**]を押してログインユーザー名を入力します。テンキーで入力することもできます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

2 パスワードを入力する

[**パスワード**]を押してログインパスワードを入力します。

3 ログインする

参考
ユーザーの認証方法が[**ネットワーク認証**]に設定されている場合、認証先を[**ローカル**]または[**ネットワーク**]から選択できます。

簡単ログイン

操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。

参考
ユーザーパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

9-45ページの**簡単ログイン**を参照してください。

ログアウト

ログアウトするときは、ログアウトキーを押します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

ログアウト

また、次のときは自動でログアウトします。

- 電源キーを押してスリープにしたとき。
- オートスリープが働いたとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

お気に入り

よく使う機能をお気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。

本機には、あらかじめ下記の機能が登録されていますが、これらを削除したり、新たな機能を登録したりできます。

- IDカードコピー
- 用紙節約コピー
- 簡単フォルダー送信(宛先入力)
- 簡単フォルダー送信(アドレス帳)
- 簡単メール送信(宛先入力)
- 簡単メール送信(アドレス帳)

お気に入りを登録する

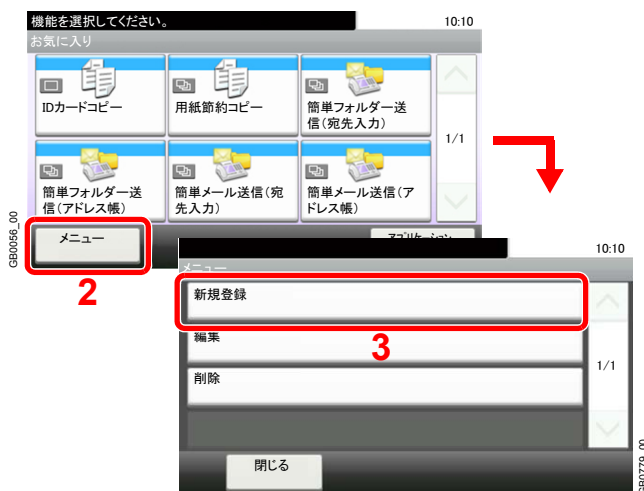
お気に入りは2種類の呼び出し方法から選択して登録します。

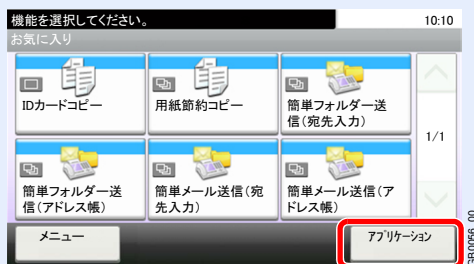
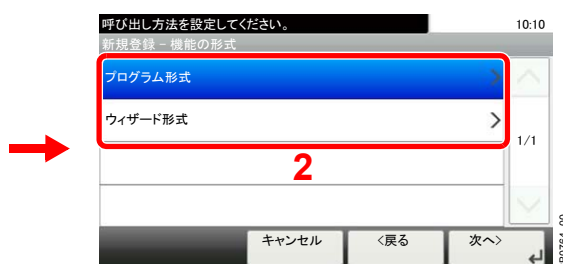
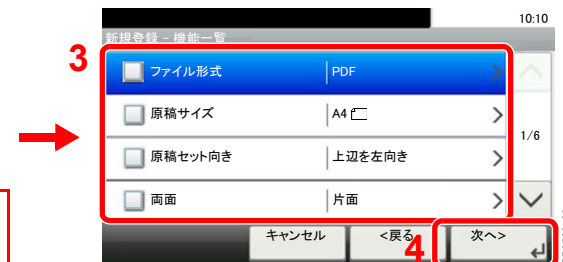
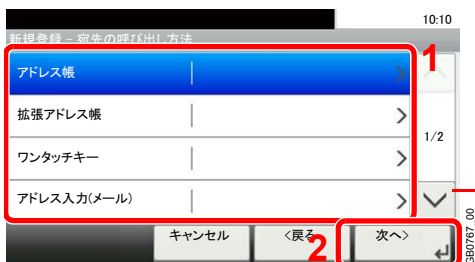
- ウィザード形式:登録した設定を順番に呼び出し、確認/変更しながら設定します。
- プログラム形式:お気に入りに登録されているキーを押すと、すぐに設定を呼び出します。

参考
お気に入りは20件登録できます。

1 設定を行う

登録するコピー機能、送信機能、ファクス機能や送信先などを設定します。

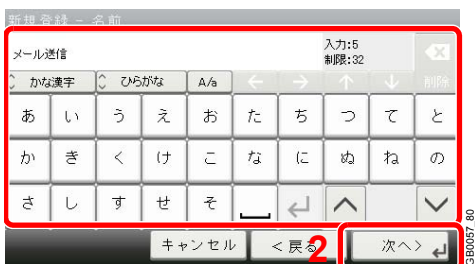
2 画面を表示する

参考

[アプリケーション]を押すと、アプリケーション画面を表示します。日常の業務をより効果的に行うためのアプリケーションをインストールして使用することができます。アプリケーションについては、9-14ページの**お気に入り/アプリケーション**を参照してください。

3 ジョブの種類を選択する

ウィザード形式を選択した場合

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

機能を選択します。チェックした項目が、ウィザードで表示されます。

参考

ジョブの種類が[**コピー**]の場合は、[**宛先の呼び出し方法**]の選択画面は表示されません。

4 名称を入力する

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 確認する

内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

[名前]

[番号]

[共有設定]

お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。

[宛先]

ジョブの種類が[**送信**]または[**ファクス**]の場合は、宛先の呼び出し方法を選択します。

[機能一覧]

ウィザード形式を選択した場合は、機能を確認し、必要に応じて変更します。

[機能の形式]

変更したい項目を選択してください。
10:10
新規登録 - 確認
共有設定
所有者のみ
宛先
アドレス帳
機能一覧
2
機能の形式
ウィザード形式
2/2
キャンセル
<戻る
登録
1
機能の形式
プログラム形式
ウィザード形式
1/1
2
<戻る
OK
GB0766_02
GB0775_00

6 登録する

変更したい項目を選択してください。
10:10
新規登録 - 確認
名前
メール送信
ジョブの種類
複合送信
番号
自動
所有者
Admin
1/2
キャンセル
<戻る
登録
GB0766_00

お気に入りを変更/削除する

お気に入りに登録された機能の名前や共有設定を変更したり、機能を削除したりします。

1 画面を表示する

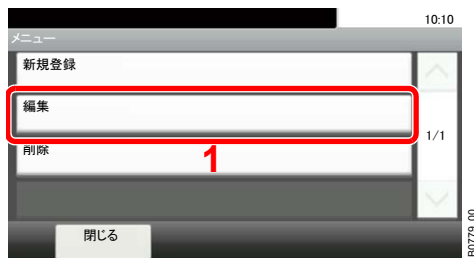
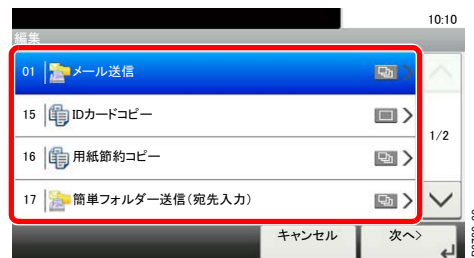
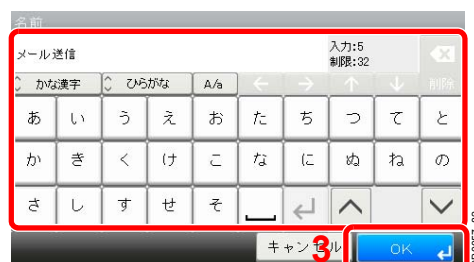
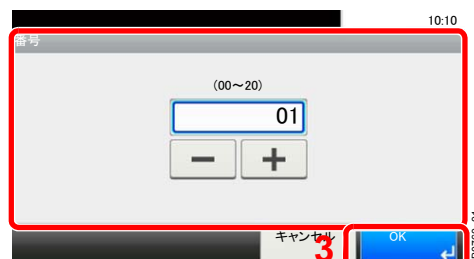
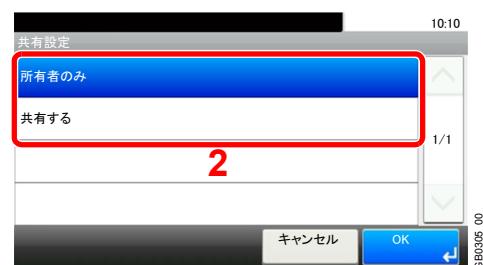
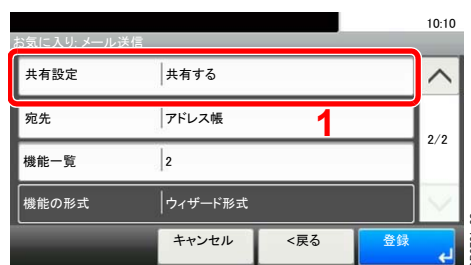
2 変更/削除する

変更する

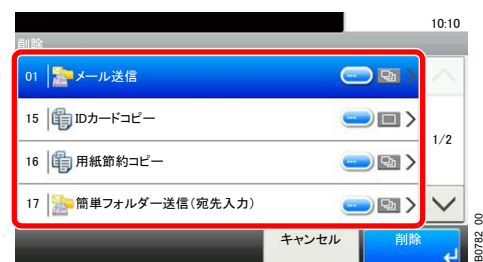
1 変更するお気に入りを選択します。

2 変更します。

[名前]

[番号]

［共有設定］

お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。

3 登録します。

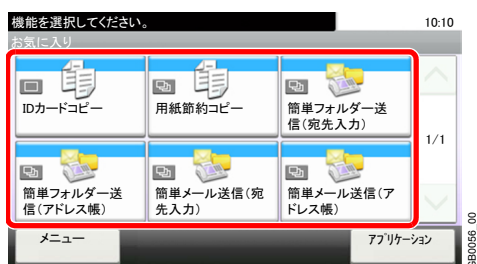
削除する

削除するお気に入りを選択します。

お気に入りを使用する

お気に入りから設定を呼び出します。

1 **画面を表示する**

お気に入り/
アプリケーション

2 **お気に入りを選択する**

ウィザードモードの場合

1 画面が順番に表示されますので、各設定を行います。

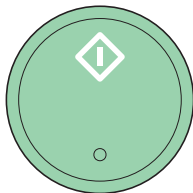
2 設定内容を確認して、実行します。

参考

設定を変更するときは、[<戻る]を押して、設定しなおしてください。

プログラムモードの場合

お気に入りを選択すると、登録している設定を呼び出します。

スタートキーを押すと、ジョブを開始します。

ショートカット

よく使う機能の画面をショートカットに登録して、簡単に呼び出すことができます。

ショートカットを登録する

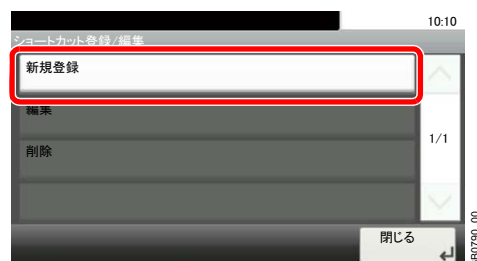
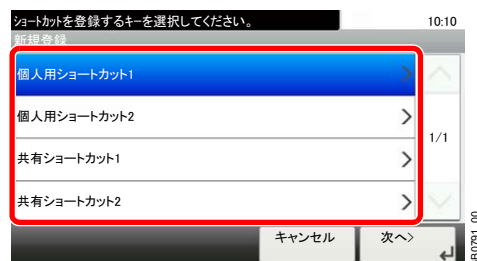
ショートカットはコピー機能、送信機能および文書ボックスの設定をそれぞれ2件ずつ登録できます。

ショートカットには次の種類があります。

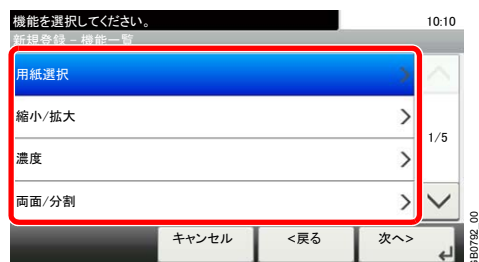
個人用ショートカット	ログインしているユーザーのみ使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときのみ登録できます。
共有ショートカット	本機を使用するユーザーみんなで使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときは、管理者の権限でログインしている場合のみ登録できます。

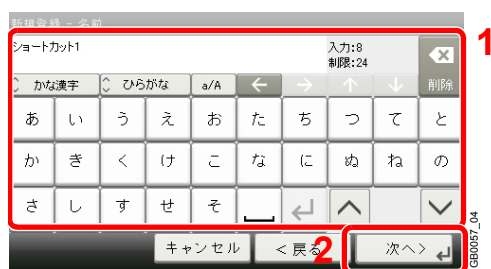
1 画面を表示する

コピー、送信または文書ボックスの画面で、[機能一覧]→[ショートカット追加/編集]を押します。

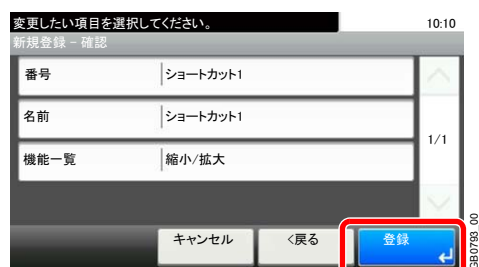
2 [新規登録]を押す

3 キーを選択する

ショートカットを登録するキーを選択します。

参考
すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

4 機能を選択する

ショートカットで表示する機能の画面を選択します。

5 名前を入力する

24文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

6 登録する

設定内容を確認して、[**登録**]を押します。

ショートカットを変更/削除する

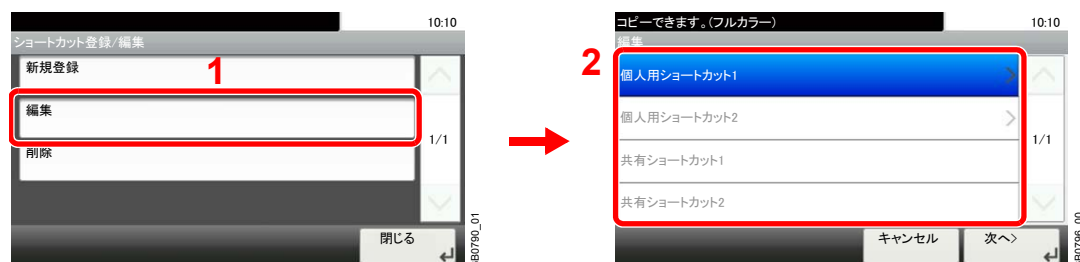
ショートカットの番号や名前の変更と、ショートカットの削除を行います。

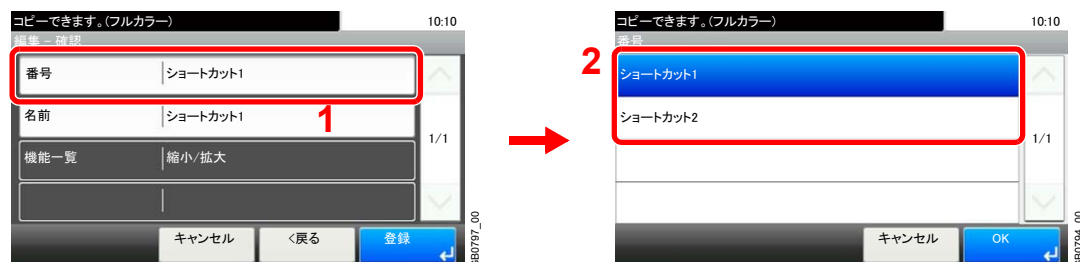
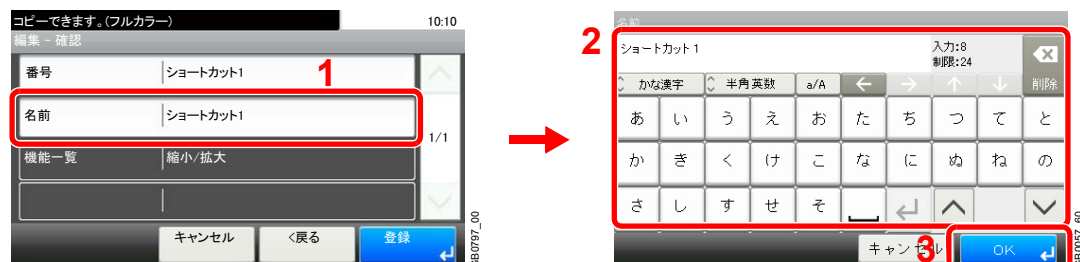
1 画面を表示する

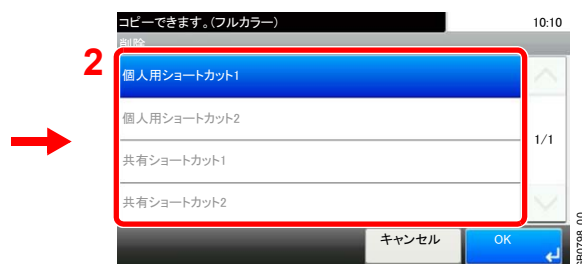
コピー、送信または文書ボックスの画面で、[**機能一覧**]→[**ショートカット追加/編集**]を押します。

2 編集/削除する

編集する

1 編集するショートカットの種類と番号を選択します。

2 変更します。

[番号]

[名前]

3 登録します。

削除する

削除するショートカットを選択します。

ショートカットを使用する

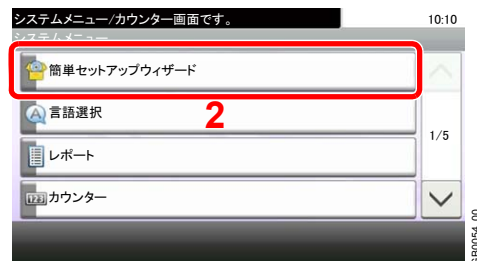
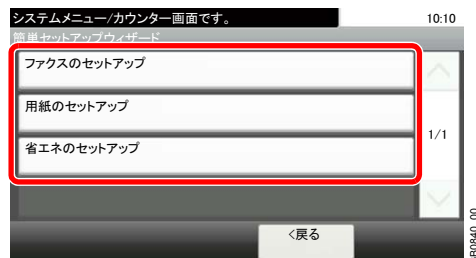
登録したショートカットは、コピー、送信、ファクスまたはUSBメモリーからの文書印刷、USBメモリーまたはポーリングボックスへの文書保存それぞれの初期画面に表示されます。
ショートカットを押すと、登録した機能の画面に切り替わります。

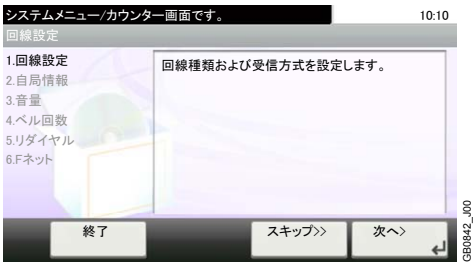
簡単セットアップウィザード

ウィザードに従い、次の基本設定を行います。

用紙のセットアップ	各カセットと手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。	
	1. カセット1	カセット1 - 用紙サイズ*、カセット1 - 用紙種類
	2. カセット2**	カセット2 - 用紙サイズ*、カセット2 - 用紙種類
	3. カセット3**	カセット3 - 用紙サイズ*、カセット3 - 用紙種類
	4. 手差しトレイ	手差しトレイ - 用紙サイズ、手差しトレイ - 用紙種類
省エネのセットアップ	スリープモードを設定します。	
	1. スリープモード	スリープモード - スリープ時間
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。	
	1. 回線設定	回線設定 - 回線種類、回線設定 - 受信方式
	2. 自局情報	自局情報 - 自局名登録、自局情報 - 自局名登録（フリガナ）、自局情報 - 自局ファクス番号、自局情報 - 自局ファクスID、自局情報 - 自局印字位置
	3. 音量	スピーカー音量、モニター音量
	4. ベル回数	普通、留守番電話、ファクス/電話切替
	5. リダイヤル	リダイヤル - リダイヤル回数
	6. Fネット	Fネット - Fネット無鳴動受信

* カセットのサイズダイヤルを「Other」に設定した場合のみ表示されます。
** オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合のみ表示されます。

1 画面を表示する

2 選択する

3 設定する

ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

参考

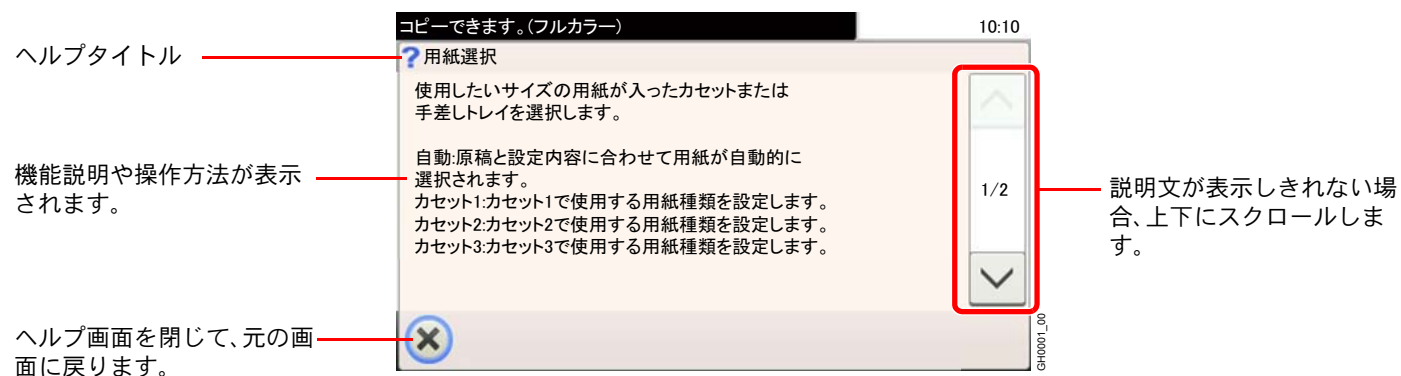
設定で困ったときは、3-31ページの**ヘルプ画面について**を参照してください。

[終了]	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
[<<前の項目]	前の項目に戻ります。
[スキップ>>]	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
[次へ>]	次の画面に進みます。
[<戻る]	前の画面に戻ります。
[完了]	設定を登録してウィザードを終了します。

ヘルプ画面について

操作に困ったときは、タッチパネルで使い方を確認できます。

タッチパネルに[？](ヘルプ)ボタンが表示されている場合、[？](ヘルプ)ボタンを押すとヘルプ画面が表示されます。

画面のみかた

ジョブのキャンセル

印刷中や送信中のジョブをキャンセルします。

1 ストップキーを押す

ストップ

2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合

「中止中です。」が表示され、現在実行中のジョブがキャンセルされます。

印刷中、待機中のジョブの場合

ジョブの詳細を表示します。

キャンセルするジョブを選択して、**[削除]**を押します。

> **参考**
> 印刷中のジョブは一時停止します。送信中のジョブは一時停止しないで続行します。
>
> 実行中または待機中のジョブの状況を確認してからキャンセルすることもできます。8-2ページの**ジョブの状況確認**を参照してください。

パソコンで印刷を中止する

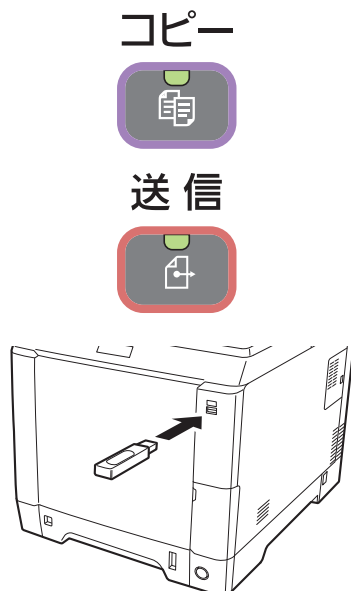
プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行います。

1. Windows 画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン( )をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示します。
2. 印刷を中止したいファイルをクリックし、ドキュメントメニューからキャンセルを選択します。

さまざまな機能を使う

コピーや送信、文書ボックスで、共通に設定できる機能を説明します。

1 画面の表示

送 信

各機能のキーを押します。

USBメモリーを使用する場合は、USBメモリースロットに挿入します。

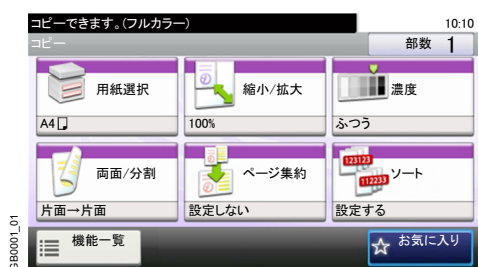
表示された画面で[**はい**]を押します。

USBメモリーから印刷する場合は、印刷するファイルを選択して、[**印刷**]を押します。

USBメモリーに文書を保存する場合は、保存するフォルダーを選択して、[**メニュー**]→[**文書保存**]を押して、スタートキーを押します。

詳しくは、7-2ページの**USBメモリーから印刷する**、7-5ページの**USBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）**を参照してください。

参考
タッチパネルが消えているときは、電源キーを押してウォームアップさせてください。

2 機能の設定

用紙の選択や縮小/拡大などを設定します。

[**機能一覧**]を押すとすべての機能が表示されます。

3-34ページの**共通に設定できる機能**を参照してください。

共通に設定できる機能

原稿について設定できる機能

やりたいこと	参照ページ
原稿のサイズを指定したい。	原稿サイズ ▶ 3-35ページ
原稿の向きを正しく指定したい。	原稿セット向き ▶ 3-36ページ
両面の原稿を自動的に読み込みたい。	両面 ▶ 3-37ページ
大量の原稿を一度にまとめて読み込みたい。	連続読み込み ▶ 3-39ページ

仕上がりについて設定できる機能

やりたいこと	参照ページ
用紙を指定して印刷したい。	用紙選択 ▶ 3-41ページ
印刷をページ順に並べたい。	ソート ▶ 3-42ページ
濃度をこくしたりうすくしたりしたい。	濃度 ▶ 3-43ページ
原稿をどのくらい細かく読み込むか設定したい。	読み込み解像度 ▶ 3-44ページ
原稿に合わせて画質を選びたい。	原稿の画質 ▶ 3-45ページ
文字や線をはっきりしたい。 輪郭をぼかしたい。	シャープネス ▶ 3-46ページ
原稿の地色（文字や画像のない部分）をこくしたりうすくしたりしたい。	地色調整 ▶ 3-47ページ
送信・保存するサイズに合わせて原稿を縮小/拡大したい。	縮小/拡大 ▶ 3-48ページ
送信・保存する画像のファイル形式を選びたい。	ファイル形式 ▶ 3-49ページ
カラーモードを変更したい。	カラー選択 ▶ 3-51ページ
ジョブが終わったらメールで知らせてほしい。	ジョブ終了通知 ▶ 3-52ページ
ジョブに名前をつけて、履歴や状況を確認したい。	文書名入力 ▶ 3-54ページ
印刷中のジョブを中断して、先に印刷したい。	優先印刷 ▶ 3-55ページ

原稿サイズ

原稿の読み込みサイズを設定します。

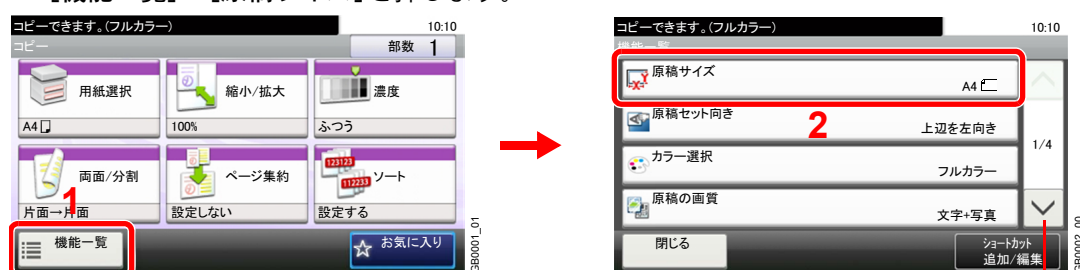
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folioから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム*から選択します。

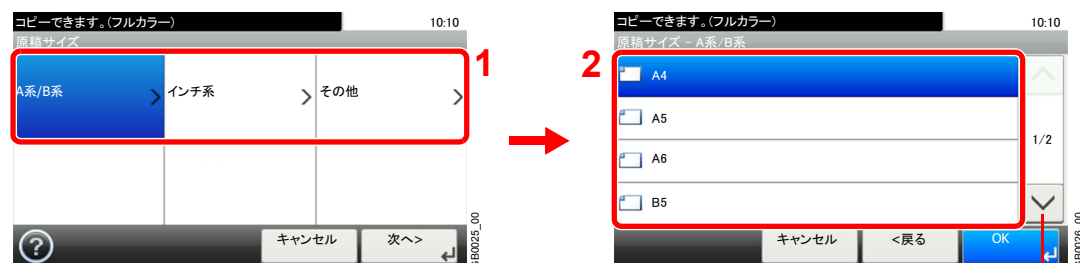
* ［**カスタム原稿サイズ登録**］を設定してください。9-9ページの**カスタム原稿サイズ登録**を参照してください。

参考
不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 ［機能一覧］→［原稿サイズ］を押します。

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 原稿サイズを選択する

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

使用するサイズを選択します。

原稿セット向き

文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

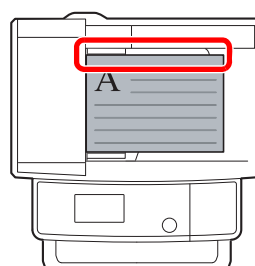
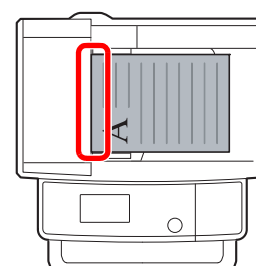
次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- 両面
- ページ集約

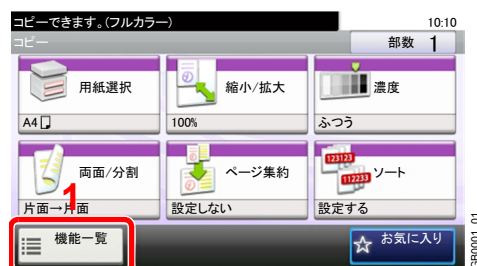
上辺を奥向き

上辺を左向き

原稿送り装置に原稿をセットする場合

上辺を奥向き

上辺を左向き

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 ［機能一覧］→［原稿セット向き］を押します。

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

原稿をセットする向きを設定します。

両面

原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

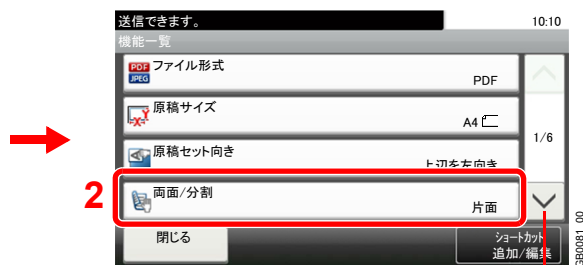
片面			片面のシート原稿のときに設定します。
両面			左または右でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
その他	両面/分割	片面	片面のシート原稿のときに設定します。
		両面（とじ方向左/右とじ）	左または右でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
		両面（とじ方向上とじ）	上でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
	原稿セット向き*		文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

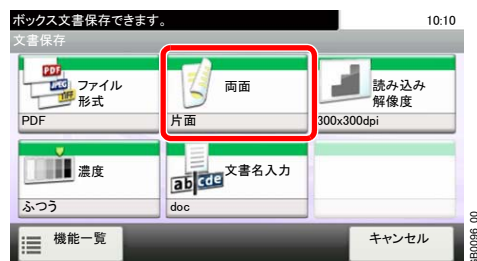
*　［両面（とじ方向左/右とじ）］、［両面（とじ方向上とじ）］を選択した場合、表示されます。

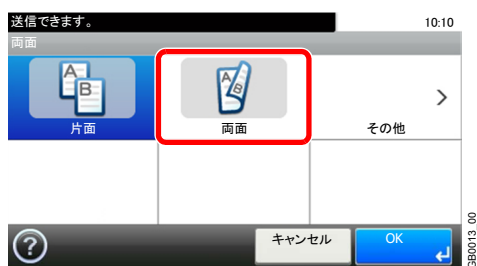
1 画面を表示する

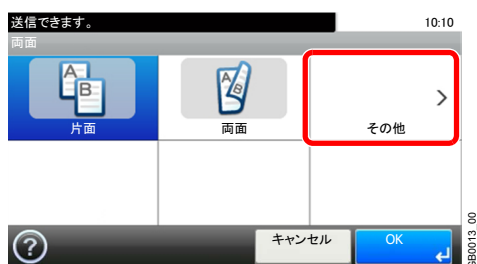
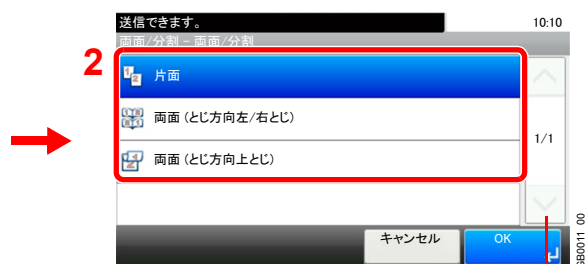
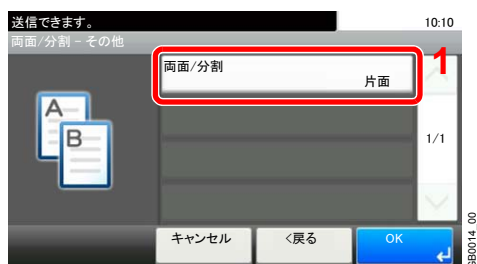
1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

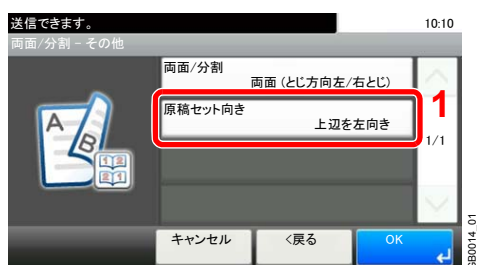
2

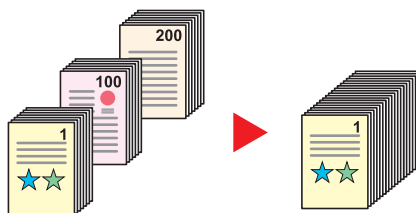
送信

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

USBメモリーへの保存

2 設定する

[両面]

[その他]

1

2 原稿の種類を設定します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

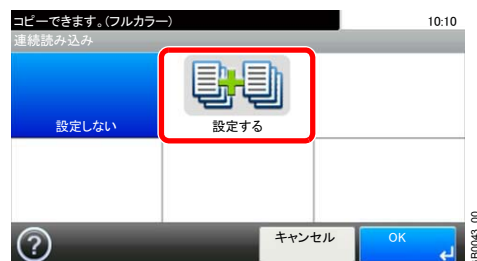
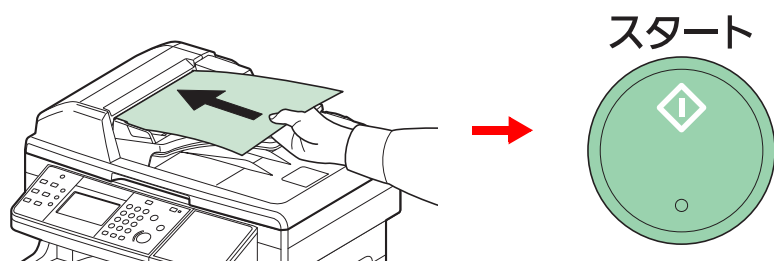
3 原稿の向きを設定します。

連続読み込み

原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[**読み込み終了**]を押すまで、原稿を読み込みます。

1 画面を表示する

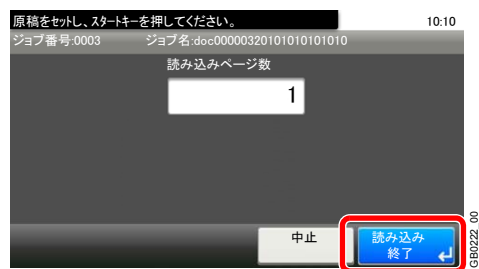
1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [機能一覧]→[連続読み込み]を押します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

3 原稿を読み込む

原稿をセットして**スタート**キーを押すと、読み込みを開始します。

読み込みが終了したら、次の原稿をセットして**スタート**キーを押します。同じ手順で残りの原稿を読み込んでください。

4 読み込みを終了する

コピー、送信、保存を開始します。

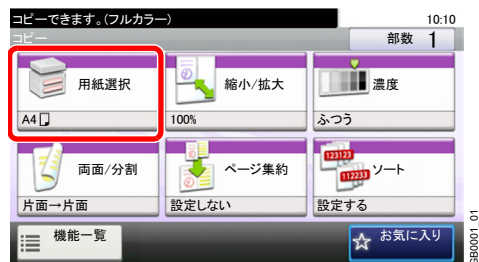
用紙選択

使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

参考
カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください(3-29ページの**簡単セットアップウィザード**参照)。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [用紙選択]を押します。

2 給紙元を選択する

[自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

[2](カセット2)と[3](カセット3)はオプションのペーパーフィーダーのカセットです。
[M]は手差しトレイです。

ソート

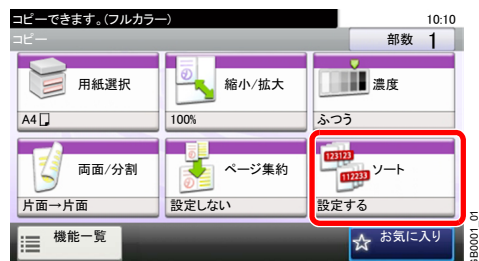
用紙を部数ごとに仕分けします。

ソート

ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだコピーを必要部数作成できます。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [ソート]を押します。

2 設定する

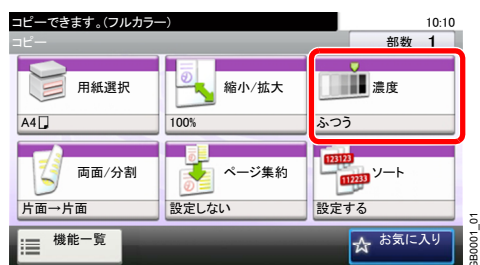
濃度

濃度を7段階から調整します。

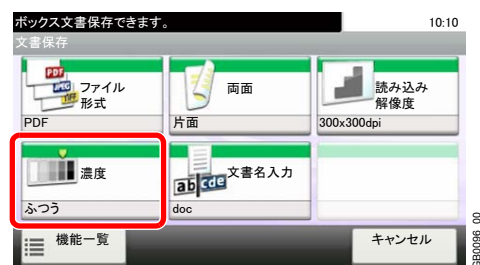
1 画面を表示する

1 3-33ページのさまざまな機能を使うを参照して、画面を表示します。

2

コピー

USBメモリーへの保存

[濃度]を押します。

送信

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

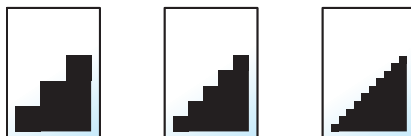
[機能一覧]→[濃度]を押します。

2 設定する

[-3]～[+3](うすく～こく)から濃度を選択します。

読み込み解像度

画像の細かさを設定します。

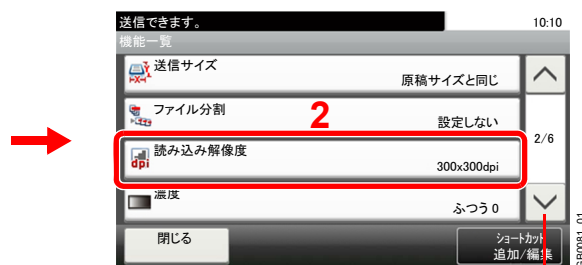
選択できる解像度は、[200 × 100 dpiノーマル]、[200 × 200 dpiファイン]、[200 × 400 dpiスーパー]、[300 × 300 dpi]、[400 × 400 dpiウルトラ]または[600 × 600 dpi]です。

参考

数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。

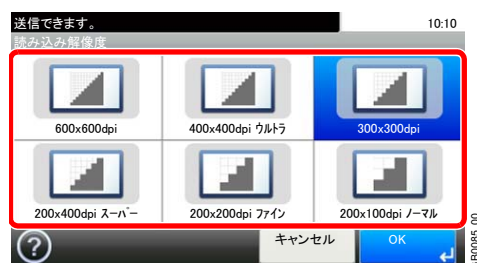
1 画面を表示する

1 3-33ページのさまざまな機能を使うを参照して、画面を表示します。

2

送信

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

USBメモリーへの保存

2 設定する

原稿の画質

原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

文字＋写真	文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真	写真原稿に適しています。
文字	えんぴつや細線をくっきり再現します。
図表/地図*	地図原稿に適しています。
プリンター印刷物*	本機で印刷された文書に適しています。
文字（OCR用）**	OCR処理に適した画像で読み込みます。

*　コピー時のみ表示されます。
**　送信またはUSBメモリーへの保存時に、カラー選択で[**自動(カラー／白黒)**]または[**白黒**]を選択したときのみ表示されます。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [**機能一覧**]→[**原稿の画質**]を押します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

コピー

送信/USBメモリーへの保存

シャープネス

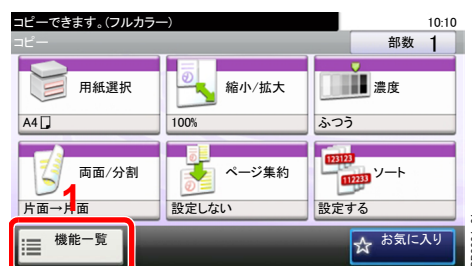
画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを[強く]に調整すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ*が発生する場合、シャープネスを[弱く]に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。

* 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [機能一覧]→[シャープネス]を押します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

[-3]～[+3]（弱く～強く）からシャープネスを調整します。

地色調整

新聞紙など地色の濃い原稿の地色をとり除きます。

設定しない	地色を調整しません。
自動	自動で地色を調整します。
手動	5段階から地色を調整します。

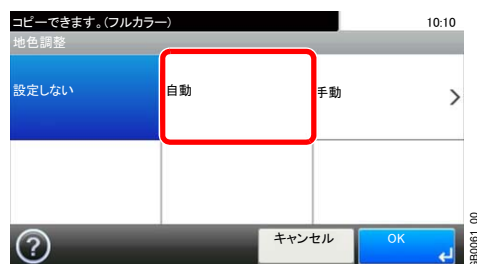
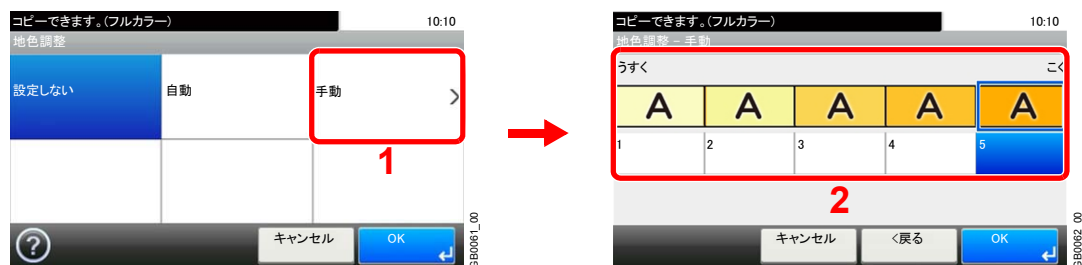
1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 ［機能一覧］→［地色調整］を押します。

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

［自動］

［手動］

［1］～［5］（うすく～こく）から地色の濃さを調整します。

縮小/拡大

原稿を送信/保存サイズに合わせて縮小/拡大します。

100％	原稿と同じサイズで処理します。
自動	送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。

参考
縮小/拡大する場合は、送信サイズ/保存サイズを選択してください。

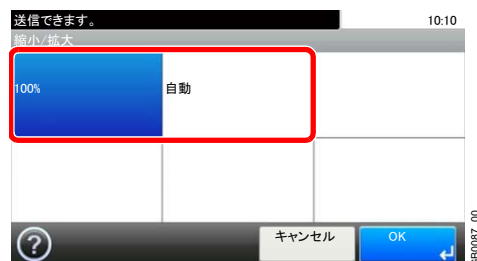
6-37ページの**送信サイズ**、7-13ページの**保存サイズ**を参照してください。

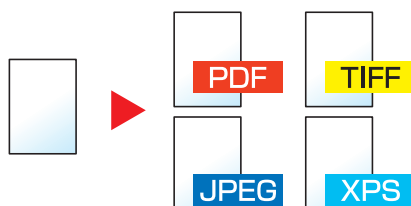
1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 ［機能一覧］→［縮小/拡大］を押します。

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

ファイル形式

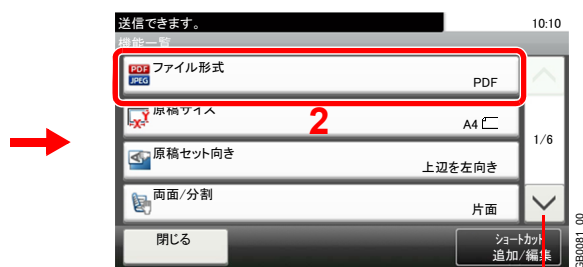
画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを調整することもできます。

PDF		PDF形式で処理します。
TIFF		TIFF形式で処理します。
JPEG		JPEG形式で処理します。原稿1ページにつき1ファイルが作成されます。
XPS		XPS形式で処理します。
その他	ファイル形式	PDF、TIFF、JPEG、XPSからファイル形式を選択します。
	画質	画質のレベルを、[1]～[5]（低画質（高圧縮）～高画質（低圧縮））から調整します。
	PDF/A*	PDF/Aを、[PDF/A-1a]と[PDF/A-1b]から設定します。

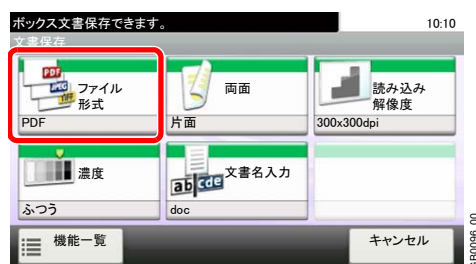
* ファイル形式で[PDF]を選択したときのみ表示されます。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2

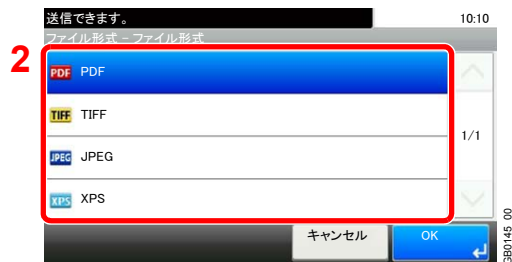
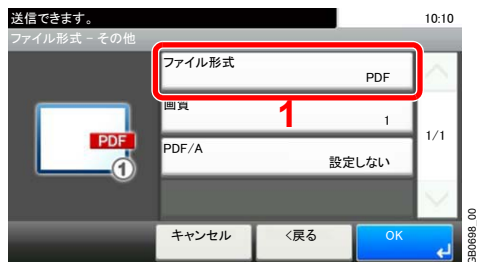
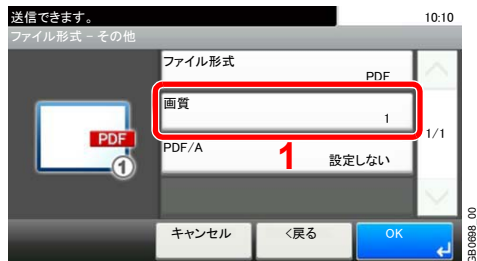
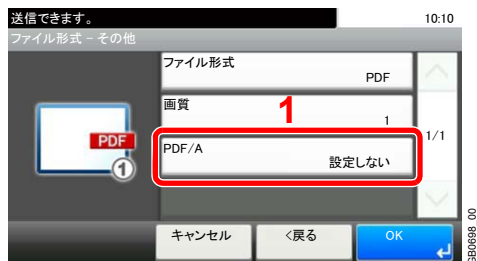
送信

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

USBメモリーへの保存

2 設定する

[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]

[その他]

1

2 ファイル形式を選択します。

3 画質のレベルを設定します。

4 PDF/Aを設定します。

カラー選択

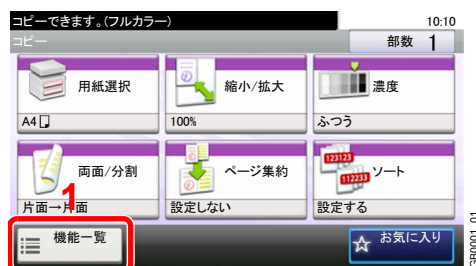
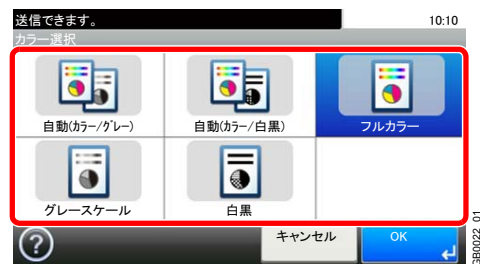
カラーのモードを選択します。

自動カラー*	カラー原稿と白黒原稿を識別して読み込みます。
自動(カラー/グレー)**	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿はグレースケールで読み込みます。
自動(カラー/白黒)**	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒で読み込みます。
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール**	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。白黒で送信やUSBメモリーへの保存を行う場合は、フルカラーやグレースケールと比べてファイルサイズが小さくなります。

* コピー/印刷時のみ表示されます。
** 送信/保存時のみ表示されます。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [機能一覧]→[カラー選択]を押します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

ジョブ終了通知

ジョブが終了したことをメールで通知します。

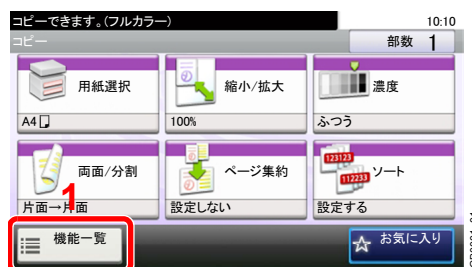
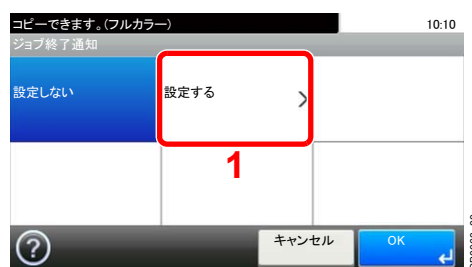
離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。

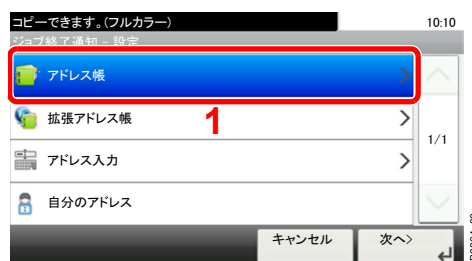
参考
あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。

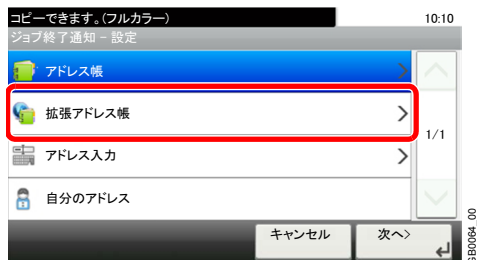
メールを送る宛先は1件です。

1 画面を表示する

1 3-33ページのさまざまな機能を使うを参照して、画面を表示します。

2 [機能一覧]→[ジョブ終了通知]を押します。

2 設定する

3 メールの宛先を選択する

アドレス帳から選択する

拡張アドレス帳から選択する

拡張アドレス帳については、**京セラCOMMAND CENTER操作説明書**を参照してください。

新規メールアドレスを入力する

128文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ログインしたユーザーのメールアドレスに通知する

ユーザー管理を行っているときに表示されます。

4 宛先を決定する

[OK]を押します。

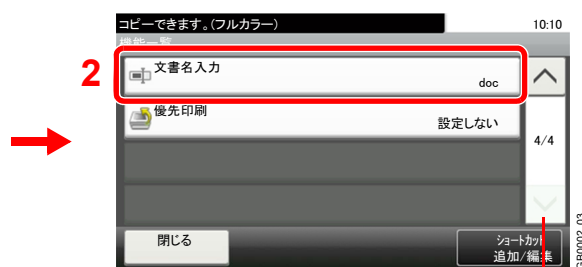
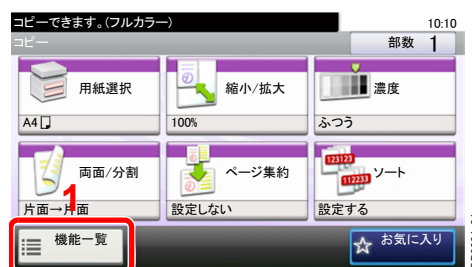
文書名入力

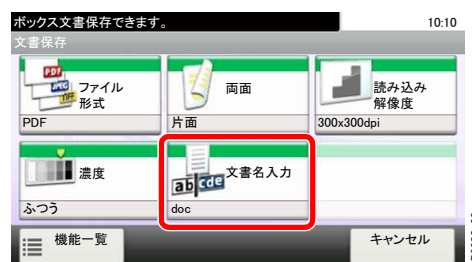
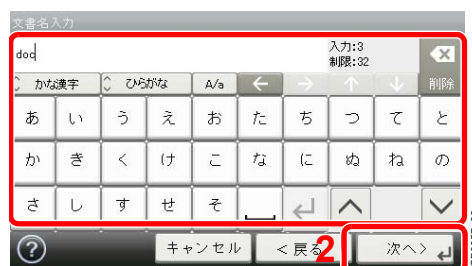
文書に名前を付けます。ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

1 画面を表示する

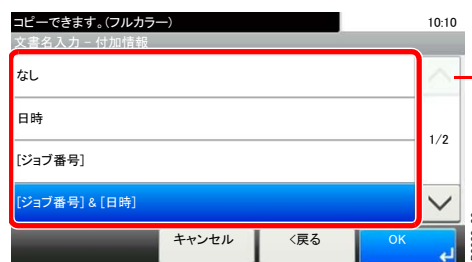
1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2

コピー、送信

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

USBメモリーへの保存

2 ファイル名を入力する

32文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

3 ファイル名に情報を追加する

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

優先印刷

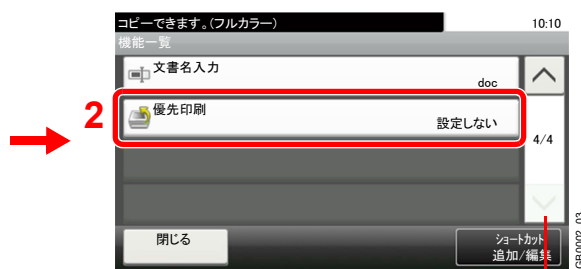
印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

参考
印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。

印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。

1 画面を表示する

1 3-33ページの**さまざまな機能を使う**を参照して、画面を表示します。

2 [機能一覧]→[優先印刷]を押します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

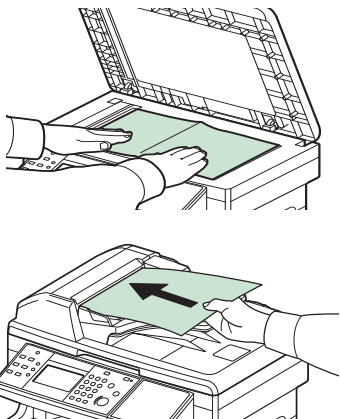
4　コピーする

この章では、次の項目について説明します。

コピーの基本操作

1 コピーキーを押す

参考
タッチパネルが消えているときは、電源キーを押してウォームアップさせてください。

2 原稿をセットする

3-10ページの**原稿のセット**を参照してください。

3 カラーモードの選択

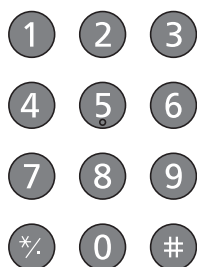
自動カラー	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して読み込みます。
フルカラー	すべての原稿をフルカラーで読み込みます。
白黒	すべての原稿を白黒で読み込みます。

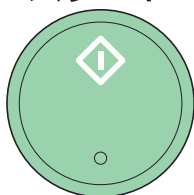
4 機能の設定

用紙の選択や縮小/拡大などを設定します。

[**機能一覧**]を押すとその他の機能が表示されます。

4-4ページの**コピーで設定できる機能**を参照してください。

5 部数の入力

参考
部数を変更するときは、クリアキーを押して入力しなおします。

6 コピーの開始

スタートキーを押すと、コピーを開始します。

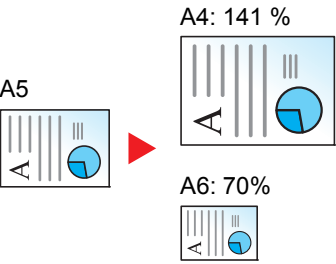
コピーで設定できる機能

コピーでよく使用する機能は、コピー画面に表示されています。
また[**機能一覧**]を押すと、その他の機能が表示されます。[∧][∨]を押して画面を切り替えます。

やりたいこと	参照ページ
用紙を指定してコピーしたい。	用紙選択 ▶ 3-41ページ
縮小または拡大してコピーしたい。	縮小/拡大 ▶ 4-5ページ
濃度をこくしたりうすくしたりしたい。	濃度 ▶ 3-43ページ
用紙の両面にコピーしたい。	両面/分割 ▶ 4-7ページ
1枚の用紙に原稿を割り付けてコピーしたい。	ページ集約 ▶ 4-10ページ
コピーをページ順に並べたい。	ソート ▶ 3-42ページ
原稿のサイズを指定したい。	原稿サイズ ▶ 3-35ページ
原稿の向きを正しく指定したい。	原稿セット向き ▶ 3-36ページ
カラーモードを変更したい。	カラー選択 ▶ 3-51ページ
原稿に合わせてコピーの画質を選びたい。	原稿の画質 ▶ 3-45ページ
トナーを節約してコピーしたい。	エコプリント ▶ 4-13ページ
色のイメージを変えてコピーしたい。	色相調整 ▶ 4-14ページ
青を強くしたり、赤を強くしたりして色を調整したい。	カラーバランス ▶ 4-15ページ
文字や線をはっきりコピーしたい。 輪郭をぼかしてコピーしたい。	シャープネス ▶ 3-46ページ
原稿の地色（文字や画像のない部分）をこくしたりうすくしたりしたい。	地色調整 ▶ 3-47ページ
鮮やかな色でコピーしたい。	彩度 ▶ 4-16ページ
大量の原稿を一度にまとめてコピーしたい。	連続読み込み ▶ 3-39ページ
コピーが終わったらメールで知らせてほしい。	ジョブ終了通知 ▶ 3-52ページ
コピージョブに名前をつけて、履歴や状況を確認したい。	文書名入力 ▶ 3-54ページ
印刷中のジョブを中断して、先にコピーしたい。	優先印刷 ▶ 3-55ページ

縮小/拡大

倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。

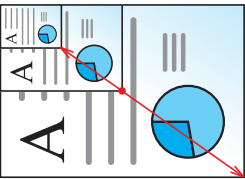
定形倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

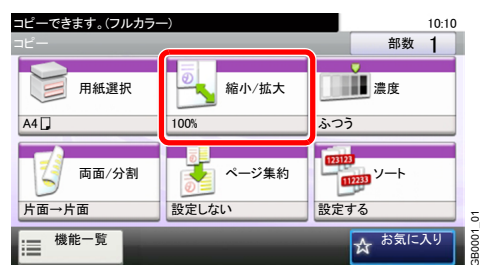
400%	最大	86%	A4→B5
200%	―	70%	A4→A5
141%	A5→A4	50%	―
115%	B5→A4	25%	最小
100%	―		

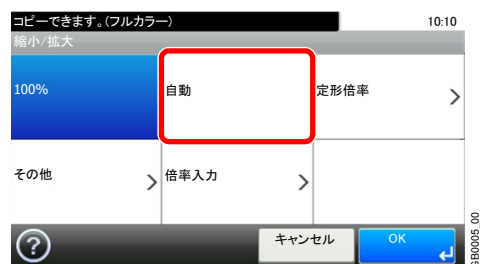
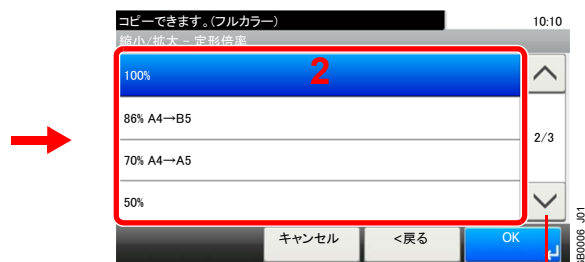
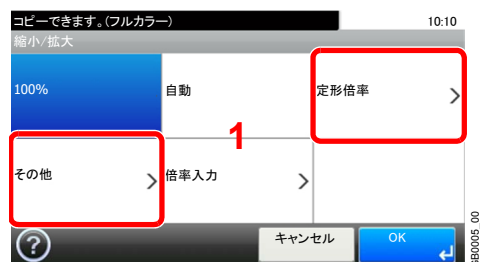
定形倍率(その他)

129%	Statement→Letter	78%	Legal→Letter
90%	Folio→A4	64%	Letter→Statement

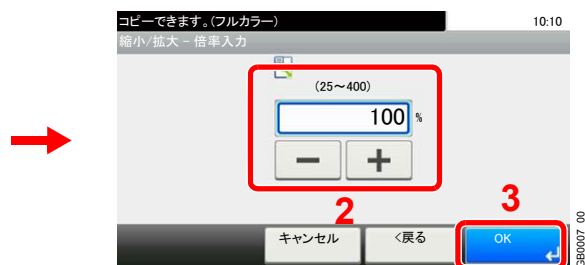
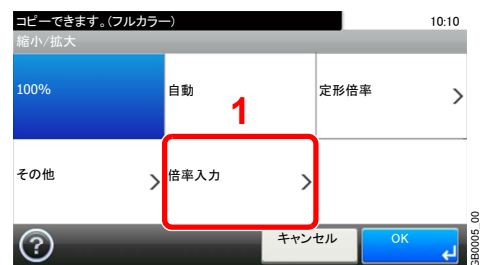
倍率入力

25～400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。

1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2 設定する

[自動]

[定形倍率]、[その他]

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

倍率を選択します。

[倍率入力]

倍率を入力します。

両面/分割

用紙の両面にコピーします。

項目			説明
片面→片面			片面原稿を片面に印刷します。
片面→両面			片面原稿を両面に印刷します。
両面→片面			両面原稿を片面ずつ分割して印刷します。
両面→両面			両面原稿を両面に印刷します。
その他	両面/分割	片面→片面	片面原稿を片面に印刷します。
		片面→両面	片面原稿を両面に印刷します。
		両面→片面	両面原稿を片面ずつ分割して印刷します。
		両面→両面	両面原稿を両面に印刷します。
	原稿とじ方向*		両面原稿の場合、原稿がとじてある方向を設定します。
	仕上がりとじ方向*		両面コピーの場合、仕上がりをとじる方向を設定します。
	原稿セット向き*		文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

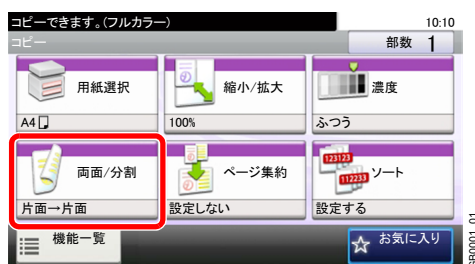
* ［**片面→片面**］を選択した場合は表示されません。

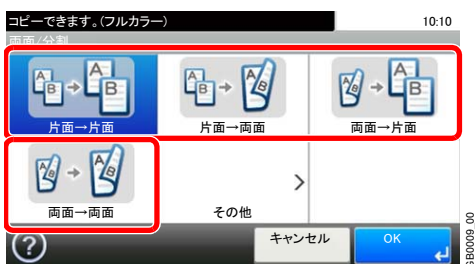
参考

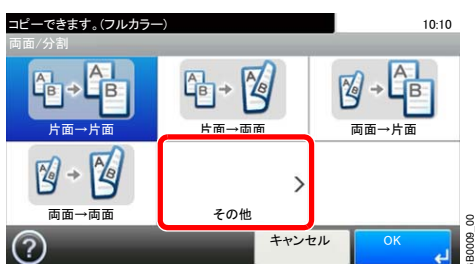
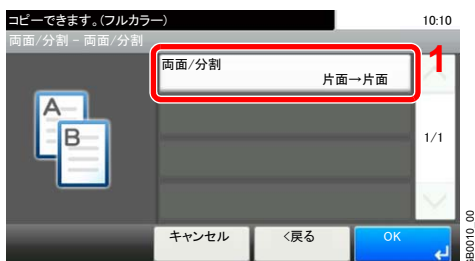
両面→両面で使用できる用紙サイズはA4、B5、A5、Folio、Letter、Legal、Executive、Statement、Oficio IIです。

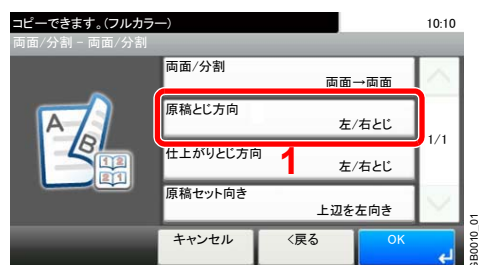
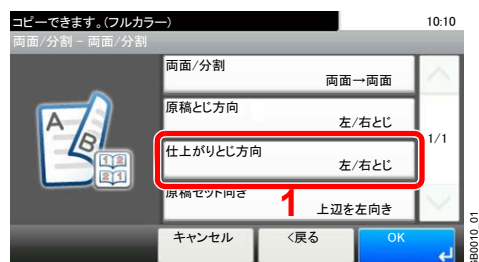
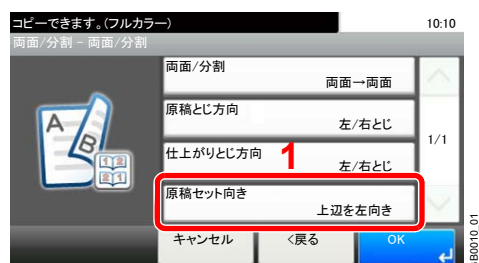
1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2

2 設定する

［片面→片面］、［片面→両面］、［両面→片面］、［両面→両面］

［その他］

1

2 両面を設定します。

原稿が両面の場合は手順**3**へ、仕上がりが両面の場合は手順**4**へ進んでください。

3 原稿のとじ方向を設定します。

4 仕上がりを設定します。

5 原稿の向きを設定します。

ページ集約

2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れたりすることもできます。

2 in 1			2枚の原稿を1枚に印刷します。
4 in 1			4枚の原稿を1枚に印刷します。
その他	ページ集約	2 in 1（左→右/上→下）	2枚の原稿を1枚に印刷します。
		2 in 1（右→左/下→上）	
		4 in 1（左上→右）	4枚の原稿を1枚に印刷します。
		4 in 1（右上→左）	
		4 in 1（左上→下）	
		4 in 1（右上→下）	
	境界線		境界線の線種を、実線、点線、マークから設定します。
	原稿セット向き		文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

参考

集約に使用できる用紙サイズは、A4、A5、B5、Folio、Letter、Legal、Statement、Oficio II、16Kです。

原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

1 画面を表示する

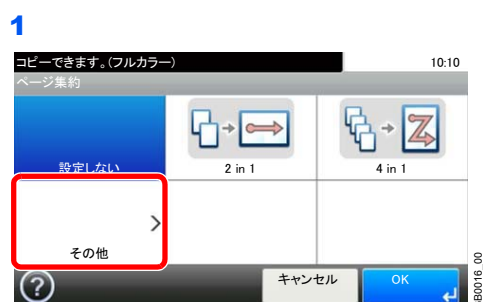
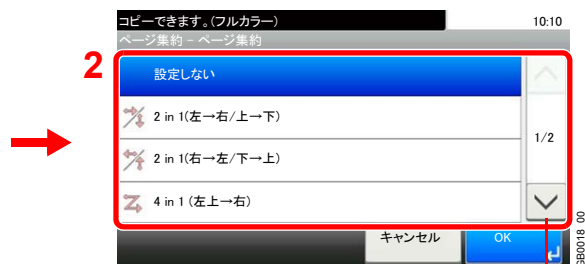
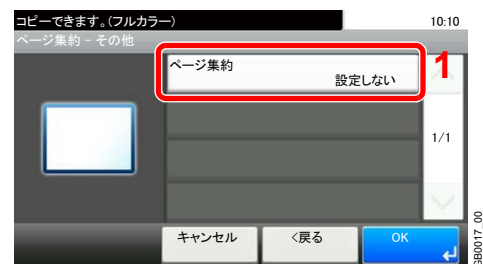
1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

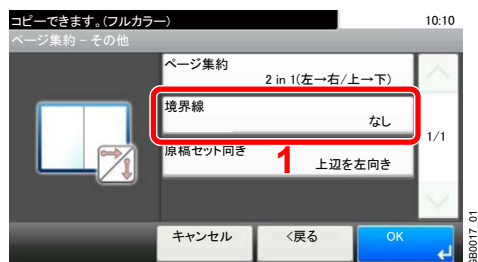
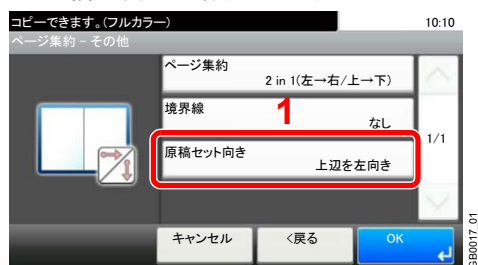
2

2 設定する

[2 in 1]、[4 in 1]

[その他]

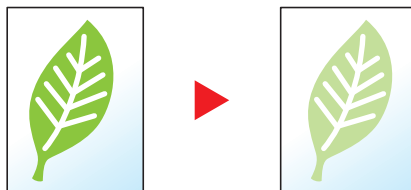
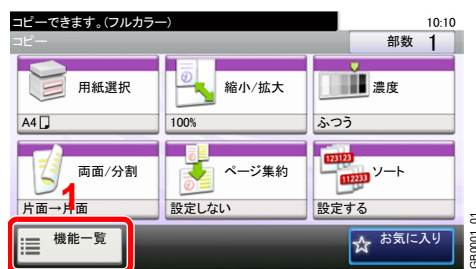
1

2 ページ集約を設定します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

3 境界線の種類を選択します。

4 原稿の向きを設定します。

エコプリント

エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。試しコピーなど高品質なコピーが必要でないときに使用してください。

1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2

[﹀]または[︿]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

色相調整

色相(色合い)を調整し、イメージを変えます。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージを変えることができます。

イエローに近いグリーンをイエロー側に、ブルーに近いマゼンタをブルー側に調整します。

イエローに近いレッドをイエロー側に、ブルーに近いシアンをブルー側に調整します。

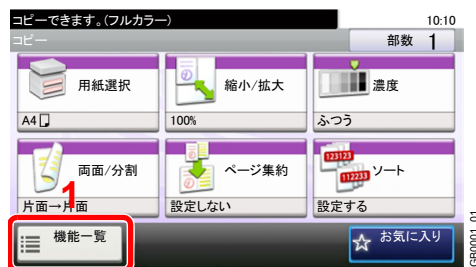
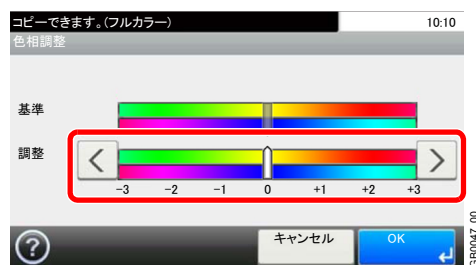
参考

フルカラーコピーまたは自動カラーコピー時に機能します。

この調整は色の鮮やかな画像で効果的です。

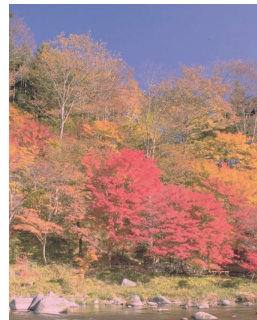
1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

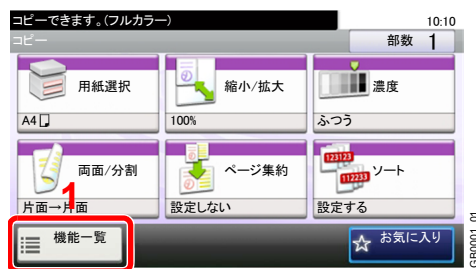
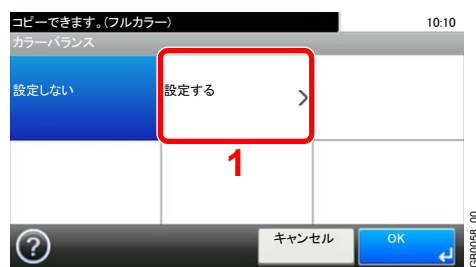
[<]または[>]を押して調整します。

カラーバランス

シアン（青系色）、マゼンタ（赤系色）、イエロー（黄色）、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を調整します。

参考
フルカラーコピーまたは自動カラーコピー時に機能します。

1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

調整する色（「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」、「ブラック」）の両側にある、［＜］または［＞］で、各色を調整します。

彩度

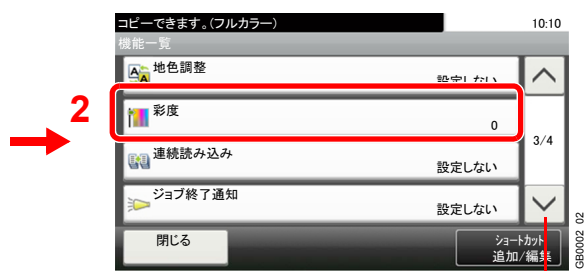
画像の彩度（鮮やかさ）を調整します。

色彩の薄い色に調整します。　　鮮やかな色に調整します。

> **参考**
> フルカラーコピーまたは自動カラーコピー時に機能します。

1 画面を表示する

1 4-2ページの**コピーの基本操作**を参照して画面を表示します。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

[-3]～[+3]（弱く～強く）から彩度を調整します。

5　プリントする

この章では、次の項目について説明します。

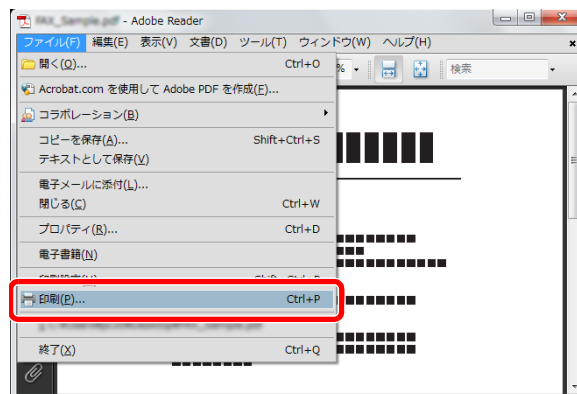
パソコンから印刷する

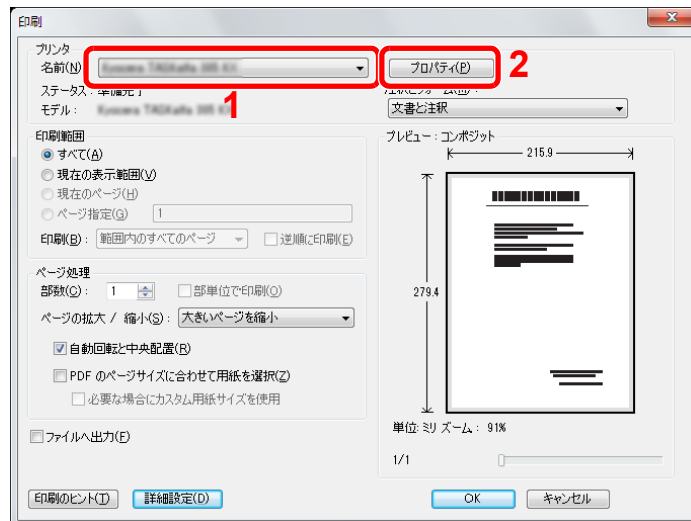
基本的な印刷のしかたを説明します。操作方法はWindows 7を例にしています。

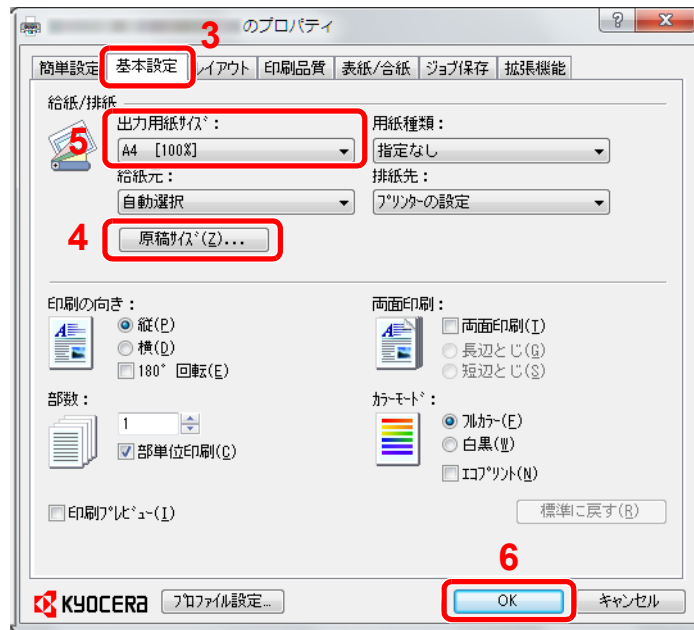
付属のDVD（Product Library）からプリンタードライバーをインストールすると、パソコンで作成した文書を本機で印刷することができます。

2-15ページのソフトウェアのインストールを参照してください。

プリンタードライバーの詳細な設定方法や印刷方法については、DVD収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

1 画面を表示する

ファイルをクリックし、印刷を選びます。

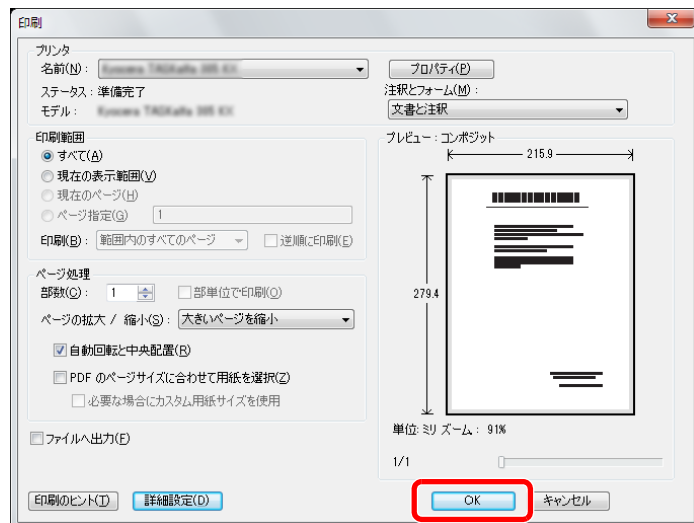
2 プリンターを設定する

1 プリンターを選択します。

2 プロパティボタンをクリックします。

3 基本設定タブを選択します。

4 原稿サイズボタンをクリックし、文書データの用紙サイズを選択します。

5 出力用紙サイズをクリックし、印刷する用紙サイズを選択します。

6 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

OKボタンをクリックします。

参考

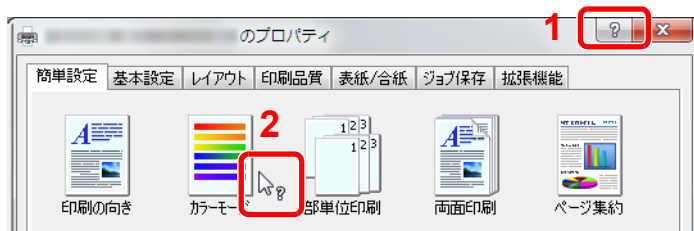
印刷の設定は、印刷設定画面のそれぞれのタブをクリックして必要な設定を行ってください。詳しくは、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

プリンタードライバーの印刷設定画面について

プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。詳しくは、DVD収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

No.	説明
1	**簡単設定タブ** よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。 **基本設定タブ** よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷やカラーモードの設定ができます。 **レイアウトタブ** ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 **印刷品質タブ** 印刷結果の品質やカラーモードに関する設定ができます。 **表紙/合紙タブ** 表紙や差込を作成したり、印刷ジョブ用にOHPフィルムの追加ができます。 **ジョブ保存タブ** 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくと簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 **拡張機能タブ** 印刷データにテキストページやウォーターマーク（すかし文字）を付加するための設定ができます。また、簡単な色調整を行うことができます。
2	**プロファイル設定** プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくと便利です。
3	**標準に戻す** クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバーのヘルプの見かた

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の2つの方法でヘルプを表示することができます。

- 設定画面右上の**?**ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックします。
- 知りたい設定項目にカーソルを合わせ、キーボードの[F1]キーを押します。

本体に保存したデータを印刷する

印刷データを本機のジョブボックスに保存し、必要なときに印刷します。

プライベートプリント

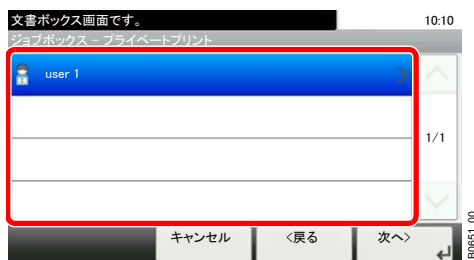
プライベートプリントには、パソコンから送られてきた印刷データが登録されます。パソコン側の印刷操作は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

 参考

RAMディスクモードを有効にしておく必要があります。

9-22ページの**RAMディスク設定**を参照してください。

1 画面を表示する

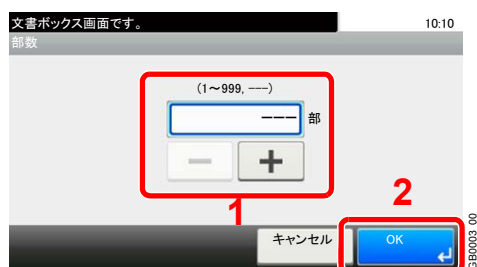
2 ユーザーを選択する

3 文書を選択する

4 文書を操作する

印刷する

1

参考
パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力してください。

2

必要に応じて、印刷部数を入力します。印刷ジョブに設定されてる部数で印刷する場合は「---」を選択してください。

印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動的に削除されます。

削除する

参考
パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力してください。

試し刷り後保留

試し刷り後保留には、パソコンから送られてきた印刷データが登録されます。パソコン側の印刷操作は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

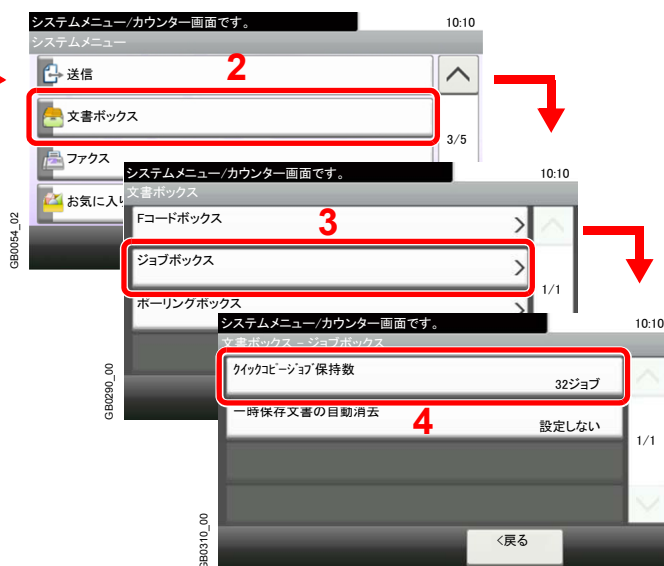
参考
RAMディスクモードを有効にしておく必要があります。

9-22ページのRAMディスク設定を参照してください。

保持数の設定

メモリーの空き容量を保つために、最大保持数を設定します。

1 画面を表示する

◈ システムメニュー / カウンター

2 最大保持数を入力する

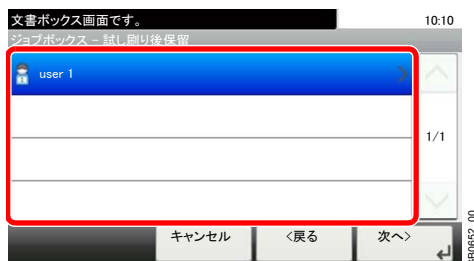
最大保持数を入力します。0～50の範囲が入力できます。

参考
0を入力すると、試し刷り後保留機能は使用できなくなります。

文書の操作

試し刷り後保留ボックスに保存されている文書を印刷・削除します。

1 画面を表示する

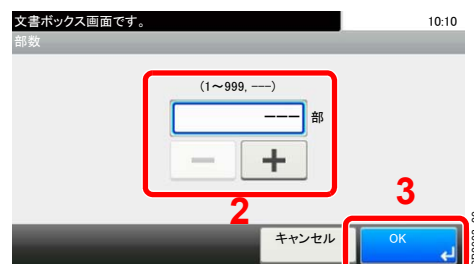
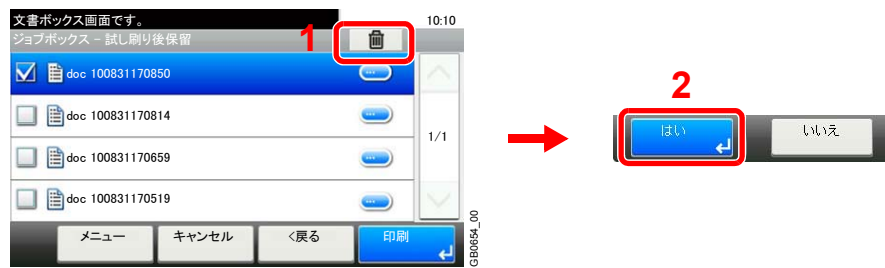
2 ユーザーを選択する

3 文書を選択する

4 文書を操作する

印刷する

必要に応じて、印刷部数を入力します。印刷ジョブに設定されてる部数で印刷する場合は「---」を選択してください。

削除する

文書ボックス画面です。
10:10
ジョブボックス − 試し刷り後保留
1
doc 100831170850
doc 100831170814
doc 100831170659
doc 100831170519
1/1
メニュー
キャンセル
<戻る
印刷
GB0654_00
2
はい
いいえ

一時保存文書の自動消去の設定

ジョブボックスのプライベートプリント、試し刷り後印刷の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。

設定しない	自動消去は行いません。
1時間	1時間後に消去します。
4時間	4時間後に消去します。
1日	1日後に消去します。
1週間	1週間後に消去します。

参考

この設定は、設定後に保存した文書に有効です。

この設定に関わらず、主電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。

1 画面を表示する

2 時間を選択する

6　送信する

この章では、次の項目について説明します。

送信の基本操作

本機を使って読み取った画像をメールに添付して送ったり、ネットワーク上のパソコンに送ったりすることができます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先（受信者）のネットワークアドレスを登録しておいてください。

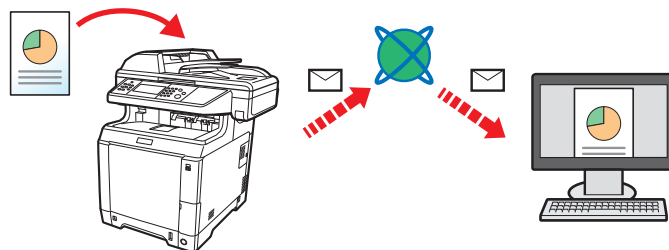
メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティーの面からLAN による接続を推奨します。

送信機能を使用するにあたっては、次の点を確認してください。

- 各種設定（本体のメール設定など）
- COMMAND CENTER（webページ）でのIPアドレス、SMTPサーバーのホスト名、送信先の登録
- アドレス帳またはワンタッチキーへの送信先アドレスの登録
- 送信先にフォルダー（SMB/FTP）を選択した場合、送信先フォルダーの共有
  フォルダーの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

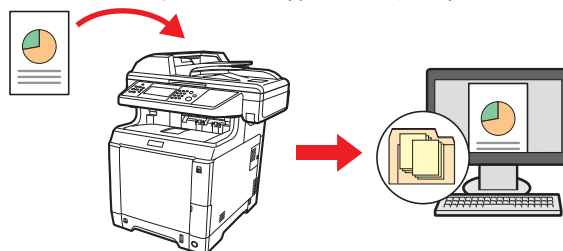
基本的な送信の方法

メール送信

読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。（6-18ページ参照）

フォルダー（SMB）送信

読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。（6-19ページ参照）

フォルダー（FTP）送信

読み取った原稿のイメージをFTP サーバーのフォルダーに保存します。（6-19ページ参照）

TWAIN/WIAでの画像データ読み込み

TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込みます。（6-45ページ参照）

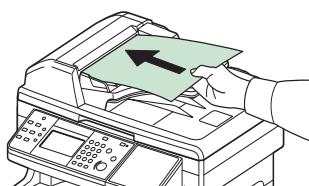
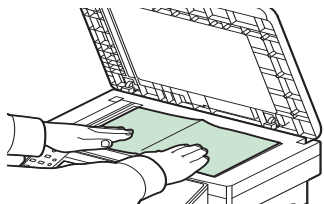
参考

これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。6-23ページの**種類の異なる相手への送信（複合送信）**を参照してください。

ファクスの機能について詳しくは、ファクス**使用説明書**を参照してください。

1 送信キーを押す

送 信

> **参考**
> タッチパネルが消えているときは、電源キーを押してウォームアップさせてください。

2 原稿をセットする

3-10ページの**原稿のセット**を参照してください。

3 カラーモードの選択

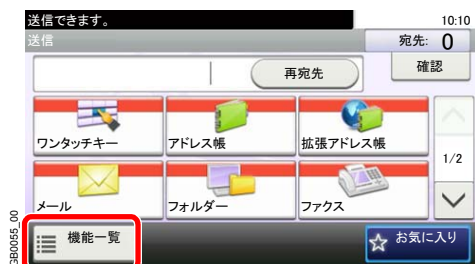
自動カラー	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して読み込みます。
フルカラー	すべての原稿をフルカラーで読み込みます。
白黒	すべての原稿を白黒で読み込みます。

より詳細な設定を行う場合は、3-51ページの**カラー選択**を参照してください。

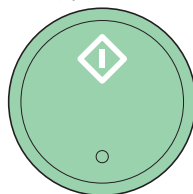
4 宛先の指定

送信する宛先を指定します。

6-15ページの**宛先の選び方**を参照してください。

5 機能の設定

［機能一覧］を押すと送信で設定できる機能が表示されます。

6-36ページの**送信で設定できる機能**を参照してください。

6 送信の開始

スタートキーを押すと、送信を開始します。

パソコンに文書を送信するための準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 7をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

参考
Windowsには管理者権限でログオンします。

[ホスト名]の入力値確認

文書の宛先となるコンピューター名を確認します。

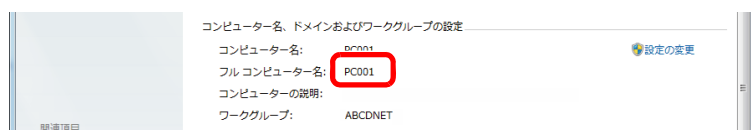
1 画面を表示する

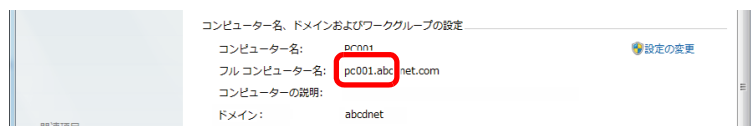
スタートメニュー→コンピューター→システムのプロパティの順で選択します。

Windows XPの場合は、マイコンピュータを右クリックし、プロパティを選択して、システムのプロパティ画面を開きます。表示される画面でコンピュータ名タブをクリックします。

2 確認する

表示される画面でコンピューター名を確認します。

ワークグループの項目がある場合

フルコンピューター名に表示されている文字列すべてがホスト名の入力値になります。（入力例：PC001）

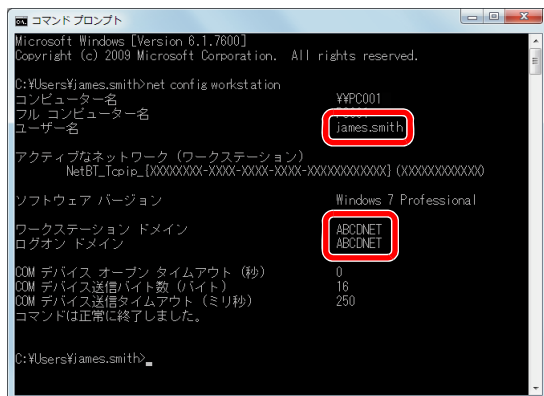
ドメインの項目がある場合

フルコンピューター名に表示されている文字列の初めのドットの前までがホスト名の入力値になります。（入力例：pc001）

確認後、（閉じる）ボタンをクリックして、システムのプロパティ画面を閉じます。

Windows XPの場合は、確認後、キャンセルボタンをクリックして、システムのプロパティ画面を閉じます。

参考
コンピューター名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。コンピューター名を半角英数字に変更してください。

[ログインユーザー名]の入力値確認

Windowsにログオンする際のドメイン名とユーザー名を確認します。

1 画面を表示する

スタートメニュー→すべてのプログラム(またはプログラム)→アクセサリ→コマンドプロンプトの順に選択します。

コマンドプロンプトが起動します。

2 確認する

「net config workstation」を入力し、[Enter]キーを押します。

画面例 — ユーザー名:james.smith、ドメイン名:ABCDNET

参考

ログインユーザー名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。ログインユーザー名を半角英数字で新たに追加(新しいアカウントの作成)してください。

パソコンに共有フォルダーを作成する

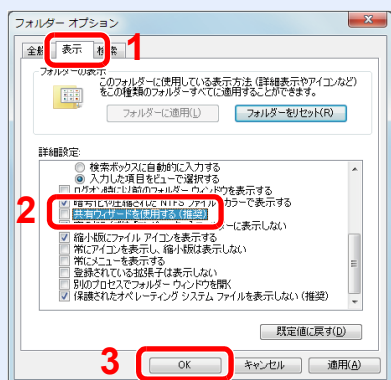
文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

1 スタートメニュー→コントロールパネル→デスクトップのカスタマイズ→フォルダーオプションの順で選択します。

Windows XPの場合は、マイコンピュータをクリックし、ツールのフォルダーオプションを選択します。

2

詳細設定の共有ウィザードを使用する(推奨)のチェックを外します。

Windows XPの場合は、表示タブをクリックし、詳細設定の簡易ファイルの共有を使用する(推奨)のチェックを外してください。

1 フォルダーを作成する

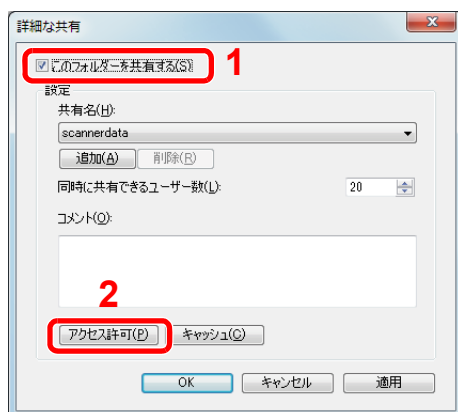
1 ローカルディスク(C)に任意のフォルダーを作成してください。

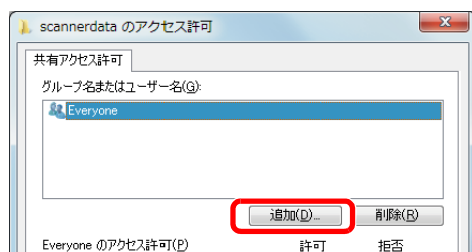
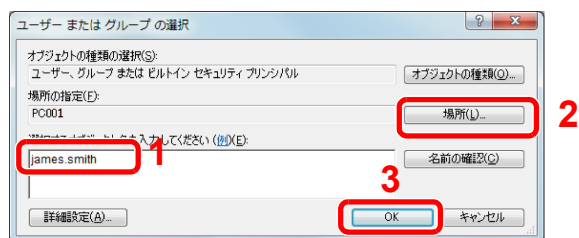
例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをローカルディスク(C)に作成します。

2 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、共有→詳細な共有の順にクリックし、詳細な共有ボタンをクリックしてください。

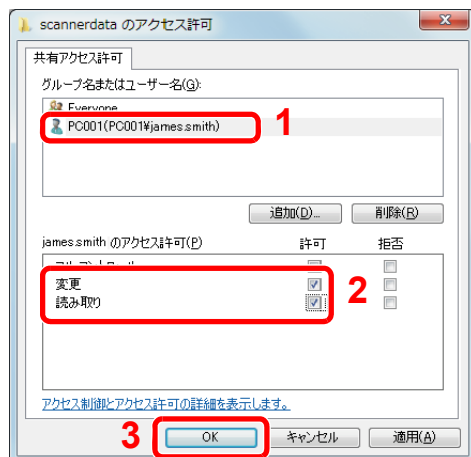
Windows XPの場合は、「scannerdata」フォルダーを右クリックし、共有とセキュリティ(または共有)を選択してください。

2 共有を設定する

1

Windows XPの場合は、このフォルダを共有するを選択し、アクセス許可ボタンをクリックします。

2

3

ユーザー名をテキストボックスに入力します。

場所ボタンをクリックし、場所を選択します。検索対象を選択するには場所をクリックし、場所を選択します。ドメイン参加時は、デフォルトで現在属しているドメインが検索対象となっています。

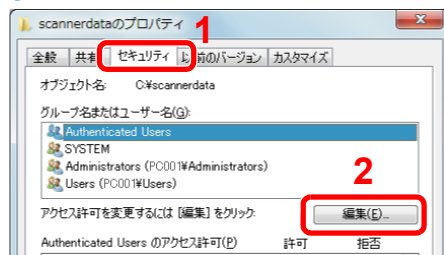
4

入力したユーザーを選択し、変更と読み取りの許可にチェックつけます。

Windows XPの場合は、手順**6**へ進んでください。

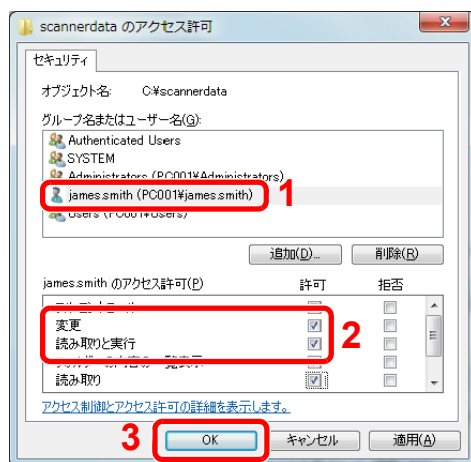
参考

Everyoneとはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティー強化のため、**Everyone**を選択し、読み取りの許可のチェックを外すことをお勧めします。

5 詳細な共有画面の**OK**ボタンをクリックし、この画面を閉じます。

6

Windows XPの場合は、セキュリティタブがあるとき、セキュリティタブをクリックし、追加ボタンをクリックしてください。

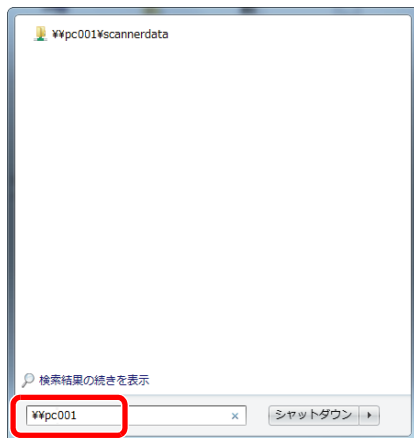
7 手順**3**と同様に操作して、グループ名または、ユーザー名欄にユーザーを追加します。

8

入力したユーザーを選択し、変更と読み取りと実行の許可にチェックつけます。

[パス]の入力値確認

文書の宛先となる共有フォルダーの共有名を確認します。

1 画面を表示する

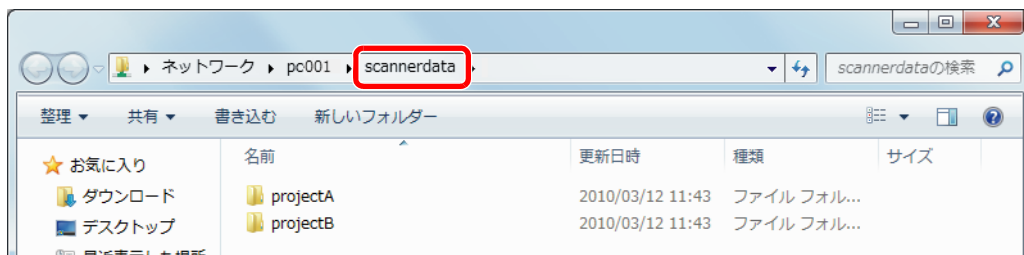
1 スタートメニューのプログラムとファイルの検索で「¥¥pc001」と入力します。

Windows XPの場合は、スタートメニューの検索をクリックし、ファイルやフォルダーを選択し、文書の宛先となるパソコンを検索します。

検索コンパニオンのコンピュータ、または人→ネットワーク上のコンピュータの順にクリックしてください。

コンピュータ名:のテキストボックスに、確認した「コンピュータ名」（例：pc001）を入力して検索ボタンをクリックします。

2 検索結果に表示された「¥¥pc100¥scannerdata」をクリックしてください。

Windows XPの場合は、検索結果に表示されたpc100のパソコンをダブルクリックしてください。

2 確認する

アドレスバーの表示を確認します。3つ目の▶以降の文字列がパスの入力値となります。

Windows XPの場合は、scannerdataフォルダをダブルクリックし、アドレスバーの表示を確認します。3つ目の¥以降の文字列がパスの入力値になります。

（入力例：scannerdata）

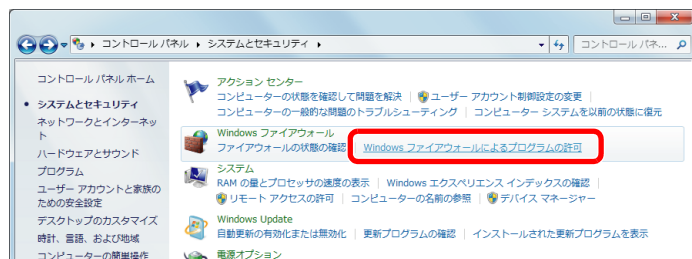
参考
共有フォルダー内のフォルダーを文書の宛先に指定することもできます。その場合、パスの入力値は、「共有名¥共有フォルダ内のフォルダ名」（上記の画面例では「scannerdata¥projectA」）となります。

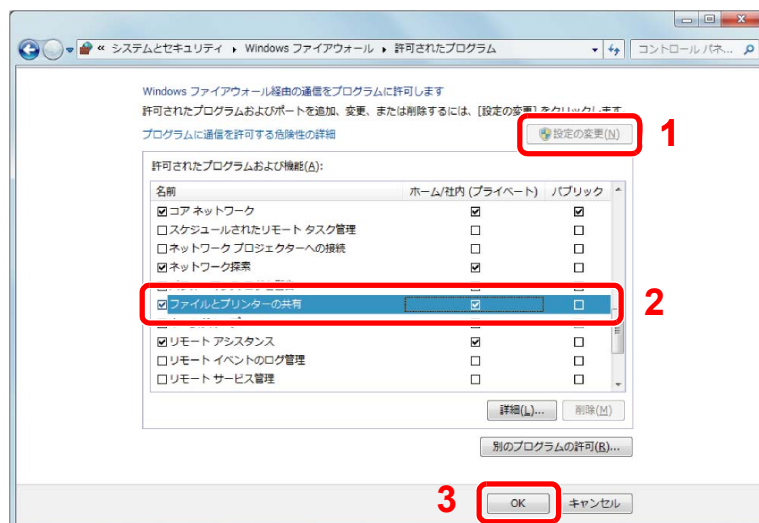
Windowsファイアウォールの確認(Windows 7をお使いの場合)

ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。

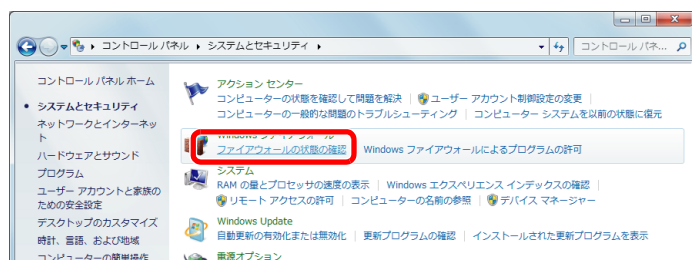
参考
Windowsには管理者権限でログオンします。

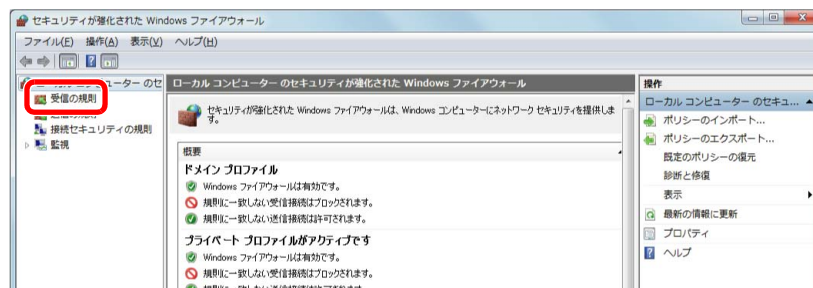
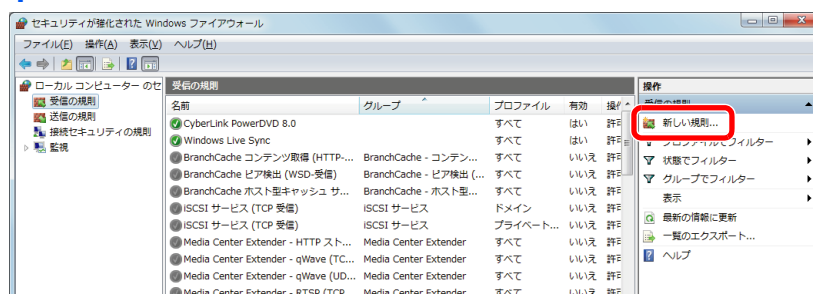
1 ファイルとプリンターの共有を確認する

1 スタートメニュー→コントロールパネル→システムとセキュリティ→Windowsファイアウォールによるプログラムの許可の順で選択します。

参考
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、続行ボタンをクリックしてください。

2

ファイルとプリンターの共有にチェックを付けます。

2 追加するポートを設定する

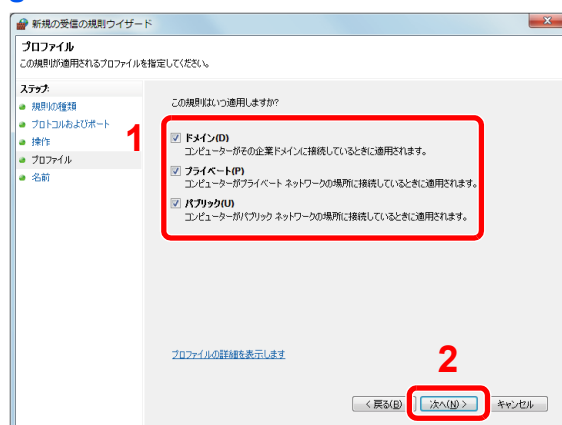
1 スタートメニュー→コントロールパネル→システムとセキュリティ→ファイアウォールの状態の確認の順で選択してください。

2

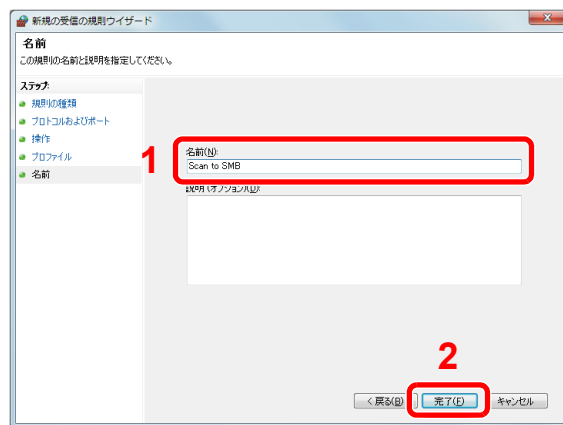
3

4

5

6

特定のローカルポートをチェックし、「139」と入力します。

7

8

すべてにチェックが入っていることを確認します。

9

名前に「Scan to SMB」と入力して、完了をクリックします。

Windows XPやWindows Vistaの場合

1 スタートメニュー→コントロールパネル→システムとセキュリティ（またはセキュリティセンター）→ファイアウォールの状態の確認（または**Windows ファイアウォール**）の順で選択します。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、続行ボタンをクリックします。

2 例外タブをクリックし、ポートの追加ボタンをクリックします。

3 ポートの追加の設定を行ってください。
名前では、任意の名前（例:Scan to SMB）を登録します。追加するポートの名前になります。
ポート番号には、「139」を入力します。プロトコルでは、**TCP**を選択します。

4 **OK**ボタンをクリックします。

宛先の選び方

画像を送信する宛先を選びます。

宛先は次の方法から選びます。

- **アドレス帳から宛先を選ぶ**（6-15ページ）
- **ワンタッチキーで選ぶ**（6-17ページ）
- **新規メールアドレスを入力する**（6-18ページ）
- **新規のフォルダーを指定する**（6-19ページ）

参考
ファクスの宛先も指定することができます。テンキーで宛先の番号を入力します。

アドレス帳から宛先を選ぶ

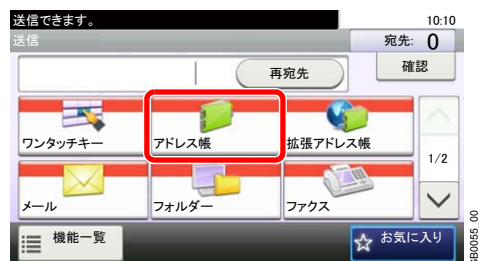
アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

参考
アドレス帳に宛先を登録する方法は、6-24ページの**アドレス帳の登録**を参照してください。

拡張アドレス帳については、**京セラCOMMAND CENTER操作説明書**を参照してください。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

2 宛先を選択する

チェックボックスを押して宛先を選択します。選択された宛先はチェックマークがつきます。

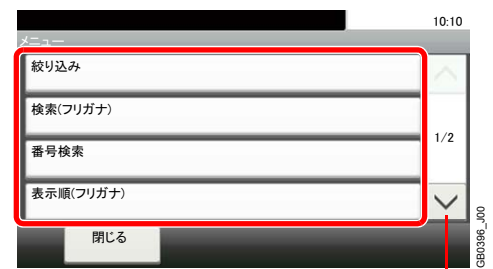
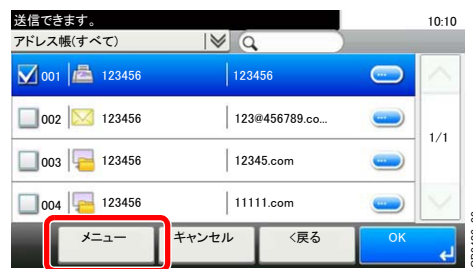
宛先の検索

登録されている宛先名で検索します。

登録されている宛先の種類（メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクス、グループ）で絞り込み検索します。

それぞれの宛先の詳細を参照します。

短縮キーを押すと、アドレス番号で宛先を指定できます。

[メニュー]を押すと、より詳しい検索ができます。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

絞り込み：登録されている宛先の種類（メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクス、グループ）で絞り込み検索します。

検索（フリガナ）、番号検索：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で検索します。

表示順（フリガナ）、表示順（番号）：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で並べ替えます。

> **参考**
> 宛先は複数選択できます。
> 選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消します。

3 宛先を決定する

宛先は後で変更できます。6-22ページの**宛先の確認/変更**を参照してください。

ワンタッチキーで選ぶ

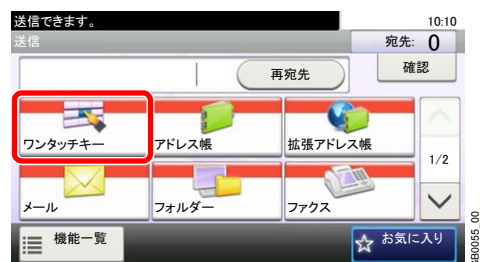
ワンタッチキーで宛先を選択します。

参考

ワンタッチキーに宛先を登録する方法は、6-33ページの**ワンタッチキーの登録**を参照してください。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

2 宛先を選択する

宛先が登録されているワンタッチキーを押します。ワンタッチキーは複数選択できます。

短縮キーを押すと、ワンタッチ番号でワンタッチキーが指定できます。

3 宛先を決定する

宛先は後で変更できます。6-22ページの**宛先の確認/変更**を参照してください。

新規メールアドレスを入力する

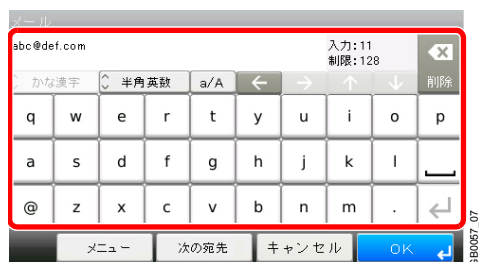
任意のメールアドレスを直接入力します。

参考
あらかじめ、COMMAND CENTERへアクセスし、メール送信に必要な設定を行ってください。詳しくは2-23ページのCOMMAND CENTERについてを参照してください。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

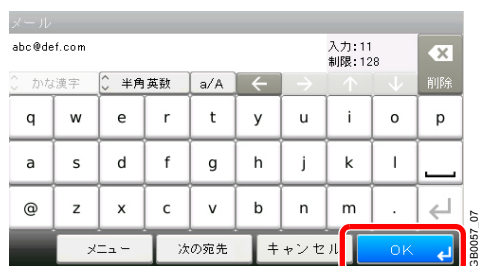
2

2 アドレスを入力する

128文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

複数の宛先を入力する場合は、[**次の宛先**]を押して宛先を入力します。最大で100件までメールアドレスを指定することができます。

[**メニュー**]→[**アドレス帳に登録**]を押すと、入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することができます。また、すでに登録されている宛先を置き換えることもできます。

3 宛先を決定する

宛先は後で変更できます。6-22ページの**宛先の確認/変更**を参照してください。

新規のフォルダーを指定する

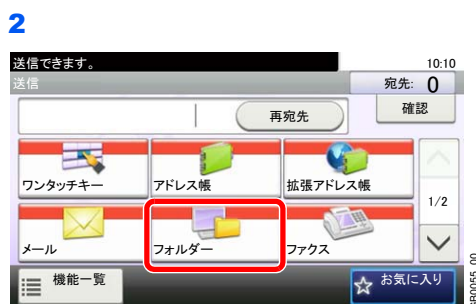
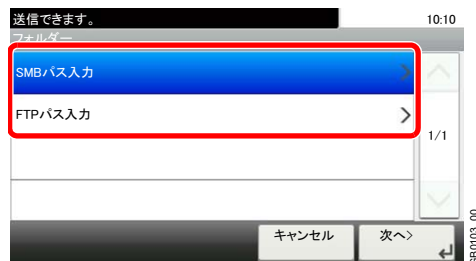
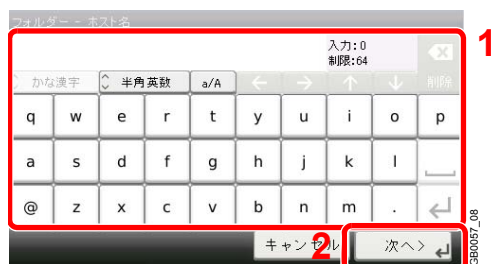
任意のパソコンの共有フォルダー、またはFTPサーバーのフォルダーを宛先に指定します。

参考
フォルダーを共有する方法について詳しくは、6-7ページの**パソコンに共有フォルダーを作成する**を参照してください。

COMMAND CENTERでSMBプロトコルまたはFTPがオンになっていることを確認してください。詳しくは**京セラCOMMAND CENTER操作手順書**を参照してください。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

2 フォルダーの種類を選択する

3 宛先の情報を入力する

次の情報を入力します。1項目入力できたら[**次へ**]を押して、次の項目に進みます。

フォルダー（SMB）送信の場合

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名	送信するパソコンのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス	保存するフォルダーのパス 例）「\User\ScanData」	128文字以下

項目	入力する情報	制限文字数
ログインユーザー名	フォルダーにアクセスするためのユーザー名 ドメイン名/ユーザー名 例) abcdnet/james.smith ユーザー名@ドメイン名 例) james.smith@abcdnet	64文字以下
ログインパスワード	ログインユーザー名のパスワード	64文字以下

フォルダー（FTP）送信の場合

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス	保存したいフォルダーのパス 例)「\User\ScanData」 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以下
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以下
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字以下

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 確認する

情報を確認します。各項目を押すと、情報の変更ができます。必要に応じて変更してください。

送信するパソコンまたはサーバーのポート番号を指定する場合は、[**ポート**]を押して、ポート番号を入力します。1～65535の範囲で入力できます。

接続状況を確認します。

宛先に正しく接続できると「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、[**次の宛先**]を押して宛先を入力してください。FTPとSMBの宛先を合わせて最大で5件のフォルダーを指定することができます。

[**アドレス帳に登録**]を押すと、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

5 宛先を決定する

宛先は後で変更できます。6-22ページの**宛先の確認/変更**を参照してください。

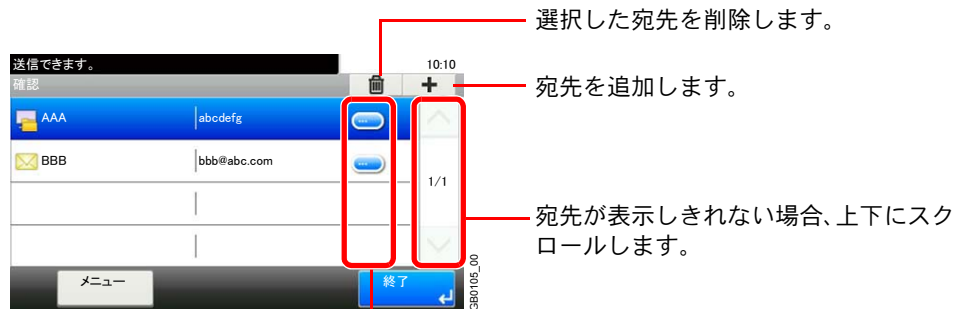
宛先の確認/変更

選択した宛先を確認し、変更します。

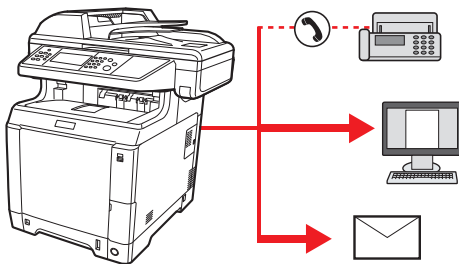
1 画面を表示する

1 6-15ページの**宛先の選び方**を参照して、宛先を選びます。

2

2 確認/変更する

宛先の詳細を表示します。新規メールアドレス、パソコンのフォルダーを指定した宛先は、その内容を変更できます。

種類の異なる相手への送信（複合送信）

宛先は、メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクスを組み合わせて指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先（メール、フォルダーなど）に送信できて便利です。

同報件数

メール：最大100件

フォルダー（SMB、FTP）：SMB、FTPあわせて5件

ファクス：最大100件

また、設定によって、送信と同時に印刷することもできます。

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先リストに表示させてください。スタートキーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。

参考
宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。

アドレス帳の登録

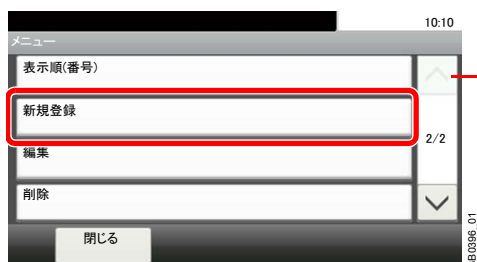
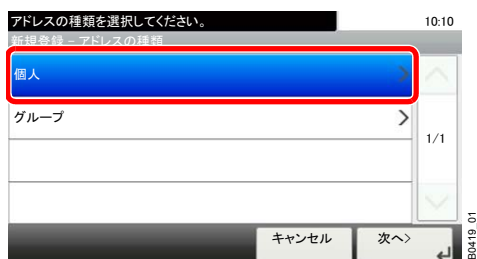
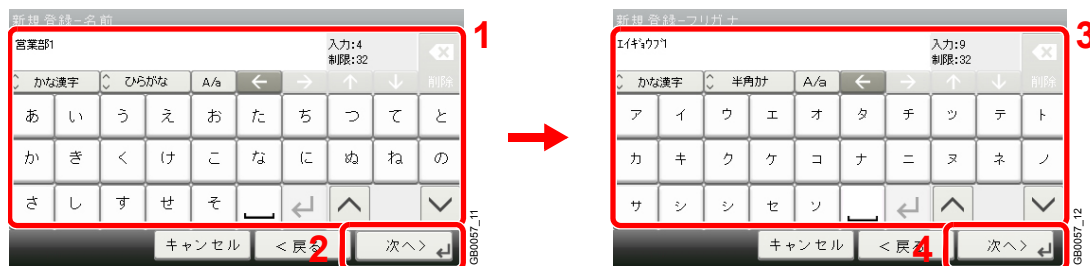
アドレス帳に宛先を登録します。アドレス帳の登録方法には、個人登録および複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。

宛先（個人）の登録

アドレス帳に新しい宛先を登録します。最大200件の宛先が登録できます。
各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などが登録できます。

参考
ユーザー管理が有効の場合は、管理者の権限でログインしてください。

システムメニューでも、アドレス帳に宛先を登録することができます。

1 画面を表示する

2 宛先を追加する

3 登録方法を選択する

4 名前とフリガナを入力する

32文字まで入力できます。

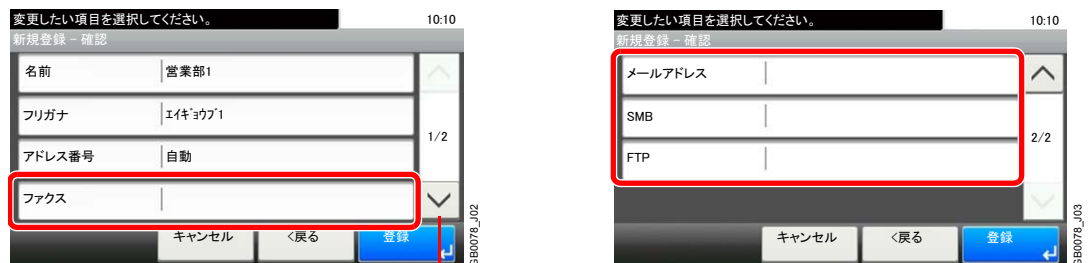
11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 アドレス番号を入力する

［－］、［＋］またはテンキーを押して、アドレス番号を入力します。

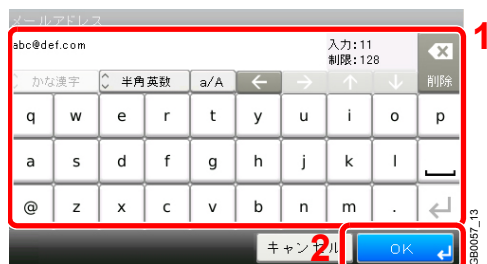
アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。個人登録200件、グループ登録50件の合計250件の中から、空いている番号を選択できます。

「000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

6 宛先を入力する

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

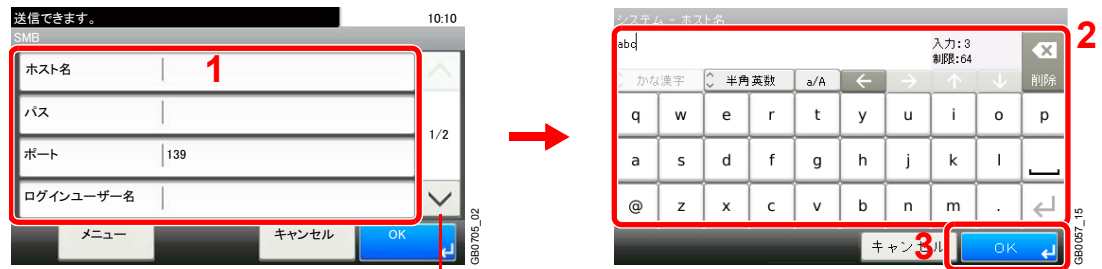
登録する宛先の種類を選択します。

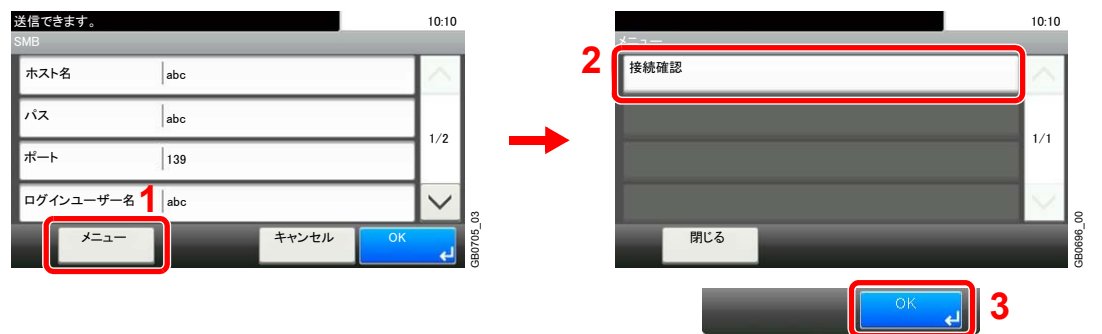
ファクスについては、**ファクス使用説明書**を参照してください。

メールアドレスを登録する

メールアドレスを入力します。128文字まで入力できます。

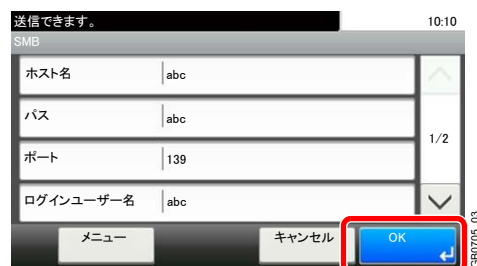
11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

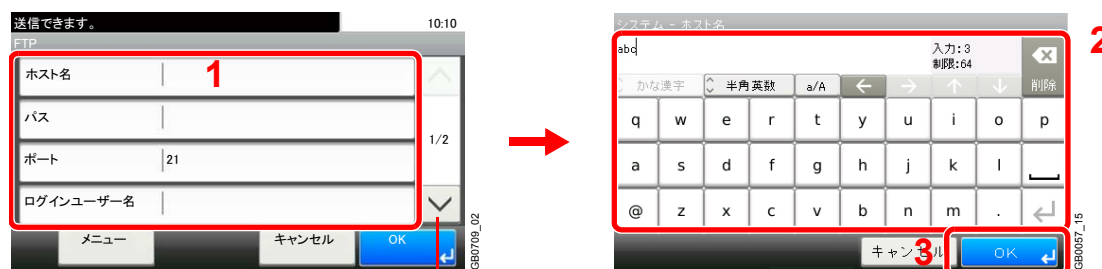
フォルダー（SMB）を登録する

1 [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]、および[ログインパスワード]を入力します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

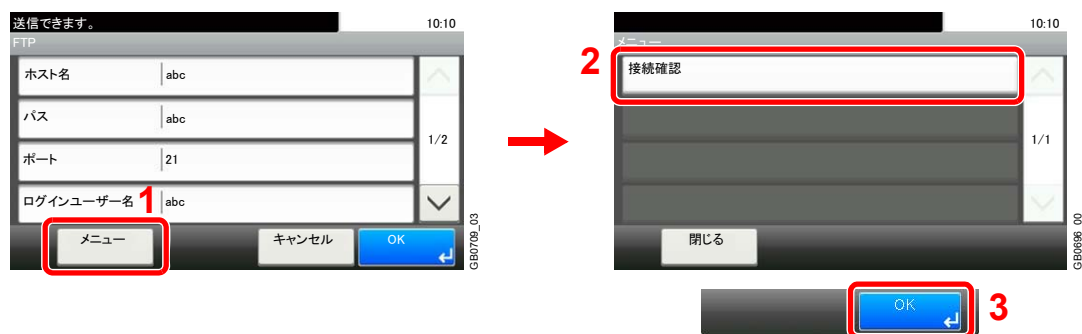
それぞれの詳細は、6-19ページの**新規のフォルダーを指定する**を参照してください。

2 接続状況を確認します。

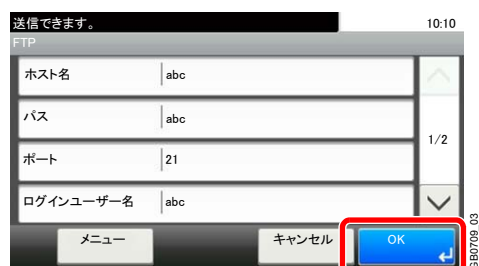
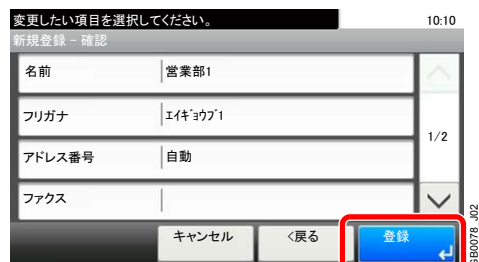
宛先に正しく接続できると「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

3

フォルダー（FTP）を登録する

1 [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]、および[ログインパスワード]を入力します。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

それぞれの詳細は、6-19ページの**新規のフォルダーを指定する**を参照してください。

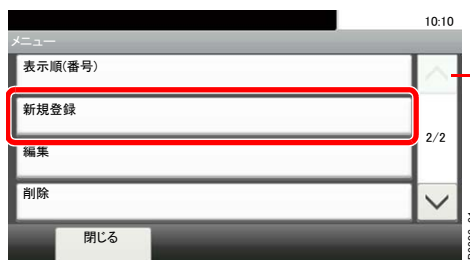
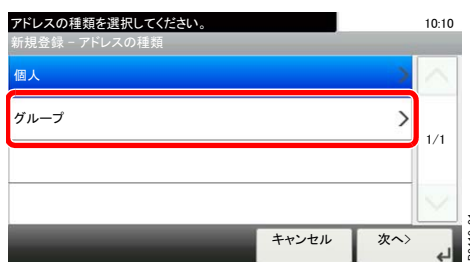
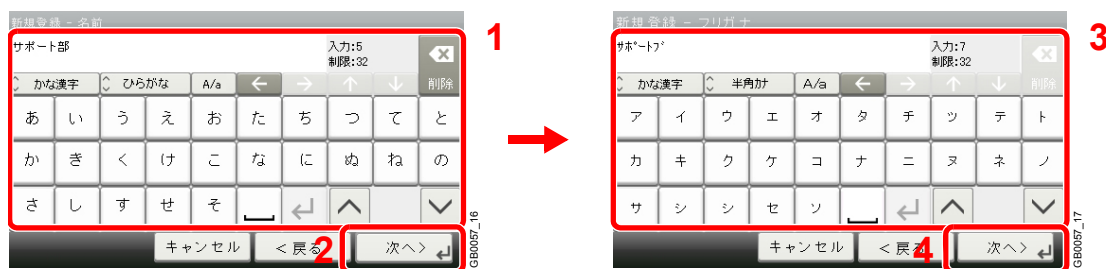
2 接続状況を確認します。

宛先に正しく接続できると「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

3

7 登録する

グループの登録

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録します。宛先を一度に指定できるので便利です。50件までのグループが登録できます。
グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。

参考
ユーザー管理が有効の場合は、管理者の権限でログインしてください。

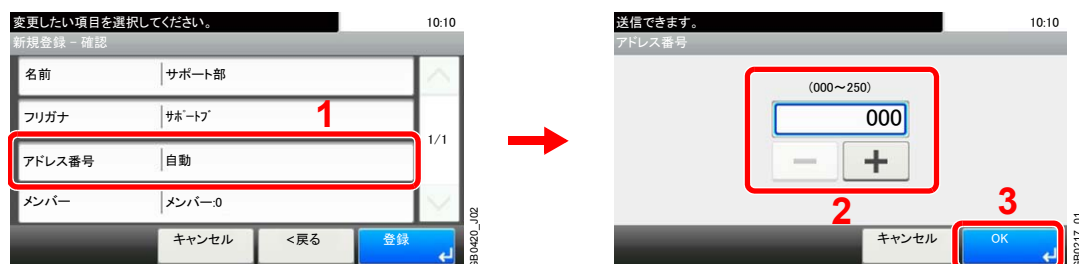
システムメニューでも、グループを登録することができます。

1 画面を表示する

2 宛先を追加する

3 登録方法を選択する

4 名前とフリガナを入力する

32文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 アドレス番号を入力する

[－]、[＋]またはテンキーを押して、アドレス番号を入力します。

アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。個人登録200件、グループ登録50件の合計250件の中から、空いている番号を選択できます。

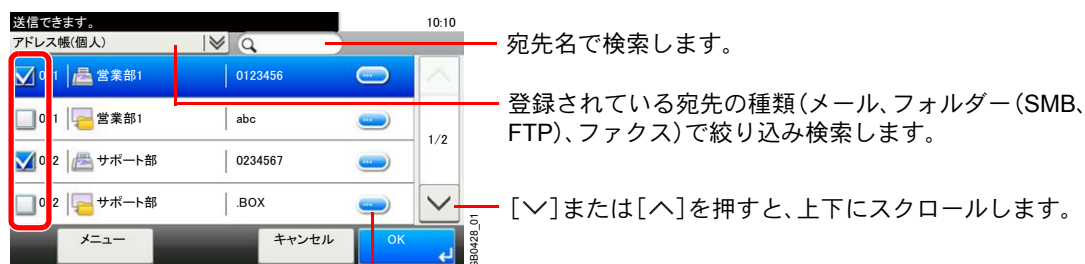
「000」が表示されている場合は、自動的に空いている番号を割り当てます。

6 メンバー(宛先)を選択する

1 画面を表示します。

2 チェックボックスを押して宛先を選択します。選択された宛先はチェックマークがつきます。

短縮キーを押すと、アドレス番号で宛先が指定できます。

[メニュー]を押すと、より詳しい検索ができます。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

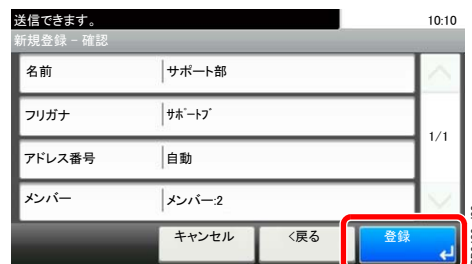
絞り込み：登録されている宛先の種類（メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクス）で絞り込み検索します。

検索（フリガナ）、番号検索：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で検索します。

表示順（フリガナ）、表示順（番号）：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で並べ替えます。

参考
選択を解除するときは、チェックボックスを押してチェックマークを消します。

7 メンバーを決定する

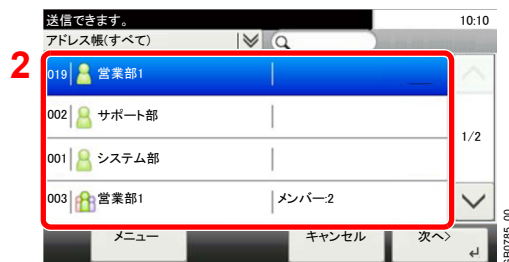
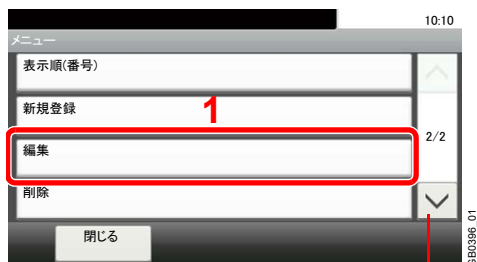
8 登録する

アドレス帳の変更/削除

登録した宛先（個人）やグループを変更/削除します。

1 画面を表示する

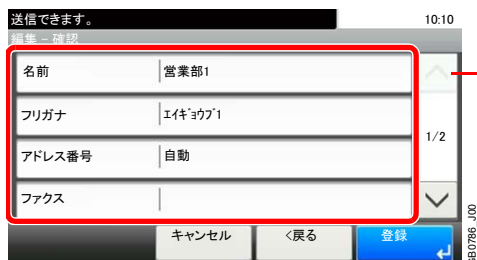
2 変更/削除する

変更する

1

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

変更する宛先（個人）またはグループを選択します。

短縮キーを押すと、アドレス番号で宛先を指定できます。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

変更する項目を選択して、変更します。

3

メンバーの削除(グループ)

グループからメンバーを削除する場合は、削除する宛先を選択して[(削除)](ゴミ箱のアイコン)を押します。

削除する

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

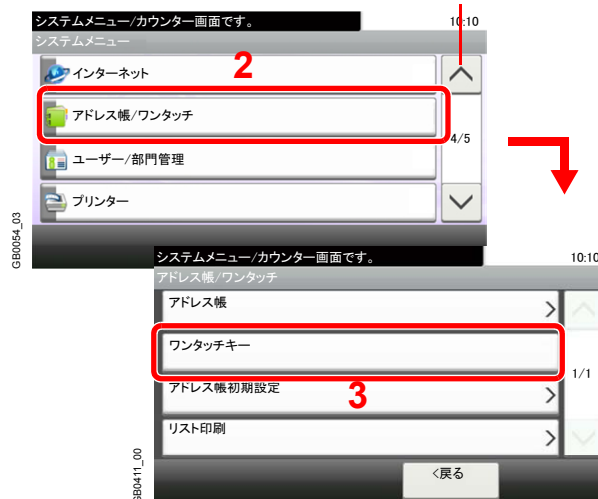
削除する宛先(個人)またはグループを選択します。

ワンタッチキーの登録

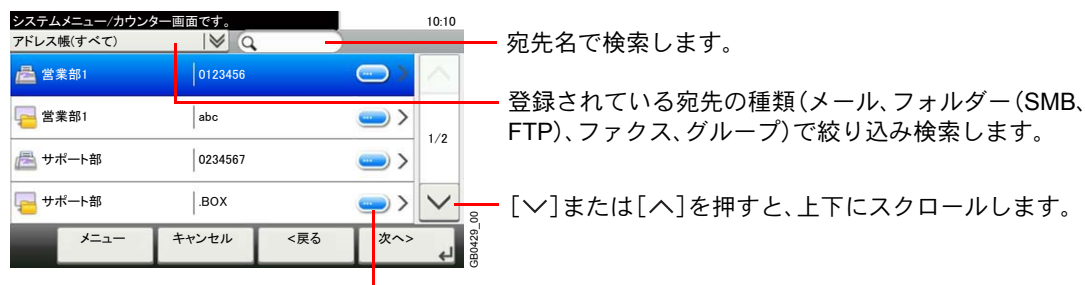
ワンタッチキーに宛先を登録します。

宛先の登録

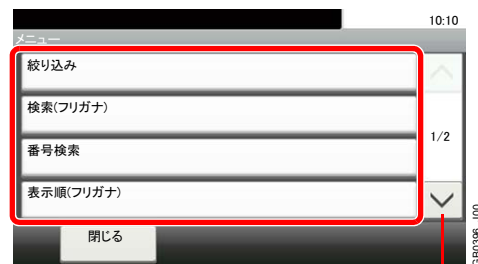
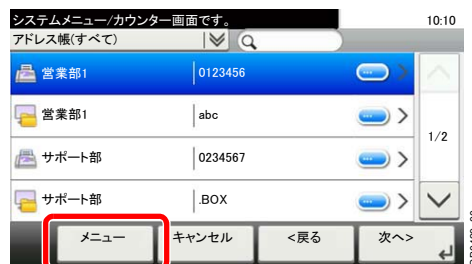
ワンタッチキーに新しい宛先を登録します。100件までのワンタッチキーが登録できます。
ワンタッチキーには、アドレス帳に登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な登録を行ってください。

1 画面を表示する

2 ワンタッチキーを追加する

宛先が登録されていないワンタッチキーを選択して、[+]を押します。

3 宛先を選択する

アドレス帳から、宛先（個人またはグループ）を1件選択します。

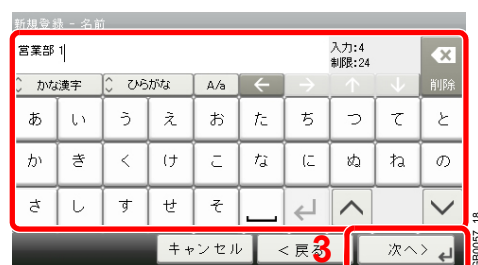
短縮キーを押すと、アドレス番号で宛先が指定できます。

[メニュー]を押すと、宛先の検索ができます。

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

絞り込み：登録されている宛先の種類（メール、フォルダー（SMB、FTP）、ファクス、グループ）で絞り込み検索します。

検索（フリガナ）、番号検索：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で検索します。

表示順（フリガナ）、表示順（番号）：宛先名のフリガナ、またはアドレス番号で並べ替えます。

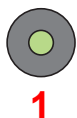
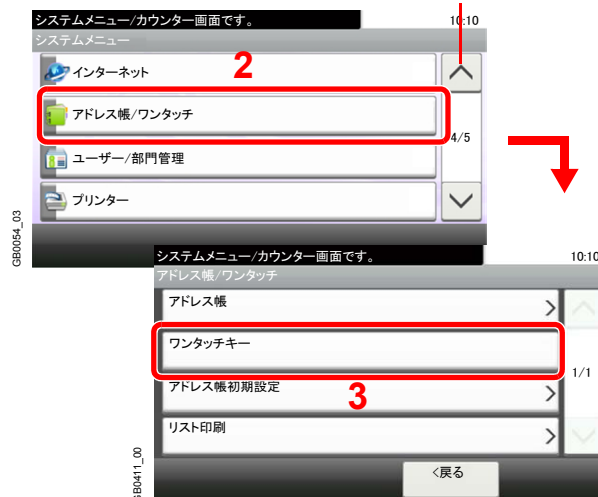
4 名前を入力する

24文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 登録する

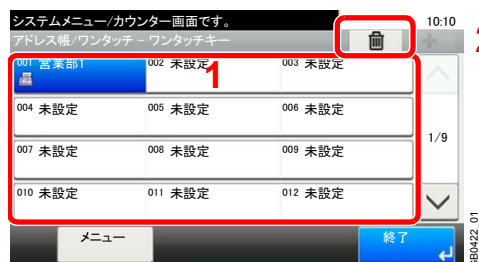
ワンタッチキーの変更/削除

ワンタッチキーを変更/削除します。

1 画面を表示する

2 変更/削除する

変更する

変更するワンタッチキーを選択し、[メニュー]→[編集]を押して変更します。

削除する

削除するワンタッチキーを選択して、[(削除)](ゴミ箱のアイコン)を押します。

送信で設定できる機能

送信でよく使用する機能は、送信画面に表示されています。
また[**機能一覧**]を押すと、その他の機能が表示されます。[∧][∨]を押して画面を切り替えます。

やりたいこと	参照ページ
送信する画像のファイル形式を選びたい。	ファイル形式 ▶ 3-49ページ
原稿のサイズを指定したい。	原稿サイズ ▶ 3-35ページ
原稿の向きを正しく指定したい。	原稿セット向き ▶ 3-36ページ
両面の原稿を自動的に読み込みたい。	両面 ▶ 3-37ページ
送信する画像のサイズを変更したい。	送信サイズ ▶ 6-37ページ
1ページごとのファイルに分けて送信したい。	ファイル分割 ▶ 6-39ページ
原稿をどのくらい細かく読み込むか設定したい。	読み込み解像度 ▶ 3-44ページ
読み込む濃度を調整したい。	濃度 ▶ 3-43ページ
送信する画像のカラーモードを変更したい。	カラー選択 ▶ 3-51ページ
原稿に合わせて送信する画像の画質を選びたい。	原稿の画質 ▶ 3-45ページ
文字や線をはっきり読み込みたい。 輪郭をぼかして読み込みたい。	シャープネス ▶ 3-46ページ
原稿の地色（文字や画像のない部分）をこくしたりうすくしたりしたい。	地色調整 ▶ 3-47ページ
送信サイズに合わせて、原稿を自動的に縮小/ 拡大したい。	縮小/拡大 ▶ 3-48ページ
大量の原稿を一度にまとめて読み込みたい。	連続読み込み ▶ 3-39ページ
送信する画像にファイル名を付けたい。	文書名入力 ▶ 3-54ページ
（メール送信）メールの件名と本文を書きたい。	メール 件名/本文 ▶ 6-40ページ
読み込みが終わったらメールで知らせてほしい。	ジョブ終了通知 ▶ 3-52ページ
送信ジョブに名前をつけて、履歴や状況を確認したい。	文書名入力 ▶ 3-54ページ
暗号化して送信したい。	FTP暗号送信 ▶ 6-41ページ
WSD対応のパソコンに送信したい。	WSDスキャン ▶ 6-42ページ

参考
ここではファクスの設定に関しては省略しています。ファクスについて詳しくは、**ファクス使用説明書**を参照してください。

送信サイズ

送信する画像のサイズを選択します。

原稿サイズと同じ	原稿と同じ送信サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folioから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号から選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

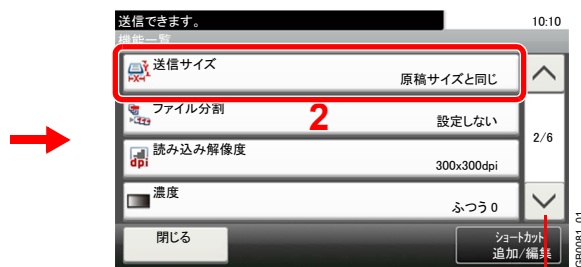
原稿サイズ（3-35ページ）、送信サイズ、縮小/拡大（3-48ページ）は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ（3-35ページ）	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	**[原稿サイズと同じ]**を選択	送信したいサイズを選択
縮小/拡大（3-48ページ）	[100%]（または[自動]）を選択	**[自動]**を選択

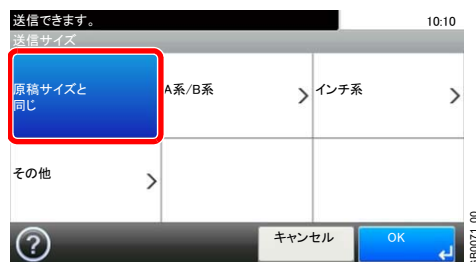
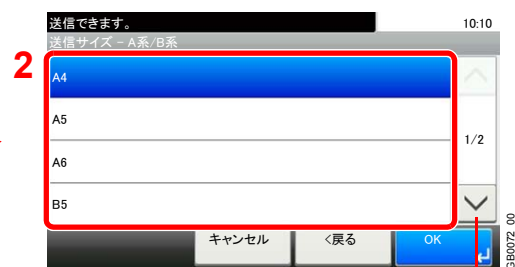
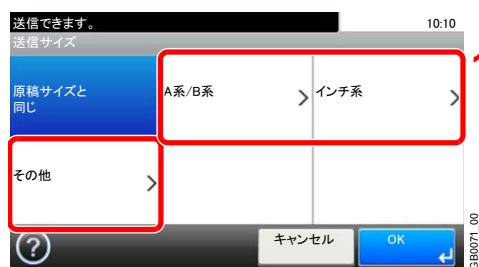
参考
原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます（縮小/拡大は行われません）。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 送信サイズを選択する

[原稿サイズと同じ]

[A系/B系]、[インチ系]、[その他]

使用するサイズを選択します。

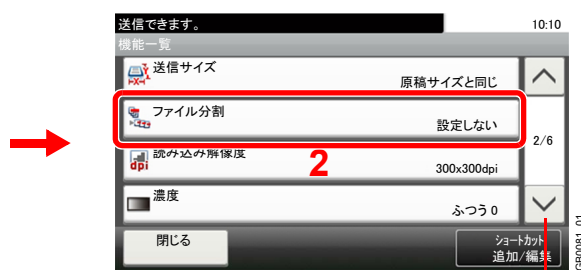
ファイル分割

読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成し、送信できます。

参考
ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf、xxx_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。

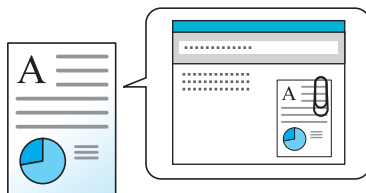
1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

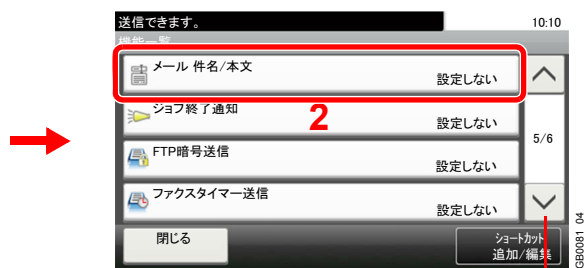
2 設定する

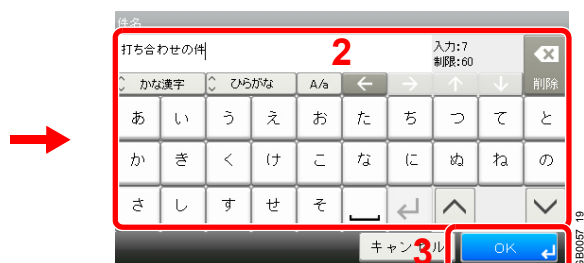
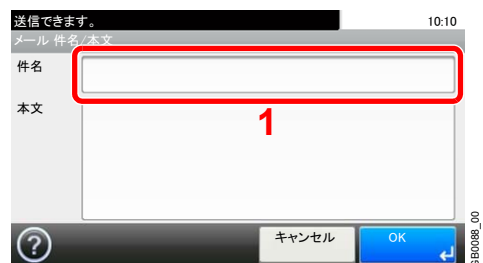
メール 件名/本文

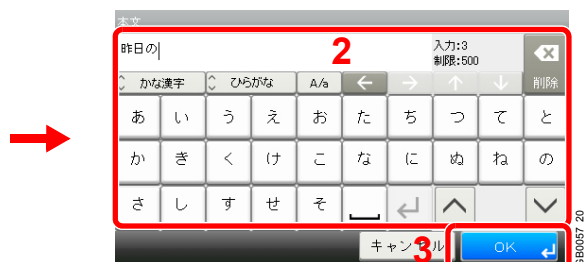
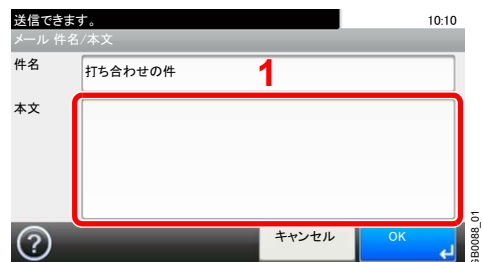
メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。

参考
件名は60文字、本文は500文字まで入力できます。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 件名を入力する

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

3 本文を入力する

4 設定する

［OK］を押します

FTP暗号送信

FTPで送信する際に画像を暗号化します。暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。

参考

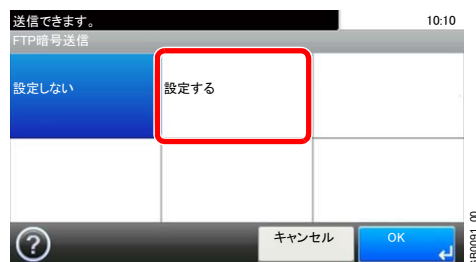
FTP暗号送信機能を使用する場合、セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定を[**使用する**]にしてください。詳しくは9-21ページのセキュアプロトコルを参照してください。

1 画面を表示する

1 6-2ページの**送信の基本操作**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

WSDスキャン

本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

参考
WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されていること、9-20ページのWSDスキャンを[使用する]に設定していることを確認してください。

パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ドライバーのインストール（Windows 7の場合）

1 画面を表示する

スタートメニューから、ネットワークを選択します。

2 インストールする

本機の機種名が表示されたアイコンを右クリックして、インストールをクリックします。

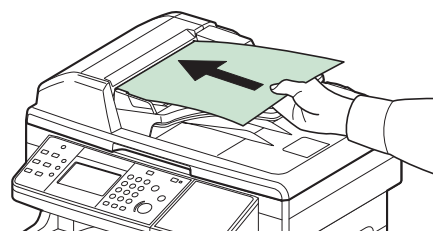
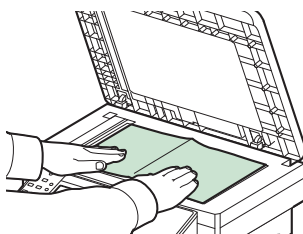
参考
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、続行をクリックしてください。

新しいハードウェアが見つかりました画面が表示された場合、キャンセルをクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、ドライバーソフトウェアのインストール画面が表示されます。画面上に、デバイスを使用する準備ができました。が表示されたら、インストール完了です。

WSDスキャンを実行する

1 送信キーを押す

2 原稿をセットする

3-10ページの原稿のセットを参照してください。

3 画面を表示する

4 スキャンする

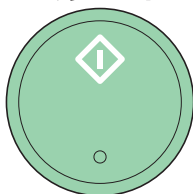
本機で操作する場合

1

2 送信先のパソコンを選択します。

リストを更新します。

それぞれの送信先のパソコンの情報を参照します。

3 スタートキーを押します。

送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができます。

パソコンから操作する場合

1

2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

TWAINを使った読み込み方法

TWAINを使って原稿を読み込む方法について説明します。

ここでは、TWAINドライバーで読み込むときの操作手順を例として説明します。WIAドライバーも同様の方法で操作してください。

1 画面を表示する

1 TWAIN対応アプリケーションを起動します。

2 アプリケーションから本機を選択し、TWAINダイアログボックスを表示します。

参考
本機の選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

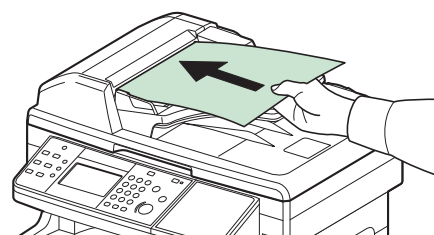
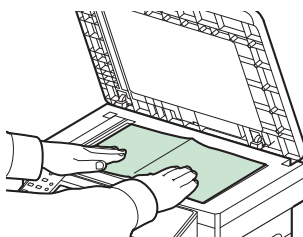
2 設定する

表示されるTWAINダイアログボックスで読み込みの設定を行います。

TWAINダイアログボックスに表示される設定内容は以下のとおりです。

項目		内容
原稿設定	原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを選択します。
	原稿方向	原稿のとじ方向を選択します。
送信設定	両面設定	片面/両面の原稿を選択します。
画質設定	カラー設定	読み込み時のカラーモードを選択します。
	解像度	読み込み時の解像度を選択します。
	画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。
画質調整	濃度	原稿の読み込み濃度を調整します。 自動ボタンは、原稿の濃度に合わせて適切な読み込み濃度を設定します。

項目		内容
設定		現在の設定の確認やよく使用する設定を登録するときに使用します。設定ボタンをクリックすると、設定画面が表示され、詳細、現在の設定を追加、選択している設定を消去のボタンが表示されます。
	詳細	現在の設定を確認できます。
	現在の設定を追加	現在の設定を名前とコメントを付けて保存します。
	設定している設定を消去	保存した設定を削除します。

3 原稿をセットする

3-10ページの**原稿のセット**を参照してください。

4 スキャンする

スキャンボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データが保存されます。

7　文書ボックスを使う

この章では、次の項目について説明します。

USBメモリーから印刷する

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

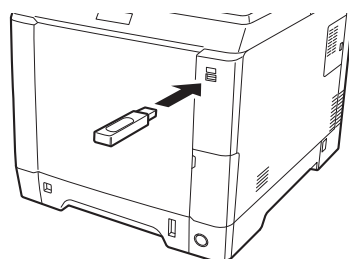
- PDFファイル（バージョン1.5）
- TIFFファイル（TIFF V6/TTN2形式）
- JPEGファイル
- XPSファイル
- 暗号化PDFファイル

印刷するPDFファイルには拡張子（.pdf）が必要です。

印刷するファイルは、3階層までのフォルダーに保存してください。

USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。

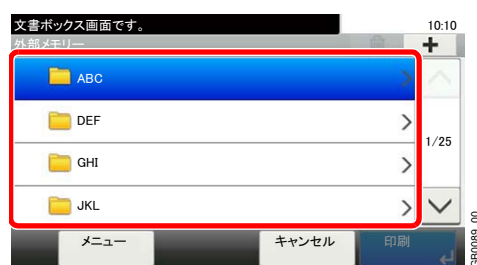
USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。USBハブを経由して接続した場合は、動作を保証しません。

1 USBメモリーを接続する

USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」が表示されたら、[はい]を押します。

重要
USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。本機以外でフォーマットした場合、「外部メモリーがフォーマットされていません。」というメッセージが表示されることがあります。

USBメモリーをフォーマットするには、8-11ページのデバイスの状態確認を参照してください。

2 画面を表示する

1 挿入したUSBメモリーを認識すると、外部メモリー画面が表示されます。

参考
画面が表示されない場合は、文書ボックスキー→[外部メモリー]を押してください。

2 印刷するファイルが保存されているフォルダーを選択して開きます。

ルートディレクトリを含め、3階層目まで表示できます。1つ上の階層に戻る場合は、[**<戻る**]を押します。

3 ファイルを選択する

印刷するファイルを選択して、[**印刷**]を押します。

4 部数の入力

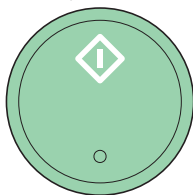
参考
部数を変更するときは、クリアキーを押して入力しなおします。

5 機能の設定

用紙選択やソートなどを設定します。

[**機能一覧**]を押すとその他の機能が表示されます。

7-8ページの**文書ボックスで使用できる機能**を参照してください。

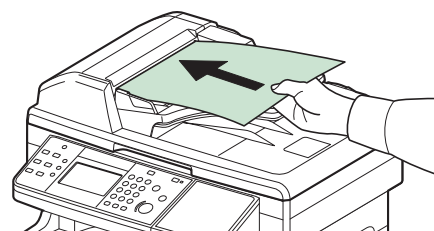
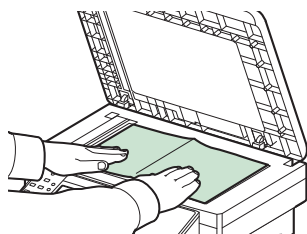
6 印刷の開始

スタートキーを押すと、印刷を開始します。

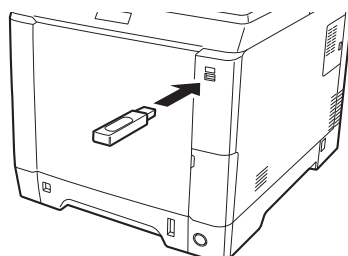
USBメモリーを取り外します。

7-7ページの**USBメモリーの取り外しかた**を参照してください。

USBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）

本機に接続したUSBメモリーに、読み込んだ画像データを保存します。
PDF、TIFF、JPEG、XPSいずれかのファイル形式が選択できます。

1 原稿をセットする

3-10ページの**原稿のセット**を参照してください。

2 USBメモリーを接続する

USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」が表示されたら、[はい]を押します。

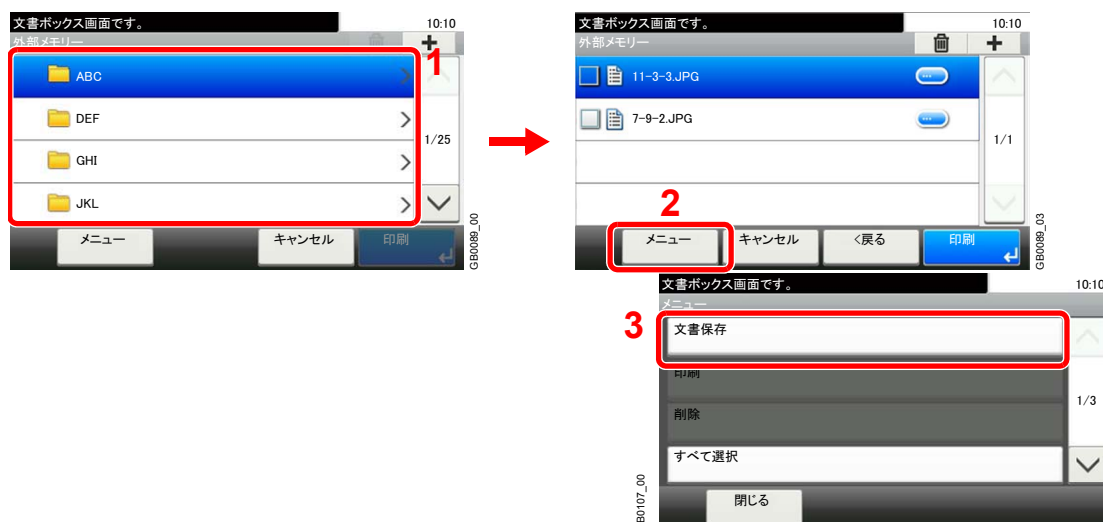
重要
USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。本機以外でフォーマットした場合、「外部メモリーがフォーマットされていません。」というメッセージが表示されることがあります。

USBメモリーをフォーマットするには、8-11ページの**デバイスの状態確認**を参照してください。

3 画面を表示する

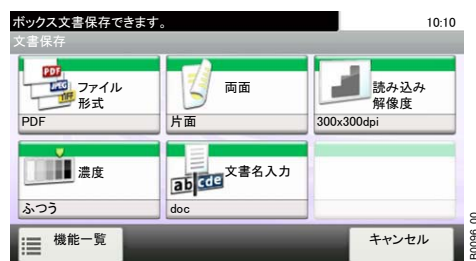
挿入したUSBメモリーを認識すると、外部メモリー画面が表示されます。

参考
画面が表示されない場合は、文書ボックスキー→[外部メモリー]を押してください。

4 保存先を選択する

文書を保存するフォルダーを選択して、[**メニュー**]→[**文書保存**]を押します。

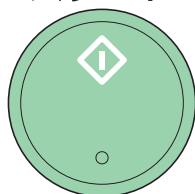
ルートディレクトリを含め、3階層目まで表示できます。1つ上の階層に戻る場合は、[**<戻る**]を押します。

参考
ディレクトリーごとに、文書とフォルダーを合わせて100件まで表示できます。100件を超えている場合は、文書を保存できません。

5 機能の設定

ファイル形式や解像度などを設定します。

[**機能一覧**]を押すとその他の機能が表示されます。

7-8ページの**文書ボックスで使用できる機能**を参照してください。

6 保存の開始

スタートキーを押すと、保存を開始します。

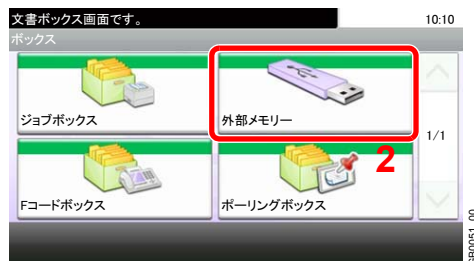
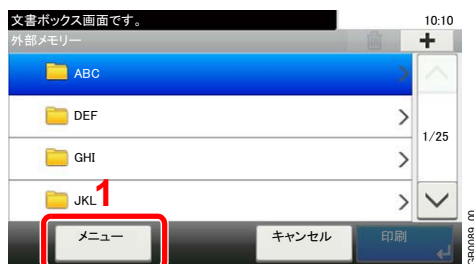
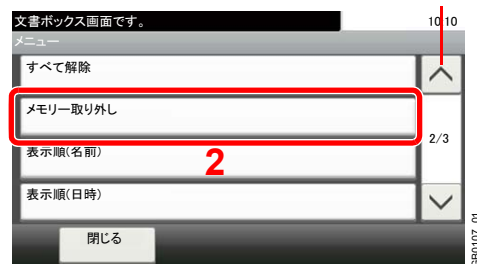
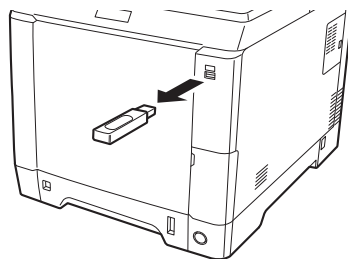
USBメモリーを取り外します。

7-7ページの**USBメモリーの取り外しかた**を参照してください。

USBメモリーの取り外しかた

USBメモリーは取り外す前に画面の操作が必要です。

重要
正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 画面を表示する

2 取り外しを選択する

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

3 USBメモリーを取り外す

「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を押し、USBメモリーを取り外します。

参考
USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

8-11ページのデバイスの状態確認を参照してください。

文書ボックスで使用できる機能

文書ボックスでよく使用する機能は、印刷画面/文書保存画面に表示されています。
また[**機能一覧**]を押すと、その他の機能が表示されます。[︿][﹀]を押して画面を切り替えます。

USBメモリーから印刷するとき

やりたいこと	参照ページ
用紙を指定して印刷したい。	用紙選択 ▶ 3-41ページ
印刷をページ順に並べたい。	ソート ▶ 3-42ページ
用紙の両面に印刷したい。	両面 ▶ 7-9ページ
カラーモードを変更したい。	カラー選択 ▶ 3-51ページ
印刷が終わったらメールで知らせてほしい。	ジョブ終了通知 ▶ 3-52ページ
印刷中のジョブを中断して、先に印刷したい。	優先印刷 ▶ 3-55ページ
PDFにパスワードを設定したい。	暗号化PDFパスワード ▶ 7-10ページ
JPEGやTIFFファイルを印刷するときの画像のサイズ（解像度）を設定したい。	JPEG/TIFF印刷方法 ▶ 7-11ページ
XPS ファイルを用紙サイズに合わせて印刷したい。	XPS印刷サイズ調整 ▶ 7-12ページ

USBメモリーに文書を保存するとき

やりたいこと	参照ページ
画像のファイル形式を選びたい。	ファイル形式 ▶ 3-49ページ
両面の原稿を自動的に読み込みたい。	両面 ▶ 3-37ページ
原稿をどのくらい細かく読み込むか設定したい。	読み込み解像度 ▶ 3-44ページ
自分で濃度を調整したい。	濃度 ▶ 3-43ページ
読み込んだ画像にファイル名を付けたい。	文書名入力 ▶ 3-54ページ
原稿のサイズを指定したい。	原稿サイズ ▶ 3-35ページ
原稿の向きを正しく指定したい。	原稿セット向き ▶ 3-36ページ
保存する画像のサイズを変更したい。	保存サイズ ▶ 7-13ページ
保存する画像のカラーモードを変更したい。	カラー選択 ▶ 3-51ページ
原稿に合わせて画質を選びたい。	原稿の画質 ▶ 3-45ページ
文字や線をはっきり読み込みたい。輪郭をぼかして読み込みたい。	シャープネス ▶ 3-46ページ
原稿の地色（文字や画像のない部分）をこくしたりうすくしたりしたい。	地色調整 ▶ 3-47ページ
保存するサイズに合わせて、原稿を自動的に縮小/拡大したい。	縮小/拡大 ▶ 3-48ページ
大量の原稿を一度にまとめて読み込みたい。	連続読み込み ▶ 3-39ページ
保存が終わったらメールで知らせてほしい。	ジョブ終了通知 ▶ 3-52ページ

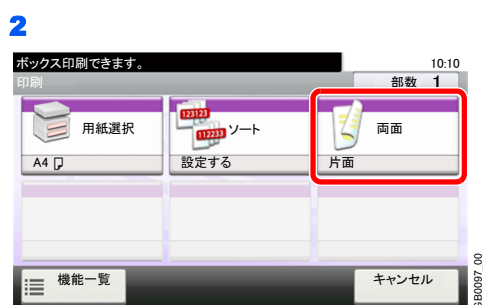
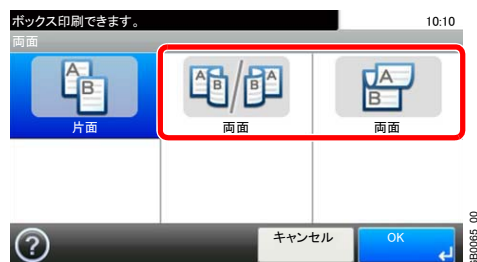
両面

文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。

両面	用紙を左/右でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。
両面	用紙を上でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。

1 画面を表示する

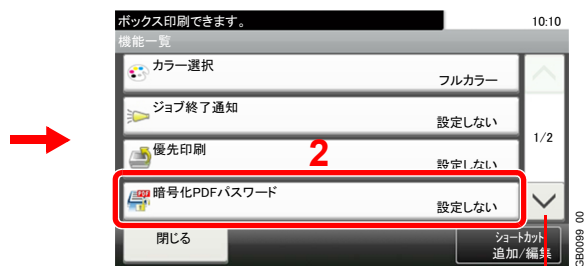
1 7-2ページの**USBメモリーから印刷する**を参照して、画面を表示します。

2

2 設定する

暗号化PDFパスワード

あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

1 画面を表示する

1 7-2ページの**USBメモリーから印刷する**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 パスワードを入力する

256文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

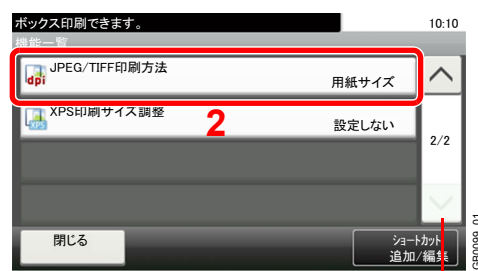
JPEG/TIFF印刷方法

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。

用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

1 画面を表示する

1 7-2ページのUSBメモリーから印刷するを参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

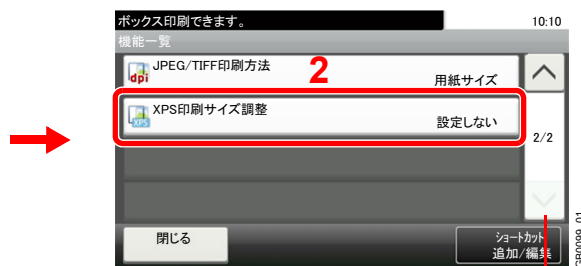
2 設定する

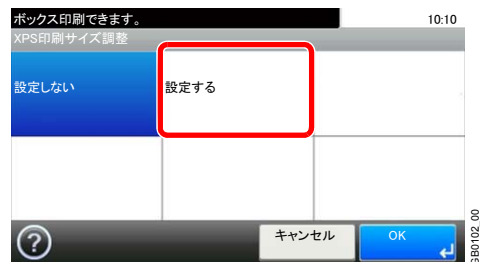
XPS印刷サイズ調整

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

1 画面を表示する

1 7-2ページのUSBメモリーから印刷するを参照して、画面を表示します。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

保存サイズ

保存する画像のサイズを選択します。

原稿サイズと同じ	原稿と同じ保存サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A4、A5、A6、B5、B6、Folioから選択します。
インチ系	Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。
その他	16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号から選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について

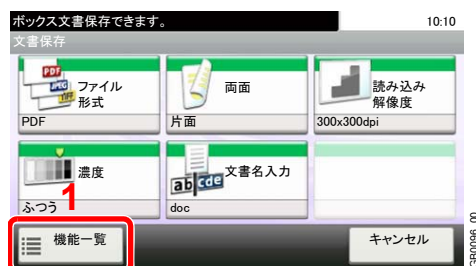
原稿サイズ（3-35ページ）、保存サイズ、縮小/拡大（3-48ページ）は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと保存するサイズが	同じとき	違うとき
原稿サイズ（3-35ページ）	必要に応じて設定	必要に応じて設定
保存サイズ	［原稿サイズと同じ］を選択	保存したいサイズを選択
縮小/拡大（3-48ページ）	［100%］（または［自動］）を選択	［自動］を選択

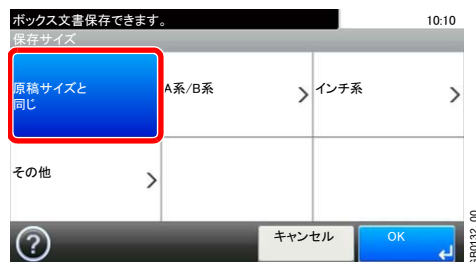
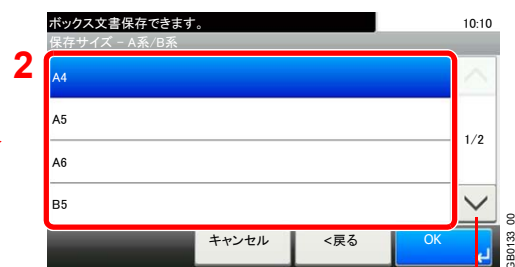
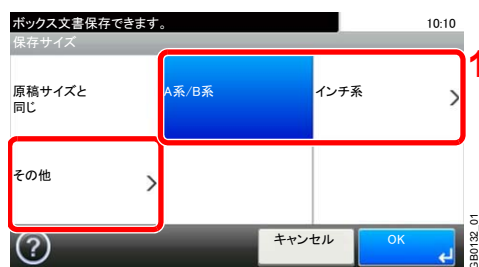
参考
原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を［100%］にすると、画像は等倍で保存されます（縮小/拡大は行われません）。

1 画面を表示する

1 7-5ページのUSBメモリーに文書を保存する（Scan to USB）を参照して、画面を表示します。

2

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

2 保存サイズを選択する

［原稿サイズと同じ］

[A系/B系]、[インチ系]、[その他]

使用するサイズを選択します。

8　ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

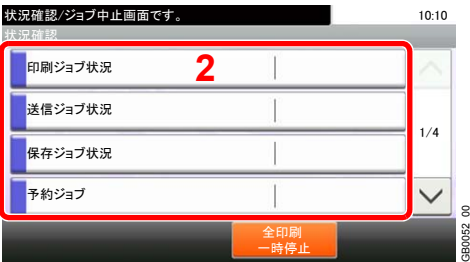
ジョブの状況確認

実行中または待機中のジョブの状況を確認します。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類に分けてタッチパネルに表示されます。

印刷ジョブ	コピー印刷 プリンター印刷 文書ボックスからの印刷 ファクス受信印刷	メール受信印刷 レポート/リスト印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷
送信ジョブ	ファクス送信 フォルダー(SMB/FTP)送信 メール送信	アプリケーション送信 混在(複合送信)
保存ジョブ	スキャン保存 ファクス保存	プリンター保存
予約ジョブ	タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブ	

1 画面を表示する

[印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]、[予約ジョブ]から確認するジョブを選択します。

2 確認する

印刷ジョブ状況画面 ▶ 8-3ページ
送信ジョブ状況画面 ▶ 8-4ページ
保存ジョブ状況画面 ▶ 8-5ページ
予約ジョブ画面 ▶ 8-5ページ

状況確認画面の内容

印刷ジョブ状況画面

No.	表示/キー	詳細
1	—	ジョブの種類を示すアイコンを示します。 コピー印刷 プリンター印刷 文書ボックスからの印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 レポート/リスト印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷
2	[中止]	印刷を中止したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
3	[...]	詳細情報を表示したいジョブの[...]を押してください。
4	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度押すと印刷が再開されます。
5	—	ジョブの状態を示します。 印刷中 印刷中(優先印刷) 印刷待機中 印刷待機中(優先印刷) 印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 ジョブのキャンセル中 原稿の読み込み中など、印刷を開始する前の状態 原稿の読み込み中など、印刷を開始する前の状態(優先印刷) 優先印刷により印刷を一時中断中
6	[閉じる]	印刷ジョブ状況画面を閉じます。

送信ジョブ状況画面

No.	表示/キー	詳細
1	—	ジョブの種類を示すアイコン ファクス送信 フォルダー(SMB/FTP)送信 メール送信 アプリケーション送信 混在(複合送信)
2	[メニュー]	このキーを押すと、[**優先送信**]が表示されます。ファクスジョブを優先して送信できます。 すぐに送信したいファクスジョブを一覧で選択して、[**メニュー**]→[**優先送信**]の順に押してください。
3	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
4	[...]	詳細情報を表示したいジョブの[...]を押してください。
5	—	ジョブの状態 送信中 送信待機中 即時指定したジョブが送信を開始するまでの送信待機中 送信の一時停止やエラーにより送信を一時停止 ジョブのキャンセル中 原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態
6	[閉じる]	送信ジョブ状況画面を閉じます。

保存ジョブ状況画面

No.	表示/キー	詳細
1	—	ジョブの種類を示すアイコン スキャン保存 プリンター保存 ファクス保存
2	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
3	[...]	詳細情報を表示したいジョブの[...]を押してください。
4	—	ジョブの状態 保存中 保存の一時停止やエラーにより保存を一時停止 ジョブのキャンセル中 原稿の読み込み中など、保存を開始する前の状態
5	[閉じる]	保存ジョブ状況画面を閉じます。

予約ジョブ画面

No.	表示/キー	詳細
1	—	ジョブの種類を示すアイコン ファクス送信
2	[メニュー]	このキーを押すと、[**今すぐ開始**]が表示されます。 すぐに送信したいジョブを一覧で選択して、[**メニュー**]→[**今すぐ開始**]の順に押してください。
3	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
4	[...]	詳細情報を表示したいジョブの[...]を押してください。
5	—	ジョブの状態 送信待機中
6	[閉じる]	予約ジョブ画面を閉じます。

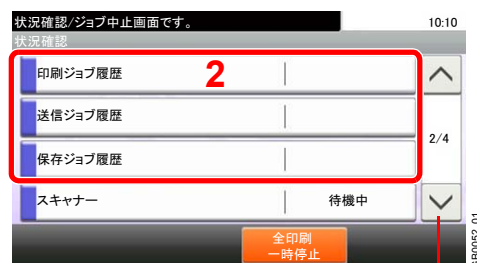
ジョブの履歴を確認する

終了したジョブの履歴を確認します。

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブの3種類の履歴画面に分けて表示されます。

印刷ジョブ	コピー印刷 プリンター印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 文書ボックスからの印刷 レポート/リスト印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷	送信ジョブ	ファクス送信 フォルダー（SMB/FTP）送信 メール送信 アプリケーション送信 混在（複合送信）
		保存ジョブ	スキャン保存 ファクス保存 プリンター保存

1 画面を表示する

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

［**印刷ジョブ履歴**］、［**送信ジョブ履歴**］、［**保存ジョブ履歴**］から確認するジョブを選択します。

2 確認する

それぞれのジョブの詳細情報を参照します。

終了するときは［**閉じる**］を押します。

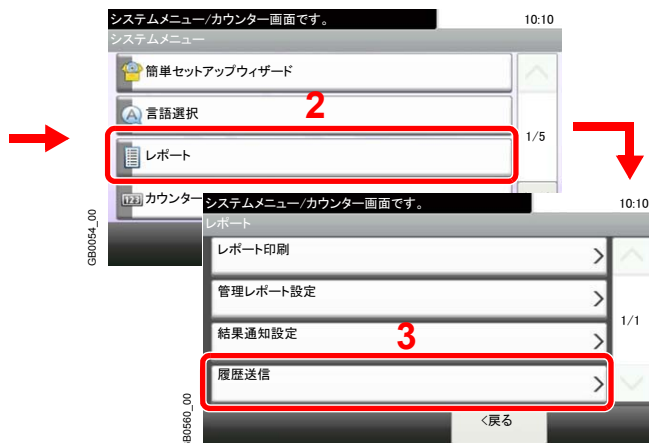
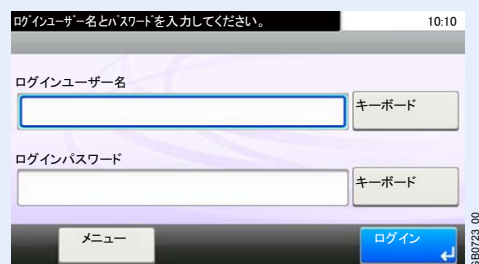
参考
ジョブの履歴はメールで送信できます。

8-7ページの**ジョブの履歴を送信する**を参照してください。

ジョブの履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信します。
必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

参考
ジョブの履歴を送信するには、COMMAND CENTERでSMTPを**オン**にしてください。2-24ページの**メール設定**を参照してください。

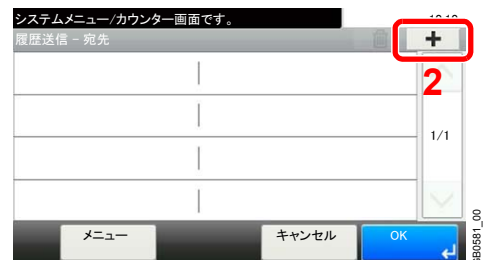
1 画面を表示する

参考
ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインする必要があります。

2 設定する

送信先の設定 ▶ 8-8ページ
ジョブ履歴の自動送信 ▶ 8-9ページ
ジョブ履歴の手動送信 ▶ 8-9ページ
ジョブ履歴メールの件名 ▶ 8-10ページ

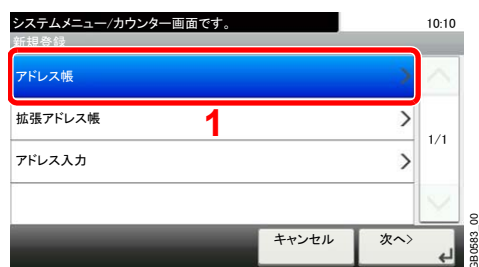
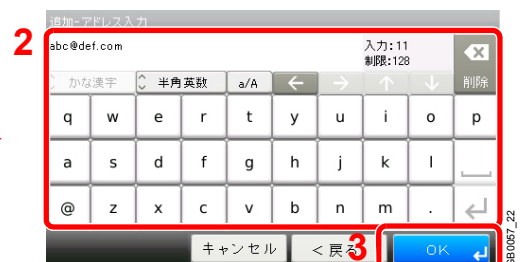
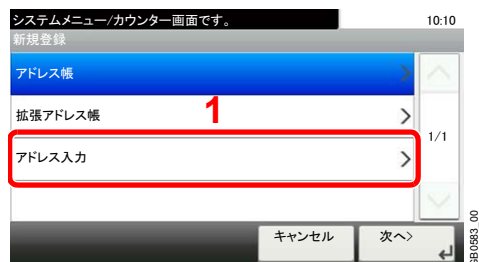
送信先の設定

ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。

1 画面を表示する

1 8-7ページのジョブの履歴を送信するを参照して、画面を表示します。

2

2 メールの宛先を選択する

アドレス帳から選択する

新規メールアドレスを入力する

128文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

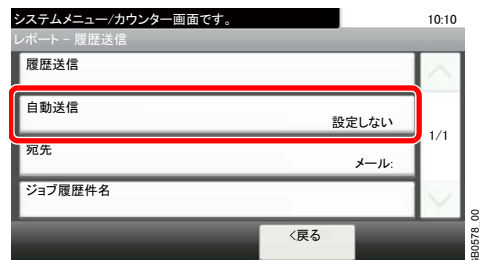
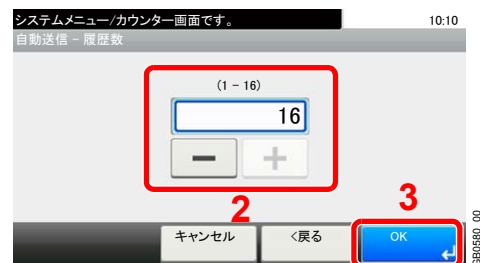
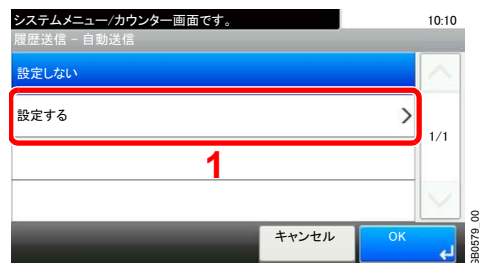
3 宛先を決定する

ジョブ履歴の自動送信

ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。

1 画面を表示する

1 8-7ページの**ジョブの履歴を送信する**を参照して、画面を表示します。

2

2 設定する

[**設定する**]を選択し、ジョブ履歴の件数を入力します。1～16の範囲で入力できます。

ジョブ履歴の手動送信

設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。

1 画面を表示する

8-7ページの**ジョブの履歴を送信する**を参照して、画面を表示します。

2 送信する

ジョブ履歴が送信されます。

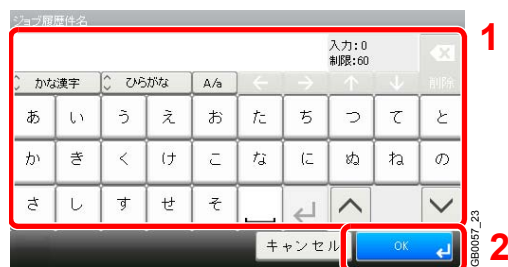
ジョブ履歴メールの件名

ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。

1 画面を表示する

1 8-7ページの**ジョブの履歴を送信する**を参照して、画面を表示します。

2

2 件名を入力する

60文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

デバイスの状態確認

本機を構成するデバイスの状態を確認します。

1 画面を表示する

確認するデバイスを選択します。

2 確認する

スキャナー

原稿送り装置での原稿読み込み状態やエラー情報（紙づまり、カバー開など）が表示されます。

プリンター

紙づまりやトナー切れ、用紙切れなどのエラー情報や、待機中、印刷中などの状態が表示されます。

ファクス

- 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。
- [**回線を切る**]を押すと、送/受信中のファクスを中止することができます。

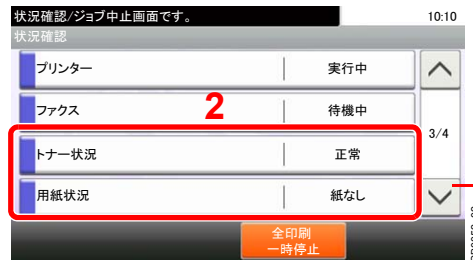
詳しくは、ファクス使用説明書を参照してください。

外部メモリー

- 本機に接続したUSB**メモリー**の使用量/全容量が表示されます。
- [**メニュー**]→[**フォーマット**]を押すと、USB**メモリー**をフォーマットします。
- [**メモリーの取り外し**]を押すと、USB**メモリー**を安全に取り外すことができます。7-7ページのUSB**メモリーの取り外しかた**と同じ操作です。

トナーや用紙などの残量確認

タッチパネルで、トナーや用紙の有無などを確認します。

1 画面を表示する

確認する消耗品を選択します。

2 確認する

トナー状況

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

各色のトナー残量が100～0％で表示されます。また、廃棄トナーボックスの状態が確認できます。

用紙状況

給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量が確認できます。用紙残量は（）、*、*、（）（なし）の4段階で表示されます。カセットのいずれかに用紙が入っていない場合、用紙状況は「紙なし」と表示されます。

* とはオプションのペーパーフィーダー（カセット2～3）のみ表示されます。

9　設定･登録･ユーザー管理を行う

この章では、次の項目について説明します。

システムメニュー

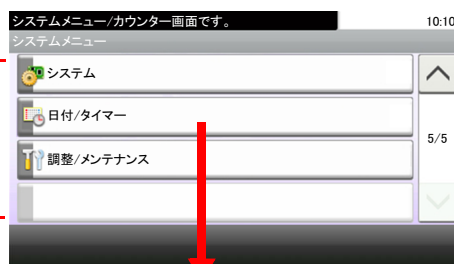
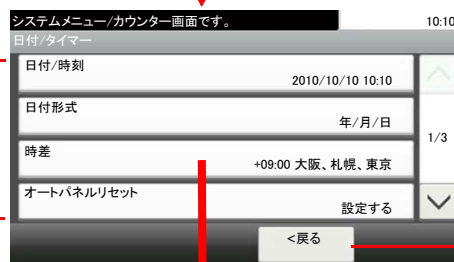
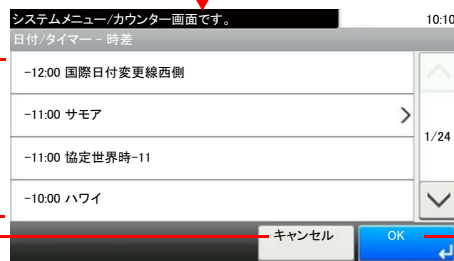
本機の動作全般に関わる設定を行います。

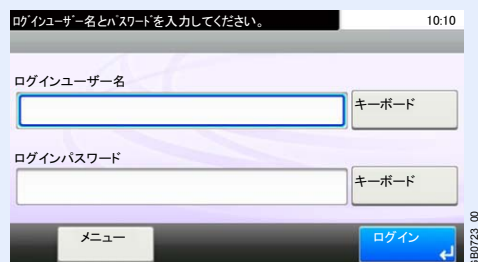
操作方法

システムメニューの操作方法は、次のとおりです。

1 画面を表示する

◈ システムメニュー / カウンター

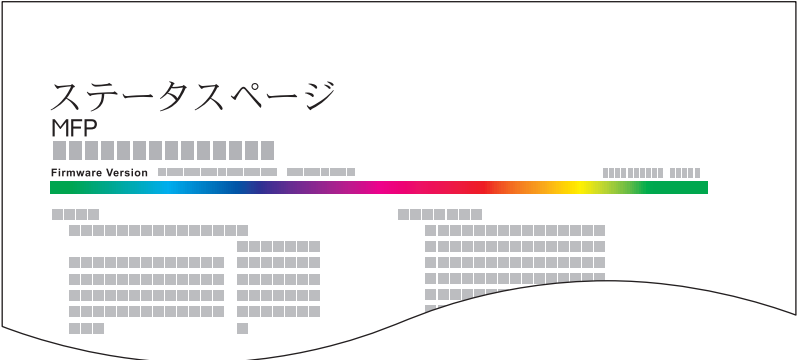
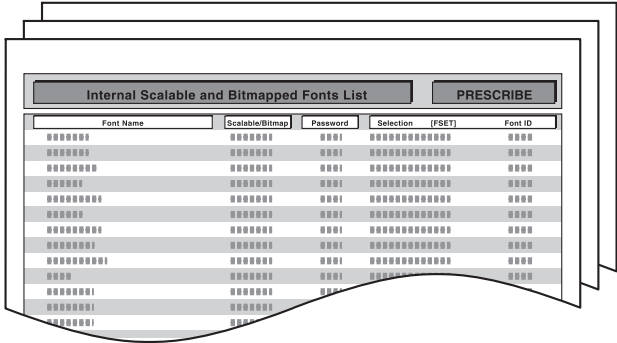
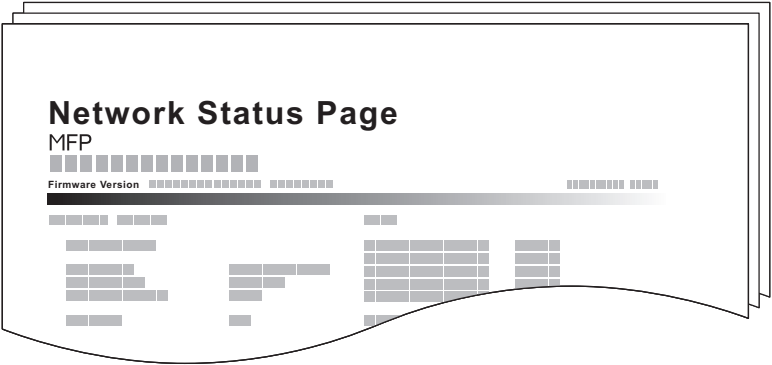
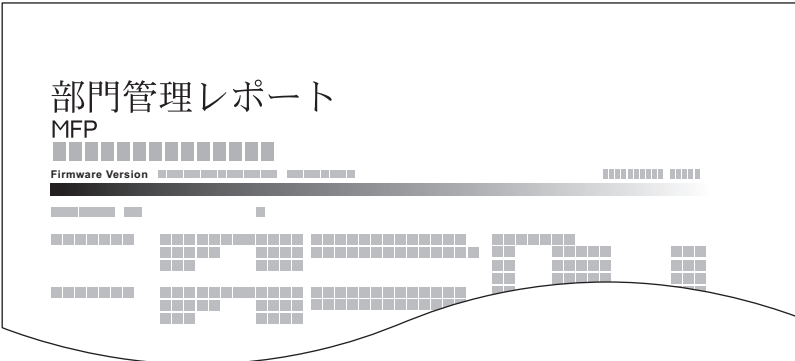
2 設定する

参考

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

次の**システムメニューの項目**を参照して、必要な設定を行ってください。

システムメニューの項目

設定できる項目は次のとおりです。

設定		説明	参照ページ
簡単セットアップウィザード		ウィザード形式で用紙、省エネ、ファクスの設定を行います。	3-29ページ
言語選択		タッチパネルに表示される言語を選択します。	9-5ページ
レポート		本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。	9-5ページ
カウンター		印刷ページ数および読み込みページ数を参照します。	3-14ページ
ユーザー情報		現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。	9-7ページ
カセット/手差しトレイ設定		カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。	9-7ページ
共通設定		本機全般について設定します。	9-9ページ
	初期画面	電源を入れて最初に表示される画面（初期画面）を選択します。	9-9ページ
	音設定	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。	9-9ページ
	原稿設定	原稿に関する設定を行います。	9-9ページ
	用紙設定	用紙に関する設定を行います。	9-9ページ
	機能初期値	電源を入れてウォームアップが終了した後やリセットキーを押した後に、自動的に設定される内容を初期値と呼びます。 ここでは、コピー機能や送信機能など、本機で使用できる機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。 **重要**：変更した設定をすぐに使用したい場合は、機能の画面でリセットキーを押してください。	9-11ページ
	部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。	9-12ページ
	エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを選択します。	9-13ページ
	入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。	9-13ページ
	キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	9-13ページ
コピー		コピー機能に関する設定を行います。	9-13ページ
送信		送信機能に関する設定を行います。	9-14ページ
文書ボックス		ジョブボックスやFコードボックスに関する設定を行います。ジョブボックスの詳細は、5-1ページの**プリントする**を参照してください。Fコードボックスの詳細は、ファクス使用説明書を参照してください。	—
ファクス		ファクス機能に関する設定を行います。詳細は、**ファクス使用説明書**を参照してください。	—
お気に入り/アプリケーション		本機は、日常の業務をより効率的に行うためのアプリケーションをインストールして使用することができます。	9-14ページ
インターネット		アプリケーションインターネットブラウザーに関する設定を行います。	9-15ページ
アドレス帳/ワンタッチ		アドレス帳とワンタッチキーの設定を行います。アドレス帳の詳細は6-24ページの**アドレス帳の登録**、ワンタッチキーの詳細は6-33ページの**ワンタッチキーの登録**を参照してください。	—
ユーザー/部門管理		本機の管理に関する設定を行います。ユーザー管理の詳細は9-31ページの**ユーザー管理を行う**、部門管理の詳細は9-57ページの**部門管理を行う**を参照してください。	—

設定		説明	参照ページ
プリンター		パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	9-15ページ
システム		本機のシステムについて設定します。	9-17ページ
	ネットワーク	ネットワークに関する設定を行います。	9-17ページ
	インターフェイスブロック設定	USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	9-22ページ
	セキュリティーレベル	セキュリティーレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	―
	再起動	主電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください（パソコンの再起動と同様です）。	―
	RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	9-22ページ
	オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。	9-22ページ
	オプション機能	本機にインストールされているアプリケーションの使用を開始します。	11-5ページ
日付/タイマー		日付や時間に関する設定を行います。	9-23ページ
調整/メンテナンス		印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	9-23ページ

言語選択

項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を選択します。 設定値：**日本語、English**

レポート

本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。

レポート印刷

項目	説明
ステータスページ	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。
フォントリスト	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。
ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。

項目	説明
サービスステータスページ	サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。
部門管理レポート	部門管理レポートを印刷します。部門管理を実行してる際に、全部門で集計されたページ数を確認できます。 参考：部門管理レポートを印刷するには、管理者の権限でログインする必要があります。デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

結果通知設定

項目		説明
送信結果レポート		送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。
	メール/フォルダー	メール送信またはフォルダー送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。 設定値：**設定しない、設定する、エラー時のみ**
	ファクス	送信するごとにレポートを印刷して、正常に送信されたかを確認できます。詳細は、**ファクス使用説明書**を参照してください。
	送信前の中止レポート	送信前にキャンセルをしたとき、レポートを印刷するかどうかを設定できます。 設定値：**設定しない、設定する**
終了通知設定		ジョブ終了通知に、送信した画像を添付します。 設定値：**画像を添付しない、画像の添付**

履歴送信

ジョブ履歴をメールで送信します。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

詳しくは、8-7ページの**ジョブの履歴を送信する**を参照してください。

ユーザー情報

現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。

ユーザー管理についての詳細は、9-31ページの**ユーザー管理を行う**を参照してください。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。32文字まで入力できます。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを変更します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを変更します。128文字まで入力できます。
簡単ログイン	簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。
マイパネル	ユーザーごとに使いやすく設定した環境を登録します。ネットワークユーザーは表示しません。
グループ名	グループ認可を有効にしている場合は、グループリストに表示される名前を参照します。
グループID	グループ認可を有効にしている場合は、グループリストに表示されるIDを参照します。

カセット/手差しトレイ設定

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

カセット1

項目	説明
用紙サイズ	カセット1に補給する用紙のサイズを設定します。 設定値 A系/B系：A4、A5、A6、B5、Folioから選択します。 **インチ系**：Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。 **その他**：16K、ISO B5、Envelope C5、カスタムから選択します。 参考：[**用紙サイズ**]は、カセット1のサイズダイヤルを「Other」に設定した場合のみ表示されます。 [**カスタム**]の登録方法は、9-9ページの**カスタム用紙サイズ登録**を参照してください。
用紙種類	カセット1に補給する用紙の種類を設定します。 設定値：**普通紙**(105 g/m²以下)、**再生紙**、**プレプリント**、**ボンド紙**、**カラー紙**、**パンチ済み紙**、**レターヘッド**、**厚紙**(106 g/m²以上)、**上質紙**、**カスタム1～8** 参考：プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは9-10ページの**特定用紙種類の動作設定**を参照してください。 用紙種類を[**普通紙**]から変更する場合、9-10ページの**用紙種類の設定**を参照してください。 カスタム1～8の登録方法は、9-10ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

カセット2～3

項目	説明
用紙サイズ	オプションのペーパーフィーダー（カセット2～3）に補給する用紙のサイズを設定します。 設定値 A系/B系：A4、A5、B5、Folioから選択します。 **インチ系**：Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。 **その他**：16K、ISO B5、Envelope #10、、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタムから選択します。 参考：[**用紙サイズ**]は、カセット2～3のサイズダイヤルを「Other」に設定した場合のみ表示されます。 [**カスタム**]の登録方法は、9-9ページの**カスタム用紙サイズ登録**を参照してください。
用紙種類	オプションのペーパーフィーダー（カセット2～3）に補給する用紙の種類を設定します。 設定値：**普通紙**（105 g/m²以下）、**ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙**（106 g/m²以上）、**加工紙、上質紙、カスタム1～8** 参考：[**ラベル紙**]、[**はがき**]、[**封筒**]、[**加工紙**]は、オプションのペーパーフィーダー（マルチ）を装着した場合のみ表示されます。 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは9-10ページの**特定用紙種類の動作設定**を参照してください。 用紙種類を[**普通紙**]から変更する場合、9-10ページの**用紙種類の設定**を参照してください。 [**カスタム1～8**]の登録方法は、9-10ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

手差しトレイ

項目	説明
用紙サイズ	手差しトレイに補給する用紙のサイズを設定します。 設定値 A系/B系：A4、A5、A6、B5、B6、Folioから選択します。 **インチ系**：Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。 **その他**：16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタムから選択します。 参考：[**カスタム**]の登録方法は、9-9ページの**カスタム用紙サイズ登録**を参照してください。
用紙種類	手差しトレイに補給する用紙の種類を設定します。 設定値：**普通紙**（105 g/m²以下）、**OHPフィルム、薄紙**（64 g/m²以下）、**ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙**（106 g/m²以上）、**加工紙、上質紙、カスタム1～8** 参考：プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは9-10ページの**特定用紙種類の動作設定**を参照してください。 用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、9-10ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

共通設定

本機全般について設定します。

初期画面

項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面（初期画面）を選択します。 設定値：コピー、送信、ファクス、文書ボックス、お気に入り/アプリケーション、状況確認

音設定

項目		説明
ブザー		本機の操作中に鳴る報知音について設定します。
	音量	報知音の音量を決定します。 設定値：0（消音）、1（小）、2、3（中）、4、5（大）
	操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを押したときに鳴る音、またはオートクリアが働くときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する
	正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する、ファクス受信時のみ
	準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する
	注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値：使用しない、使用する

原稿設定

項目	説明
カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 設定値：よこ50～356 mm、たて50～216 mm
原稿サイズ初期値	原稿サイズの設定で、初期値として使用される原稿サイズを設定します。 設定値 A系/B系：A4、A5、A6、B5、B6、Folioから選択します。 インチ系：Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio IIから選択します。 その他：16K

用紙設定

項目	説明
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。登録したサイズは、用紙サイズ選択時に表示されます。 設定値 カセット1サイズ：よこ 105～216 mm、たて 148～356 mm カセット2～3サイズ：よこ 92～216 mm、たて 162～356 mm 手差しトレイサイズ：よこ 70～216 mm、たて 148～356 mm

項目	説明
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ（用紙の厚さ）を選択します。 また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 設定値は、**用紙種類の設定について**を参照してください。
優先給紙元	優先して使用する給紙元を選択します。 設定値：**カセット1～3、手差しトレイ**
用紙選択	原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。 設定値 **自動**：原稿と同じサイズの用紙が入ったカセットが自動的に選択されます。 **優先給紙元**：**優先給紙元**で設定されている給紙元が選択されます。
自動用紙の用紙種類（カラー） **自動用紙の用紙種類（白黒）**	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。例えば［**普通紙**］を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットされている給紙元が選択されます。［**全用紙種類**］を選択すると、用紙の種類に関係なく、指定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。 設定値：**全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、加工紙、上質紙、カスタム1～8**
特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で［**印刷方向を合わせる**］を選択し、仕上がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、［**速度優先**］を選択します。 ［**印刷方向を合わせる**］を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。 例：レターヘッドにコピーする場合 原稿　用紙　仕上がり　カセット　手差しトレイ 原稿　用紙　仕上がり　カセット　手差しトレイ 設定値：**印刷方向を合わせる、速度優先**

用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量（g/m²）、用紙種類	用紙の重さ	秤量（g/m²）、用紙種類
軽い	64 g/m²以下	重い1	106 g/m²～135 g/m²
普通1	60 g/m²～75 g/m²	重い2	136 g/m²～163 g/m²
普通2	76 g/m²～90 g/m²	重い3	164 g/m²以上
普通3	91 g/m²～105 g/m²	非常に重い	OHPフィルム

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	カラー紙	普通1
OHPフィルム	非常に重い	パンチ済み紙	普通1
薄紙	軽い	レターヘッド	普通2
ラベル紙	重い1	封筒	重い2
再生紙	普通1	厚紙	重い2
プレプリント	普通2	加工紙	普通3
ボンド紙	普通3	上質紙	普通1
はがき	重い1	カスタム1 ～ 8	普通1

また、カスタム1 ～ 8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		詳細
カスタム1～8	両面印刷	両面印刷するかどうか設定します。 設定値：許可する、禁止する
	名前	16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。

機能初期値

項目	説明
ファイル形式	送信するファイル形式の初期値を選択します。 設定値：PDF、TIFF、JPEG、XPS
原稿セット向き	原稿セット向きの初期値を選択します。 設定値：上辺を奥向き、上辺を左向き
ソート	ソートの初期値を選択します。 設定値：設定しない、設定する
ファイル分割	ファイル分割の初期値を選択します。 設定値：設定しない、ページごと
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値：600 × 600 dpi、400 × 400 dpi ウルトラファイン、300 × 300 dpi、200 × 400 dpi スーパーファイン、200 × 200 dpi ファイン、200 × 100 dpi ノーマル
カラー選択（コピー）	コピーするときのカラーモードの初期値を選択します。 設定値：自動カラー、フルカラー、白黒
カラー選択（送信/保存）	原稿を読み込むときのカラーモードの初期値を選択します。 設定値：自動（カラー/グレー）、自動（カラー/白黒）、フルカラー、グレースケール、白黒
原稿の画質	原稿の画質の初期値を選択します。 設定値：文字+写真、写真、文字、図表/地図、文字（OCR用）、プリンター印刷物
地色調整	地色調整の初期値を選択します。 設定値：設定しない、自動、手動（こく 5）
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値：設定しない、設定する

項目	説明
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値：100%、**自動**
連続読み込み	連続読み込みの初期値を選択します。 設定値：**設定しない**、**設定する**
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前（名前の初期値）を設定します。また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も選択できます。 設定値 **ファイル名**：32文字以内で入力できます。 **付加情報**：**なし**、**日時**、**番号**、**ジョブ番号 & 日時**、**日時 & ジョブ番号**
メール 件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文（件名と本文の初期値）を設定します。 設定値 **件名**：60文字以内で入力できます。 **本文**：500文字以内で入力できます。
FTP暗号送信	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。 設定値：**設定しない**、**設定する** 参考：セキュアプロトコルの[SSL]の設定が[**使用する**]の場合、表示されます。
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ（解像度）の初期値を設定します。 設定値：**用紙サイズ**、**画像解像度**、**印刷解像度**
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値：**設定しない**、**設定する**
詳細設定	—
画質	送信・保存する画像のファイル形式を選択するときの、画質の調整範囲の初期値を設定します。 設定値：**1 低画質（高圧縮）**、2、3、4、**5 高画質（低圧縮）**
PDF/A	送信・保存する画像のファイル形式を選択するときの、PDF/Aの初期値を設定します。 設定値：**使用しない**、PDF/A-1a、PDF/A-1b

* 　変更した設定をすぐに使用したい場合は、機能の画面でリセットキーを押してください。

部数制限

項目	説明
部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。 設定値：1～999部

エラー処理設定

項目	説明
両面エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を選択します。 設定値 **片面印刷**：片面印刷で印刷します。 **エラーで停止**：エラーメッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を選択します。 設定値 **無視する**：設定を無視して印刷します。 **エラーで停止**：エラーメッセージが表示され、印刷を停止します。

入力長さ単位

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。 設定値：mm、inch

キーボード入力方式

項目	説明
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。 設定値：**ローマ字漢字、かな漢字入力**

コピー

コピー機能に関する設定を行います。

項目	説明
自動用紙動作設定	用紙選択が［**自動**］に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。* 設定値 **最適サイズ**：原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 **原稿サイズと同じ**：倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更（縮小/拡大）するかどうかを設定します。* 設定値：**設定しない、設定する**
コピー - 原稿送り装置動作	原稿送り装置で原稿を読み込む際、速さを優先するか、画像のきれいさを優先するかを設定できます。 設定値：**速度優先、画質優先**

* 変更した設定をすぐに使用したい場合は、機能の画面でリセットキーを押してください。

送信

送信機能に関する設定を行います。

項目		説明
送信前の宛先確認		送信するとき、スタートキーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。 設定値：**設定しない、設定する**
新規宛先の入力確認		新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。 設定値：**設定しない、設定する**
送信控え転送		送信するとき、原稿を同時に別の宛先に送って保存するかどうかを設定します。
	転送	転送する条件を設定します。条件は複数選択できます。 設定値 **転送：設定しない、設定する** **条件：ファクス、メール、フォルダー（SMB）、フォルダー（FTP）**
	宛先	原稿を保存する宛先を設定します。[+]を押して宛先を追加してください。 宛先は次の方法から選びます。 ・ アドレス帳 ・ 拡張アドレス帳 ・ アドレス入力（メール） ・ アドレス入力（フォルダー）
カラーTIFF圧縮方式		本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。 設定値：**TIFF V6、TTN2**
初期画面		送信キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。 設定値：**宛先、アドレス帳、拡張アドレス帳、ワンタッチ**

お気に入り/アプリケーション

本機は、日常の業務をより効率的に行うためのアプリケーションをインストールして使用することができます。アプリケーションの詳細につきましては、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

項目			説明
初期画面			お気に入り/アプリケーションキーを押すと、最初に表示される画面を設定します。 設定値：**お気に入り、アプリケーション、アプリケーション1～5**（使用しているアプリケーション）
アプリケーション			アプリケーションのインストール、起動、停止、削除を行います。 すでにインストールされているアプリケーションが一覧で表示されます。 [**詳細**]を押すと、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。
	メニュー	新規登録	アプリケーションをインストールします。 [詳細]を押すと、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。 参考：アプリケーションをインストールする場合は、アプリケーションが保存されているUSBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。 USB メモリーを取り外す場合は、[**メモリー取り外し**]を押し、「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたらUSB メモリーを取り外します。
		起動	一覧で選択したアプリケーションを起動します。必要に応じて、ライセンスキーを入力します。
		停止	一覧で選択したアプリケーションを停止します。
		レポート印刷	インストールされているアプリケーションの情報を印刷します。アプリケーション名、ID、バージョンなどの情報が確認できます。
		削除	一覧で選択したアプリケーションを削除します。

インターネット

アプリケーションインターネットブラウザーの設定を行います。

項目		説明
プロキシー		プロキシーを設定します。 設定値：**使用しない**、**使用する**
	同じプロキシーを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。同じプロキシーサーバーを使用しない場合は[**使用しない**]を選択してください。 設定値：**使用しない**、**使用する**
	HTTPプロキシーサーバー	プロキシーサーバー(HTTP)を設定します。 設定値：(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	HTTPSプロキシーサーバー	プロキシーサーバー(HTTPS)を設定します。「同じプロキシーを使用」の設定が[**使用しない**]の場合に設定できます。 設定値：(プロキシーのアドレスとポート番号を入力します)
	プロキシー未使用ドメイン	プロキシーを使用しないドメインを設定します。 設定値：(ドメインを入力します)

プリンター

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

項目		説明
エミュレーション		本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを選択します。 設定値：PCL6、KPDL、KPDL(**自動**)
	KPDLエラーレポート	KPDLエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値：**設定しない**、**設定する**
カラー設定		ステータスレポートの印刷をカラーかまたは白黒かを選択できます。 設定値：カラー、白黒
エコプリント		エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値：**設定しない**、**設定する**
A4/Letter**の共通使用**		サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 **設定しない**：A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 **設定する**：A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。
両面印刷		両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値：**片面**、**両面長辺とじ**、**両面短辺とじ**
部数		印刷部数を1～999部まで設定します。 設定値：1～999部
印刷向き		印刷方向を[**たて**]または[**よこ**]に設定します。 設定値：**たて**、**よこ**
ワイドA4		この設定を[**設定する**]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL 6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値：**設定しない**、**設定する**

項目	説明
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ（印刷）を行います。この待ち時間を5～495秒の範囲で設定します。 設定値：5～495秒
改行（LF）動作	本機が改行コード（文字コード0AH）を受信したときの動作を設定します。 設定値：**改行（LF）のみ**、**改行（LF）+復帰（CR）**、**改行（LF）を無視する**
復帰（CR）動作	本機が復帰コード（文字コード0DH）を受信したときの動作を設定します。 設定値：**復帰（CR）のみ**、**改行（LF）+復帰（CR）**、**復帰（CR）を無視する**
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 **自動**：用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 **固定**：選択した給紙元の用紙で印刷します。
光沢モード	光沢モードを[**高い**]に設定すると、印刷物の光沢を増すことができます。ただし、印刷時間が長くなります。 設定値：**低い**、**高い** **重要**：[**高い**]は、用紙種類が[**ラベル紙**]や[**OHPフィルム**]以外の設定で有効です（9-7ページの**カセット/手差しトレイ設定**を参照）。 光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙にシワが入ることがあります。その場合はシワの入りにくい、厚めの用紙に代えてみてください。

システム

本機のシステムについて設定します。

ネットワーク

ネットワークに関する設定を行います。

ホスト名

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。

TCP/IP設定

項目		説明
TCP/IP		TCP/IPプロトコルの使用を設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
IPv4設定		TCP/IP（IPv4）でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[**使用する**]の場合、表示されます。*
	DHCP	DHCP（IPv4）サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	Bonjour	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	IPアドレス	IPアドレスを入力します。DHCPの設定が[**設定する**]の場合、現在のIPアドレスが表示され、変更することができません。IPアドレスを入力するときは、DHCPの設定を[**設定しない**]にしてください。 設定値：**###.###.###.###**
	サブネットマスク	サブネットマスクアドレスを入力します。DHCPの設定が[**設定する**]の場合、現在のサブネットマスクが表示され、変更することができません。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定を[**設定しない**]にしてください。 設定値：**###.###.###.###**
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。DHCPの設定が[**設定する**]の場合、現在のデフォルトゲートウェイが表示され、変更することができません。デフォルトゲートウェイを入力するときは、DHCPの設定を[**設定しない**]にしてください。 設定値：**###.###.###.###**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目		説明
IPv6設定		TCP/IP（IPv6）でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[**使用する**]の場合、表示されます。*
	IPv6	IPv6の使用を設定します。 設定値：**使用しない**、**使用する**
	手動設定	TCP/IP（IPv6）のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。[IPv6]の設定が[**使用する**]の場合、表示されます。 設定値 **IPアドレス（手動）**：（コロンで区切られた128ビットの数字） **プレフィックス長**：0～128 **デフォルトゲートウェイ**：（デフォルトゲートウェイを入力します） 参考：[**デフォルトゲートウェイ**]は[RA（Stateless）]の設定が[**使用しない**]の場合、表示されます。
	RA（Stateless）	RA（Stateless）を使用するかどうかを設定します。[IPv6]の設定が[**使用する**]の場合、表示されます。 [**使用する**]に設定した場合、[**IPアドレス（Stateless）/プレフィックス長**]→[**IPアドレス1～5**]が表示されます。 設定値：**使用しない**、**使用する**
	DHCP	DHCP（IPv6）サーバーを使用するかどうかを設定します。[IPv6]の設定が[**使用する**]の場合、表示されます。 設定値：**使用しない**、**使用する**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目		説明
プロトコル詳細		ネットワークに関する次の機能の設定を行います。[TCP/IP]が[**使用する**]の場合、表示されます。
	NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	LPD	ネットワークプロトコルで使う、LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	SMTP（メール送信）	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	POP3（メール受信）	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	FTPクライアント（送信）	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[**使用する**]の場合、FTPが使用するポート番号を設定できます。通常は、21を使用します。 設定値：**使用しない、使用する**、ポート番号1－65535
	FTPサーバー（受信）	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	SMBクライアント（送信）	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[**使用する**]の場合、SMBが使用するポート番号を設定できます。通常は、139を使用します。Windows Vistaから使用する場合は、445に変更してください。 設定値：**使用しない、使用する**、ポート番号1－65535
	LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値：**使用しない、使用する**
	SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**
	HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。9-21ページのSSLで、[SSL]を[**使用する**]に設定する必要があります。* 設定値：**使用しない、使用する**
	IPP	IPPを使用して通信を行うかどうかを設定します。設定が[**使用する**]の場合、IPPが使用するポート番号が設定できます。通常は、631を使用します。* 設定値：**使用しない、使用する**、ポート番号1－65535
	IPP over SSL	IPP over SSLを使用するかどうかを設定します。設定が[**使用する**]の場合、IPPが使用するポート番号が設定できます。通常は、443を使用します。9-21ページのSSLで、[SSL]を[**使用する**]に設定する必要があります。* 設定値：**使用しない、使用する**、ポート番号1－65535
	RAW Port	Raw Portを使用して通信を行うかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

NetWare

項目	説明
NetWare	NetWareネットワークに接続するときに設定します。フレームタイプを自動、Ethernet- II 、802.3、802.2、またはSNAPから選択します。* 設定値 NetWare：**使用しない、使用する** **フレームタイプ**：**自動、802.3、Ether-II、802.2、SNAP**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

AppleTalk

項目	説明
AppleTalk	AppleTalkネットワークに接続するときに設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

WSDスキャン

項目	説明
WSDスキャン	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

WSD印刷

項目	説明
WSD印刷	WSD印刷を使用するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

Enhanced WSD

項目	説明
Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。* [**使用しない**]を選択すると、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。KMnet Viewerの機能を使用できないようにするためには、[Enhanced WSD]、[Enhanced WSD（SSL）]、9-19ページの**プロトコル詳細**で[SNMP]、[SNMPv3]をすべて[**使用しない**]に設定する必要があります。 設定値：**使用しない、使用する**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

Enhanced WSD（SSL）

項目	説明
Enhanced WSD（SSL）	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない、使用する**

*　設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

IPSec

項目	説明
IPSec	IPSecを設定します。* 設定値：**使用しない**、**使用する**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュアプロトコル

項目	説明
SSL	SSLを使用するかどうかを設定します。* 設定値：**使用しない**、**使用する**
IPPセキュリティー	IPPセキュリティーレベルを設定します。* 設定値：IPP/IPP over SSL、IPP over SSLのみ
HTTPセキュリティー	HTTPセキュリティーレベルを設定します。* 設定値：HTTP/HTTPS、HTTPSのみ
LDAPセキュリティー（拡張アドレス帳） LDAPセキュリティー（ユーザー情報）	LDAPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。 設定値 **設定しない**：サポートしているセキュリティーを使用せずに通信します。 SSL/TLS：通信を暗号化します。LDAPセキュリティーを使用する場合、サーバー設定に合わせてLDAPポート番号の変更が必要になる場合があります。SSL/TLSでは636**が一般に使用されるポートです。 STARTTLS：通信を暗号化します。STARTTLSでは389**が一般に使用されるポートです。 参考：9-19ページの**プロトコル詳細**で、[LDAP]を[**使用する**]に設定する必要があります。
SMTPセキュリティー	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。 設定値 **設定しない**：サポートしているセキュリティーを使用せずに通信します。 SSL/TLS：通信を暗号化します。SMTPセキュリティーを使用する場合、サーバー設定に合わせてSMTPポート番号の変更が必要になる場合があります。SSL/TLSでは465**が一般に使用されるポートです。 STARTTLS：通信を暗号化します。STARTTLSでは25**または587**が一般に使用されるポートです。 参考：9-19ページの**プロトコル詳細**で、[SMTP（**メール送信**）]を[**使用する**]に設定する必要があります。
POP3セキュリティー（ユーザー1） POP3セキュリティー（ユーザー2） POP3セキュリティー（ユーザー3）	POP3サーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。 設定値 **設定しない**：サポートしているセキュリティーを使用せずに通信します。 SSL/TLS：通信を暗号化します。POP3セキュリティーを使用する場合、サーバー設定に合わせてPOP3ポート番号の変更が必要になる場合があります。SSL/TLSでは995**が一般に使用されるポートです。 STARTTLS：通信を暗号化します。STARTTLSでは110**が一般に使用されるポートです。 参考：9-19ページの**プロトコル詳細**で、[POP3（**メール受信**）]を[**使用する**]に設定する必要があります。

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。
** ポート番号はCOMMAND CENTERで変更できます。

LANインターフェイス

項目	説明
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。* 設定値：**自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

インターフェイスブロック設定

USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値：**ブロックしない、ブロックする**
USBデバイス	USBインターフェイスコネクターをブロックして保護します。 設定値：**ブロックしない、ブロックする**
オプションインターフェイス（スロット1）	オプションインターフェイススロット1または、オプションインターフェイススロット2をブロックして保護します。 設定値：**ブロックしない、ブロックする**
オプションインターフェイス（スロット2）	

RAMディスク設定

項目	説明
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。* RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 設定値 **RAMディスク設定：設定しない、設定する** **RAMディスクサイズ：**オプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

オプションメモリー使用量

項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。* 設定値：**プリンター優先、標準、コピー優先**

* 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

日付/タイマー

日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値：**年**（2000～2037）、**月**（1～12）、**日**（1～31）、**時**（00～23）、**分**（00～59）、**秒**（00～59）
日付形式	日付の年、月、日の並び順を選択します。年は、西暦で表示されます。 設定値：**月/日/年**、**日/月/年**、**年/月/日**
時差	GMT（世界標準時）からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値：**設定しない**、**設定する** 参考：リセットされるまでの時間は9-23ページの**パネルリセット時間**で設定します。
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。詳しくは、10-13ページの**こんな表示がでたら**を参照してください。 設定値：**設定しない**、**設定する**
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値：5～495秒（5秒単位） 参考：[**オートパネルリセット**]を[**設定しない**]にした場合は、[**パネルリセット時間**]は表示されません。
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値：1～240分（1分単位）
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値：5～495秒（5秒単位） 参考：[**エラー後自動継続**]を[**設定しない**]にした場合は、[**エラー後自動継続時間**]は表示されません。

調整/メンテナンス

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目		説明
濃度調整		濃度を全体的にこく、またはうすくします。
	コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）
	送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）
地色調整		地色調整を全体的にこく、またはうすくします。
	コピー（自動）	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）
	送信/ボックス（自動）	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値：-3（うすく）、-2、-1、0（ふつう）、+1、+2、+3（こく）

項目		説明
トナー節約レベル(エコプリント)		エコプリントを設定したときのトナー節約レベルを設定します。
	コピー	コピー時のトナー節約レベルを低く、または高くします。5段階で調整します。* 設定値：1～5
	プリンター	印刷時のトナー節約レベルを低く、または高くします。5段階で調整します。 設定値：1～5
自動カラー判別基準		自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。数値を小さくするとカラー原稿と判別されることが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と判別されることが多くなります。 設定値：1(**カラー**)、2、3、4、5(**白黒**)
黒筋軽減処理		原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ(原稿にない線状の汚れ)が発生した場合、このすじを目立たないようにします。 設定値 **設定しない**：黒筋軽減処理をしません。 **設定する(弱く)**：すじを目立たないようにします。[**設定しない**]より原稿にある細い線の再現性は低下する場合があります。 **設定する(強く)**：[**設定する(弱く)**]でも、すじが気になる場合は、選択してください。[**設定する(弱く)**]より原稿にある細い線の再現性は低下する場合があります。
画面の明るさ		タッチパネルの明るさを調整します。 設定値：1 (**暗く**)、2、3、4(**明るく**)
カラー印刷位置補正		本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こる場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれを解消できます。 操作手順は、9-25ページの**カラー印刷位置補正のしかた**を参照してください。
ドラムリフレッシュ		印刷に白いすじが発生する場合は、ドラムリフレッシュを行ってください。約120秒かかります。 [**実行**]を押すとドラムリフレッシュを開始します。 参考：印刷中、ドラムリフレッシュはできません。印刷が終了してから実行してください。
キャリブレーション		印刷された画像の色ずれや原稿との色合いを改善します。 [**実行**]を押すとキャリブレーションを開始します。 キャリブレーションが終了したら、[**OK**]を押してください。 参考：キャリブレーションを行っても色ずれが改善されない場合はカラー印刷位置補正を行ってください。
レーザースキャナークリーニング		印刷された画像の白いすじや色すじを改善します。 [**実行**]を押すとレーザースキャナークリーニングを開始します。
サービス設定		本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。
	高度調整	高度調整モードを設定します。使用環境が海抜1500 m以上の高地で、印刷品質が低下したとき、高度調整モードの設定を行うと、印刷品質を回復することができます。 設定値：**標準、高地1、高地2**
	MC	メインチャージャー出力を設定します。印刷品質が低下したとき、メインチャージャー出力の変更を行うと、印刷品質を回復することができます。 設定値：1～5 参考：このメニューは、[**高度調整**]が[**標準**]以外のときは、表示されません。

* 変更した設定をすぐに使用したい場合は、機能の画面でリセットキーを押してください。

カラー印刷位置補正のしかた

カラー印刷位置補正には、通常の補正と詳細設定があります。色ずれは通常の補正でほぼ解消できますが、万一解消できない場合や、より精密な補正が必要な場合は詳細設定を行ってください。

参考
カラー印刷位置補正を行うときは、カセットにA4 の用紙がセットされていることを確認してください。

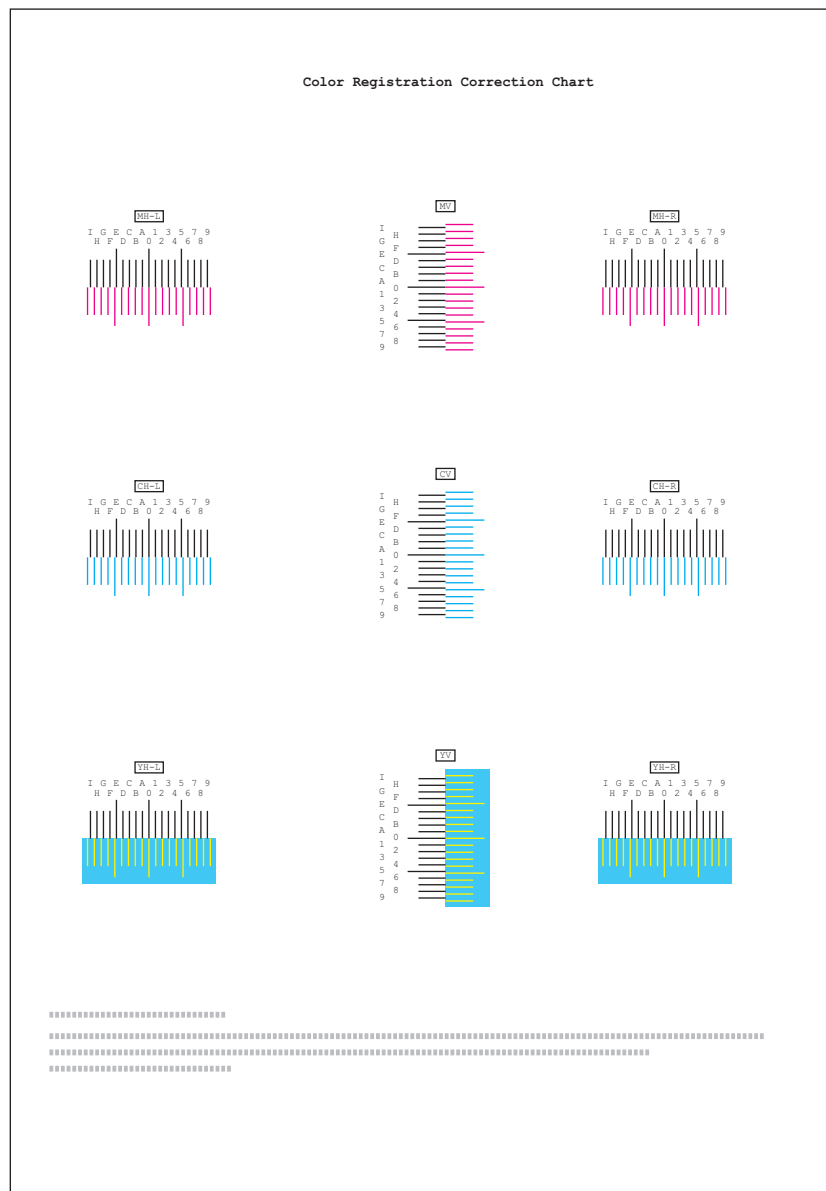
重要
カラー印刷位置補正は、先にキャリブレーション（9-24ページ参照）を実行し、それでも色ずれが改善しない場合にのみ実行してください。キャリブレーションを行わずにカラー印刷位置補正を実行すると、実行時は色ずれが解消されますが、後で大きな色ずれが発生する可能性があります。

通常の補正

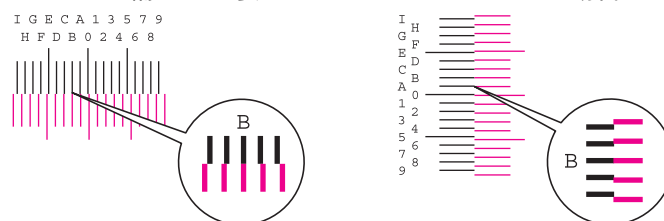
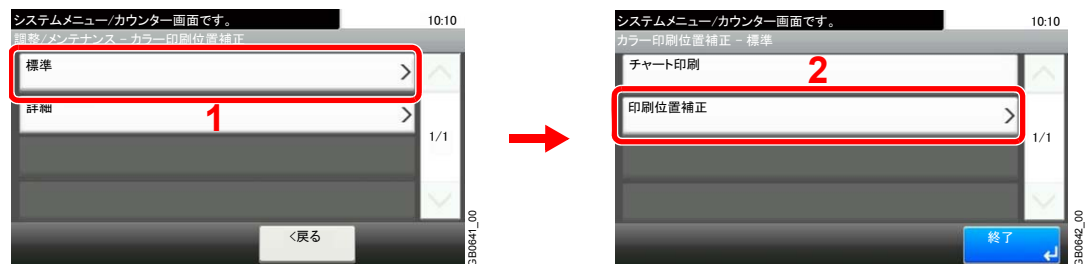
1 画面を表示する

2 チャートを印刷する

チャートが出力されます。チャートにはM（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色について、H-L（左）、V（中央）、H-R（右）の3種類のチャートが1枚の用紙に印刷されます。

チャートサンプル

3 数値を入力する

1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。｢0｣の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、｢B｣が設定すべき値です。

2

3 補正するチャートを選択します。

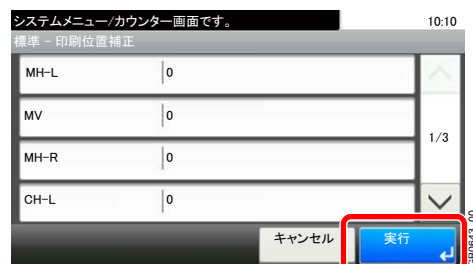
4 [＋]または[－]を押して、チャートから読み取った値を入力します。

[＋]を押すと、値が0から9へと進みます。逆に進むときは[－]を押します。

[－]を押すと、値が0からアルファベットになり、AからIへと進みます。逆に進むときは[＋]を押します。

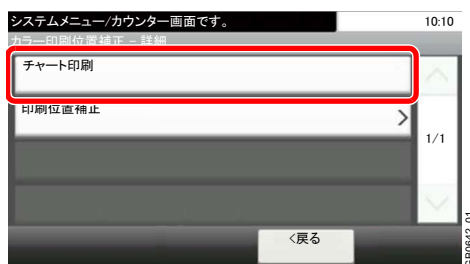
テンキーでの入力はできません。

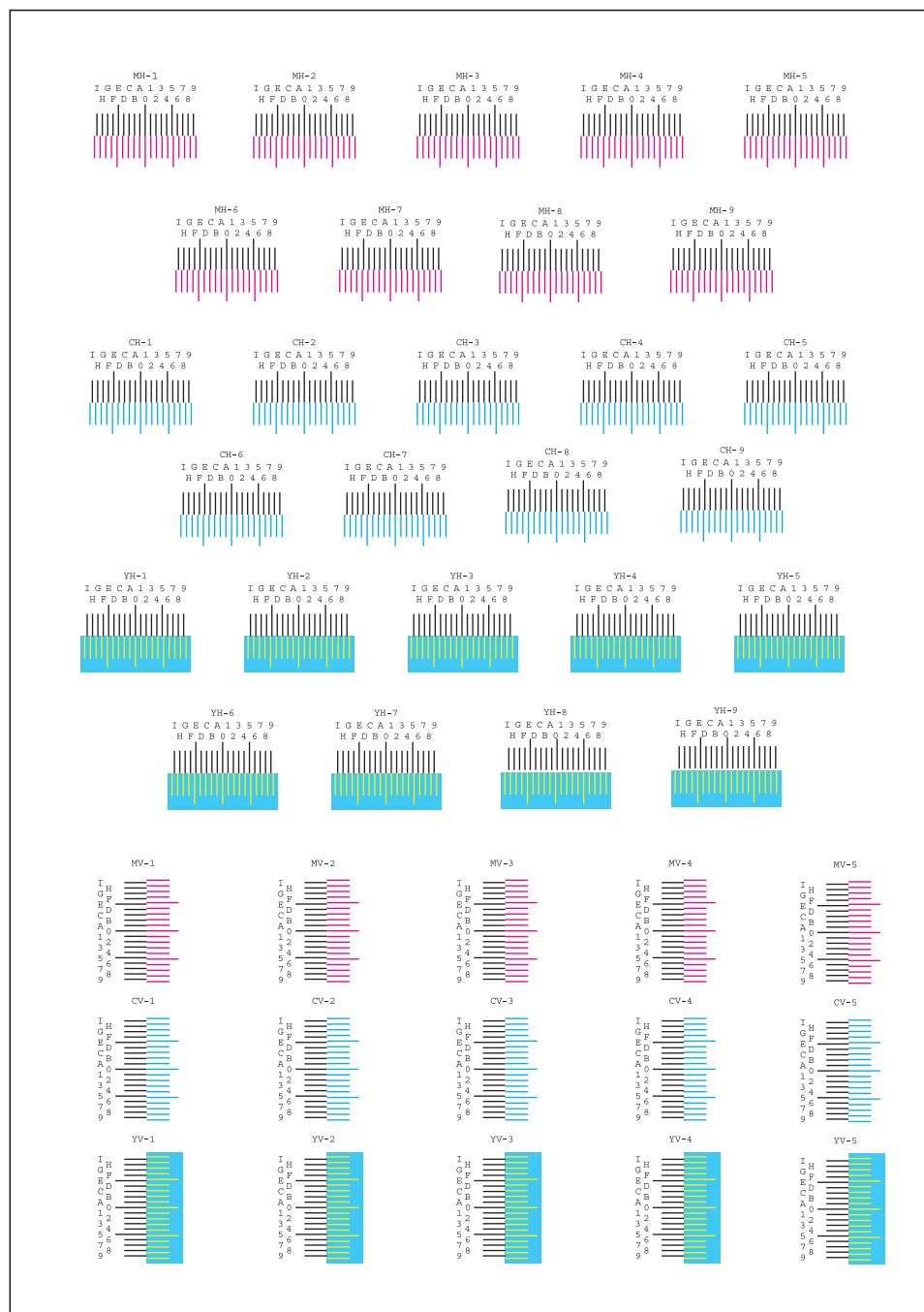
5 手順3～4を繰り返して、それぞれのチャートに補正をする値を入力します。

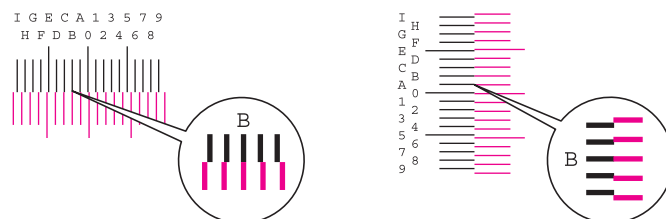
6 すべての入力が完了したら、[実行]を押します。カラー印刷位置補正を開始します。

7 カラー印刷位置補正が終了したら、[OK]を押してください。

詳細設定

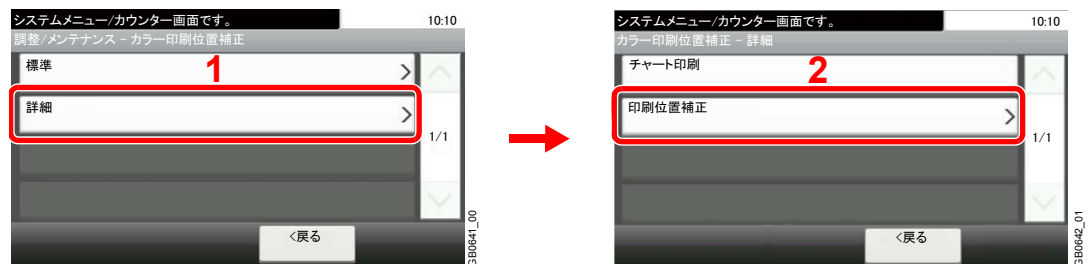
1 画面を表示する

2 チャートを印刷する

チャートが出力されます。チャートにはM（マゼンタ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色について、H-1～9（上部）、V-1～5（下部）のチャートが印刷されます

チャートサンプル

3 数値を入力する

1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。

H-1～9のチャートからはH-1～5の数値のみを読み取ります。

V-1～5のチャートからはV-3（中央）の数値のみを読み取ります。

2

3 補正するチャートを選択します。

4 [＋]または[－]を押して、チャートから読み取った値を入力します。

[＋]を押すと、値が0から9へと進みます。逆に進むときは[－]を押します。

[－]を押すと、値が0からアルファベットになり、AからIへと進みます。逆に進むときは[＋]を押します。

テンキーでの入力はできません。

5 手順3～4を繰り返して、それぞれのチャートに補正をする値を入力します。

6 すべての入力が完了したら、[実行]を押します。カラー印刷位置補正を開始します。

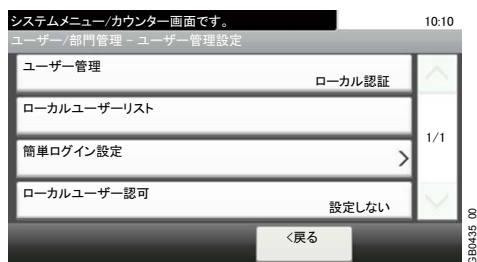
7 カラー印刷位置補正が終了したら、[OK]を押してください。

ユーザー管理を行う

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。
ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

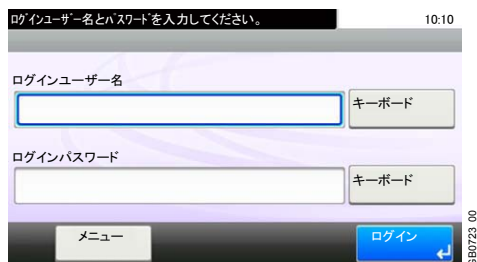
初めてユーザー管理を使用するとき

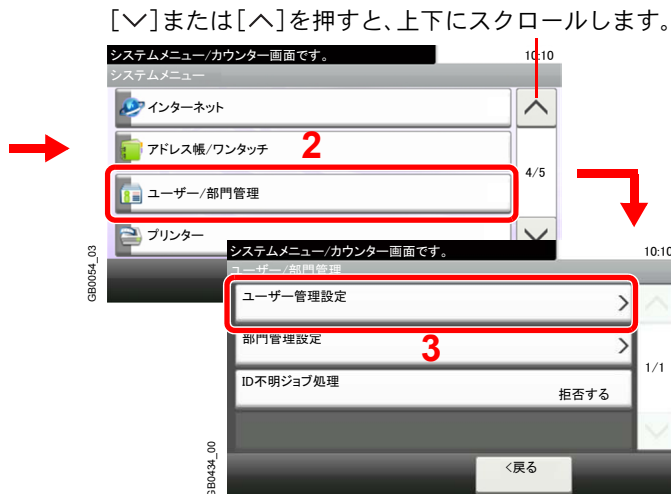
初めてユーザー管理を使用するときは、次の流れで行います。設定方法は、9-32ページのユーザー管理の設定を参照してください。

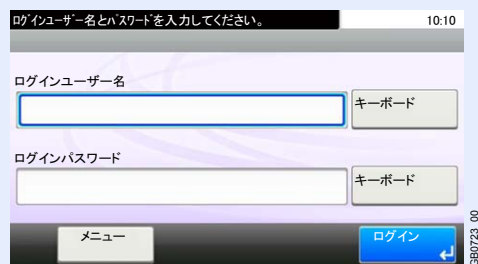
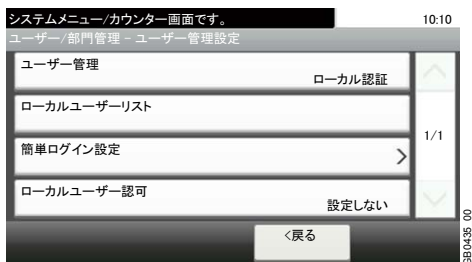
1 ユーザー管理を有効にする

2 ユーザーの新規登録

3 ログアウト

ログアウト

4 登録したユーザーがログインして操作

ユーザー管理の設定

1 画面を表示する

参考

管理者の権限でログインする必要があります。デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

2 設定する

ユーザー管理の有効/無効 ▶ 9-33ページ

ユーザーの新規登録 ▶ 9-35ページ

ローカルユーザー認可 ▶ 9-40ページ

ユーザーの編集 ▶ 9-42ページ

簡単ログイン ▶ 9-45ページ

グループ認可設定 ▶ 9-51ページ

ネットワークユーザー情報の取得 ▶ 9-55ページ

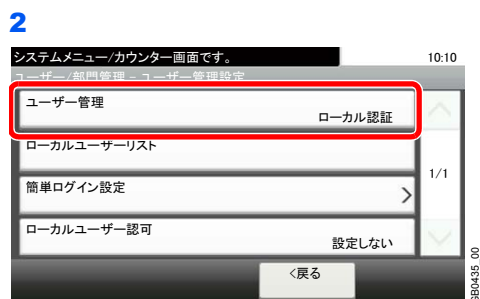
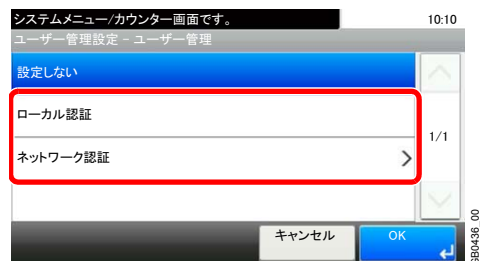
ユーザー管理の有効/無効

ユーザー管理を有効にします。ユーザーの認証方法は次の2種類があります。

ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情報でログインしてください。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 認証方法を選択する

[ネットワーク認証]を選択した場合

サーバータイプを選択する

ホスト名を入力する

64文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ドメイン名を入力する

サーバータイプで[NTLM]または[Kerberos]を選択した場合は、ドメイン名を256文字以内で入力します。

ポート番号を入力する

サーバータイプで[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力します。

設定する

参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、次の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティー
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。サーバータイプが、[Kerberos]の場合、ドメイン名は大文字で入力しないと認証できません。

ユーザーの新規登録

新しいユーザーを登録します。ユーザーは100人まで登録できます（ログインユーザー名の初期値を含む）。

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名*	ユーザーリストに表示される名前を入力します。32文字まで入力できます。
ユーザー名（フリガナ）*	ユーザー名のフリガナを入力します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名*	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字まで入力できます。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを入力します。64文字まで入力できます。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録します。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。部門管理については、9-57ページの**部門管理を行う**を参照してください。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを登録します。128文字まで入力できます。メール送信を使用する場合は登録してください。登録されたアドレスはメール機能が必要とされる動作のとき自動的に選択されます。
アクセスレベル*	ユーザーの権限を、[**管理者**]または[**ユーザー**]から選択してください。
マイパネル	ユーザーごとに使いやすく設定した環境を登録します。ここで登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。
ローカル認可	ユーザーごとに使用制限を設定します。ローカルユーザー認可を有効にする必要があります。（9-40ページ参照） 使用制限できる項目は次のとおりです。 **プリンター制限**：プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。 **プリンター制限（フルカラー）**：プリンターのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。 **コピー制限**：コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。 **コピー制限（フルカラー）**：コピーのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。 **送信制限**：ファクス以外の送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **ファクス送信制限**：ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **ボックス保存制限**：ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 **外部メモリー保存制限**：外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*　必須項目です。

参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。

機器管理者

- ユーザー名: DeviceAdmin
- ユーザー名(フリガナ):DeviceAdmin
- ログインユーザー名:2600
- ログインパスワード:2600
- アクセスレベル:機器管理者

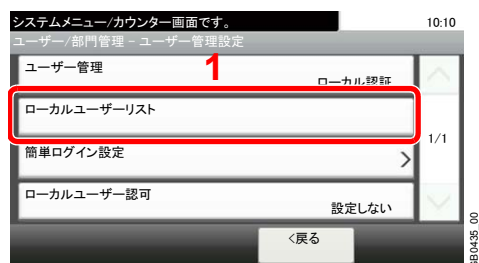
管理者

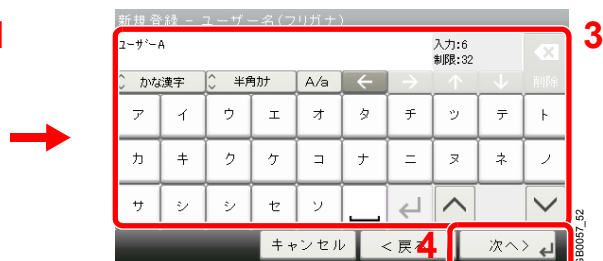
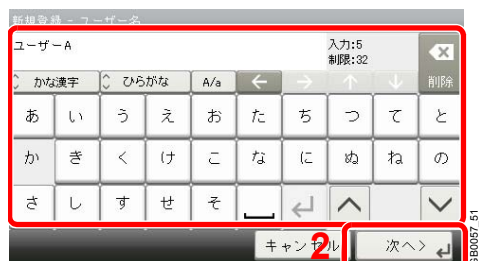
- ユーザー名:Admin
- ユーザー名(フリガナ):Admin
- ログインユーザー名:Admin
- ログインパスワード:Admin
- アクセスレベル:管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティー保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 ユーザー情報を入力する

[ユーザー名]、[ユーザー名(フリガナ)]

［ログインユーザー名］

［アクセスレベル］

ユーザーの権限を選択します。

3 確認する

ユーザー情報を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

［ユーザー名］、［ユーザー名（フリガナ）］

［ログインユーザー名］

［ログインパスワード］

確認のため、同じログインパスワードを2回入力します。

[部門名]

[メールアドレス]

[アクセスレベル]

ユーザーの権限を選択します。

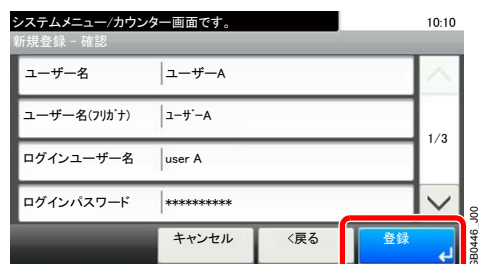
[マイパネル]

詳しくは、9-41ページの**マイパネル**を参照してください。

[ローカル認可]

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

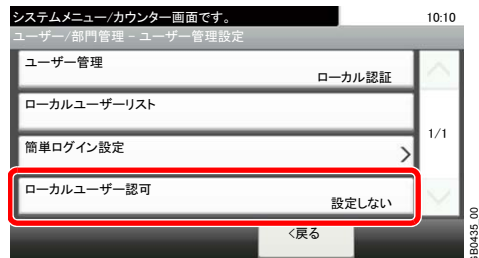
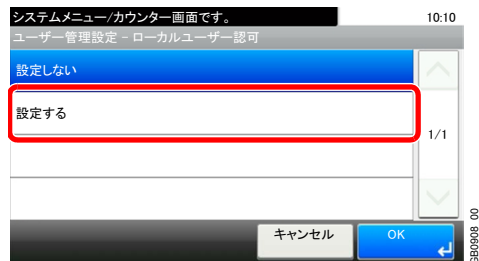
必要に応じて、制限を変更してください。

4 登録する

ローカルユーザー認可

ローカルユーザー認可を有効にします。ユーザーごとにジョブの使用を禁止することができます。設定は**ユーザーの新規登録**（9-35ページ）、または**ユーザーの編集**（9-42ページ）時に行います。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

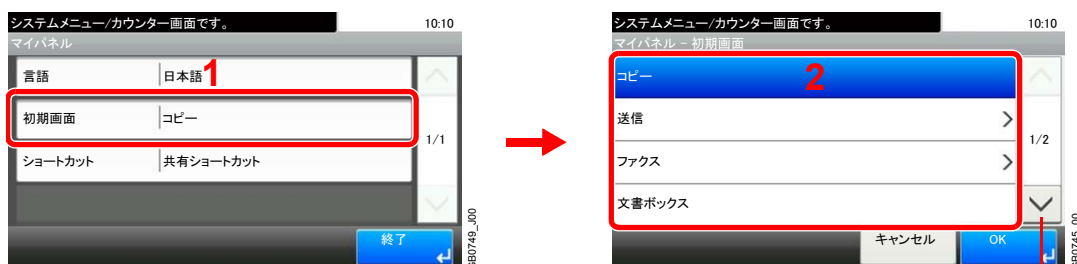
2

2 設定する

マイパネル

ユーザーごとに使いやすく設定した環境を登録します。ここで登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。マイパネルの設定は、ユーザーの新規登録(9-35ページ)、またはユーザーの編集(9-42ページ)時に行います。

設定できる環境

言語	タッチパネルに表示される言語を設定します。
初期画面	ユーザーログイン後、最初に表示される画面(初期画面)を設定します。
ショートカット	共有ショートカットと個人用ショートカットから使用するショートカットを選択します。

[言語]

[初期画面]

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

[送信]または**[ファクス]**を選択した場合は、どの画面を初期画面にするか設定します。

[ショートカット]

それぞれのショートカットの詳細を参照します。

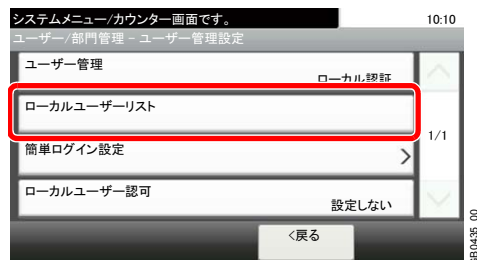
ユーザーの編集

ユーザー情報の変更とユーザーの削除をします。

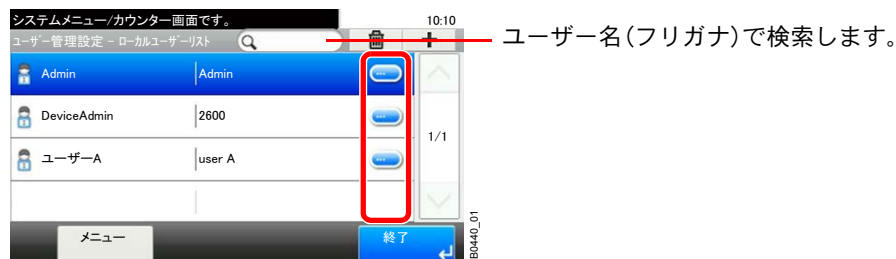
参考
機器管理者のユーザー情報は、機器管理者がログインして変更してください。その他のユーザーがログインした場合はユーザー情報の参照ができます。

1 画面を表示する

1 9-32ページのユーザー管理の設定を参照して、画面を表示します。

2

2 変更/削除する

変更する

1 変更するユーザーの[...]を押します。

2 変更します。

各項目の詳細は、9-35ページのユーザーの新規登録を参照してください。

[ユーザー名]、[ユーザー名(フリガナ)]

[ログインユーザー名]

[ログインパスワード]

確認のため、同じログインパスワードを2回入力します。

[部門名]

[メールアドレス]

[マイパネル]

詳しくは、9-41ページのマイパネルを参照してください。

[ローカル認可]

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

この設定は、**[ローカルユーザー認可]**を**[設定する]**にしている場合、表示されます。

9-40ページの**ローカルユーザー認可**を参照してください。

3 登録します。

削除する

削除するユーザーを選択して、[**(削除)**](ゴミ箱のアイコン)を押します。

参考

ユーザーを選択して、**[メニュー]**→**[削除]**を押しても削除できます。

簡単ログイン

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があります。

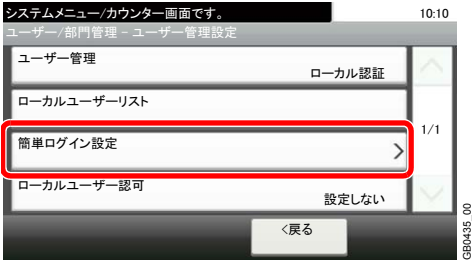
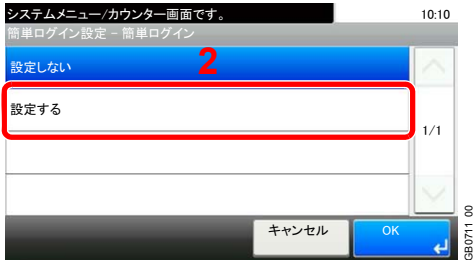
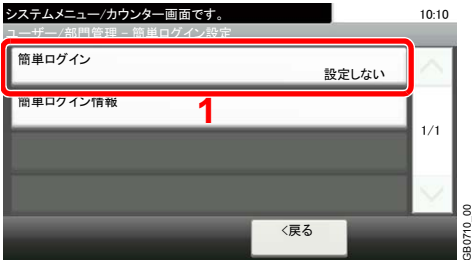
ユーザーの登録は、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

簡単ログインの設定

簡単ログインを有効にします。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 簡単ログインを有効にする

ユーザーの登録

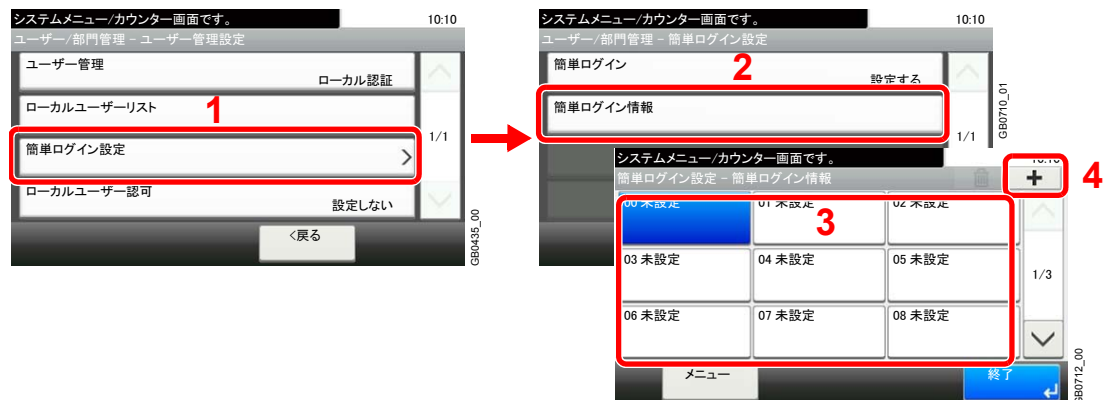
簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます。

登録する項目は次のとおりです。

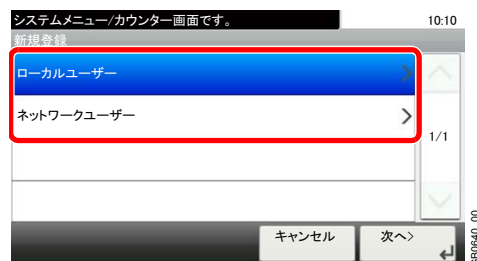
名前	簡単ログイン画面に表示されるユーザー名を入力します。
ユーザー	ユーザー登録されているユーザーの中から、簡単ログインを使用するユーザーを選択します。
パスワード認証	ログイン時にログインパスワードの入力が必要かどうかを設定します。
アイコン	簡単ログイン画面に表示されるアイコンを選択します。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

ユーザーが登録されていないキーを選択して[+]を押します。

2 ユーザー情報を入力する

1 ユーザーの種類を選択します。

2 ユーザーを選択します。

ローカルユーザーの場合

ユーザーの検索、並び替えができます。

ネットワークユーザーの場合

ログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

3 簡単ログインで使用する名前を入力します。

3 確認する

ユーザー情報を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

[名前]

[ユーザー]

[ローカルユーザー]または[ネットワークユーザー]から簡単ログインを使用するユーザーを選択します。

[パスワード認証]

[アイコン]

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

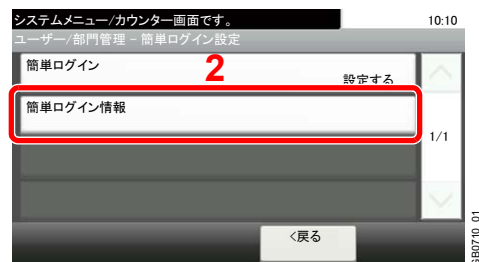
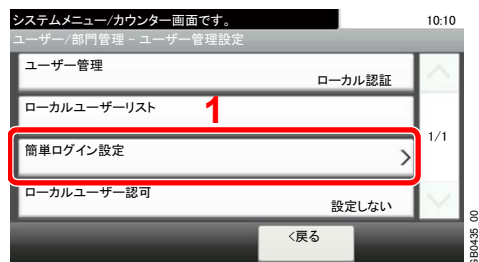
4 登録する

簡単ログインユーザーの変更/削除

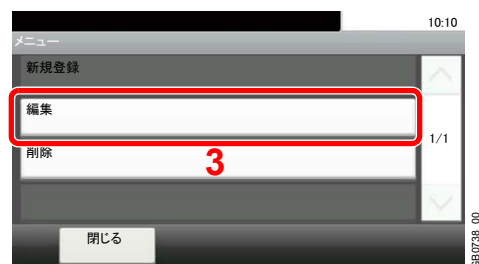
ユーザー情報の変更とユーザーの削除をします。

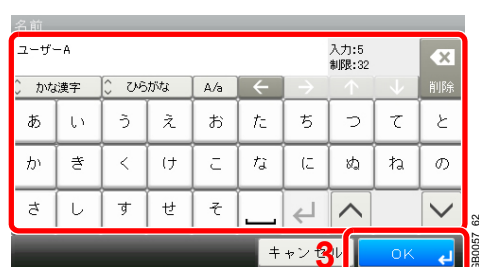
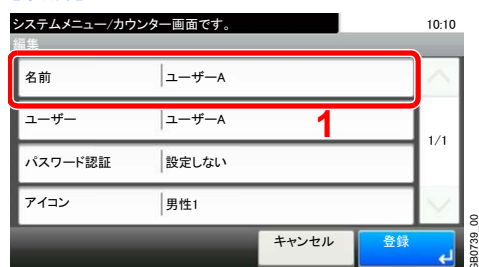
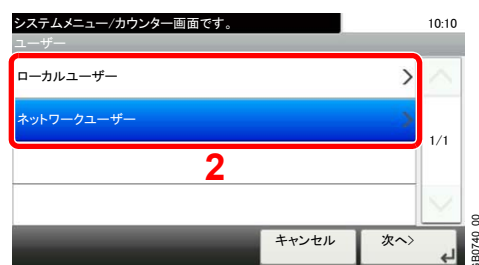
1 画面を表示する

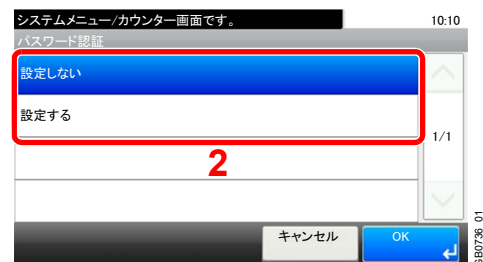
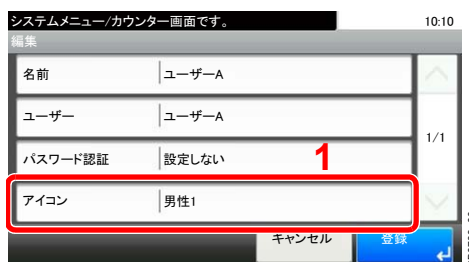
1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 変更/削除する

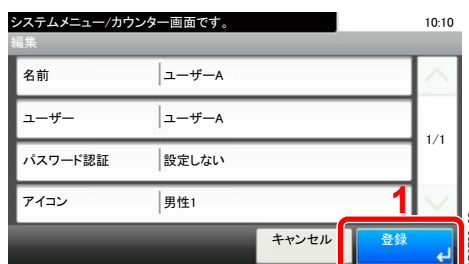
変更する

1 変更するユーザーを選択して、[メニュー]→[編集]を押します。

2 変更します。

[名前]

[ユーザー]

[ローカルユーザー]または[ネットワークユーザー]から簡単ログインを使用するユーザーを選択します。

［パスワード認証］

［アイコン］

［∨］または［∧］を押すと、上下にスクロールします。

3 登録します。

削除する

削除するユーザーを選択して、［**(削除)**］(ゴミ箱のアイコン)を押します。

参考

ユーザーを選択して、［**メニュー**］→［**削除**］を押しても削除できます。

グループ認可設定

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

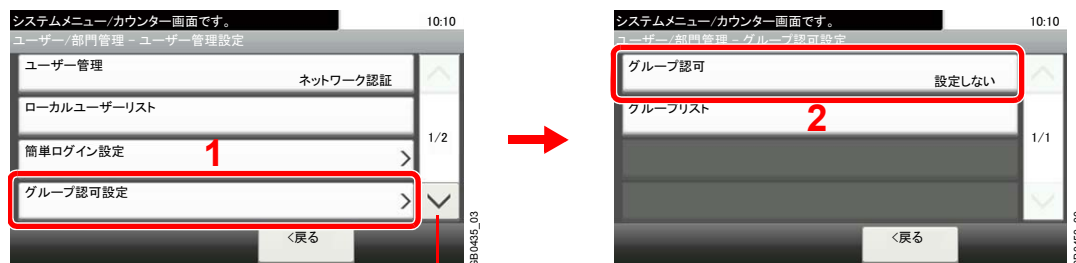
参考
グループ認可設定を使用する場合は、9-33ページの**ユーザー管理の有効/無効**でユーザーの認証方法を[**ネットワーク認証**]にし、サーバータイプを[NTLM]または[Kerberos]に設定する必要があります。また、9-19ページの**プロトコル詳細**で、[LDAP]を[**使用する**]に設定してください。

グループ認可の設定

グループ認可を有効にします。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

[﹀]または[︿]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

グループの登録

本機の使用を制限するグループを登録します。最大20グループまで個別に登録できます。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、すべて[**その他**]になります。

グループID*	グループリストに表示されるIDを、1～4294967295で入力してください。
グループ名	グループリストに表示される名前を入力します。32文字まで入力できます。
アクセスレベル	グループの権限を、[**管理者**]または[**ユーザー**]から選択します。
プリンター制限	プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。
プリンター制限(フルカラー)	プリンターのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。
コピー制限	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。
コピー制限(フルカラー)	コピーのフルカラー印刷機能を使用禁止にするかどうかを設定します。
送信制限	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。

ファクス送信制限	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ボックス保存制限	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
外部メモリー保存制限	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

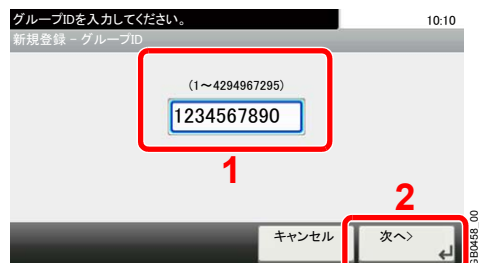
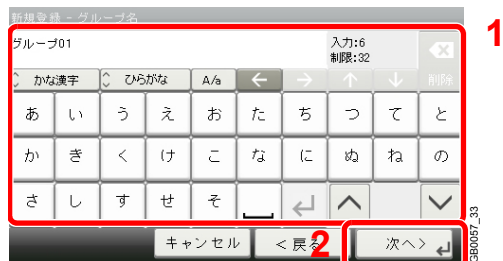
* グループIDは、WindowsのActiveDirectoryでユーザーに割り当てているPrimaryGroupIDを設定してください。Windows Server 2008では、ユーザーのプロパティー画面の属性エディタタブで確認できます。Windows Server 2000/2003では、ADSIEditで確認できます。ADSIEditは、WindowsサーバーOSのインストールCDまたはDVDに含まれるサポートツール（\SUPPORT\TOOLSフォルダー以下に収録されている）です。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 グループ情報を入力する

[グループID]

[グループ名]

[アクセスレベル]

3 確認する

グループ情報を確認します。必要に応じて、情報の変更･追加ができます。

[グループID]

[グループ名]

[アクセスレベル]

[プリンター制限]、[プリンター制限(フルカラー)]、[コピー制限]、[コピー制限(フルカラー)]、[送信制限]、[ファクス送信制限]、[ボックス保存制限]、[外部メモリー保存制限]

必要に応じて制限を変更します。

4 登録する

ネットワークユーザー情報の取得

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメールアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。

参考
LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、9-33ページの**ユーザー管理の有効/無効**でユーザーの認証方法を[**ネットワーク認証**]にし、サーバータイプを[NTLM]または[Kerberos]に設定する必要があります。また、9-19ページの**プロトコル詳細**で、[LDAP]を[**使用する**]に設定してください。

項目	説明
サーバー名*	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを入力します。64文字まで入力できます。
ポート	LDAPが使用するポート番号を設定します。通常は389を使用します。
名前1**	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを入力します。32文字まで入力できます。
名前2***	
メールアドレス****	LDAPサーバーからメールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを入力します。128文字まで入力できます。
検索タイムアウト時間	タイムアウトするまでの時間を5～255秒の秒単位で入力します。

* WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。
** WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。
*** 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActiveDirectoryの値がdisplayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。
**** WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のmailを使用します。

1 画面を表示する

1 9-32ページの**ユーザー管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 設定する

[サーバー名]

64文字まで入力できます。

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

[ポート]

[名前1]、[名前2]

32文字まで入力できます。

[メールアドレス]

128文字まで入力できます。

[検索タイムアウト時間]

3 [OK]を押す

部門管理を行う

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別の使用ページ数を管理できる機能です。

本機の部門管理には次の特長があります。

- 最大100部門の管理ができます。
- 部門コードは0～99999999までの最大8桁で入力できます。
- 同じ部門コードで、印刷と読み込みをまとめて管理することができます。
- 使用ページ数を全部門または部門ごとに集計することができます。
- 使用ページ数を1～9,999,999枚の範囲で制限することができます。
- 使用ページ数を全部門または部門ごとにリセットすることができます。

初めて部門管理を使用するとき

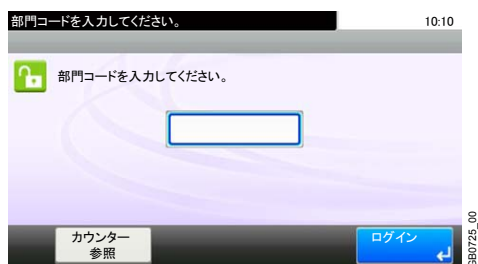
初めて部門管理を使用するときは、次の流れで行います。設定方法は、9-59ページの**部門管理の設定**を参照してください。

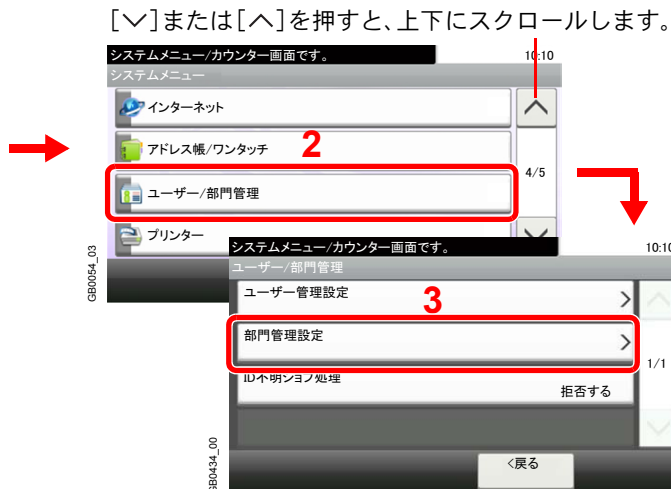
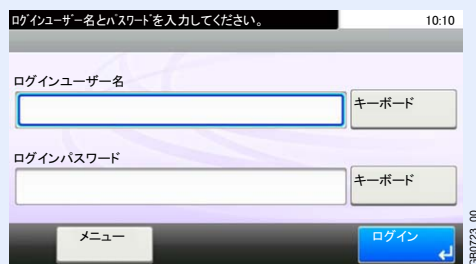
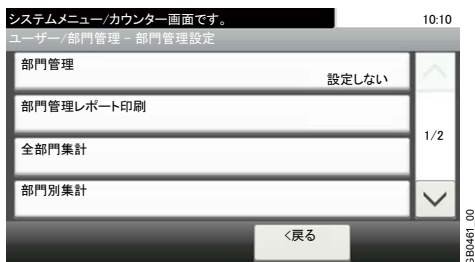
1 部門管理を有効にする

2 部門の新規登録

3 ログアウト

ログアウト

4 登録した部門でログインして操作

部門管理の設定

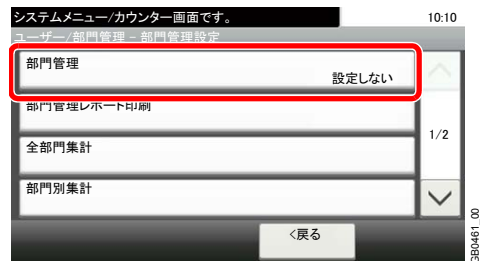
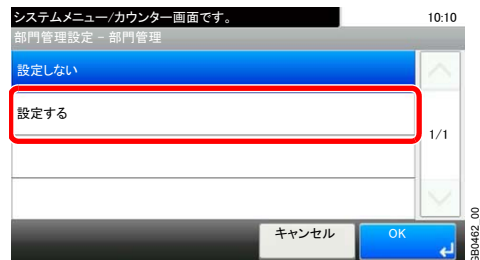
1 画面を表示する

> **参考**
> 管理者の権限でログインする必要があります。デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

2 設定する

部門管理の有効/無効 ▶ 9-60ページ
ログイン/ログアウト ▶ 9-61ページ
部門の新規登録 ▶ 9-62ページ
部門の変更/削除 ▶ 9-64ページ
使用制限について ▶ 9-66ページ
使用ページ数の集計 ▶ 9-68ページ
部門レポートの印刷 ▶ 9-70ページ
部門管理初期設定 ▶ 9-71ページ
ID不明ジョブ処理 ▶ 9-72ページ

部門管理の有効/無効

部門管理を有効にします。

1 画面を表示する

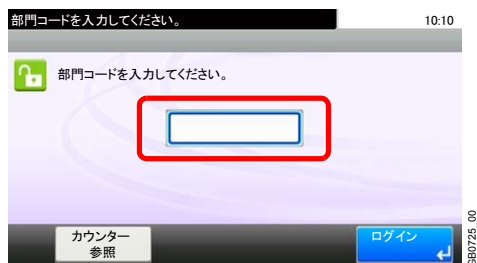
1 9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 部門管理を有効にする

参考
初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。作業を続ける場合は、部門コードを入力してください。

ログイン/ログアウト

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

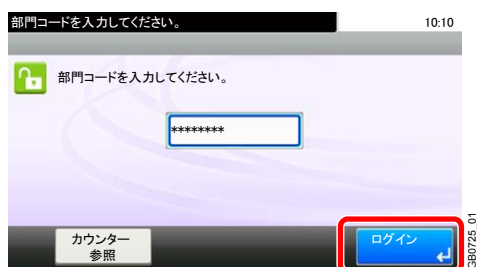
ログイン

1 部門コードを入力する

操作中にこの画面が表示されたら、部門コードを入力します。

参考
入力を間違えたときは、クリアキーを押して入力し直してください。

登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。

［**カウンター参照**］を押すと、印刷ページ数や読み込みページ数を参照できます。

2 ログインする

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください（3-15ページの**ログイン･ログアウト**参照）。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます（9-35ページの**ユーザーの新規登録**参照）。

ログアウト

ログアウトするときは、ログアウトキーを押します。部門コードを入力する画面に戻ります。

ログアウト

部門の新規登録

新しい部門を登録します。登録する項目は次のとおりです。

部門名	部門名を入力します。32文字まで入力できます。
部門名（フリガナ）	部門名のフリガナを入力します。32文字まで入力できます。
部門コード	部門コードを、0～99999999までの最大8桁で入力します。
使用制限	印刷/読み込みの禁止や、使用できるページ数の制限します。設定方法は、9-66ページの**使用制限について**を参照してください。

参考
すでに登録されている[**部門コード**]は使用できません。別の部門コードを入力してください。

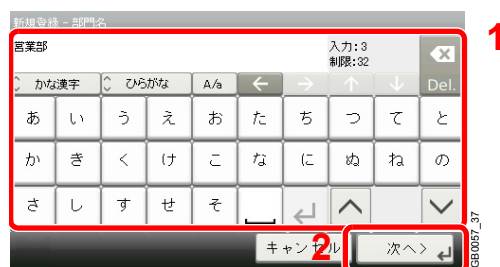
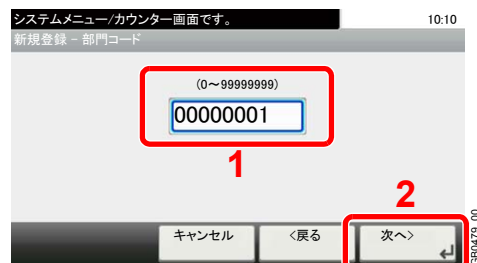
1 画面を表示する

1 9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

2 部門情報を入力する

[部門名]、[部門名（フリガナ）]

[部門コード]

3 確認する

部門情報を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

[部門名]、[部門名(フリガナ)]

11-7ページの**文字の入力方法**を参照してください。

[部門コード]

[使用制限]

9-66ページの**使用制限について**を参照してください。

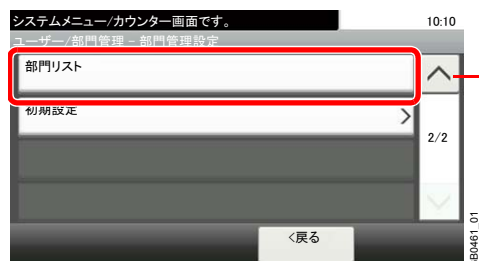
4 登録する

部門の変更/削除

登録されている部門情報の変更と部門の削除をします。

1 画面を表示する

1 9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

2 変更/削除する

変更する

1 変更する部門の[...]を押します。

短縮キーを押すと、部門コードで部門が検索できます。

2 変更します。

[部門名]、[部門名(フリガナ)]

[部門コード]

[使用制限]

9-66ページの**使用制限について**を参照してください。

3 登録します。

削除する

削除する部門を選択して、[(**削除**)](ゴミ箱のアイコン)を押します。

使用制限について

使用制限すると、部門ごとに使用を禁止したり、使用できるページ数を制限したりすることができます。
使用制限の設定は、部門の登録(9-62ページ)または部門の変更(9-64ページ)時に行います。
制限する内容は、9-71ページの**コピー/プリンターカウント方法**を[**個別**]にしているか[**合計**]にしているかによって異なります。

使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が[個別]の場合

コピー制限(合計)	フルカラーコピーと白黒コピーの合計の使用ページ数を制限します。
コピー制限(フルカラー)	フルカラーコピーの使用ページ数を制限します。
プリンター制限(合計)	カラー印刷と白黒印刷の合計の使用ページ数を制限します。
プリンター制限(フルカラー)	カラー印刷の使用ページ数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込みページ数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信ページ数を制限します。

コピー/プリンターカウント方法が[合計]の場合

印刷制限(合計)	コピーとプリンターの合計の使用ページ数を制限します。
印刷制限(フルカラー)	フルカラーコピーとカラー印刷の合計の使用ページ数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込みページ数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信ページ数を制限します。

使用制限の方法

制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限	使用ページ数を、1～9,999,999ページの範囲(1ページ単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

制限ページ数に達したときの処理については、**9-71ページの制限超過時設定**を参照してください。

1 制限する項目を選択する

コピー/プリンターカウント方法が[合計]の場合

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

コピー/プリンターカウント方法が[個別]の場合

2 制限する方法を選択する

[カウンター制限初期値]を選択した場合は、[＋]、[－]で制限ページ数を入力して、[OK]を押します。

使用ページ数の集計

使用ページ数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用ページ数をリセットして、新たに使用ページ数のカウントを始めることができます。
使用ページ数は次の項目別にカウントされています。

印刷ページ数	コピー、プリンター、およびその合計の使用ページ数が表示されます。また、[**両面集計**]、[**集約集計**]でそれぞれの使用ページ数も確認できます。 コピーは、白黒、フルカラー、およびその合計の使用ページ数が確認できます。 プリンターは、白黒、フルカラー、およびその合計の使用ページ数が確認できます。 [**両面集計**]は、片面、両面、およびその合計の使用ページ数が確認できます。 [**集約集計**]は、なし、2 in 1、4 in 1、およびその合計の使用ページ数が確認できます。
読み込みページ数	コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使用ページ数が表示されます。
ファクス送信ページ	ファクス送信の使用ページ数が表示されます。
ファクス送信時間	ファクス送信の使用時間が表示されます。

1 画面を表示する

1 9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

全部門の使用ページ数を集計する場合は[**全部門集計**]を、部門別の使用ページ数を集計する場合は[**部門別集計**]を選択します。

部門別の使用ページ数を集計する場合は集計を参照する部門の[...]を押します。

2 参照する

[∨]または[∧]を押すと、上下にスクロールします。

リセットする場合

部門レポートの印刷

全部門で集計されたページ数を、部門レポートとして印刷できます。
レポートは、コピーとプリンターのページ数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。

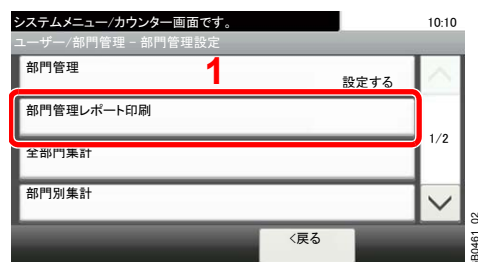
コピーとプリンターの管理方法	印刷されるフォーム	
［合計］	コピー+プリンター	コピーと印刷の合計ページ数 フルカラーコピーとフルカラー印刷の合計ページ数 白黒コピーと白黒印刷の合計ページ数
［個別］	コピー	コピーの合計ページ数 フルカラーコピーの合計ページ数 白黒コピーの合計ページ数
	プリント	印刷の合計ページ数 フルカラー印刷の合計ページ数 白黒印刷の合計ページ数
共通	スキャン	読み込みの合計ページ数
		コピーの読み込みページ数
		ファクスの読み込みページ数
		その他の読み込みページ数
	ファクス	受信ページ数
		送信ページ数
		送信時間
	その他	両面印刷のページ数
		片面印刷のページ数
		ページ集約（2 in 1）のページ数
		ページ集約（4 in 1）のページ数
		ページ集約を使用していない印刷のページ数

1 用紙を準備する

カセットにLetterまたはA4の用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

3 印刷する

部門管理初期設定

部門管理に関する初期設定を行います。

画面を表示する

1 9-59ページの**部門管理の設定**を参照して、画面を表示します。

2

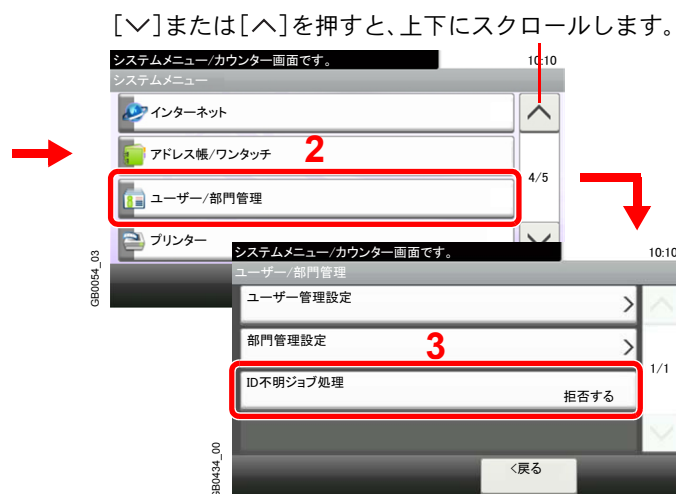
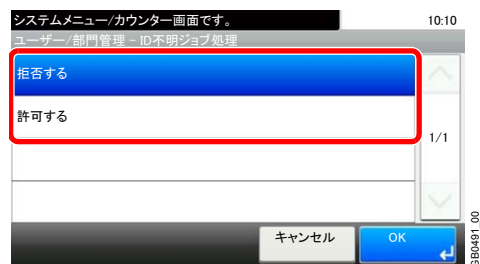
部門管理初期設定の項目

項目	説明
制限超過時設定	制限ページ数に達したときの処理を設定します。 設定値 **即時禁止***：制限ページ数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。 **次ジョブから禁止**：印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。 **警告のみ**：警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。
コピー/プリンターカウント方法	コピーとプリンターの使用ページ数を合計して管理するか、個別に管理するかを選択します。この設定によって、使用ページ数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。 9-66ページの**使用制限について**、9-68ページの**使用ページ数の集計**、9-70ページの**部門レポートの印刷**を参照してください。 設定値：**合計**、**個別**
カウンター制限初期値	新規部門の登録で使用ページ数を制限するときの、ページ数の初期値を変更します。 9-66ページの**使用制限について**を参照してください。 設定値：1～9,999,999枚

* 送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。

ID不明ジョブ処理

ログインユーザー名（ユーザーID）または部門コードが不明な（送られてこない）ジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択します。

1 画面を表示する

2 設定する

10　こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

トナーコンテナを交換する

タッチパネルに「トナーがありません。」が表示されたときは、すぐにトナーコンテナを交換します。

 注意

トナーコンテナは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

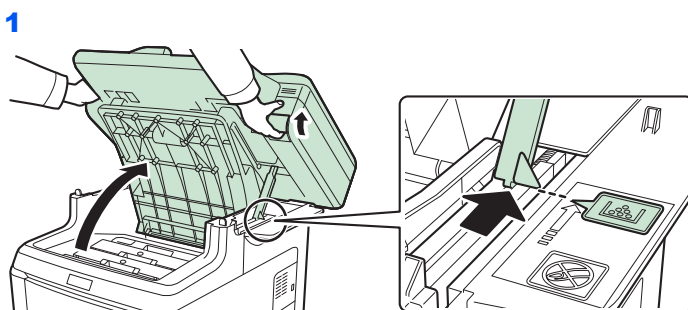
参考

トナーコンテナは、必ず純正品を使用してください。純正品を使用しない場合、画像不良や故障の原因となります。

本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

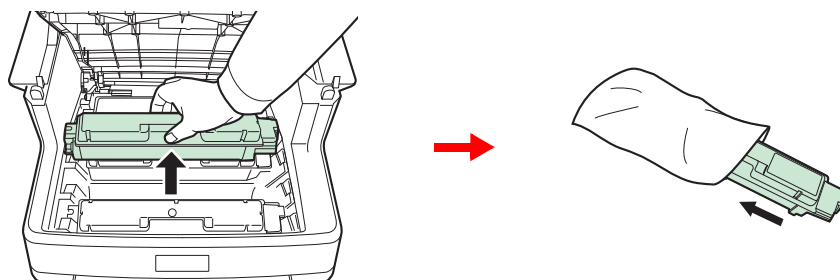
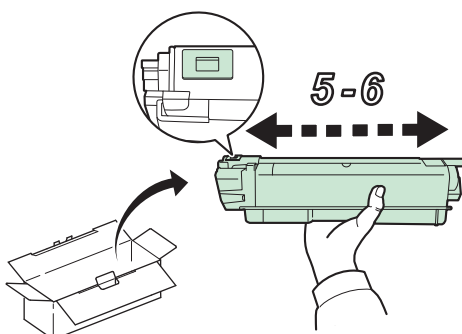
トナーコンテナの交換手順は全色同じです。ここでは、シアンのトナーコンテナを例に説明します。

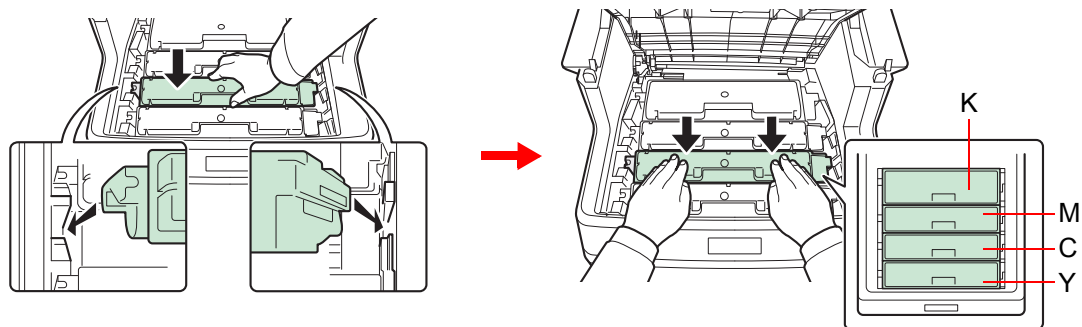
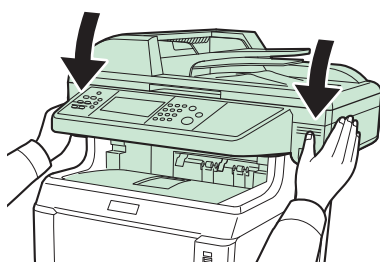
1 古いトナーコンテナを取り外す

1

重要

転倒防止のため、上カバーと原稿送り装置は同時に開きません。

上カバーは、図の位置まで開けてください。この位置まで開けないと、トナーコンテナが装着できません。

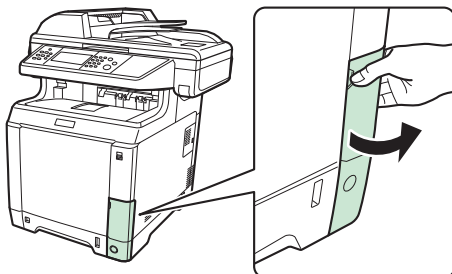
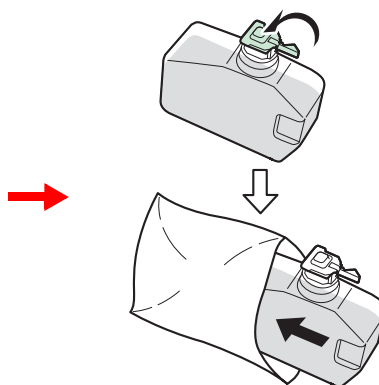
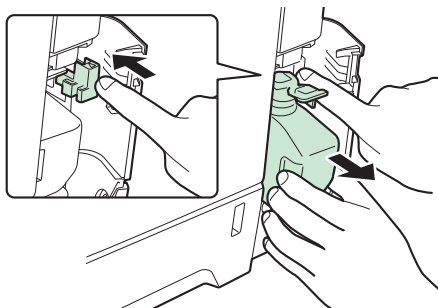
2

2 新しいトナーコンテナを準備する

3 新しいトナーコンテナをセットする

1

2

重要

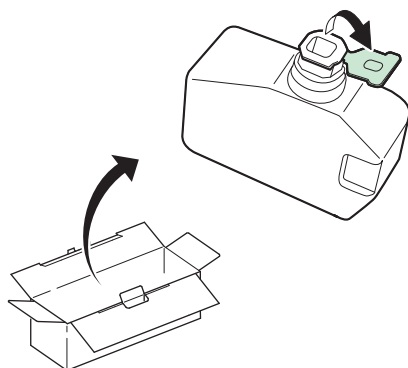
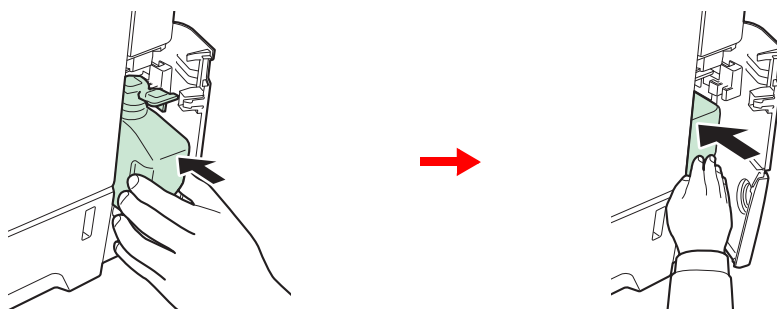
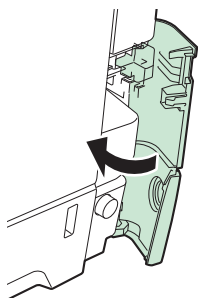
上カバーを閉める際、指をはさまないようにご注意ください。

廃棄トナーボックスを交換する

タッチパネルに「廃棄トナーボックスを確認してください。」が表示されたときは、すぐに廃棄トナーボックスを交換します。

1 古い廃棄トナーボックスを取り外す

2

重要
注意：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。

2 新しい廃棄トナーボックスをセットする

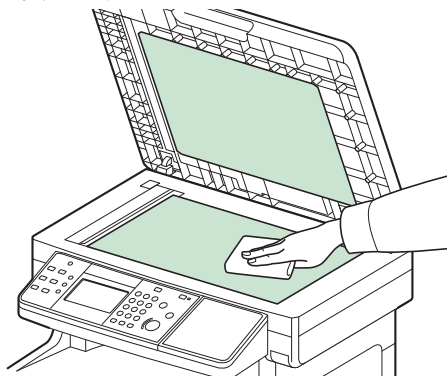
1

トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換後は、本体内部の清掃を行ってください。10-6ページの**清掃する**を参照してください。

清掃する

出力品質を保つため、定期的に本機を清掃します。

本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

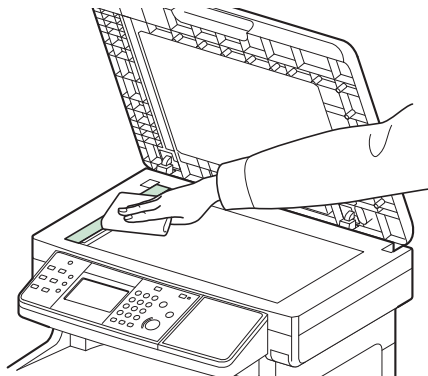
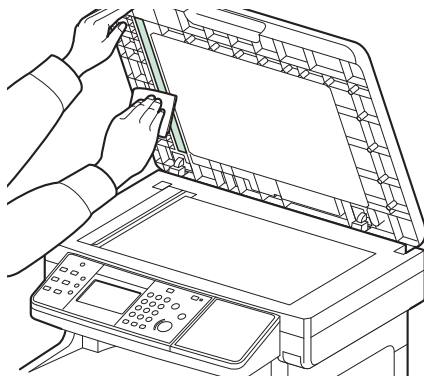
原稿ガラス

アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿送り装置内部、および原稿ガラスを拭きます。

参考
有機溶剤などは使用しないでください。

原稿送り装置

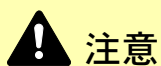
原稿送り装置使用時に、出力紙に黒いすじなどの汚れが写る場合は、スリットガラスを清掃します。

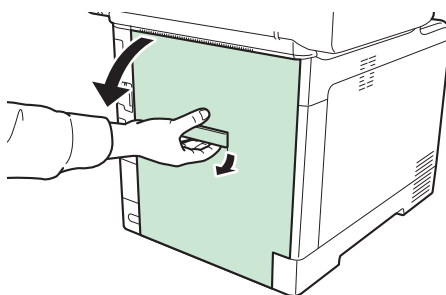
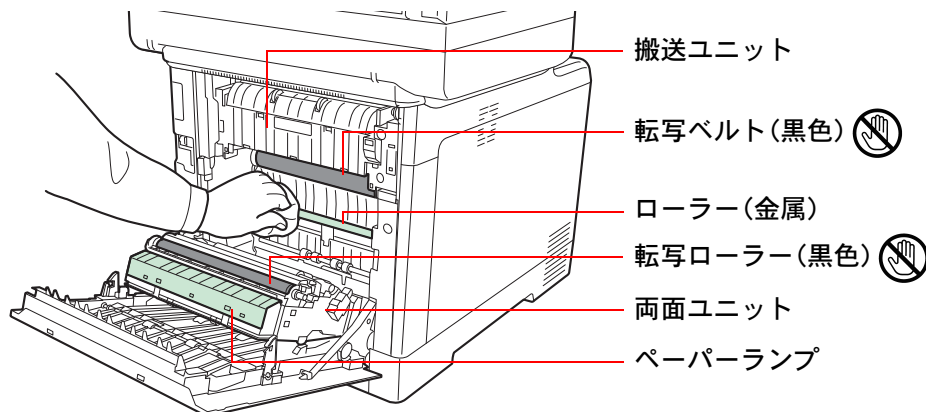
参考
スリットガラスは、乾いた布で拭き取ってください。拭き取る際は水や洗剤を使用しないでください。

1 スリットガラスを拭く

2 **白いガイドを拭く**

搬送ユニット

トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、搬送ユニットの清掃をします。最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に1 回程度は本体内部を清掃することをお勧めします。

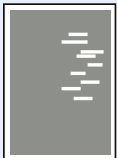
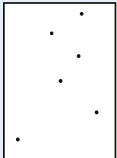
搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。

 注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

1 **後ろカバーを開ける**

2 **内部を拭く**

乾いた柔らかい布で、金属のローラーに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ります。

重要

清掃中は転写ローラ（黒色）や転写ベルト（黒色）に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみてください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は**最終ページ**をご覧ください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が短くありませんか？	オートパネルリセットの設定時間を30秒以上に設定してください。	9-23ページ
電源を入れても、タッチパネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-11ページ
スタートキーを押しても印刷できない。	タッチパネルにメッセージが表示されていませんか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	10-13ページ
	スリープ状態になっていませんか？	電源キーを押すと20秒以内で再びコピーできるようになります。	2-21ページ
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-11ページ
	電源が入っていますか？	主電源スイッチを入れてください。	2-13ページ
	プリンターケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	プリンターケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-10ページ
	プリンターケーブルを接続前に、本体の電源を入れましたか？	プリンターケーブルを接続後に、本体の電源を入れてください。	2-10ページ
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	8-3ページ
白紙が排紙される。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	3-10ページ
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	3-12ページ
	—	パソコンで問題が発生している場合があります。アプリケーションでエラーが出ていないか、設定が正しいか確認してください。	—
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-2ページ
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-2ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	10-21ページ
用紙にシワやカールが発生する。	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-2ページ
正しく印刷されない。	パソコン側の印刷設定が、間違っていませんか？	アプリケーションソフトや、ドライバーの印刷設定が正しいか確認してください。	—

現象	確認事項	処置	参照ページ
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[**ブロックする**]になっていませんか？	USBホストの設定を、[**ブロックしない**]に変更してください。	9-22ページ
	―	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	―
印刷が薄い。	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	3-43ページ、9-23ページ
	トナーコンテナをよく振りましたか？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	10-2ページ
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか？	トナーコンテナを交換してください。	10-2ページ
	エコプリントを設定していませんか？	エコプリントの設定を、[**設定しない**]に切り替えてください。	4-13ページ
	―	レーザースキャナークリーニングを実行してください。	9-24ページ
	―	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	9-7ページ
印刷用紙が全体的に灰色になる。	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	3-43ページ、9-23ページ
	―	キャリブレーションを実行してください。	9-24ページ
原稿の地色が気になる。	―	地色調整を実行してください。	3-47ページ
用紙の印刷面が汚れる。	原稿ガラスや原稿送り装置が汚れていませんか？	原稿ガラスや原稿送り装置を清掃してください。	10-6ページ
	―	レーザースキャナークリーニングを実行してください。	9-24ページ
用紙の先端や裏側が汚れる。	搬送ユニットが汚れていませんか？	搬送ユニットを清掃してください。	10-7ページ
印刷がぼける。	湿気が高い場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	1-3ページ
画像の一部が周期的に薄い、または白いすじが入る。	―	後ろカバーを開けて、閉め直してください。	―
	―	ドラムリフレッシュを実行してください。	9-24ページ
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿が印刷された写真ですか？	画質モードを[**写真**]にしてください。	3-45ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷が鮮明でない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	3-45ページ
	―	レーザースキャナークリーニングを実行してください。	9-24ページ
線が入る。	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを清掃してください。	10-6ページ
	―	レーザースキャナークリーニングを実行してください。	9-24ページ
印刷位置がズレる。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	3-10ページ
		原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	3-11ページ
	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-2ページ
送信した画像のサイズが縮んで表示される。	解像度に200 × 100 dpiノーマル、または200 × 400 dpiスーパーファインを選択している可能性があります。	200 × 100 dpiノーマル、または200 × 400 dpiスーパーファイン以外を選択して送信してください。	3-44ページ
オフセットが発生する。	―	ドラムリフレッシュを実行してください。	9-24ページ
	―	[MC]の設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	9-24ページ
画像の一部が周期的に薄い、またはぼやける。	―	[MC]の設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	9-24ページ
画像に不規則な横すじが入る。	―	[MC]の設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	9-24ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
使用環境が海抜1500 m以上の高地であり、画像に不規則な横白すじが入る。	―	**[高度調整]**を**[高地1]**に設定してください。**[高地1]**に設定しても、効果が現れない場合は、**[高地2]**に設定してください。	9-24ページ
使用環境が海抜1500 m以上の高地であり、画像に色点が入る。	―	**[高度調整]**を**[高地1]**に設定してください。**[高地1]**に設定しても、効果が現れない場合は、**[高地2]**に設定してください。	9-24ページ
色ずれが起こる。	―	キャリブレーションを実行してください。	9-24ページ
	―	カラー印刷位置補正を実行してください。	9-25ページ
印刷で思ったとおりの色がでない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	3-45ページ
	給紙元にカラーコピー専用紙がセットされていますか？	カラーコピー専用紙をセットしてください。	3-2ページ
	―	キャリブレーションを実行してください。	9-24ページ
	―	**【コピーの場合】** カラーバランスを調整してください。	4-15ページ
		【パソコンからの印刷の場合】 プリンタードライバーでカラーの調整をしてください。	**プリンタードライバー操作手順書**参照

現象	確認事項	処置	参照ページ
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-10ページ
	本体側のネットワーク設定は正しく設定されていますか。	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	9-17ページ
	フォルダーの共有設定は正しく設定されていますか。	フォルダーのプロパティーで共有設定、アクセス許可を確認してください。	6-7ページ
	SMBプロトコルはオンになっていますか。	SMBプロトコルの設定を[**オン**]にしてください。	2-24ページ
	[**ホスト名**]を正しく入力しましたか。*	データの宛先になるコンピューター名を確認してください。	6-5ページ
	[**パス**]を正しく入力しましたか。	共有フォルダーの共有名を確認してください。	6-10ページ
	[**ログインユーザー名**]を正しく入力しましたか。* **	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	6-19ページ
	[**ホスト名**]と[**ログインユーザー名**]のドメイン名が同じになっていませんか。	[**ログインユーザー名**]に入力されている「ドメイン名」と「￥」を削除してください。	6-19ページ
	[**ログインパスワード**]を正しく入力しましたか。	ログインパスワードを確認してください。	6-19ページ
	Windowsファイアウォールの例外設定は正しく設定されていますか？	Windowsファイアウォールの例外設定を正しく設定してください。	6-11ページ 6-14ページ
	本体、ドメインサーバー、データの送り先になるパソコンの時間設定がずれていませんか。	本体、ドメインサーバー、データの送り先になるパソコンの時間設定を合わせてください。	—
	タッチパネルに「送信エラーです。」と表示されていませんか。	**送信エラー**を参照してください。	10-18ページ

* ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。(例：pc001.abcdnet.com)

** ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。
ドメイン名/ ユーザー名（例：abcdnet/james.smith）
ユーザー名＠ドメイン名（例：james.smith@abcdnet）

こんな表示がでたら

タッチパネルにエラーメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。問題が解決されないときは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は**最終ページ**をご覧ください。

英数字

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
KPDLエラーです。*	―	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―
MKを交換してください。	―	約200,000イメージの印刷ごとにメンテナンスキットによる部品交換が必要です。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は**最終ページ**を参照してください。	―
RAMディスクエラーです。*	―	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。 04:RAMディスク上の空き容量が足りません。システムメニューの[**RAMディスク設定**]でRAMディスクサイズを大きくしてください。 参考:RAMディスクサイズの設定範囲は、[**オプションメモリー使用量**]で[**プリンター優先**]を選択すると大きくなります。	9-22ページ

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

あ行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
以下の用紙は両面印刷できません。*	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか?	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[**用紙選択**]を押してください。両面印刷を解除して印刷をする場合は、[**継続**]を押してください。	4-7ページ

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

か行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
外部メモリーがフォーマットされていません。	外部メモリーを本機でフォーマットしましたか？	本機で[**フォーマット**]を実行してください。	8-12ページ
外部メモリーエラーです。*	外部メモリーが書き込み禁止になっていませんか？	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01：書込み可能な外部メモリーを接続してください。	7-2ページ
	―	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01：一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ON してください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。本機で[**フォーマット**]を実行してください。フォーマットできない場合は外部メモリーが壊れています。適応する外部メモリーを接続してください。	7-2ページ
外部メモリーの容量がいっぱいです。*	―	ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。 外部メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除してください。	―
カセット〇でエラーが発生しました。	―	カセットを取り外してください。[**次へ>**]を押してください。	―
カセット〇に以下の用紙を補給してください。	選択した用紙サイズと選択した給紙元にセットされている用紙サイズが一致していますか？	印刷する場合は[**継続**]を押してください。ジョブを中止する場合は[**中止**]を押してください。	―
	表示されているカセットの用紙がなくなっていませんか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[**用紙選択**]を押してください。選択した用紙で印刷する場合は、[**継続**]を押してください。	3-3ページ
カセットが抜けています。	―	給紙できません。タッチパネルに表示されているカセットをセットしてください。	―
カバーが開いています。	開いているカバーはありませんか？	タッチパネルに表示されているカバーを閉じてください。	―
紙づまりです。	―	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスがタッチパネルに表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-21ページ

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
起動エラーです。	―	アプリケーションの起動に失敗しました。管理者に連絡してください。	―
	―	拡張認証が機能しません。主電源スイッチを入れ直してください。問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。	―
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	―
高温環境です。室温調整してください。	―	機械設置場所の空調温度を調整してください。	1-3ページ
故障が発生しました。	―	本機内部で異常が発生しています。タッチパネルに表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	―
このジョブは実行できません。*	―	ユーザー認可または部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

さ行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
システムエラーです。	―	システムエラーが発生しています。タッチパネルに表示された手順に従って処理してください。	―
指定外のトナーが装着されています。	装着されたトナーは純正消耗品（指定トナー）ですか？	純正消耗品以外の消耗品（指定外トナー）が原因の故障については責任を負いかねますので、ご了承ください。	―
指定外のトナーが装着されています。PC **[C] [M] [Y] [K]**	装着されたトナーの仕向け地が、本来の仕向け地と一致していますか？	本体仕向け地と一致したトナーを使用してください。	―
指定された部数を印刷できません。*	―	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[**継続**]を押してください。ジョブを中止する場合は[**中止**]を押してください。	―
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。	―	このジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―
スキャナーのメモリー不足です。*	―	メモリー不足のため、処理できません。読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[**継続**]を押すと読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[**中止**]を押すと印刷、送信、または保存を中止します。	―
全ての原稿を再セットし[継続]を押してください。	―	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットしなおしてください。[**継続**]を押すと、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[**中止**]を押してください。	―
送信エラーです。*	―	送信中にエラーが発生しました。エラーコードとその詳細は**送信エラー**を参照してください。	10-18ページ

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

た行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
低温環境です。室温調整してください。	―	機械設置場所の空調温度を調整してください。	1-3ページ
手差しトレイに以下の用紙を補給してください。	選択した用紙サイズと選択した給紙元にセットされている用紙サイズが一致していますか？	印刷する場合は[**継続**]を押してください。ジョブを中止する場合は[**中止**]を押してください。	―
	表示されている手差しトレイの用紙がなくなっていませんか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[**用紙選択**]を押してください。選択した用紙で印刷する場合は、[**継続**]を押してください。	3-6ページ
電源コードが抜けています。	―	本体の電源コードを抜き、ペーパーフィーダー(マルチ)に接続してください。	―
トナーがありません。[C][M][Y][K]	―	トナーコンテナを交換してください。	10-2ページ
トナーが残り少なくなっています。[C][M][Y][K]	―	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	―
トナーコンテナを確認してください。	―	トナーコンテナが正しくセットされていません。トナーコンテナを正しくセットしてください。	10-2ページ

な行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイが用紙オーバーです。	―	内部トレイから用紙を取り出してください。[**継続**]を押すと、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[**中止**]を押してください。	―
認証サーバーに接続できません。*	―	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	9-23ページ
	―	ドメイン名を確認してください。	9-32ページ
	―	ホスト名を確認してください。	9-32ページ
	―	サーバーとの接続状況を確認してください。	―

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

は行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	10-4ページ
	―	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-4ページ
付属電話機の受話器がはずれています。	―	受話器を戻してください。	―

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
部門管理の制限を超えました。*	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。このジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―
部門管理の設定に失敗しました。*	―	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―
部門コードが違います。*	―	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―
プリントオーバーランです。	―	プリンターのメモリー不足のため、ジョブを一時停止しました。ジョブを再開します。[**継続**]を押してください。	―
ボックスの容量制限を超えました。*	―	ボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。ボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	―

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

ま行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。*	―	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[**継続**]を押してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[**中止**]を押してください。	―
	―	メモリー不足のため、処理できません。[**終了**]のみ表示されている場合は[**終了**]を押してください。このジョブは中止されます。	―
メモリーが不足しています。	―	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	―

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

や行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えていませんか？	読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[**継続**]を押すと読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[**中止**]を押すと印刷、送信、または保存を中止します。	―

ら行

エラーメッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ログインユーザー名またはパスワードが違います。*	―	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[**終了**]を押してください。	―

* エラー自動継続を[**設定する**]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

送信エラー

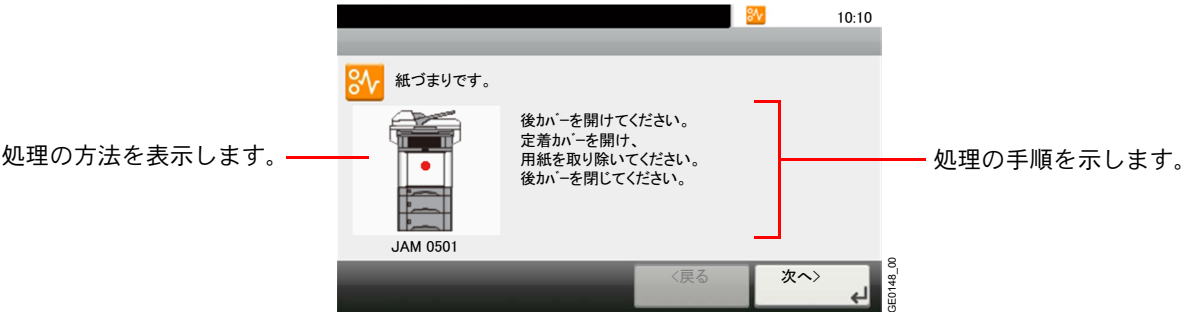
コード	エラー	処理方法	参照ページ
1101	メール送信できませんでした。	COMMAND CENTERでSMTPサーバーのホスト名を確認してください。	2-24ページ
	FTP送信できませんでした。	FTPのホスト名を確認してください。	6-20ページ
	SMB送信できませんでした。	SMBのホスト名を確認してください。	6-19ページ
1102	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 ・ログインユーザー名またはログインパスワード 参考：ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 ・ホスト名 ・パス	6-20ページ
	メール送信できませんでした。	COMMAND CENTER の設定を確認してください。 ・SMTP のログインユーザー名またはログインパスワード ・POP3 のログインユーザー名またはログインパスワード	2-24ページ
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 ・ログインユーザー名またはログインパスワード 参考：ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。	6-20ページ
1103	SMB送信できませんでした。	SMB の設定を確認してください。 ・ログインユーザー名またはログインパスワード 参考：ドメインユーザの場合はドメイン名を指定してください。 ・パス ・送信先フォルダーのアクセス権	6-20ページ
	FTP送信できませんでした。	FTP の設定を確認してください。 ・パス ・送信先フォルダーのアクセス権	6-20ページ
1104	メール送信できませんでした。	メールアドレスを確認してください。 参考：ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。	6-22ページ
1105	SMB送信できませんでした。	COMMAND CENTERでSMBプロトコルの設定を[**オン**]にしてください。	2-24ページ
	メール送信できませんでした。	COMMAND CENTERでSMTPを[**オン**]にしてください。	2-24ページ
	FTP送信できませんでした。	COMMAND CENTERでFTPを[**オン**]にしてください。	2-24ページ
1106	メール送信できませんでした。	COMMAND CENTERでSMTPの差出人アドレスを確認してください。	2-24ページ

コード	エラー	処理方法	参照ページ
1131	FTP送信できませんでした。	COMMAND CENTERでセキュアプロトコルのSSLを[オン]にしてください。	2-24ページ
1132	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 ・FTPS に対応していますか？ ・設定した暗号方式に対応していますか？	2-24ページ
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態 ・ホスト名またはIP アドレス ・ポート番号	―
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態 ・ホスト名またはIP アドレス ・ポート番号	―
	メール送信できませんでした。	ネットワークとCOMMAND CENTERの設定を確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態 ・POP3ユーザーのPOP3サーバー名 ・SMTPサーバー名	―
2102 2103	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 ・FTPに対応していますか？ ・サーバーの状態	―
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
2201	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
2202	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
2203	FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
2204	メール送信できませんでした。	COMMAND CENTERのSMTP設定でメール送信のサイズ制限を確認してください。	2-24ページ

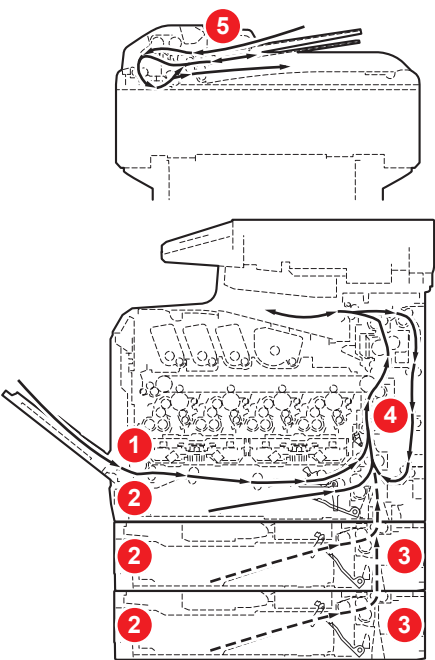
コード	エラー	処理方法	参照ページ
2231	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してください。	―
	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 ・ネットワークケーブルの接続 ・ハブの動作 ・サーバーの状態	―
3201	メール送信できませんでした。	送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。	―
0007 4201 4701 5101 5102 5103 5104 7101 7102 7103 720f	―	主電源スイッチを入れなおしてください。何度も発生するときは、タッチパネルに表示されているエラーコードを書きとめ、サービス担当者にご連絡ください。	2-13ページ

紙づまりが発生したら

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに「紙づまりです。」が表示されます。以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除きます。

画面のみかた

[次へ >]	次の画面に進みます。
[< 戻る]	前の画面に戻ります。
[保留]	現在の手順を保留して、状況確認画面を表示します。ジョブの状況を確認できます。(8-2ページのジョブの状況確認参照)

紙づまりの位置

紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを確認して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりの発生位置	内容	参照ページ
1	手差しトレイの紙づまりを処理してください。	10-22ページ
2	カセットの紙づまりを処理してください。	10-22ページ
3	ペーパーフィーダーの紙づまりを処理してください。	10-23ページ
4	搬送ユニットの紙づまりを処理してください。	10-23ページ
5	原稿送り装置の紙づまりを処理してください。	10-25ページ

注意事項

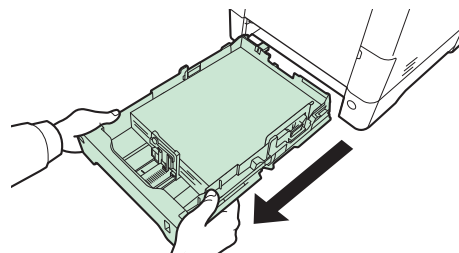
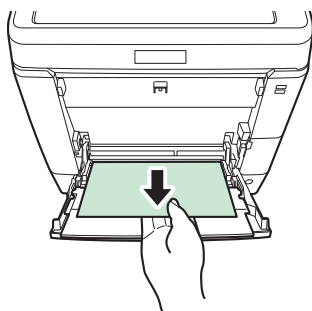
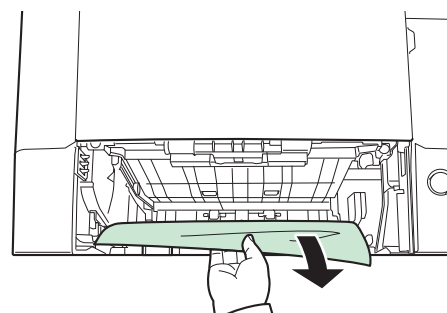
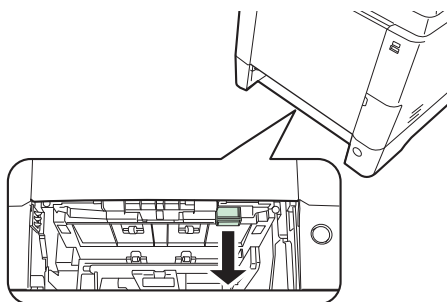
- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

注意

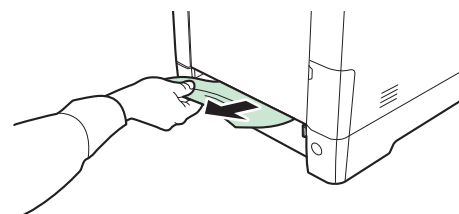
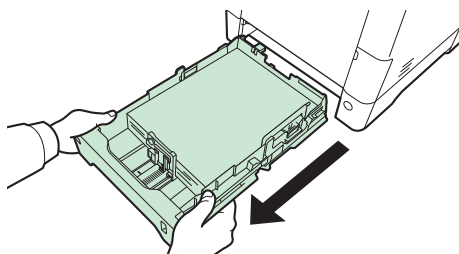
本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

手差しトレイ

手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

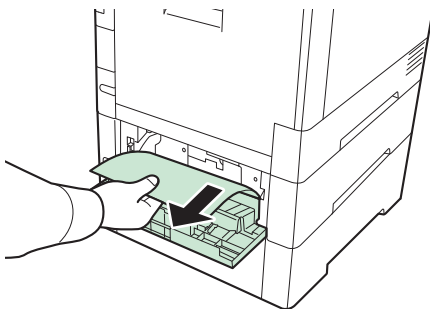
1

2

カセット

カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

参考

用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに10-23ページの**搬送ユニット内部**を参照してください。

ペーパーフィーダー

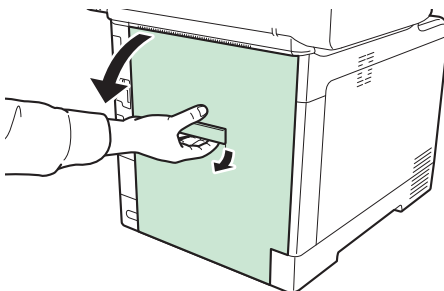
ペーパーフィーダーで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

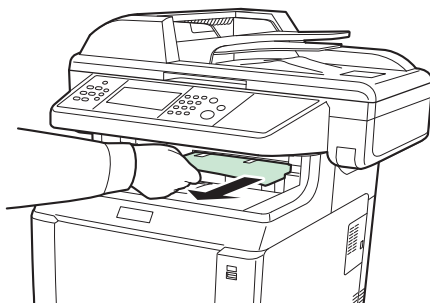
参考

用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに10-23ページの**搬送ユニット内部**を参照してください。

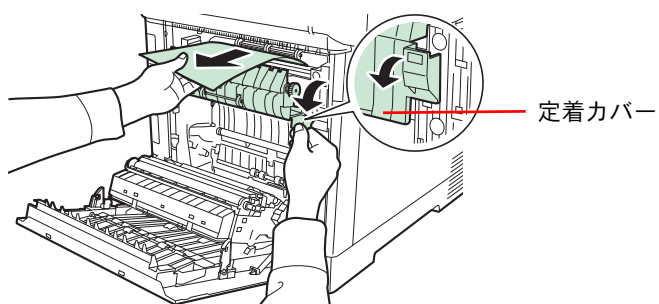
搬送ユニット内部

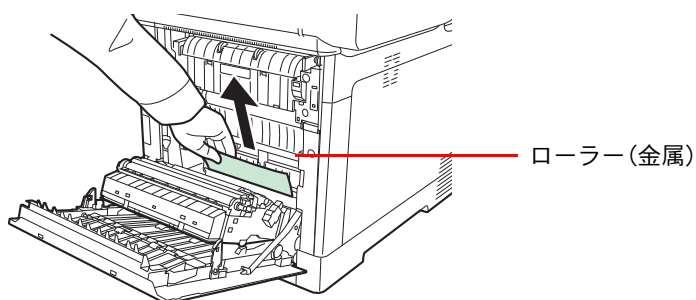
搬送ユニット内部で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

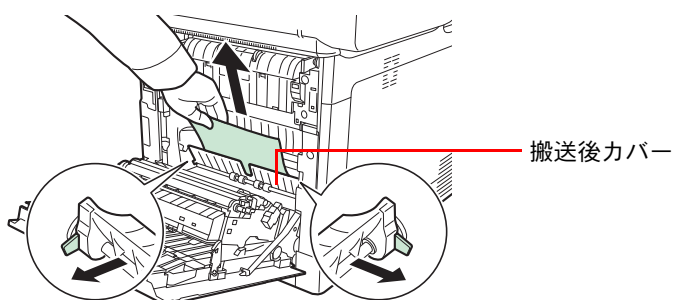
1

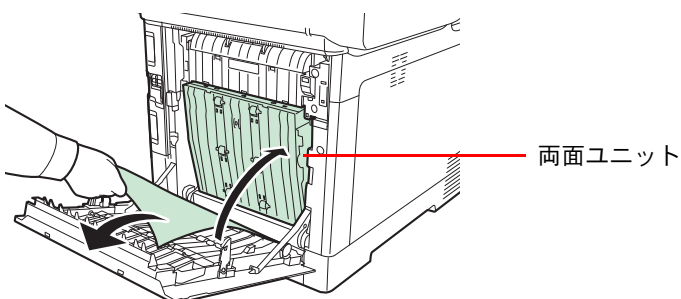
注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

2

内部トレイにほとんど用紙が出ている紙づまりの場合は、用紙を引き出して取り除きます。

3

定着部に達した紙づまりの場合は、定着カバーを開けて、用紙を引き出して取り除きます。

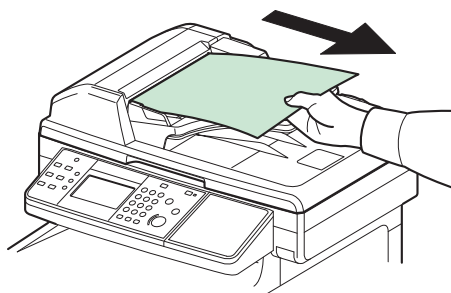
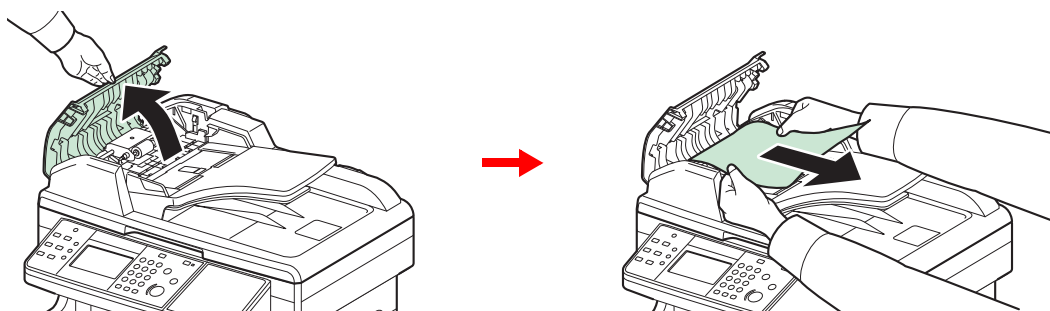
4

ローラー（金属）に達していない紙づまりの場合は、用紙を引き出して取り除きます。

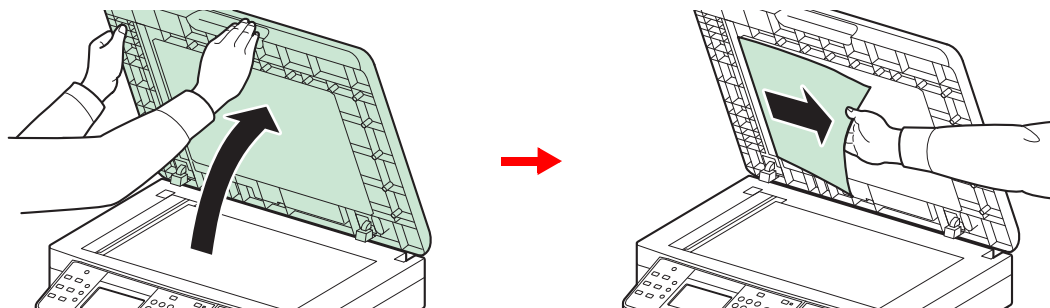
5

本体内部の紙づまりの場合は、搬送後カバーを開けて、用紙を引き出して取り除きます。

6

両面ユニットに達した紙づまりの場合は、両面ユニットを持ち上げて、用紙を取り除きます。

原稿送り装置

原稿送り装置で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1

2

原稿がローラーに引っかかって取り除くことができない場合は、次の手順に進みます。

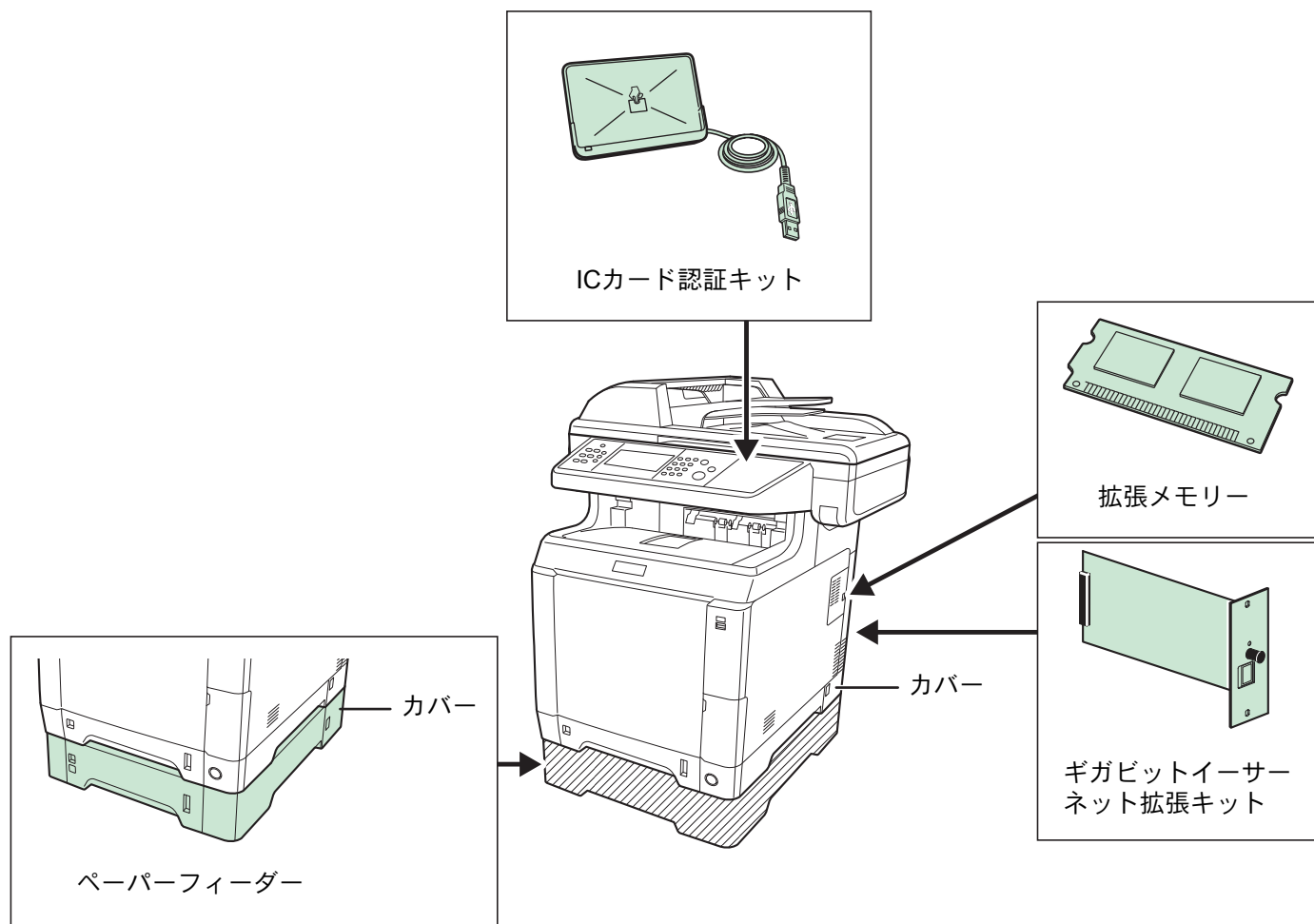
3

11　付録

この章では、次の項目について説明します。

オプションについて

便利なオプションについて説明します。

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。

ペーパーフィーダー

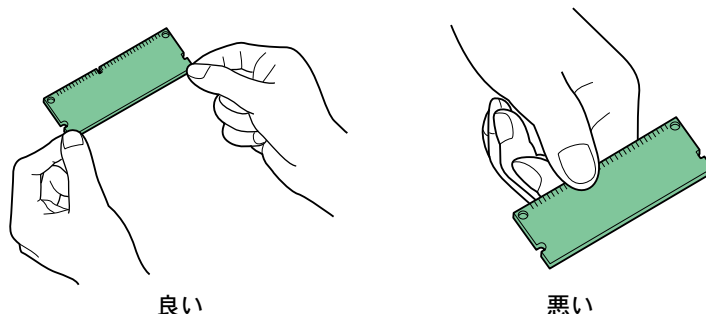
用紙を500 枚(80g/m²)収納できるペーパーフィーダー(普通紙用)、ペーパーフィーダー(マルチ)(多用途メディア用)を2段増設することができます。用紙のセットのしかたは本体カセットと同じです。

参考
紙づまりが発生したときに用紙を取り除くために、ペーパーフィーダの後側に後カバーがあります。

重要
ペーパーフィーダー使用中は、カバーを必ず取り付けてください。

拡張メモリー

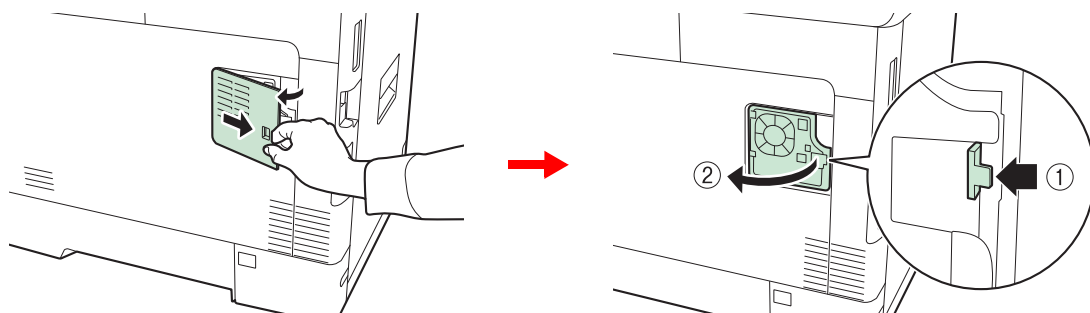
メモリーを増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。オプションの拡張メモリー（256 MB、512 MB、1024 MB）を装着することで、最大2048 MBまでメモリーを拡張できます。

メモリー取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーには大敵です。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。

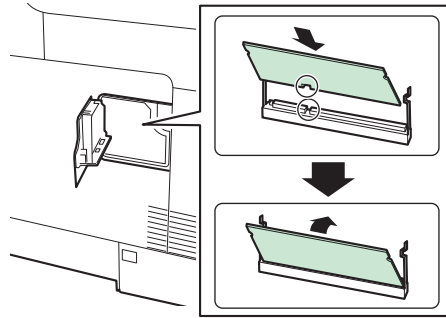
メモリーの取り付け

1 電源を切る

電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを外す

3 取り付ける

1 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。

2 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。

重要
メモリーを差し込む前に、本体の主電源スイッチが切られているか確認してください。

3 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。

4 取り外したカバーを本体に取り付けます。

拡張メモリーの取り外し

取り付けた拡張メモリーを取り外す場合は、本体右側のカバーを取り外し、ソケットにある2つのストッパを慎重に押すと、拡張メモリーはソケットから外れます。

拡張メモリーの確認

拡張メモリーが正しく装着されたかどうかは、ステータスページを印刷することによって確認できます。

9-5ページの**レポート**を参照してください。

ICカード認証キット

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、ICカード認証キットの**使用説明書**を参照してください。

ギガビットイーサーネット拡張キット

ギガビットイーサーネット拡張キットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。本体標準のネットワークインターフェイス同様、TCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalkプロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIXなどのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

オプション機能

本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。

アプリケーションのご紹介

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。アプリケーションは一定の期間お試しとして使用することができます。

ICカード認証キット

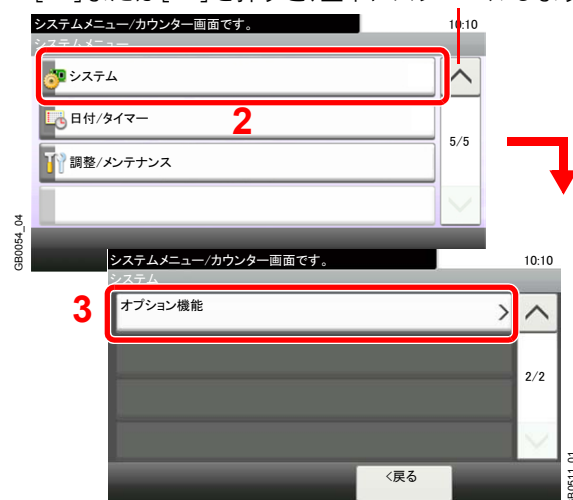
ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、ICカード認証キットの**使用説明書**を参照してください。

> **参考**
> お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。

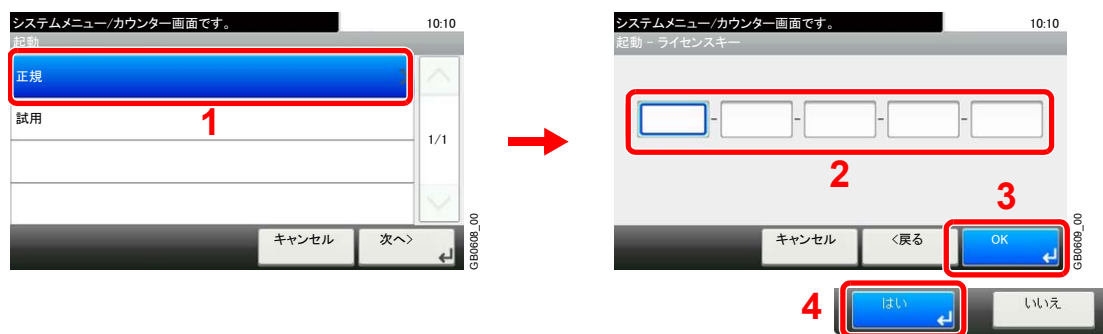
アプリケーションの使用を開始する

アプリケーションの使用を開始する操作手順は、次のとおりです。

> **参考**
> ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザ名とログインパスワードを入力し、**[ログイン]**を押してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。デフォルトのログインユーザー名とログインパスワードについては、9-35ページの**ユーザーの新規登録**を参照してください。

1 画面を表示する

2 設定する

1 使用を開始するアプリケーションを選択して、[**起動**]を押します。

2 [**正規**]を選択して、ライセンスキーを入力します。

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。

お試しで使用する場合は、[**試用**]を押してください。

重要
アプリケーションを使用しているときに日付/時刻を変更すると、アプリケーションが使用できなくなります。

文字の入力方法

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式の選択

入力方式には次の3種類があります。

かな漢字－かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

ローマ漢字－ローマ字入力（例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する）で漢字などを入力するときに使用してください。

区点入力－4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

1 入力方式を切り替える

入力方式（[**かな漢字**]、[**ローマ漢字**]、[**区点入力**]）が表示されているキーを押すと、順番に入力方式が切り替わります。

入力文字の選択

入力方式で「かな漢字」または「ローマ漢字」を選択したときは、入力文字には次の7種類があります。

ひらがな－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角記号－無変換で全角記号、全角数字を入力するときに使用してください。

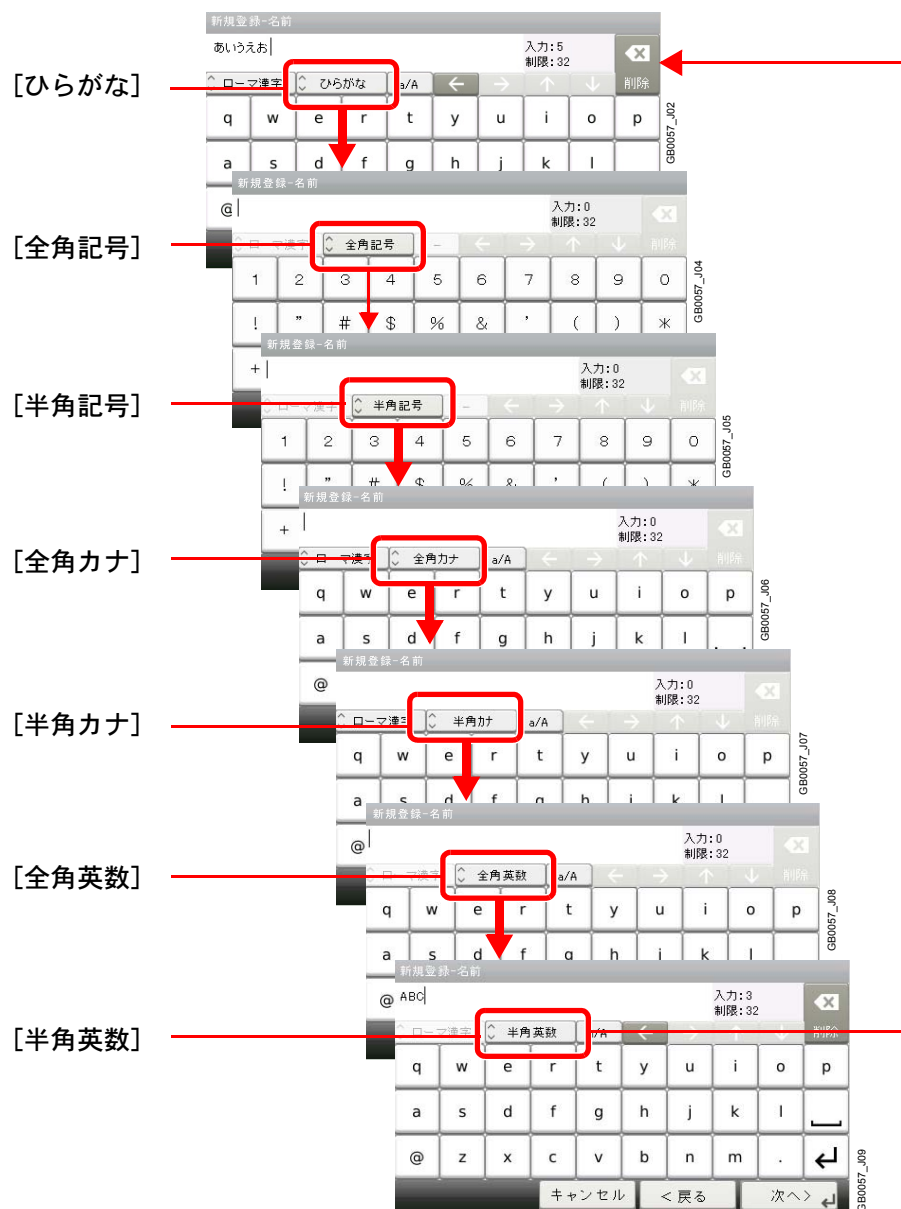
半角記号－無変換で半角記号、半角数字を入力するときに使用してください。

全角カナ－全角カタカナを入力するときに使用してください。

半角カナ－半角カタカナを入力するときに使用してください。

全角英数－無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。

半角英数－無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。

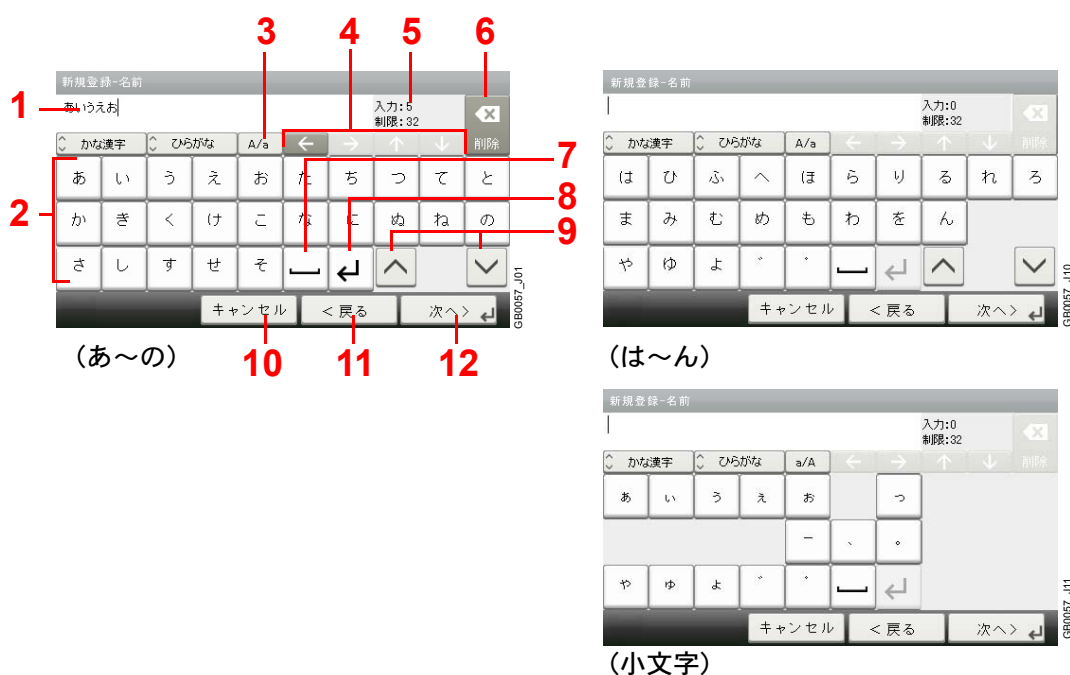
1 入力文字を切り替える

入力文字が表示されているキーを押すと、順番に入力文字が切り替わります。

参考
入力方式として[**区点入力**]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

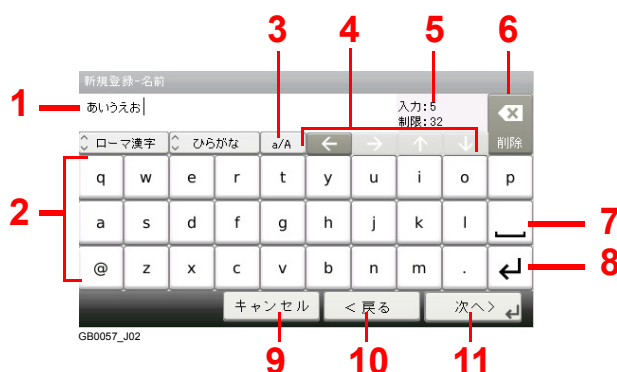
かな漢字入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。

（あ～の）　（は～ん）　（小文字）

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を押してください。
3	[A/a]、[a/A]	「ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ー、(、)、(。)」を入力するときに押してください。もう一度押すと、元の画面に戻ります。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに押してください。
6	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
7	スペースキー	スペースを入力するときに押してください。
8	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するときに押してください。
9	[へ]、[V]	キーボード（あ～の）とキーボード（は～ん）を切替えるときに押してください。
10	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
11	[<戻る]	前の画面に戻るときに押してください。
12	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。

参考
操作パネルのクリアキーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

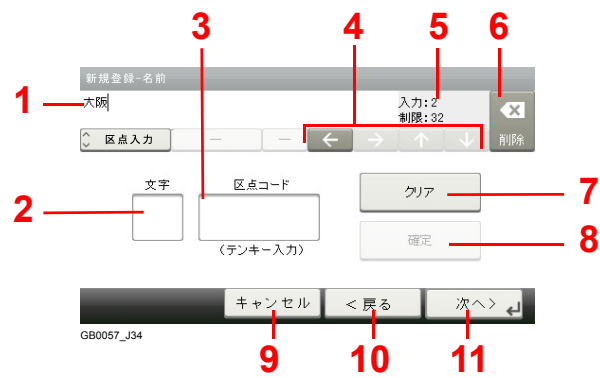
ローマ漢字入力

次の画面は入力文字として「ひらがな」を選択した場合です。

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を押してください。
3	[A/a]、[a/A]	キーボード(大文字)とキーボード(小文字)を切り替えるときに押してください。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに押してください。
6	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
7	スペースキー	スペースを入力するときに押してください。
8	改行/確定キー	入力した文字を改行したり、未確定の文字を確定するときに押してください。
9	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
10	[＜戻る]	前の画面に戻るときに押してください。
11	[OK]/[次へ＞]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。

参考

操作パネルのクリアキーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

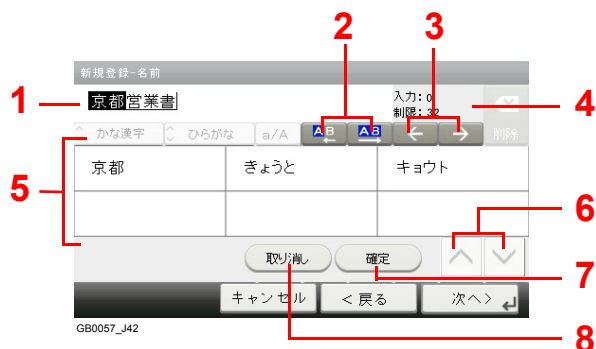
区点入力

次の画面は入力方式として[**区点入力**]を選択した場合です。

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。
4	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに押してください。
5	[**入力**]、[**制限**]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
6	[**削除**]	カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
7	[**クリア**]	入力した区点コードを消去するときに押してください。
8	[**確定**]	区点コードに対応した文字を確定するときに押してください。
9	[**キャンセル**]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
10	[**< 戻る**]	前の画面に戻るときに押してください。
11	[**OK**]/[**次へ>**]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに押してください。

参考

各文字の区点コードは、11-28ページの**区点コード表**を参照してください。

かな漢字入力とローマ字漢字入力での文字変換

ローマ漢字入力、かな漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]を押すと次のような文字変換画面が表示されます。

番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	[AB]、[AB]	変換対象文節の長さを変更するときに押してください。
3	[←]、[→]	変換対象の文節を移動させるときに押してください。
4	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
5	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
6	[︿]、[﹀]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに押してください。
7	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに押してください。
8	[取り消し]	[変換]を押す前に戻るときに押してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

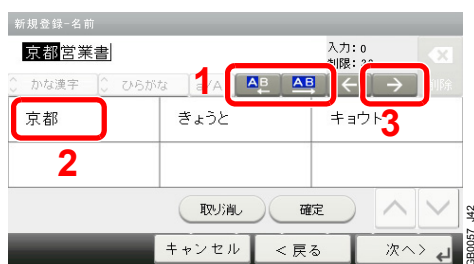
1 **「きょうとえいぎょうしょ」と入力する**

入力方式が[**かな漢字**]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。
入力方式が[**ローマ漢字**]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

2 [変換]を押す

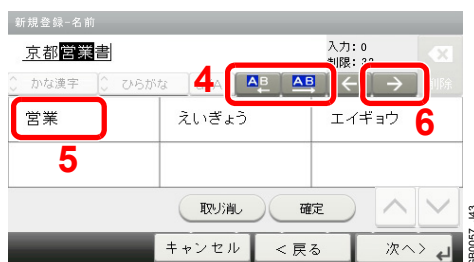
文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

3 文節を調整して変換する

1 [AB←]または[AB→]を押して、変換する部分（この場合まず「きょうと」）を反転させてください。変換候補が表示されます。

2 変換候補リストから、変換する文字（この場合[**京都**]）を押してください。

> **参考**
> 表示されている以外の変換候補がある場合、[∧]または[∨]を押して画面をスクロールしてください。

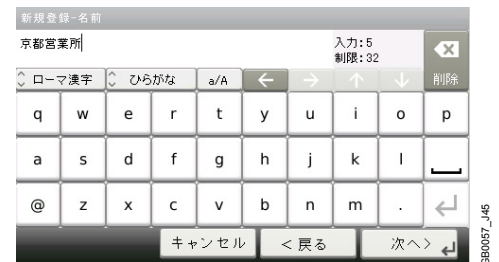
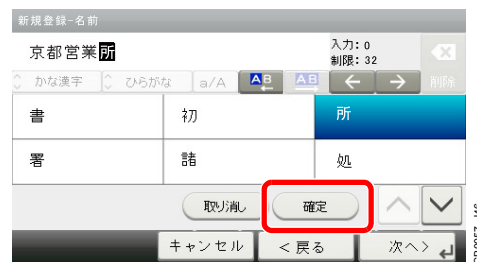
3 [→]を押してください。「京都」が決定します。

4 [AB←]または[AB→]を押して、次の変換する部分（この場合「えいぎょう」）を反転させてください。変換候補が表示されます。

5 変換候補リストから、変換する文字（この場合[**営業**]）を押してください。

6 [→]を押してください。「営業」が決定します。

7 [AB]または[AB]を押して、次の変換する部分（この場合「しょ」）を反転させてください。変換候補が表示されます。

8 変換候補リストから、変換する文字（この場合[所]）を選択してください。

4 変換を確定する

文字の変換が終了すれば、[**確定**]を押してください。入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

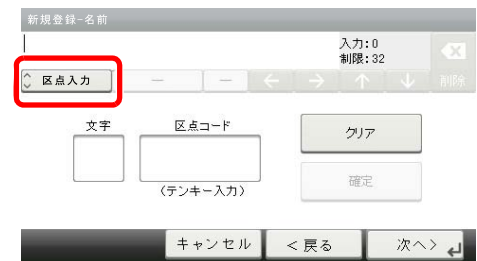
この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。

参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、11-28ページの**区点コード表**を参照してください。

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[区点入力]にする

[**かな漢字**]または[**ローマ漢字**]を押して、[**区点入力**]を表示させてください。

2 「大」を入力する

テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。[**確定**]を押すと「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する

同様にして、区点コード「2669」を入力して[**確定**]を押すと、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 入力した文字を登録する

[次へ >]を押してください。入力した文字を登録します。

用紙について

各カセットに使用できる用紙のサイズと種類について説明します。

セットできる用紙サイズ、種類

各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数について説明します。

カセット

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙60～163 g/m² 再生紙60～163 g/m²	A4、A5、A6、B5、Folio、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、16K、ISO B5、Envelope C5、カスタム	250枚（80 g/m²）

ペーパーフィーダー（オプション）

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙60～163 g/m² 再生紙60～163 g/m² カラー紙60～163 g/m²	A4、A5、B5、Folio、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、16K、Envelope C5、ISO B5、カスタム	500枚（80 g/m²）

ペーパーフィーダー（マルチ）（オプション）

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙60～220 g/m² 再生紙60～220 g/m² カラー紙60～220 g/m²	A4、A5、B5、Folio、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、16K、カスタム	500枚（80 g/m²）
封筒	洋形2号、洋形4号、Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5	積載高さ40 mm

手差しトレイ

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通紙60～220 g/m² 再生紙60～220 g/m² カラー紙60～220 g/m²	A4、A5、A6、B5、B6、Folio、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、16K	50枚（80 g/m²）
はがき 往復はがき	はがき：100 × 148 mm 往復はがき：148 × 200 mm	15枚
封筒	ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、洋形2号、洋形4号 その他のサイズ ポートレート：70 ～ 216 mm ランドスケープ：148 ～ 356 mm	5枚
OHPフィルム	A4、Letter	1枚

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙（普通紙）に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット:60～163 g/m²
	手差しトレイ:60～220 g/m²
厚さ	0.086～0.230 mm
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4～6％
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80％以上

参考
再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80％以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20％以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに±0.7 mmです。用紙四隅の角度は、90°±0.2°のものを使用してください。

手差しトレイ	カセットまたは手差しトレイ
B6（182 × 128 mm）	A4（297 × 210 mm）
はがき（100 × 148 mm）	A5（210 × 148 mm）
往復はがき（148 × 200 mm）	A6（148 × 105 mm）*
Envelope DL（110 × 220 mm）**	B5（257 × 182 mm）
Envelope #10（4-1/8 × 9-1/2"）**	Folio（210 × 330 mm）
Envelope #9（3-7/8 × 8-7/8"）**	Letter
Envelope #6（3-5/8 × 6-1/2"）**	Legal
Envelope Monarch（3-7/8 × 7-1/2"）**	Statement
洋形2号（114 × 162 mm）**	Executive（7-1/4 × 10-1/2"）
洋形4号（105 × 235 mm）**	OficioII
	16K（273 × 197 mm）
	ISO B5（176 × 250 mm）
	Envelope C5（162 × 229 mm）
	サイズ入力（70 × 148～216 × 356 mm）

* オプションのペーパーフィーダーは除きます。
** オプションのペーパーフィーダーにはセットできます。

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

厚さ

本機で使用する用紙は、極端に厚いものや薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は、紙が薄すぎることが考えられます。反対に用紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起きることがあります。適正な用紙の厚さは、0.086～0.110 mmの範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4～6％の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙（60 g/m²以上64 g/m²以下）
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙（106 g/m²以上220 g/m²以下）
- ラベル紙
- 加工紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、封筒、はがき、厚紙、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

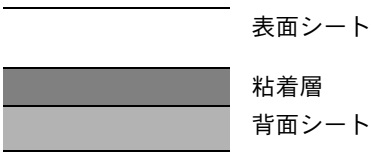
トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

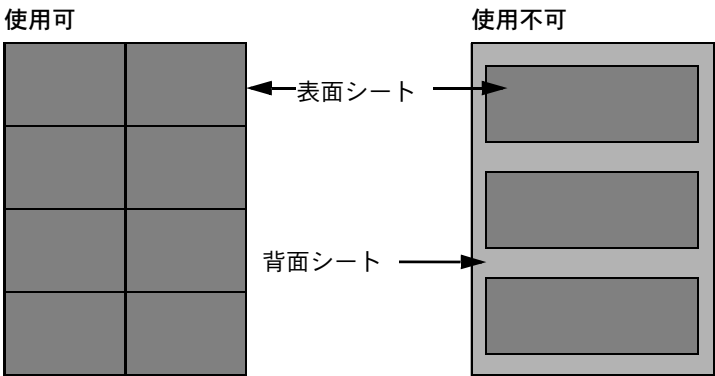
ラベル紙

ラベル用紙は、手差しトレイもしくはペーパーフィーダー（マルチ）から給紙してください。

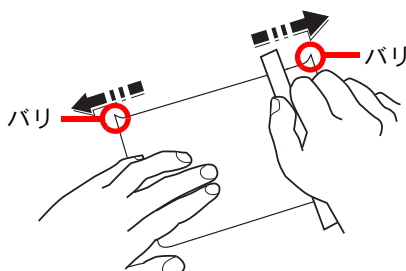
ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。

以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104～151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.160 mm
保水度	4～6%（混合）

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください（郵便局などで入手できます）。また、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒は印刷面を上にして、手差しトレイもしくはペーパーフィーダー（マルチ）から給紙してください。封筒を頻繁に印刷する場合は、ペーパーフィーダー（マルチ）をお勧めします。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端を揃えてから手差しトレイに補給してください。裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考
バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイに補給してください。

カラー紙

カラー紙は、11-17ページの表の仕様を満たしている必要があります。さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱（最高200℃）に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、11-17ページの表の仕様を満たしている必要があります。着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が11-17ページの表を満たしている必要があります。

参考
再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

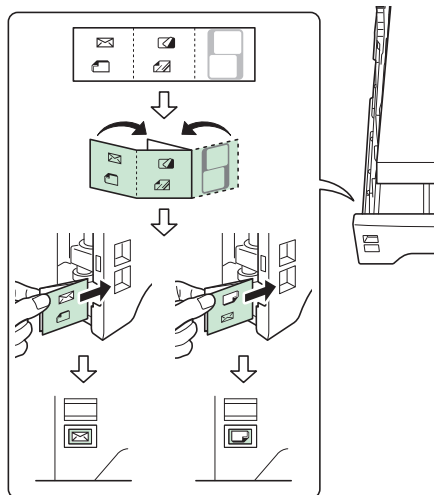
加工紙

加工紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

重要
コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。高湿度の場合は1枚ずつセットしてください。

用紙種類表示シート

オプションのペーパーフィーダー（マルチ）で特殊な用紙を使用する場合、付属の用紙種類シートを三つ折りにし、使用する用紙をおもての上側にしてカセットのフォルダーに差し込んでください。

：封筒を使用するとき

：厚紙を使用するとき

：ラベル紙を使用するとき

：コート紙を使用するとき

（空白のシート）は名称や記号を自由に記入して使用してください。シートの下側は、上下を逆にして記入します。

仕様

重要
仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

参考
ファクス機能の仕様について詳しくは、**ファクス使用説明書**を参照してください。

共通機能

項目		仕様
名称		FS-C2626MFP
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式（レーザ方式）
記録方式		半導体レーザー方式
最大印刷許容ページ枚数		平均：1,500ページ、最大：65,000ページ
用紙の重さ	カセット	60～163 g/m²（両面：60～163 g/m²）
	手差しトレイ	60～220 g/m²、230 µm（はがき）
用紙種類	カセット	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム1～8（両面印刷時：片面印刷時と同じ）
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル用紙、再生紙、パンチ済み紙、ボンド紙、はがき、カラー紙、プレプリント、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、カスタム1～8
用紙サイズ	カセット	最大：Legal（両面印刷：Legal） 最小：A6（両面印刷：A5）
	手差しトレイ	最大：Legal（両面印刷：Legal） 最小：A6
用紙容量	カセット	250枚（80 g/m²）
	手差しトレイ	50枚（80 g/m²、普通紙）
排紙トレイ容量		150枚（80 g/m²）
メインメモリー	標準	1024 MB
	最大	2048 MB
インターフェイス	標準	USB（USB Hi-Speed）：1（印刷、WIAスキャン） USBホスト：2（USBメモリーからの印刷、USBメモリーへの保存、ICカード認証キット） ネットワークインターフェイス（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）：1（印刷、TWAIN/WIAスキャン、フォルダー（SMB/FTP）送信、メール送信）
	オプション	eKUIOスロット：1
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	15～80％
	海抜	2,500 m以下
	照度	1,500 lux以下

項目		仕様
ウォームアップタイム（22 ℃、60％）	電源ONから	29秒以下
	スリープから	20秒以下
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		514 × 550 × 603 mm
質量（トナーコンテナ含む）		38.7 kg
機械占有寸法（幅×奥行き）		514 × 750 mm（手差しトレイ使用時）
電源		100 V（50/60 Hz、11.2 A）
オプション		ペーパーフィーダー（2台まで）、拡張メモリー、ICカード認証キット、ギガビットイーサーネット拡張キット

コピー機能

項目		仕様
コピー速度		A4：26枚/分 Letter：28枚/分 A5/B5/A6（15イメージまで）：28枚/分 A5/B5/A6（16イメージ以降）：14枚/分 Legal：23枚/分
ファーストプリントタイム（A4、本体カセットから給紙）	原稿送り装置使用時	カラー：13秒以下、白黒：11秒以下
	原稿送り装置不使用時	カラー：12秒以下、白黒：10秒以下
複写倍率		任意倍率：25～400％（1％単位） 固定倍率：400%、200%、141%、129%、115%、90%、86%、78%、70%、64%、50%、25%
連続複写		1～999枚
解像度		600 × 600 dpi
原稿の種類		シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：Folio/Legal）
原稿台方式		固定

プリンター機能

項目		仕様
印刷速度 （60～105 g/m²）	片面	A4：26枚/分 Letter：28枚/分 A5/B5/A6（15イメージまで）：28枚/分 A5/B5/A6（16イメージ以降）：14枚/分 Legal：23枚/分
	両面	A4：13枚/分 Letter：13枚/分 Legal：12枚/分
ファーストプリントタイム（A4、本体カセットから給紙）		カラー：10.5秒以下、白黒：9.0秒以下
解像度		600 dpi、多値4 bit/dot

項目	仕様
対応OS	Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、Apple Macintosh OS X
ページ記述言語	PRESCRIBE
エミュレーション	PCL6(PCL5c、PCL-XL)、KPDL3(PostScript3互換)

スキャナー機能

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">仕様</th></tr>
<tr><td>動作環境</td><td colspan="2">CPU:1 GHz以上
RAM:256 MB以上</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td colspan="2">600 dpi、400 dpi、300 dpi、200 dpi、200 × 400 dpi、200 × 100 dpi(ファクスの解像度含む)</td></tr>
<tr><td>ファイルフォーマット</td><td colspan="2">PDF(PDF1.4, PDF/A)、TIFF(TIFF V6, TTN2)、JPEG、XPS</td></tr>
<tr><td>読み取り速度</td><td colspan="2">(A4ランドスケープ、300 dpi、文字＋写真モード)
片面白黒:35イメージ/分、片面カラー:25イメージ/分</td></tr>
<tr><td>ネットワークプロトコル</td><td colspan="2">TCP/IP</td></tr>
<tr><td rowspan="5">転送プロトコル</td><td rowspan="2">フォルダー送信</td><td>SMB:Scan to SMB</td></tr>
<tr><td>FTP:Scan to FTP、FTP over SSL</td></tr>
<tr><td>Eメール送信</td><td>SMTP:Scan to E-mail</td></tr>
<tr><td colspan="2">TWAINスキャン*</td></tr>
<tr><td colspan="2">TWAIN準拠/WIA**</td></tr>
</table>

* 対応OS:Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7

** 対応OS:Windows Vista /Windows Server 2008/Windows 7

原稿送り装置

項目	仕様
原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大:A4/Legal 最小:A5/Statement
原稿の厚さ	50～120 g/m^2(両面時:50～110 g/m^2)
原稿セット枚数	50枚以下(50～80 g/m^2)
本体寸法(幅 × 奥行き × 高さ)	490 × 338 × 104 mm
質量	3 kg以下

環境仕様

項目	仕様
スリープモード移行時間（出荷時設定）	1分
スリープモードからの復帰時間	20秒以下
両面機能	標準
給紙搬送性古紙	100％配合紙使用可能

参考
推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100			、	。	，	．	・	：	；	？
0110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
0130	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
0190	★	○	●	◎	◇					
0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
0210	→	←	↑	↓	〓					
0220							∈	∋	⊆	⊇
0230	⊂	⊃	∪	∩						
0240			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
0250										
0260	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
0270	∽	∝	∵	∫	∬					
0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
0290					◯					
0300										
0310							０	１	２	３
0320	４	５	６	７	８	９				
0330				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
0340	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0350	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
0360						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
0370	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
0380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
0390	ｚ									
0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん						
0490										
0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
0590										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0660										
0670										
0680										
0690										
0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0730	Ь	Э	Ю	Я						
0740										а
0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я								
0790										
0800										
0810										
0820										
0830										
0840										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
ウ	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
エ	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
オ	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
カ	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
ク	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
ケ	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コ	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
サ	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
シ	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
ス	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
セ	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
ソ	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ソ	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
ツ	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
テ	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
ト	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒ	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
ヘ	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
ホ	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ホ	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
マ	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
ム	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
ユ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
ヨ	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
ラ	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
レ	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
ロ	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
ワ	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								
	4760										
	4770										
	4780										
	4790										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890	傀	傚	傅	傴	傲					
4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990	劒	剱	劈	劑	辨					
5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090	咥	咬	哄	哈	咨					
5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190	囹	圀	囿	圄	圉					
5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290	奢	奠	奧	奬	奩					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390	尹	屁	屆	屎	屓					
5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490	廁	廂	廈	廐	廏					
5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悁	悍	惧	悃	悚					
5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690	戉	戍	戌	戔	戛					
5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990	椢	椦	棡	椌	棍					
6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6050	槌	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090	檍	檠	檄	檢	檣					
6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					
6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290	滲	漱	滯	漲	滌					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390	燠	燬	燧	燵	燼					
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590	癩	癪	癧	癬	癰					
6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890	糲	糴	糶	糺	紆					
6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990	纎	纛	纜	缸	缺					
7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					
7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490	褸	襌	褝	襠	襞					
7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590	證	譖	譛	譚	譫					
7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790	逧	逶	逵	逹	迸					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990	陏	陋	陷	陜	陞					
8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090	顏	顋	顫	顯	顰					
8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190	髫	髮	髴	髱	髷					
8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390	齲	齶	龕	龜	龠					
8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品は、年間保守契約サービスを提供しております。お客様が安心して導入、ご使用いただくために、製品ごとに保守契約期間内は、一定額の保守料で修理対応いたします。

保守契約についてのお問い合わせ

販売パートナーにより保守契約内容は異なる場合がございますので、詳細はご購入元へお問い合わせ願います。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品ごとに分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃・再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に配慮して適切に処理されます。

トナーコンテナの廃棄

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。

http://www.kyoceramita.co.jp/support/

用語集

AppleTalk

Apple社のMac OSに標準搭載されているネットワーク機能。AppleTalkのネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称でもあります。AppleTalkでは、ファイル共有やプリンター共有などのサービスが提供されます。AppleTalkネットワーク上の、別のパソコンのアプリケーションソフトを起動することもできます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用にあらかじめ予約されている169.254.0.0～169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjourは、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IPネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。Bonjourは、業界標準のIPプロトコルが使用されているので、IPアドレスを入力したりDNSサーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjourは、UDPポート5353上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjourが正しく動作するようにUDPポート5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjourパケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjourの動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjourが例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。BonjourをWindows XP Service Pack 2以降にインストールする場合、WindowsファイアウォールはBonjourによって適切に設定されます。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP（IPv6）

DHCP(IPｖ6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPｖ6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP（File Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Webページの閲覧に使われるHTTPを拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL（Kyocera Page Description Language）

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI（NetBIOS Extended User Interface）設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

NetWare

Novell社のネットワークOS（ネットワーク管理ソフトウェア）です。NetWareはさまざまなOS上で動作することができます。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO 19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO 19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3（Post Office Protocol 3）

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM（prints per minute）

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA（Stateless）

IPv6ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6で知らせます。この情報がRouter Advertisement（RA）です。

また、ICMPv6はインターネット制御メッセージプロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control MessageProtocol（ICMPv6） for the Internet Protocol Version 6 (IPv6)Specification」で定義されているIPv6標準です。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP（IPv6）

TCP/IP（IPv6）は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP（IPv4）をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TWAIN（Technology Without Any Interested Name）

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe Photoshopをはじめとするグラフィックソフトや OCRソフトで多く採用されています。

USB（Universal Serial Bus）2.0

Hi-Speed USB 2.0に準拠したUSBインターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA（Windows Imaging Acquisition）

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイコンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL、およびKPDL（自動）のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら（白と黒を含めて）256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部（本来のホスト・アドレス部の一部分）をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体右側にある給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHPフィルム、ラベル紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機の操作パネルにはヘルプキーがあります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、ヘルプキーを押すと、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

索引

U

W

X

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社
京セラミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

初版 2011.6
2M8KMJA000